

第一款 營繕費 第一項 神戸地方裁判所建築及假廳敷地借入費

【報告】(三〇) 神戸地方裁判所ノ支出ニ係ル

四、九四四<sup>円</sup>三〇〇

ハ明治三十六年度中購入シタル神戸地方裁判所建築用「セメント」代

一、五五一<sup>円</sup>七四六

ハ三十六年四月及五月ニ於テ購入シタル同建築用杉板代

一、六二五<sup>円</sup>一五二

ハ三十七年二月及三月ニ於テ購入シタル同廳舎敷込用絨氈及「ズック」代ニシテ孰モ千圓未満ニ分割シ隨意契約ニ依リタルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ、其答辯ノ要旨ハ最初所要ノ數量ヲ豫定シテ購買シタルニ豫定ニ違算アリタルカ爲メ其數量ヲ増加セサルヲ得サルニ至リ且ツ杉板ハ工事ノ進行上相前後シテ起工ヲ要スルニ至リタルニ由リ隨時購入シタリト云フニアリ、然レトモ右ハ當初ヨリ所要數量判明セルモノナルヲ以テ各一括シテ競争入札ニ付シ得ヘキモノナリ依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會) 【衆決】 會計法第二十四條違背

(參照) ○會計法第二十四條(七一頁參看)

文部省所管

工事ノ施行粗悪ナルモノ一件(三一)

一、三三三<sup>円</sup>九八五

歳出臨時部

第一款 營繕費 第十六項 東京高等師範學校改築費

【報告】(三一) 文部省ノ支出ニ係ル

一、三三三<sup>円</sup>九八五

ハ東京高等師範學校改築費四拾貳萬六千九百參圓拾七錢七厘ノ内ニシテ四拾萬參千五百四圓五拾八錢貳厘ハ明治三十三年度

乃至三十五年度ニ於テ支出シタルモノナリ、本工事當初ノ設計ハ煉瓦造二階建二百五十八坪、同平家建二百五十六坪、木造二階建八百三十八坪餘、同平家建六百三十坪餘ヲ新築シ又千三百五十四坪ヲ移築シ教室ニハ煖房器ヲ設備スルノ豫定ナリシニ、實施ニ際シ新築ハ煉瓦造三階建六十五坪餘、同平家建百五坪、木造二階建千八百五十六坪餘、同平家建九百十坪餘移築ハ百六十二坪餘ニ變更シ寄宿舎、中學等重要ナル建物ノ移築ハ之ヲ止メ中學武器庫及教室煖房器ノ設備ハ全ク之ヲ廢止セリ、今之カ實地ヲ検査スルニ設計上用材ノ寸尺十分ナラス實施上乾燥セサル木材ヲ使用シ工作粗雑ナリシ爲メ切組、床、天井等間隙ヲ生シ四間持放シノ床梁ハ震動シ屋根ハ雨漏ノ箇所頗ル多ク、渡廊下「セメント」叩キハ壊破セル等出來方極メテ不良ナリ、右ハ設計宜シキヲ得ス施工粗悪ナルモノニ對シ之カ工費ヲ支出シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本項豫算ハ當初其ノ總額ヲ七拾五萬六千六百餘圓ト算定シ第十三帝國議會ニ提出セシトコロ一箇年ヲ後ラスモ敢テ忍フヘカラサルニアラサルヘシトノ理由ヲ以テ成立スルニ至ラス然ルニ次年度ニ至リ財政上ノ都合ニ依リ其ノ費額參拾餘萬圓ヲ削減シ四拾二萬六千九百餘圓ヲ以テ本項豫算ト定メ成立シタルモノナリ然ルニ之カ實施ニ際シ敷地買収及地均シ費ニ於テ豫算額ヲ超過スルコト實ニ參萬參千餘圓ニ及ヒ且學科教授上豫定坪數ヲ増加スル必要ニ迫マラレタルヲ以テ豫定ノ計畫ヲ變更スルノ止ムヲ得サルニ至レリ依テ其ノ建築程度ヲ低クシ煖房施設ノ如キハ之ヲ廢シテ煖爐ヲ用フルコト、シ以テ必要ナル建坪ヲ増加經營シタル結果豫定坪數ニ比シ煉瓦造ニテ三百餘坪ヲ減シ木造ニテ千二百餘坪ヲ増加セリ又舊校舍敷地内ニ存在スル千三百餘坪ノ建物ハ之ヲ取毀テ其ノ古材ヲ新築材料ニ混用スル計畫ナリシモ該材料中腐朽ニ屬セシモノ多キヲ以テ比較的良好ナル本校附屬第二校舎不用建物六百餘坪ヲ取毀テ代用セリ事實前記ノ如クナルヲ以テ良材ヲ精撰シ充分ナル建築ヲ爲ス能ハサルハ勢止ムヲ得サルトコロナリト雖荷モ建物ヲ維持スル主要材寸尺ノ如キハ普通工法ニ從ヒ危險ノ虞ナキ程度以上ニ之ヲ設計シタリ又多少ノ雨漏「セメント」叩ノ一部毀損セル如キハ竣功後新ニ生シタル事實ニシテ落成當時ニ於テハ別ニ不完全ノ點ナカリキ之ヲ要スルニ本件ハ必要ナル施設ヲ爲ス上ニ於テ豫算金額ニ伴ヒ相當ノ設計ヲ爲シ且請負契約通竣功シタル工事ニ對シ工費ヲ支出シタルモノニシテ敢テ不當ノ支出ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會) 【衆決】 不當

農商務省所管

未竣功ノ工事ニ對シ請負金全額ヲ支出シタルモノ一件(三二)

一、〇八八<sup>円</sup>〇〇〇



歳出臨時部

第六款 營繕費 第三項 新營費

【報告】 (三三二) 農事試驗場ノ支出ニ係ル

一、〇八八、〇〇〇

ハ煙草醱酵室及附屬暖房器室、同乾燥室ノ新築費ニシテ明治三十六年十二月二十六日及三十七年一月二十三日仕拂ヒタルモノナリ、然ルニ三十七年一月二十七日請負人ニ工事中止ヲ命シ其請書ヲ徴シアルヲ以テ之カ事出ヲ當該官吏ニ推問セシニ、其答辯ノ要旨ハ竣功検査以後手直工事ニ就キ中止ヲ命シタルニ過キスト云フニアリ、然レトモ該請書中煙草醱酵室屋根漆喰塗及乾燥室眞壁塗並ニ屋根漆喰塗、廊下土間叩キ工事ニ著手致シ候處寒氣甚ク敷爲メ右工事ハ一時御中止相成云々トアルニ徴スルニ手直工事ノ中止ヲ命シタルモノト認ムルコトヲ得ス、依テ本件ハ工事竣功前請負金額ノ全部ヲ仕拂ヒタルモノニシテ不當ナリトス

【辯明】

本項煙草醱酵室、附屬暖房器室及同乾燥室ノ新營ハ試驗事業進行ノ都合ニヨリ竣功ヲ急キ完成後代金ノ支拂ヲ爲シタルモ其後寒氣凜烈ノ爲メ屋根漆喰壁叩等ニ損所ヲ生シタルニ付前受負人ヲシテ手直工事ヲ命シ嚴寒中一時中止セシメタルモノニテ請書中右工事ハ一時御中止相成候云々トアルハ最初ノ請負工事ニ非ラスシテ手直工事ヲ指シタルモノニテ工事竣功前請負金額ノ全部ヲ仕拂タルモノニ非ラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

逓信省所管

豫算ノ使用其當ヲ得サルモノ一件(四〇)  
虚偽ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ二件(三三三)(三三九)  
工事ノ施行粗悪ナルモノ三件(三三六)(三七七)(三三八)  
其他不當ナルモノ三件(三四四)(三五五)(四一)  
合計九件

七七、八〇一、三〇三  
一、〇二六、四六〇  
一四、九五〇、七五八  
二、二八六、四一五  
九六、〇六四、九三六

歳出經常部

第二款 逓信費 第五項 旅費

【報告】 (三三三) 名古屋郵便局ノ支出ニ係ル

一四、四六〇

ハ明治三十五年度ヨリノ繼續旅行ニ係ル同局員一名ノ旅費トシテ證明シタルモノナルモ其實出張ノ事實ナキモノナリ、右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通依テ其仕拂ヒタル金額ハ之ヲ返還セシメ當事者ハ之ヲ處分セリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

第八項 逓信事業費

【報告】 (三四四) 長野郵便局ノ支出ニ係ル

七、五七〇

ハ松本郵便局ニ於ケル集配人缺員補充及臨時配達料トシテ證明シタルモノナルモ其實集配人ニ對スル勤勉加給ノ仕拂ニ充テタルモノナリ、右ハ虚偽ノ證書ヲ作製シ支出ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辯明】 本項支出額七圓五拾七錢ニ對スル會計検査院検査報告ニハ集配人缺員補充及臨時配達料トシテ證明シ其實集配人ニ對スル勤勉加給ノ仕拂ニ充テタルモノナリトアルモ事實ハ之ト其趣ヲ異ニシ即チ該支出額ノ内參圓六拾壹錢ハ集配人缺員補充ノ爲備入レタル現業備人給料、壹圓六拾八錢ハ電報多數ノ爲備入レタル備人ニ支給セシ臨時配達料、壹圓參拾貳錢ハ年首多忙ノ爲備入レタル備人ニ支給セシ臨時集配料トシテ證明シ而シテ以上合計六圓六拾壹錢ハ其實之ヲ過度ニ服務セシメタル集配人ニ對スル勤勉加給ノ仕拂ニ充テ又九拾六錢ハ遞送小包郵便物過量ノ爲備入レタル備人ニ支給セシ臨時遞送料トシテ證明シ其實之ヲ過量ノ遞送ニ服務セシメタル遞送人ニ對スル勤勉加給ノ仕拂ニ充テタルモノナリ右ハ虚偽ノ證書ヲ作成シ不當ノ支出ヲ爲シタルモノナルヲ以テ當事者ハ之ヲ處分セリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

【報告】 (三五五) 仙臺郵便局ノ支出ニ係ル

一〇、四八四、五

ハ米澤郵便局ニ於ケル臨時集配料及宿直賄料トシテ證明シタルモノナルモ其實同局舎新築落成式舉行ノ際及其前後ニ於テ使役シタル備人料其他定員外ニ雇用シタル事務員給料等ノ仕拂ニ充テタルモノナリ、右ハ虚偽ノ證書ヲ作製シ支出ヲ爲シ



タルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通依テ其不當ノ支出ニ係ル金額ハ之ヲ辨償セシメ當事者ハ之ヲ處分セリ

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 不當

歳出臨時部

第四款 營繕費 第三項 新營費

【報告】 (三六) 遞信省ノ支出ニ係ル

一〇、二八七、七五〇

ハ堺郵便局舎木造二階建七十九坪餘ノ新營工事費ニシテ本工事ハ無制限ノ競争入札ニ付スルトキハ經驗ニ乏シク且ツ無  
資力ノ者ニ競落スル等ノ不利益ヲ來ス虞アリト爲シ指名入札ヲ行ヒ東京市鈴木某ニ請負ヲ命シタルモノナリ、然ルニ之カ  
實地ヲ検査スルニ其出來形不良ニシテ下見板ハ繼目離レ、内部壁漆喰ハ罅隙ヲ生シ若クハ分離セル箇所少カラサルノミナ  
ラス天井廻リ縁トノ間ニ一寸内外ノ間隙ヲ生シタルモノアリ、唐戸及窓枠額縁等ハ狂ヒヲ生シ、公衆受附口柵板ハ弛ミヲ  
來シ釘附ヲ爲シ若クハ木片ヲ挿入セリ、依テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ建築後一箇年餘ヲ經過シタ  
ル爲メ季候ノ變化木材ノ乾燥等ニ因リ自然狂ヒヲ生シタルモノナリト云フニアリ、然レトモ右ハ畢竟工事ノ粗惡ニ起因ス  
ルモノニシテ單ニ歲月ノ經過等ニ因リ生シタルモノト認ムルコトヲ得ス、要スルニ本件ハ粗造工事ニ對シ之カ經費ヲ支出  
シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本項局舎ハ建築後年月ノ經過及季候ノ變化等ニ因リ木材ノ乾燥及自然ノ結果トシテ出來形ノ一部ニ狂ヒ又ハ間隙ヲ見ルニ至リタルモノニ  
シテ決シテ粗造ノ工事ト謂フヲ得ス依テ之カ經費ヲ支出シタルハ不當ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會) 【衆決】 不當

【報告】 (三七) 大阪海事局ノ支出ニ係ル

三、七〇六、三〇八

ハ下關海務署廳舎木造二階建五十二坪、附屬舎木造平家建二十二坪餘及渡り廊下ノ新營請負工事費八千七百六拾六圓五拾

五錢八厘ノ内ニシテ五千六拾圓貳拾五錢ハ明治三十五年度ニ於テ支出シタルモノナリ、之カ實地ヲ検査スルニ出來方不良  
ニシテ内部壁漆喰ハ罅隙ヲ生セル箇所少カラサルノミナラス化粧蛇腹、巾木、出入口枠、窓枠、階子段等ノ接合ニ於テハ甚シ  
ク間隙ヲ生シ又化粧蛇腹、窓臺木、巾木等ハ割目ヲ生シ其他出入口唐戸及窓ハ概子狂ヒヲ來シ全ク閉閉シ能ハサルモノ數箇  
所ニ及ヘリ、依テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ落成後既ニ一箇年半ヲ經過シ季候ノ變化等ニ因リ自然  
間隙若クハ狂ヒヲ生シタルモノナリト云フニアリ、然レトモ右ハ畢竟工事ノ粗惡ニ起因セルモノニシテ單ニ歲月ノ經過等  
ニ因リ生シタルモノト認ムルコトヲ得ス、要スルニ本件ハ粗造工事ニ對シ之カ經費ヲ支出シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本項局舎ハ建築後年月ノ經過及季候ノ變化等ニ因リ木材ノ乾燥及自然ノ結果トシテ出來形ノ一部ニ狂ヒ又ハ間隙ヲ見ルニ至リタルモノニ  
シテ決シテ粗造ノ工事ト謂フヲ得ス依テ之カ經費ヲ支出シタルハ不當ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會) 【衆決】 不當

【報告】 (三八) 郵便爲替貯金管理所ノ支出ニ係ル

九五六、七〇〇

ハ下關郵便爲替貯金管理支所物置木造二階建三十一坪餘ノ請負工事費ニシテ同所元主計室取崩材料ヲ補足使用シ新營シタ  
ルモノナリ、之カ實地ヲ検査スルニ小屋梁ト敷桁トノ取附、敷桁ノ接合及杵束ノ取附分離シ、荷受柱ト胴差枕梁トノ取附  
外レタル等全體ノ組立ニ弛ミヲ來シ、二階外部ノ壁ハ孕出シ直チニ大修繕ヲ要スヘキ狀況ナリ、依テ之カ事由ヲ當該官吏ニ  
推問セシニ其答辯ノ要旨ハ落成後偶、軍事郵便爲替等ノ新設其他貯金通常爲替等増加ノ結果之カ收容書類増加シ且ツ收容  
書類ハ重ニ西洋紙類ニシテ比較的重量アル物品ナルニヨリ自然全體ノ組立ニ弛ミヲ來シ又同敷地ハ地質粗惡ナルニヨリ充  
分工事ニ注意シタルモノ自然梁桁及柱等ノ接合取附ニ間隙ヲ生シタルモノナリト云フニアリ、然レトモ右ハ畢竟工事ノ粗惡  
ナルニ起因スルモノニシテ單ニ重量物ノ收容、地盤ノ軟弱ナルニ因リ生シタルモノト認ムルコトヲ得ス、要スルニ本件ハ  
粗造工事ニ對シ之カ經費ヲ支出シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本項物置ハ工事落成後軍事郵便爲替貯金事務ノ開始及通常郵便爲替貯金事務ノ増加等ニ因リ收容書類劇増セシ爲止ムナク該物置ノ小屋内



ヲ利用シ之ニ棚ヲ設ケテ一時ノ收藏所ニ充用セシト該書類及其他一般收藏書類ノ紙質ハ重ニ西洋紙類ニシテ比較的量目重キモノノミナ  
ルト敷地ハ粗悪ナルヲ以テ施行上特ニ注意ヲ加ヘタルモ其粗悪豫想ノ外ニ出テタルトノ爲日子ノ經過ト共ニ自然全體ノ粗立ニ弛ミヲ來タ  
シ延テ外部壁ノ一部ニ孕ミヲ生シタルモノニシテ決シテ粗造ノ工事ト謂フヲ得ス依テ之カ經費ヲ支出シタルハ不當ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會) 【衆決】 不當

第六款 官設既成鐵道改良費 第一項 官設既成鐵道改良費

【報告】 (三九) 鐵道作業局ノ支出ニ係ル

一、〇一二、〇〇〇

ハ明治三十三年度ヨリ三十七年度ニ至ル間ニ於テ鐵道作業局工務部名古屋保線事務所雇川澄某カ計算事務擔任中前後三十  
六回ニ現場主任ヨリ提出シタル岐阜大垣間既成鐵道改良工費用職工人夫使役報告表ノ使役人員及賃金額ヲ改竄増加シテ請  
負人ヨリ使役以外ノ賃金ヲ要求セシメ詐取シタル參千六百八拾八圓ノ内ニシテ貳千六百拾八圓ハ三十三年度乃至三十五年  
度ニ、五百八圓ハ三十七年度ニ屬スルモノナリ、右ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通依テ當事者ハ刑法上ノ處分ヲ受ケ責任者ハ之ヲ處分シ又其不當ノ支出ニ係ル金額ハ工事受負人ヨリ任意償ノ旨  
ヲ申出テタルヲ以テ全部之カ收納ヲ了セリ

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 不當

第七款 鐵道建設費 第三項 篠ノ井暨尻間鐵道

【報告】 (四〇) 鐵道作業局ノ支出ニ係ル

七七、八〇一、三〇三

ハ信越線長野停車場構内各工場擴張工事中本費支辨額拾壹萬貳千五百拾八圓六拾六錢八厘ノ内ニシテ參萬四千七百拾七圓  
參拾六錢五厘ハ明治三十四、三十五兩年度ニ於テ支出シタルモノナリ、右ハ三十四年度検査報告ニ詳悉セシト同シク豫算  
ニ殘餘ヲ生シタルヨリ當初ノ見積以外ニ屬スル施設ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス(明治三十四年度七)參者)

【辯明】 本項長野停車場構内各工場擴張工事ハ明治三十四、三十五兩年度検査報告ニ對シ辯明セシ如ク運輸事業發達ノ實況ニ鑑ミ緩急ヲ計リ施行シ  
タルモノニシテ不當ニアラス(明治三十五年(五)二三四參者)

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會) 【衆決】 承認

第七項 福知山園部舞鶴間鐵道

【報告】 (四一) 鐵道作業局ノ支出ニ係ル

一一、一七四、〇〇〇

ハ鐵道工費用トシテ購入シタル煉瓦納入箇所ノ指定宜シキヲ得サリシカ爲メ國庫ノ損失ニ歸シタルモノナリ、右ハ明治三  
十六年六月及同八月ニ於テ福知山舞鶴間第三第四工區ノ工費用トシテ煉瓦二百二十萬個ヲ購入スルニ當リ該購買物件ハ舞  
鶴福知山何ノ方面ヨリ供給ニ應スヘキヤ或ハ工區ノ中間タル上杉附近ニ煉瓦工場ノ新設ヲ見ルヘキヤ豫知シ難シトノ理由  
ヲ以テ其納入箇所ヲ右上杉ニ指定シタリ、然ルニ請負人ニ於テ本品ハ舞鶴方面ヨリ之カ供給ヲ爲スコト、ナリタルヲ以テ  
工事擔當者タル福知山出張所長ハ同年九月二十九日附ヲ以テ當該部局長ニ對シ納入箇所變更方ヲ請求シタルニ之ニ對スル  
處置頗ル遷延シ三十七年一月十一日ニ至リ稍ク納入箇所ノ變更ヲ爲シ其間百餘日ヲ經過セリ而シテ同所長ハ工事施行ノ必  
要上納入箇所變更處分ヲ待ツノ暇ナシトシ三十六年九月末上杉ニ納入シタル現品三十五萬餘個ニ過キサルニ同年十月六日  
ヲ以テ山田某ト上杉ヨリ黒谷及眞倉へ煉瓦八十六萬箇ヲ逆送スルノ契約ヲ締結シ黒谷へ四十九萬箇、眞倉へ二十五萬箇ヲ運  
送セシメ之カ爲メ千貳百參拾五圓ノ運搬費ヲ仕拂ヒタルノミナラス當初直チニ納入箇所ヲ變更セハ低減シ得ヘカリシ運搬  
費ヲ計算スルニ九百參拾九圓ニ及ヘリ、要スルニ本件支出ハ物品納入箇所ノ指定宜シキヲ得サルノミナラス之カ變更緩漫  
ニ失シ當初ノ運搬ヲ續行シ終ニ多數ノ逆送ヲ要スルニ至リタルカ爲メ生シタルモノニシテ不當ナリトス

【辯明】

本項煉瓦石購入ノ際納品場所トシテ上杉ヲ撰ミタルハ本品供給受負人ハ舞鶴福知山何レノ方面ヨリ之ヲ送納スヘキヤ或ハ其當時風評アリシ  
如ク上杉附近ニ煉瓦工場ヲ新設シ以テ之カ供給ニ應スヘキヤ豫知スルニ由ナキカ故ニ納品使用工區ノ中間高地ニ位シ且ツ其納品ヲ貯積ス  
ルニ足ルノ地面及配給ノ利便ヲ有スル同地ヲ指定シタルモノニシテ黒谷及眞倉ヲ除外セシハ前敘ノ事由ノ外同地ハ溪谷狹隘ノ地ニシテ到  
底多數ノ納品ヲ貯積スルノ餘地ナキノミナラス夏季ノ頃往々河水汎濫シ水害ヲ被ムルノ虞アルニ由ルモノナリ然ルニ後日ニ至リ黒谷及眞  
倉ヲ納品場所中へ追加セシハ本品供給受負人ハ舞鶴方面ヨリ之ヲ送納シ且ツ工事進捗ノ結果需用増加ノ爲隨テ納付スレハ隨テ使用シ殆  
ト堆積スルノ邊ナク廣キ地面ヲ要セサルノ狀況ナルノミナラス既ニ出水期ヲモ經過セシニ依リ乃チ右二地ヲ追加シ以テ可成的納品ノ逆送



ヲ防止セントシタルモノナリ

又納品場所ノ追加決定マテニ少カラサル日子ヲ要シタルハ供給受負人ニ對シ納品場所ノ變更ニ伴フ値引ノ協議上豫想外ノ日子ヲ要シタルカ爲ニシテ洵ニ已ムヲ得サルニ出テタルモノナリ

又九月末マテニ上杉へ納入シタル現品ハ三十五萬餘箇ニ過キサルニ同地ヨリ黒谷及眞倉へ八十六萬箇ヲ逆送スルノ契約ヲ締結セシハ納品場所ノ追加決定マテニハ相當ノ日子ヲ要スルヲ以テ其間ニ於ケル納品箇數及工事ノ進捗ニ伴フ納品配給上ノ關係等ヲ參酌考慮シタルニ由ルモノナリ但シ八十六萬箇ノ内十二萬箇ハ逆送ヲ要セサルコト、ナリシニ依リ之ニ對スル契約ヲ解除セリ

之ヲ要スルニ本件材料ノ如キハ何レノ方面ヨリ供給ヲ受クルモ多少ノ逆送ハ到底免レ難キ所ナルノミナラス納品場所ノ追加決定マテニ少カラサル日子ヲ要シタルモ洵ニ已ムヲ得サルニ出テタルモノナルヲ以テ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

官 金

大藏省ニ於テ國庫金運用上必要ナキ借入ヲ繼續シタルモノ一件(四二)

【報告】

(四二) 臺灣事業公債法第五條ニ依リ臺灣銀行ヨリ借入レタル金額ニシテ明治三十六年度末ニ於テ尙ホ返償未済ニ屬スルモノ 三三四九、二〇〇、〇〇〇<sup>円</sup>

アリ、抑、臺灣ニ於ケル鐵道敷設、土地調査、築港、廳舎建築、大租權整理ニ要スル特別事業費ハ公債募集金ヲ以テ支辨スルノ計畫ナリシモ三十二年度以降公債募集ニ便ナラサルヤ政府ハ臺灣銀行ヨリ借入金ヲ爲シ之カ經費ヲ繰替支辨セリ而シテ本年度初ニ於ケル借入金現在額ハ五百四拾四萬貳百圓ニシテ三十六年八月百九萬千圓、同年十月五拾萬圓、三十七年一月拾萬圓、同年二月四拾萬圓合計貳百九萬千圓ヲ返償セリト雖モ尙ホ前掲金額ハ返償未済ニ屬セリ、然ルニ三十六年三月四月及十月ニ於テ臺灣事業公債募集ノ結果千百三十四萬餘圓ヲ收入セルニ依リ公債募集金ハ臺灣銀行ニ對スル返償額及臺灣總督府特別會計ニ對スル繰入額ヲ控除スルモ其月末現在額貳百六拾七萬餘圓乃至六百七拾四萬餘圓ニ上リ尙ホ巨額ノ返償ヲ爲スノ餘裕アリ、依テ之カ返償ヲ爲サ、ル事由ヲ大藏大臣ニ質問セシニ公債ハ金融ノ景況ヲ見時機ニ投シテ發行ヲ爲シ得ルモノナルヲ以テ場合ニ由リ將來ノ必要額ヲ見込ミ一時ニ多額ヲ募集シ置クコトアルハ説明ヲ要セサルコトニシテ又臺灣銀行借入金ノ如キ一度返償セハ同行ハ之ヲ他ニ運用シテ政府ハ返償後數箇月内再ヒ之ヲ借入レントスルモ同行ハ之ニ應スル能ハサルノ見込ナルトキハ政府ハ一時之ヲ借リ續クルノ已ムヲ得サル場合アリ隨テ公債募集金ヲ收入スレハトテ直チニ之ヲ借入金返償ニ充ツル能ハサルコトアリ又公債募集金ハ特別事業費ノ仕拂アルニ從ヒ漸次繰入ノ手續ヲ爲スモ多クハ其繰入ニ先チ仕拂アルヲ以テ繰入手續ハ未了ナルモ現金ハ現實ニ使用セラレ居ルモノアリト辯明セリ、然レトモ臺灣銀行ハ政府ト特別ノ關係ヲ有シ且ツ當時金融ハ寧ロ緩慢ノ狀況ニアリタルヲ以テ一旦返償セハ再ヒ之ヲ借入ル、コト能ハスト云フカ如キハ之ヲ事實ト認ムルコト能ハス又公債募集金現在額中ヨリ繰入ニ先チ仕拂ヒタル金額ヲ控除スルモ其現在額ハ最高三十六年四月ニ於テ五百六拾八萬餘圓最低三十七年三月ニ於テ貳百四拾壹萬餘圓ニシテ借入金殘額ノ大部分ハ之ヲ返償スルニ餘リアリ、元來臺灣銀行借入金ヲ以テ臺灣特別事業費ヲ繰替支辨スルハ一時ノ融通方法ニ過キス然ルニ全年度ヲ通シ斯クノ如ク巨額ノ公債募集金ヲ保有セルニ拘ラス借入金ノ返償ヲ怠ルカ如キハ財政上其宜シキヲ得タルモノニアラス、要スルニ本件ハ國庫金運用上必要ナキ借入ヲ繼續シ少カラサル利子ヲ仕拂フニ至リタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

公債ハ金融ノ狀況ニ據リ時機ニ投シ募集シ得ルモノナレハ場合ニ依リテハ將來ノ所要額ヲ見込ミ一時ニ多額ヲ發行シ置クコトアルニ依リ一時現在額ニ餘裕アルコトアルモ之ヲ以テ借入金ヲ返償スルハ將來ニ於ケル公債募集ノ時機ト臺灣銀行ニ於ケル資金運用ノ關係トヲ調査シ後チ決行セサルヲ得サルモノニシテ若シ右等ノ關係ヲ見ス一時公債金ニ餘裕アルカ爲メ直ニ借入金ヲ返償シ後更ニ事業資金ヲ要スル場合公債ヲ募集セントスルモ時機便ナラス又借入金ヲナサントスルモ臺灣銀行ハ資金運用上之ニ應スル能ハサル場合ヲ生シ之カ爲メ事業ノ進捗ニ不便ヲ來スノ虞アリ是レ公債金ノ現在額ニ餘裕アリシモ借入金ヲ返償セサリシ所以ナリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

(參照) ○臺灣事業公債法(明治三十二年三月二十二日法律第七十五號)

第一條 臺灣ニ於テ左ノ事業ニ要スル經費ニ充ツル爲政府ハ四千百萬圓ヲ限り公債ヲ募集スルコトヲ得

一 鐵道敷設



- 二 土地調査
- 三 築港
- 四 廳舎建築
- 五 大租權整理

第五條 政府ハ第一條ノ經費ヲ繰替支辨スル爲三箇年以内ノ期限ヲ以テ臺灣銀行ヨリ一時借入金ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於ケル利率ハ政府之ヲ定ム  
前項借入金ハ此ノ公債募集金ヲ以テ之ヲ償還スルコトヲ得公債募集金ニ依ラスシテ之ヲ償還シタルトキハ其ノ金額ニ相當スル公債ヲ募集セス

明治三十六年度各特別會計歳入ノ賦課徴收、歳出ノ使用ニ於テ豫算又ハ法律勅令ニ違背シタル事項ハ歳入ニ於テ

競争入札ニ依リ物件ヲ賣却スルニ當リ二番札以下ノ入札者ト契約ヲ締結シタルモノ四件

一、六五八〇〇〇

徴收スヘキ辨償金ヲ免除シタルモノ一件

三、四六四一七三

合計五件

六、一二二一七三

歳出ニ於テ

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ五件

一、二五、一三六八八五

豫算ノ使用其當ヲ得サルモノ一件

一、六六、七四五〇〇

虚偽ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ一件

三〇、二三七〇

競争入札ニ付スヘキ物件ノ購買ヲ隨意契約ニ依リタルモノ七件

四、六、九五三、五二五

物件納付前ニ於テ代價ノ支出ヲ爲シタルモノ一件

五、九八、四一〇

物件ノ購買ニシテ品質粗悪價格高價ナルモノ二件

三〇、三二一、五六八

工事ノ施設宜シキヲ得ス且ツ材料及勞力使用ノ實跡判明ナラサルモノ一件

三、三三七、二八五

其他不當ナルモノ三件

五、五四五、一九六〇

合計二十一件

三、二八、八四七、〇〇三

ナリ

特別會計

内務省所管

臺灣總督府

歳出

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ五件(四五)(四六)(五〇)(五三)

二、五、一三六、八八五

豫算ノ使用其當ヲ得サルモノ一件(五一)

一、六六、七四五〇〇

競争入札ニ付スヘキ物件ノ購買ヲ隨意契約ニ依リタルモノ二件(四八)

一、三、八一九、一二五

物件納付前ニ於テ代價ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(四四)

五、九八、四一〇

物件ノ購買ニシテ品質粗悪價格高價ナルモノ一件(四七)

二、三、六五〇、七二七

工事ノ施設宜シキヲ得ス且ツ材料及勞力使用ノ實跡判明ナラサルモノ一件(五二)

三、三、三三七、二八五

其他不當ナルモノ三件(四三)(四九)

五、五、四五一、九六〇

合計十四件

二、八八、七三九、三九二

歳出經常部

第二款 總督府 第五項 賠償及訴訟費

【報告】 (四三) 臺灣總督府ノ支出ニ係ル

四、九八、八五六、四一七

明治三十六年度 臺灣總督府 (四三)



【報告】 (ハ)有馬組ニ對シ仕拂ヒタル賠償及訴訟費ナリ、右ハ明治二十九年七月臺北ニ於ケル官舎二十九棟ノ新築工事此工費六拾五萬千五百拾參圓五拾五錢七厘ヲ有馬組ニ請負ハシメ三十年七月竣功同年九月受授ヲ了シタルニ有馬組ハ三十二年四月ニ至リ臺灣總督ヲ被告トシ該工事契約書附屬設計書仕様書以外ニ工事監督員ノ指揮ニ從ヒ施行シタル土居葺其他ノ増工事及模様替ニ對シ之カ工費參萬九千七百拾圓四錢七厘ノ不當利得請求訴訟ヲ提起セリ、臺灣總督ハ本訴及反訴ニ於テ増工事ト稱スルハ其實仕様漏工事ニシテ仕様漏工事ハ當初契約締結ノ際監督官吏ノ指揮ニ從ヒ請負金額内ニ於テ處辨スヘキ約束ナリシニ由リ當然請負人ノ負擔ニ屬シ之カ代價ヲ仕拂フヘキモノニアラス假リニ之ヲ仕拂フヘキモノトスルモ請負人ハ該工事中他ノ部分ニ於テ契約書規定ノ如ク完全ナル工事ヲ施サ、リシニ由リ政府ニ對シ賠償スヘキ金額アルヲ以テ本訴ノ金額ト相殺スヘキモノナリト陳辯セシモ法院ノ採用スル所トナラス遂ニ敗訴ニ歸シ不當利得金及之カ利子並ニ訴訟費トシテ前期金額ヲ仕拂フニ至リタルモノナリ、元來本件請負工事タル明治二十九年檢査報告ニ詳悉セルカ如ク出來形ノ設計仕様ニ違背セルモノ頗ル多ク本件訴訟ニ於テ臺灣總督ノ積算スル所ニ依ルモ之カ爲メ請負金額ヨリ減少スヘキモノ四萬參百餘圓ナルニ竣功ノ際之カ檢査ヲ忽セシシ相當ノ處置ヲ爲サズ漫然其受渡ヲ了シ又契約締結ノ際ニ於ケル設計仕様杜撰ニシテ材料ノ數量及寸度ヲ誤リ且ツ實施ニ臨ミ幾多設計ヲ變更セシニ拘ラス費用ノ負擔ニ就キ正確ノ取極ヲ缺キ遂ニ多額ノ賠償ヲ爲スノ已ムヲ得サルニ至リタルモノナリ、依テ本件ハ不當ナリトス(明治二十九年(五一)參看)

【辨明】 本項ハ訴訟判決ノ結果ニ依リ仕拂タルモノナルヲ以テ其支出ヲ不當ナリトスル批難ハ當ヲ得タルモノニアラス  
【貴決】 異議ナシ

第八項 度量衡司檢費

【報告】 (四四) 臺灣總督府ノ支出ニ係ル

ハ度量衡原器類購入代四千九百五拾五圓參拾八錢ノ内ニシテ明治三十七年三月三十日悉皆納付済ナリトシ同年四月十二日代價ノ全額ヲ支出シタルモノナリ、然ルニ實地檢査ノ結果ニ依レハ前期金額ニ對スル「キログラム」分銅外一點ハ同年八月

五九八 四一〇

十一日ニ至リ納付シタルモノニシテ該代金ハ殖産局員ニ於テ保管シ債主ニ對シテハ同月十二日マテ其仕拂ヲ爲サ、リシコト關係書類ニ徴シ明ナリ、右ハ年度内物品ノ受入ヲ爲シタルモノ、如ク裝ヒ其納付ニ先チ支出ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計檢査院檢査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會) 【衆決】 不當

第七款 監獄費 第九項 雜給及雜費

【報告】 (四五) 臺中監獄及臺南監獄ノ支出ニ係ル

三一七 七〇〇

ハ臺中監獄醫務囑託月手當並ニ臺南監獄嘉義支監通譯囑託月手當及慰勞金ナリ右ハ俸給及諸給ヨリ支辨スヘキモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ、其答辯ノ要旨ハ事務ノ性質ニ拘ラス豫算上ノ都合ニ依リ或ハ俸給ヨリ或ハ雜給ヨリ支辨シ參拾圓未滿ハ可成雜給支辨トスル方針ナリト云フニアリ、然レトモ通譯俸給ハ毎ニ俸給及諸給中ニ見積リ又監獄醫務給ハ從來本項中ニ見積リタルモ明治三十四年度以降俸給及諸給ニ組替ヘタルモノナルヲ以テ之ト同性質ナル囑託手當及其豫算内ニ於テ給與スヘキ慰勞金ハ本項支辨ニ屬セサルヤ明ナリ、依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 醫務及通譯ノ囑託手當並慰勞金ヲ本項ヨリ支出スルモ豫算ノ目的ニ反スル所ナシ

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 承認

(參照) ○會計法第十二條第一項(六七頁參看)

第十九款 專賣局 第七項 雜給及雜費

【報告】 (四六) 臺灣總督府專賣局ノ支出ニ係ル

六、四〇〇 〇〇〇

ハ參事官長外六名ニ對シ樟腦專賣制度設定ニ關シ特殊ノ功勞アリトシ手當トシテ支給シタルモノナルモ本項豫算中ニハ此



ノ如キ費用ヲ包含セス、依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス

【辨明】

樟腦專賣制度設定ニ關シ特殊ノ功勞アリタル者ニ對シ慰勞トシテ之レカ手當ヲ本項ヨリ支出シタルモノニシテ豫算ノ目的ニ反スル所ナシ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○會計法第十二條第一項(六七頁參看)

歲出臨時部

第一款 特別事業費 第一項 臺灣鐵道建設及改良費

【報告】

(四七) 臺灣總督府鐵道部ノ支出ニ係ル

一三、六五〇、七二七

ハ苗栗新港庄及彰化煉瓦工場荒井某ヨリ隨意契約ヲ以テ購入セル竝形煉瓦百十九萬六千四百三十個ノ代價ニシテ其單價苗栗製ハ一等品貳錢壹厘貳毛、二等品壹錢九厘八毛、三等品壹錢八厘參毛、平均壹錢九厘七毛、彰化製ハ壹等品貳錢參厘貳毛、二等品貳錢貳厘、三等品貳錢壹厘壹毛、平均貳錢貳厘壹毛ニ當リ新港庄製ノ分ハ苗栗納契約高ノ内十六萬三千四百二十個ヲ新港庄納ニ變更シ單價各貳厘ヲ減セシメタルモノナリ、之ヲ臺北ニ於テ購入セル竝形煉瓦ノ平均單價九厘壹毛餘ニ比スルニ頗ル高價ナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ、其答辯ノ要旨ハ臺北ニ於テハ數年前工場ヲ設置シ一般ノ需用ニ應スルモノニシテ工場建設費ノ如キハ既ニ利益ヲ以テ消却シ終レルモ苗栗又ハ彰化ニ於テハ單ニ本部ノ需用ニ應スルカ爲メ新タニ工場ヲ設置シタルモノナルヲ以テ其費用ヲ煉瓦價格ニ附加セサルヲ得ス又臺北ニ於テハ不合格品ヲ他ニ賣却スルコト容易ナルモ苗栗及彰化ニ於テハ之ヲ不用ニ歸セシメ且ツ臺北ニ於テハ燃料トシテ工場附近ニ産スル石灰ヲ用ユルモ苗栗及彰化ニ於テハ薪材ヲ用ユルノ外ナシ是レ價格ニ差異アル所以ナリト云フニアリ、然レトモ當該官吏ノ算出スル所ニ依レハ竝形煉瓦一個ニ對シ附加スヘキ工場建築消却費ハ壹厘貳毛餘、排却品缺損費ハ貳厘貳毛餘、燃料ノ差額ハ苗栗製四厘、彰化製五厘合計苗栗製ハ七厘五毛餘、彰化製ハ八厘五毛餘ナルヲ以テ假リニ之ヲ相當ナリトシ右平均單價ヨリ減スルモ苗栗製ハ壹錢貳厘貳毛、彰化製ハ壹錢參厘五毛トナリ臺北購入ノ價格ニ比スルニ尙ホ苗栗製ハ參厘壹毛、彰化製ハ四厘四毛ノ

高價ニ當リ更ニ三十七年度中苗栗ニ於テ富田某ヨリ購入シタル竝形煉瓦四十萬個ノ單價ヲ觀ルニ一等品壹錢參厘、二等品壹錢壹厘、三等品九厘五毛、平均壹錢壹厘壹毛ニシテ本件購入價格ノ高價ニ失スルコト明ナリ、加之苗栗製煉瓦ヲ検査スルニ其質極メテ粗惡ニシテ橋臺其他重要ノ場所ニハ使用シ得サルノ狀況ナリ、要スルニ本件ハ購入價格甚シク高價ナルノミナラス品質粗惡ナルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

苗栗及彰化地方煉瓦製造業ハ鐵道事業ノ需要ノ爲メ一時ノ必要ニ依リ開設セラレタルモノニシテ設立費其ノ他ノ費用ヲ要シ又煉瓦ニ要スル燃料ノ如キモ臺北ニ於テハ石灰ヲ使用スルノ便アルモ苗栗彰化ニ於テハ薪材ヲ用ヒサルヘカラサル等ニ依リ製品價格ニ影響ヲ及ホスハ止ムヲ得サルモノトス故ニ臺北ニ於ケル價格ニ比シ高價ナルカ如シト雖モ之ヲ臺北ニ於テ購入シ運搬スルニ比スレハ遙ニ其廉價ナルヲ認ム又三十七年度中苗栗ニ於テ購入シタルモノニ比シ高價ナリト云ヘルモ鐵道開通後ニ至テハ自然低落スルハ當然ノコトニシテ如上ノ批難ハ交通ノ便否生産費等ヲ顧ミサルニ因ルモノニシテ價格ノ比較當ヲ得タルモノニアラス又苗栗製品ハ品質粗惡ナリト云ヘルモ現ニ橋臺隧道其他ニ使用シ不良ノ現象ヲ見ス故ニ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

第三項 臨時臺灣土地調查費

【報告】

(四八) 臨時臺灣土地調查局ノ支出ニ係ル

八、四三三、八九五

ハ製圖用紙類ノ購入代

五、三八五、二三〇

ハ測量用器具器械購入代ニシテ千五百圓未滿ニ分割シ隨意契約ニ依リタルモノナリ之ニ對シ當該官吏ハ執モ隨時ノ必要ニ由リ購入シタル旨説明スト雖モ右ハ其所要數量豫定シ得ヘキモノナルヲ以テ競争入札ニ付シ得ヘキモノナリ、依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會)

【衆決】 會計法第二十四條違背

【報告】

(參照) ○會計法第二十四條(七一頁參看)



【報告】 (四九) 臨時臺灣土地調查局ノ支出ニ係ル

四、〇八三<sup>円</sup>四四二

ハ臺南出張所々屬派出所及堡圖測量派出所夜業用石油百九十四石二斗六升五合五勺ノ購入代

一、五二二<sup>円</sup>一〇一

ハ同所及同派出所員ノ移轉等ニ要シタル運搬費ニシテ右ハ毎ニ一定ノ額ヲ仕拂ヒ實費ト認メ難キノミナラス之カ供給及請負者トシテ證明セルモノハ元常備測夫及小使ニシテ現ニ人夫トシテ使役セルモノニ係リ且ツ夜業用石油ハ一人一ヶ月ノ使用數量臺南出張所々屬派出所ハ六升九合、堡圖測量派出所ハ五升四合ノ多量ニ上レルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ、其答辯ノ要旨ハ石油ハ明治三十四年六月訓令第三十二號物品取扱規程第四條ニ基キ一ヶ月ノ定量主幹ハ附屬員共三斗五升、主幹補助ハ同二斗、製圖員及圖根員ハ一斗、事務員及細部員ハ五升ナルヲ以テ其定量ヲ標準トシテ仕拂ヲ爲シ而シテ人夫ヲシテ領收證書ヲ提出セシメタルハ分派員ヨリノ請求ニ對シ急速供給ノ必要アルトキハ人夫ヲシテ便利ノ場所ニ於テ購入セシムルコトアリ、此場合ニ於テハ販賣商ヨリ正當領收證書ヲ徵スルコト甚タ困難ナルノミナラス主幹ニ於テハ概ネ人夫ヲシテ販賣商トノ取引ニ當ラシムルニ由ル又運搬ハ三十五年四月訓令第二十二號物品定數表ニ基キ派出所ニ屬スル物品及派出所員各自ハ貸與物品ノ斤數ヲ定メ里程ニ應シテ費用ノ範圍ヲ一定シ主幹ヲシテ立替拂ヲ爲サシメ其範圍ヲ標準トシ之カ當否ヲ判定シタルモノニシテ測量人夫ニ運搬請負ヲ爲サシメタルハ貨物運搬ニ就キ常時取扱所ノ物品ナルヲ以テ之カ荷作等ニ際シテモ亦經驗ヲ有シ毀損ヲ免カル、等ノ利益アルニ由ルト云フニアリ、然レトモ石油定量ノ標準ヲ觀ルニ規定ノ夜勤時間ハ二時間ナルモ其前後ノ時間若クハ徹夜ヲ爲ス等ノ場合アリトシ點燈時間ヲ一日平均五時間一時間ノ消費量三勺五才餘トシ公暇日ヲ除キ一ヶ月ノ延時間百四十時此數量五升ト計算シ主幹以下人員數ニ應シ各所要數量ヲ算定シタルモノニシテ畢竟使用ノ極量ヲ定メタルニ止マリ實際ニアリテハ毎ニ其極量ヲ使用シタルモノト認ムルヲ得ヌ又石油ノ購入ヲ人夫ニ一任シ一ヶ月毎ニ取纏メ其提出セル領收證書ヲ以テ證明セルカ如キハ其仕拂ノ正確ナルヲ認ムルコトヲ得ヌ又事務所移轉ニ伴フ運搬定量主幹ハ千四百斤主幹補助ハ五百斤ト爲シタルモ是亦極量ヲ定メタルモノニシテ運搬品中雜器具ノ如キハ其形狀量目ヲ異ニシ消耗品ノ如キハ常ニ悉ク現在セルモノニアラサルヲ以テ實際ニアリテハ右極量ヲ運搬シ

タルモノト認ムルヲ得ヌ、要スルニ本件支出ハ使用シ得ヘキ經費ノ最高限度ヲ以テ毎ニ實際ノ出費トシ正當債權者ニアラサルモノ、領收證書ヲ以テ證明シ其使途判明ナラサルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 石油及運搬費ニ付テハ多年ノ實驗ニ依リ一定ノ額ヲ定メ支給シタルモノニシテ多額ナルモノニアラス又石油ノ購入ハ便宜ニ依リ購入シタルモノニシテ其仕拂ヲ一箇月取纏メタルハ現金前渡官吏派出仕拂ノ都合ニ依リタルモノナリ故ニ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 不當

【報告】 (五〇) 臨時臺灣土地調查局ノ支出ニ係ル 一七、三四四<sup>円</sup>六二五

ハ嘉義斗六兩廳管内土地改測費トシテ證明シタル壹萬七千參百八拾貳圓七拾貳錢五厘ノ内ニシテ參拾八圓拾錢ハ明治三十七年度ニ屬スルモノナリ、然ルニ右ハ實際嘉義ヨリ阿里山脈ノ一部ナル飯包服山ニ至ル道路測量ニ要シタル經費ナルヲ以テ本費ノ支辨ニ屬スヘキモノニアラスト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ、其答辯ノ要旨ハ阿里山森林ハ檜杉等ノ良材豐富ニシテ早晚之カ採伐搬出ニ著手スルニ至ルヘキモ水運ノ利用スヘキモノナキニ由リ輕便軌道ヲ敷設スルノ外ナキヲ認メタリ而シテ該地方ハ蕃界ニ屬シ當初土地調查區域外ニ付シタリシモ特ニ其區域ヲ延長シ必要ノ部分ヲ調査セシメタリト云フニアリ、右ハ阿里山森林ニ於ケル木材搬出ノ必要上土地調査事業外ニ屬スル路線ノ測定ヲ爲シタルモノニシテ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會) 【衆決】 會計法第十二條違背

(參照) ○會計法第十二條第一項(六七頁參看)

【報告】 (五一) 臨時臺灣土地調查局ノ支出ニ係ル 一六六、七四五<sup>円</sup>〇〇〇

ハ本年度中給與シタル賞與金ニシテ拾參萬千貳拾九圓ハ本局官吏ニ壹萬八百拾圓ハ本事業ニ關係セル他廳官吏ニ貳萬千八百五拾參圓ハ本局雇員ニ參千五拾參圓ハ囑託員及傭人ニ支給シタルモノナリ、今之ヲ俸給及給料ニ對比スルニ本局官吏ノ賞與ハ其俸給支出額ノ四割二分餘同雇員ノ賞與ハ其給料支出額ノ二割八分餘ニ相當シ更ニ判任官ニ就キ給與ノ實跡ヲ觀ル



ニ一年度内同一人ニ對シ數回ノ賞與ヲ行ヒ一回ノモノハ百五十六人壹萬六千九百五拾壹圓ニシテ二回ノモノ二百七十八人四萬四千五百八拾壹圓、三回ノ者二百三十六人四萬八千八百五拾七圓、四回ノモノ百五人貳萬千四百拾參圓ニ及ヒ尙ホ五回ノ多キニ至リタルモノ數人アリ而シテ一人ニ對スル給與額俸給ノ年額以上ニ達セルモノ頗ル多ク甚シキハ一年八箇月分ニ相當スルモノアリ、右ハ豫算ノ豐富ナルニ乘シ溢リニ經費ヲ支出シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 事業ノ進捗ヲ圖ルカ爲メ毎年二回若クハ三回ニ各員ノ功績成績等ヲ考量審査シ其優等ナルモノニ「メタル」及賞與ヲ給シテ獎勵シ又事業完成ニ際シ特ニ本島ノ如キ炎熱ト瘴癘ノ土地ニアリテ是等ノ苦痛ト戰ヒ多年勤續シ此大事業ヲ完成ナラシメタル功勞アル職員ニ對シ行賞ヲナシタルモノニシテ敢テ過當ノ賞與ヲ爲シタルモノニアラス故ニ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

第十四款 災害費 第三項 風水害復舊工事費

【報告】 (五二) 臺灣總督府ノ支出ニ係ル

三三三三二八五

ハ嘉義模範製紙場水路復舊直營工事費中水路開鑿費參千六拾圓貳拾錢、水路橋架設費貳千四百拾圓參錢合計五千貳百圓貳拾參錢ノ内ニシテ千八百六拾貳圓九拾四錢五厘ハ明治三十七年度ニ屬スルモノナリ、三十八年一月之カ實地ヲ検査スルニ水路橋ハ既ニ崩壞シ木樋ヲ架設シテ一時ノ急ニ應ジ、水路延長百五十六間ハ敷幅二尺左右法五分、一尺ノ小段ヲ付シテ直高四尺ツ、二段ニ玉石ヲ積ミ下段四尺及敷ハ練積ト爲スノ設計ナルニ其出來形ハ敷幅三尺乃至三尺六寸其高三尺乃至四尺二寸ニシテ其積ニハ大差ナキモ敷ハ總テ練積ノ跡ヲ見ス、之ニ對シ當該官吏辯明ノ要旨ハ水路橋ノ崩壞ハ三十六年出水ノ際奔流激突シテ翼壁ヲ洗ヒ橋臺ヲ崩壞シタルニ起因スルモノニシテ又水路ノ敷幅ヲ擴ケ其高サヲ減シタルハ該地質タル玉石層ニシテ設計ノ寸法ニ依リ堀鑿スルニ大玉石半身ヲ露出シ兩側面ニ凹凸ノ狀ヲ呈スルヲ以テ保存上妨ケナキ限リ現形ノ如ク成工セシメタリ敷ノ練積ハ其目的漏水ヲ妨ケニアルニ堀鑿ノ際湧水ノ箇所アルヲ發見シタルヲ以テ其部分ハ練積ノ必要ナク空積ト爲シタルモノニシテ其延長ハ二十間内外ナルヘシト云フニアリ、然レトモ水路橋ノ崩壞ハ橋臺ノ直高十六尺

餘ニ對シ翼壁ヲ十一尺餘トシ其根入ヲ僅ニ二尺ニ止メ且ツ之ヲ玉石ノ空積ト爲シタルニ起因スルモノニシテ出水ニ際シ流勢ノ急ナル地ニアリテハ設計其當ヲ得タルモノト認ムルヲ得ス又水路敷全部ノ空積ナルハ實地臨檢ニ依リ明ニシテ答辯ハ之ヲ事實ト認ムルヲ得ス要スルニ本件ハ水路敷練積用材料及勞力ハ使用ノ實跡明ナラス水路橋ハ施設宜シキヲ得サルカ爲メ之カ工費ヲ無用ニ歸セシムルニ至リタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本項水路橋ハ崩壞セス而シテ翼壁根入ヲ二尺トシ空積トナシタルハ相當ノ設計ナリ又水路中練積ヲ爲シタル形跡ナシト云ヘルモ必要ノ部分ハ現ニ施工シアリ故ニ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

第十五款 傳染病豫防費 第一項 傳染病豫防費

【報告】 (五三) 臺灣總督府ノ支出ニ係ル

一〇七四五六〇

ハ臺北城南街參事官邸西側瀟溜地外三箇所埋立工事費四千七百八拾貳圓八拾九錢五厘ノ内ニシテ參千七百八圓參拾參錢五厘ハ明治三十五年度ニ於テ支出シタルモノナリ、右ハ本項豫算ニ見積ナキモノナルヲ以テ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會)

【衆決】 會計法第十二條違背

(參照) ○會計法第十二條第一項(六七頁參看)

臺灣官設鐵道用品資金

歳出

物件ノ購買ニシテ品質粗惡價格高價ナルモノ一件(五四)

六、六七〇八四一

第一款 臺灣官設鐵道用品費 第一項 臺灣官設鐵道用品費

明治三十六年度 臺灣總督府 (五三)



【報告】(五四) 臺灣總督府鐵道部ノ支出ニ依ル

六、六七〇<sup>円</sup>八四一

ハ苗栗及彰化煉瓦工場荒井某ヨリ隨意契約ヲ以テ購入セル竝形煉瓦三十二萬八千六百三十個ノ代價ニシテ其單價苗栗製ハ一等品貳錢壹厘貳毛、二等品壹錢九厘六毛、三等品壹錢八厘貳毛、平均壹錢九厘六毛、彰化製ハ一等品貳錢參厘貳毛、二等品貳錢貳厘、三等品貳錢壹厘壹毛、平均貳錢貳厘壹毛ニ當レリ、右ハ臺灣總督府歳出臨時部第一款特別事業費第一項臺灣鐵道建設及改良費ニ於テ詳悉セシト同シク購入價格甚シク高價ナルノミナラス品質粗惡ナルモノニシテ不當ナリトス(ハ六頁(四七)參看)

【辨明】臺灣總督府(五)ノ辯明ノ通(八七頁(四七)參看)

【貴決】異議ナシ 【衆決】承認

陸軍省所管

東京砲兵工廠

歳出

競争入札ニ付スヘキ物件ノ購買ヲ隨意契約ニ依リタルモノ一件(五五)

一三、四七〇<sup>円</sup>五〇〇

第一款 東京砲兵工廠作業費 第五項 材料藥品購買費

【報告】(五五) 東京砲兵工廠ノ支出ニ係ル

一三、四七〇<sup>円</sup>五〇〇

ハ車輛及輓具用火造金物代ニシテ特種ノ物質ナリトシ隨意契約ニ依リ購入シタルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ、右物品ハ其形狀普通品ト異ナルノミナラス金質ノ要求最モ高尚ニシテ作業中其特性ヲ損傷セシメサル技能ヲ要シ且ツ相當ノ設備アル者ニアラサレハ製造シ能ハサルヲ以テ特種品ト認メタリト答辯セリ、然レトモ本件購入品ハ輻重車輛及砲兵輓具用ニシテ特殊ノ物品ナリト認ムルヲ得ス又其形狀品質ハ圖面仕様見本ニ依リ所要地金ハ豫メ金質試験ヲ請求

セシムルノ方法ニ依ラシムルニ於テハ是等要求ニ應ジ得ヘキ者一二製造者ニ限ラサルヲ以テ之ヲ競争ニ付スルコト能ハサルモノト認ムルヲ得ス、依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】會計検査院検査報告ノ通

【貴決】將來ノ注意ヲ促ス(分科會)

【衆決】會計法第二十四條違背

(參照) ○會計法第二十四條(六九頁參看)

海軍省所管

海軍造兵材料資金

歳出

競争入札ニ付スヘキ物件ノ購買ヲ隨意契約ニ依リタルモノ一件(五六)

一、六六八<sup>円</sup>七〇〇

第一款 海軍造兵材料費 第一項 造兵材料費

【報告】(五六) 佐世保海軍工廠ノ支出ニ係ル

一、六六八<sup>円</sup>七〇〇

ハ兵器造修用象皮千二百基ノ代價ニシテ之ヲ二回ニ分割シ隨意契約ニ依リ購入シタルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ、其答辯ノ要旨ハ該品ノ内五百基ハ和製ニシテ主トシテ彈藥盒帶皮ノ細工用ニ使用シ七百基ハ舶來品ニシテ主トシテ空氣壓搾唧筒其他「バックキング」用ニ使用シ全ク品質用途ヲ異ニスルニ由リ各別ニ購入シタルモノナリト云フニアリ、然レトモ右ハ同一品種ヲ殆ント同時期ニ於テ同一商店ヨリ購入セシ事實ニ徴スレハ品位ニ多少ノ差異アリトスルモ一括シテ競争入札ニ付シ得ヘキモノナリ、依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】本項象皮ハ其品質並用途ニ於テ全然相異ナルヲ以テ別異ノ物品ト認メ各別ニ購買ノ手續ヲ爲シタルハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノニアラス

【貴決】異議ナシ

【衆決】承認

明治三十六年度 海軍造兵材料資金 (五六)



(參照) ○會計法第二十四條(七一頁參看)

文部省所管

京都帝國大學

歳出

競争入札ニ付スヘキ物件ノ購買ヲ隨意契約ニ依リタルモノ二件(五七)

三六一七<sup>円</sup>二五〇

歳出經常部

第二款 醫科大學醫院 第一項 廳費

【報告】(五七) 京都帝國大學ノ支出ニ係ル

ハ明治三十六年四、五兩月中購入シタル蚊帳百九十五張代

一、六六五<sup>円</sup>五〇〇  
一、九五二<sup>円</sup>七五〇

ハ同年六、七兩月中購入シタル晒木綿三千六百五十疋代ニシテ蚊帳ハ三回晒木綿ハ二回ニ分割シ孰モ隨意契約ニ依リタル

モノナリ依テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ、蚊帳ハ從來使用セシモノ治療上不便少カラサルニ由リ更ニ各病舎ノ要求

ニ應シ隨時之カ改調ヲ爲シ又晒木綿即チ繙帶木綿ハ前ニ厚地ノモノヲ買入レ之ヲ使用セシムル見込ナリシモ治療上薄地ノ

モノヲ要セシニヨリ隨時購入シタル旨答辯セリ、然レトモ右ハ其所要數量豫定シ得ヘキモノナルヲ以テ一括シテ競争入札

ニ付シ得ヘキモノナリ、依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】從來使用セシ臥床付屬ノ幌形ノ蚊帳ハ治療上不便少カラサルニ由リ更ニ各病舎ノ要求ニ應シ隨時之カ改調ヲナシ又晒木綿即チ繙帶木綿六

月二十日ノ分ハ厚地ノモノヲ買入レ之ヲ使用セシムル見込ノ所尙治療上薄地ノモノヲ要セシニヨリ隨時購入ヲ了セシモノニシテ殊更ニ分

割セシモノニアラサルニヨリ會計法第二十四條ニ違背シタルモノニアラス

【貴決】別紙決議ノ通議決ス(一〇六頁參看) 【衆決】會計法第二十四條違背

(參照) ○會計法第二十四條(七一頁參看)

金澤醫學專門學校

歳出

虚偽ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ一件(五八)

三〇二<sup>円</sup>三七〇

歳出經常部

第一款 金澤醫學專門學校 第二項 廳費

【報告】(五八) 金澤醫學專門學校ノ支出ニ係ル

三〇二<sup>円</sup>三七〇

ハ明治三十六年一月ヨリ同年十月ニ至ル間ニ於テ雇石黒某カ證書ヲ偽造シ藥品材料等ヲ購入シタルモノ、如ク假裝シ詐取

シタル參百六圓九拾七錢ノ内ニシテ四圓六拾錢ハ三十五年度ニ屬スルモノナリ、右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモ

ノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辨明】會計検査院検査報告ノ通

【貴決】將來ノ注意ヲ促ス(分科會) 【衆決】不當

農商務省所管

森林資金

歳入

競争入札ニ依リ物件ヲ賣却スルニ當リ二番札以下ノ入札者ト契約ヲ締結シタルモノ四件(五九)

二、六五八<sup>円</sup>〇〇〇

第一款 林野拂下代 第一項 林野拂下代

【報告】(五九) 大阪大林區署ノ徴收ニ係ル

一、〇五〇<sup>円</sup>〇〇〇

ハ近江國栗太郡下田上村ニ於ケル不要存置林野拂下代ナリ、右ハ之ヲ競争入札ニ付シ最高入札ハ千參百五圓五拾錢ナリシ

明治三十六年度 金澤醫學專門學校 (五八) 森林資金 (五九)



モ該入札者契約ノ締結ヲ爲サ、リシニ由リ入札保證金七拾圓ヲ沒收シ直チニ二番札入札者ニ前記金額ヲ以テ賣却シ

七五八〇〇〇

ハ伊勢國三重郡朝上村ニ於ケル不要存置林野拂下代ナリ、右ハ之ヲ競争入札ニ付シ最高入札ハ八百貳拾壹圓拾錢ナリシモ該入札者契約ノ締結ヲ爲ササリシニ由リ入札保證金四拾五圓ヲ沒收シ直チニ二番札入札者ニ前記金額ヲ以テ賣却シ

一五〇〇〇〇

ハ同國河藝郡榮村ニ於ケル不要存置林野拂下代ナリ、右ハ之ヲ競争入札ニ付シ最高入札ハ八百圓ナリシモ該入札以下四番札ニ至ル入札者契約ノ締結ヲ爲サ、リシニ由リ入札保證金合計四拾貳圓ヲ沒收シ直チニ五番札入札者ニ前記金額ヲ以テ賣却シ

七〇〇〇〇〇

ハ丹波國天田郡下豐富村ニ於ケル不要存置林野拂下代ナリ、右ハ之ヲ競争入札ニ付シ最高入札ハ八百圓ナリシモ該入札者契約ノ締結ヲ爲サ、リシニ由リ入札保證金四拾五圓ヲ沒收シ直チニ二番札入札者ニ前記金額ヲ以テ賣却シタルモノナリ右ハ孰モ更ニ競争入札ニ付スヘキモノナルニ遞次繰下ノ方法ヲ以テ次位ノ入札者ト契約ヲ締結シ低價ヲ以テ拂下ヲ爲シタルモノニシテ歲入經常部第三款官業及官有財産收入第二項森林收入ニ詳悉シタルト同シク不當ナリトス(五二頁(八)參看)

【辨明】

本項ハ歲入經常部(八)ニ同シ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

逓信省所管

官設鐵道

歲入

徴收スヘキ辨償金ヲ免除シタルモノ一件(六〇)

三、四六四一七三

第一款 鐵道作業收入

第二項 雜收入

【報告】

(六〇) 鐵道作業局ニ於テ辨償金トシテ徴收ヲ要スヘキモノ

三、四六四一七三

アリ右ハ明治三十六年五月二十五日東海道線下り貨物列車木曾川岐阜間進行中四輛目ノ奈良鐵道株式會社所屬貨車ノ後部車軸折損シ其後部ニ聯結セル貨車中十六輛目マテノ内一輛ヲ除クノ外脱線若クハ顛覆シ、五輛目山陽鐵道株式會社所屬貨車竝ニ十六輛目鐵道作業局所屬貨車前部ノ車軸折損シ積貨ニモ少カラサル損害ヲ生シ之カ爲メ要シタル同局貨車ノ修繕費千七拾壹圓五拾六錢貳厘、搭載貨物ノ損害金貳千貳百五拾圓四錢、線路復舊費百貳拾八圓四拾貳錢壹厘、貨物取片付費等拾四圓拾五錢ニ相當スルモノナリ、之カ損害ハ奈良鐵道株式會社所屬車ノ車軸折損ニ起因シタルモノニシテ當時汽車部長ノ事故報告書ニ依ルニ最初奈良鐵道株式會社所屬車ノ車軸折損シ其車體後部ニ傾キ之ニ聯結セル車輛惰力ノ爲メ激突シ且ツ其折損車軸線路上ニ轉輾シテ障害ヲ爲シタルニ由リ順次轉輾或ハ脱線シタルモノト認ムトアルニ徴スルモ同會社ノ負擔スヘキモノナルニ之ヲ全免セルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ、其答辯ノ要旨ハ本件損害發生ノ原因ハ奈良鐵道所屬車ノ障害ニ因リ後結車ノ轉覆脱線車軸ノ折損等ヲ惹起スルニ至レルカ如クナルモ奈良山陽兩鐵道株式會社及本局所屬ノ車輛三輛共ニ車軸ニ古瑕アリシハ顯著ナル事實ナレハ單ニ前結車輛ノ脱線轉覆ノミニ基因スルモノト推斷スルヲ得ス假リニ奈良鐵道所屬車カ主タル原因ナリトスルモ他ノ車輛ニ瑕疵ナカリセハ本件ノ如キ多大ノ損害ハ發生スヘキニアラス三車共ニ之カ原因ヲ爲シタリト認メ損害ヲ負擔シタルモノニシテ局車車輛ノ古瑕ハ急激ナル障害ニ遭遇セサルモ折損スヘク當初ヨリ完全ナル輸送能力ヲ有セサルモノナリト云フニアリ、然レトモ鐵道作業局所屬ノ車輛ハ脱線又ハ轉覆セル車輛ノ最後ニアリ其後部ニ聯結セル各車ハ孰モ安全ナリシヨリ觀ルモ局有車輛折損ノ爲メ損害ヲ及ボシタルモノナキハ明ニシテ又車輛ノ古瑕ハ奈良鐵道所屬車ノ車軸ニアリテハ深サ一吋十六分ノ三ニシテ其直徑ノ三分ノ一ニ達セルニ山陽鐵道及局有ニ屬スル車輛ノ古瑕ハ深サ約十六分ノ五吋ニ過キス、加之山陽鐵道株式會社ニ對シテハ奈良鐵道株式會社ニ於テ之カ損害ヲ賠償セルノ事實ニ徴スルモ鐵道作業局所屬ノ損害ニ對シ之ヲ全免シタルハ其理由ナキモノナリ、依テ本件ハ不當ナリ



トス

【**辨明**】 本項貨物列車損害發生ノ原因ハ奈良鐵道株式會社所屬車軸カ古疵ノ爲折損セシニ外ナラサルモノノ如キモ車軸ニ古疵アリシハ獨リ同會社ノ所屬車ノミニ止マラスシテ鐵道作業局及山陽鐵道株式會社所屬車ニモ亦之レアリシハ現ニ折損シタル各車軸ニ微シ明瞭ナルカ故ニ損害ノ全部ハ之ヲ奈良鐵道株式會社ノミニ責任ニ歸セシムルコトヲ得ス或ハ奈良鐵道株式會社所屬車軸ノ古疵カ他ノ所屬車軸ノ古疵ヨリモ比較的大ナリシノミナラス最先ニ折損シタルカ爲ニ他ノ後部ノ局社所屬車軸ヲ折損セシメタリト謂ヒ或ハ鐵道作業局所屬車ハ脱線又ハ轉覆セル車輛ノ最後ニ在リテ其後部ニ聯結セル各車ハ總テ安全ナリシカ爲同局所屬車軸折損ノ爲他ニ損害ヲ及ホシタルモノナシト謂フカ如キハ孰レモ單ニ推論ニ過キス依テ事故ヲ惹起スルニ足ルノ原因ヲ有セシ各貨車ノ所有者ニ於テ其責任ヲ分擔スルハ事理ノ當然ニシテ決シテ不當ニアラス但奈良鐵道株式會社カ山陽鐵道株式會社ニ對シ損害ノ幾部ヲ辨償シタルハ兩社ノ間意見ノ一致セサルモノアリシヨリ示談ノ上支拂ヲ爲シタルマテニシテ之レアレハトテ本件全部ノ責任ヲ奈良鐵道株式會社ニ於テ認諾シタルモノト斷定スルコトヲ得サルハ勿論ナリトス

【**貴決**】 異議ナシ

【**衆決**】 不當

**官設鐵道用品資金**

歳出

競争入札ニ付スヘキ物件ノ購買ヲ隨意契約ニ依リタルモノ一件(六一)

一四、三七七<sup>円</sup>九五〇

第一款 官設鐵道用品費 第一項 官設鐵道用品費

一四、三七七<sup>円</sup>九五〇

【**報告**】

(六一) 鐵道作業局ノ支出ニ係ル

ハ和製礦油購入代價ニシテ會計法第二十四條第四號ヲ適用シ日本、寶田兩石油株式會社ヨリ隨意契約ヲ以テ購入セルモノナルモ同局ニ於テ各製造者ノ製造品ニ就キ品質検査ヲ爲シタル結果ニ依レハ右兩會社ノ外其検査標準ニ達セルモノ少カラサルヲ以テ競争入札ニ付スヘキモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ、其答辯ノ要旨ハ兩會社ノ外所定ノ検査ニ合格セシモノアリト雖モ孰モ小規模ニシテ一定ノ良品ヲ多量ニ供給スルノ見込ナク且ツ礦油ハ運轉上重要ノ物品ナルニ拘ラス其試験頗ル困難ナルヲ以テ最モ確實ナル供給者ヲ撰ムノ必要アリト云フニアリ、然レトモ鐵道作業局ノ調査ニ依ルニ日本、

【**辨明**】

寶田兩會社ノ外品質試験ニ合格シタル倉田製油所產出高ハ三千石、佐藤合資會社及新潟礦業株式會社產出高ハ各八百餘石ニシテ同局一箇年間ニ於ケル該品需用見込高千二百餘石、一回ノ購入高ハ概ネ三百石ヲ例トシ之ヲ數箇月間ニ互リ分納セシムルノ事實ニ徴スルニ優ニ競争入札ニ付シ得ヘキモノト認ム、依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

本項礦油ハ汽車運轉上重要ノ材料ニシテ其使用ノ目的上ヨリ又其試験ノ困難ナルヨリ最モ確實ニシテ信頼スルニ足ルヘキ供給者ヲ選擇スルノ必要アリ唯々單ニ少量ナル供試品ノ検査ニ合格セルノ故ヲ以テ又其產出高ノ需用ニ應スルニ足ルノ故ヲ以テ一概ニ之ヲ確實ナル供給者ト認ムルコトヲ得ス其設備ノ不完全ニ依リ製造上品質ニ不定ヲ來スノ慮ナキヤ否等ノ點ニ就テハ最モ深く注意セサルヘカラス是ヲ以テ鐵道作業局ハ特派員ヲ派遣シ各製造者ニ就キ設備ノ整否及製造方法ノ良否等ニ關シ實地ノ調査ヲ遂ケ其結果日本、寶田ノ兩會社ハ是等諸點ニ於テ他ヨリ最モ優レルヲ認メ乃チ兩會社ヨリ隨意契約ニ依リ購入セシモノニシテ又其兩會社ヲ指名シ競争入札ニ付セザリシ所以ハ二社製油ノ優劣ヲ試験スルノ必要アルニ依ルモノナリ要スルニ本件ノ如キハ通常ノ場合ト其趣ヲ異ニシ汽車運轉上ノ重要材料ニシテ特ニ品質並ニ供給力ノ撰擇ヲ要スル物質ナルヲ以テ相當調査ノ結果前記兩會社ノ製作品ヲ必要トシ之ヲ其製造者ヨリ直接ニ購入セルハ會計法第二十四條第四號ニ所謂特別使用ノ目的ニ該當スルモノニシテ同條ニ違背シタルモノニアラス

【**貴決**】 別紙決議ノ通議決ス(一〇六頁參看) 【**衆決**】 承認

(參照) ○會計法第二十四條(六九頁參照)



既 往 年 度

(単位) 〇千円(百万円)

【純利益】 当期純利益(注) 〇〇〇〇〇〇〇

【純利益】 前期純利益(注) 〇〇〇〇〇〇〇

【純利益】 前期純利益(注) 〇〇〇〇〇〇〇

【純利益】 前期純利益(注) 〇〇〇〇〇〇〇

【純利益】 前期純利益(注) 〇〇〇〇〇〇〇

【純利益】 前期純利益(注) 〇〇〇〇〇〇〇

【純利益】 前期純利益(注) 〇〇〇〇〇〇〇

【純利益】 前期純利益(注) 〇〇〇〇〇〇〇

【純利益】 前期純利益(注) 〇〇〇〇〇〇〇

【純利益】 前期純利益(注) 〇〇〇〇〇〇〇

【純利益】 前期純利益(注) 〇〇〇〇〇〇〇

【純利益】 前期純利益(注) 〇〇〇〇〇〇〇

【純利益】 前期純利益(注) 〇〇〇〇〇〇〇



既往年度

目次

豫算及法律勅令違背ノ事項 ..... 一〇一

明治三十五年度 ..... 一〇一

一般會計 ..... 一〇一

  歲出 ..... 一〇一

    海軍省所管 ..... 一〇一

    特別會計 ..... 一〇一

      內務省所管 ..... 一〇一

      臺灣總督府 ..... 一〇一

      歲出 ..... 一〇一



既往年度

豫算及法律勅令違背事項

既往年度歳出ノ使用ニ於テ豫算又ハ法律勅令ニ違背シタル事項ハ九件ナリ

一二六、四〇五<sup>円</sup>八八五

明治三十五年度

一般會計

海軍省所管

歳出經常部

第二款 軍事費 第十項 糧食費

七、八五七<sup>円</sup>九二二

【報告】 (六二) 吳海軍經理部ノ支出ニ係ル

ハ生牛肉二萬四千六百六十六貫餘鶏卵千六百四十六貫餘ノ代價トシテ證明シ掛員ニ於テ詐取シタル貳萬參千九拾九圓六錢九厘ノ内ニシテ壹萬五千參百四拾壹圓拾四錢七厘ハ明治三十四、三十六兩年度ニ屬スルモノナリ、右ハ吳海兵團、吳水雷團及吳海軍病院ニ於テ糧食事務ニ從事セル厨宰二十一名及吳海軍經理部衣糧科ニ於テ糧食品受渡事務ニ從事セル厨宰二名生糧品供給請負人數名ト通謀シ三十四年度ヨリ三十六年度ニ互リ糧食ノ給與ヲ受クヘキ人員ニ對シ毎日定量ヨリ若干ヲ減少シテ給與シ請負人ヨリハ之カ定量ヲ上納セシメタルカ如ク裝ヒ或ハ實食數以外ノ給與ヲ爲シタルカ如ク裝ヒ現品ハ其數量ヲ減少納入セシメ之カ關係帳簿及書類ヲ偽造又ハ變造シ請負人ヲシテ虚偽ノ仕拂請求ヲ爲サシメ之ヲ詐取シタルモノナリ、右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辨明】 本項ハ三十六年度歳出經常部第二款軍事費第一ニ於ケル辯明ノ理由ニ同シ(六八頁(二四)參看)

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 不當

既往明治三十五年度 海軍省 (六二)



特別會計

內務省所管

臺灣總督府

歲出臨時部

第一款 特別事業費 第一項 臺灣鐵道建設及改良費

【報告】 (六三) 臺灣總督府鐵道部ノ支出ニ係ル

五九〇九二八

ハ中港三又河間橋梁工事夜業監督及器具修繕用トシテ證明シタル石油二十三石四斗餘、種油四石八斗餘其他竹、臺灣紙購入代ニシテ右工事ハ請負ニ係ルモノナルニ石油及種油ノ購入高監督及器具修繕用トシテハ頗ル多量ニ過クルヲ以テ之カ事由ラ當該官吏ニ推問セシニ、其答辯ノ要旨ハ主トシテ炬火ニ使用シ器具修繕又ハ相圖用ニモ使用シタリト云フニアリ然レトモ請負工事ノ夜業ヲ爲スニ當リテハ請負人ニ於テ執業用炬火ノ設備ヲ爲スヘキハ當然ナルヲ以テ別ニ監督用トシテ此ノ如キ多量ノ燃料ヲ要スヘキモノト認ムルヲ得ス、依テ本件支出ハ使途判明ナラサルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本項石油及種油ハ主トシテ現場監督ノ爲メ篝火ニ使用シタルモノニシテ材料渡場監督員往來ノ道路等ニ監督上設備シタルモノナリ故ニ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

【報告】 (六四) 臺灣總督府鐵道部ノ支出ニ係ル

三〇、二九七三一四

ハ苗栗煉瓦工場荒井某ヨリ隨意契約ヲ以テ購入セル竝形又異形煉瓦百十七萬二千七百七十一個ノ代價ニシテ其單價並形一等品貳錢參厘、二等品貳錢壹厘六毛、三等品壹錢八厘六毛、平均貳錢壹厘壹毛、異形平均參錢貳厘參毛ニ當リ之ヲ臺北ニ於テ購入セル煉瓦ノ平均單價竝形壹錢七毛、異形壹錢七厘四毛竝ニ三十七年度中苗栗ニ於テ富田某ヨリ購入シタル竝形煉瓦四十萬個ノ平均單價壹錢壹厘壹毛ニ比スルニ價格頗ル高價ナリ加之右煉瓦ハ其質極メテ粗惡ニシテ橋臺其他重要ナル場所ニハ使

用シ得サルノ狀況ナリ、右ハ購入價格甚シク高價ナルノミナラス品質粗惡ナルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 三十六年度(五)ノ辯明ノ通(八七頁(四七)參看)

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

第三項 臨時臺灣土地調查費

【報告】 (六五) 臨時臺灣土地調查局ノ支出ニ係ル

二九、五九四、五〇〇

ハ製圖用紙類器具器械ノ購入代

一一、三〇〇、一四〇

ハ測量器具器械ノ購入代

一八、二八三、〇一〇

ハ土地臺帳其他土地ニ關スル帳簿ノ用紙購入代ニシテ千五百圓未滿ニ分割シ隨意契約ニ依リタルモノナリ之ニ對シ當該官吏ハ孰モ隨時ノ必要ニ依リ購入シタル旨説明スト雖モ右ハ其所要數量豫定シ得ヘキモノナルヲ以テ競争入札ニ付シ得ヘキモノナリ、依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會)

【衆決】 會計法第二十四條違背

(參照) ○會計法第二十四條(七一頁參看)

【報告】 (六六) 臨時臺灣土地調查局ノ支出ニ係ル

九、一四二、六三五

ハ臺中臺南出張所所屬派出所及三角測量派出所夜業用石油四百三十一石七斗五升ノ購入代

七、二八七、五三六

ハ臺中臺南出張所所屬派出所及同派出所員ノ移轉等ニ要シタル運搬費ニシテ石油ハ明治三十四年六月訓令第三十二號物品取扱規程第四條ニ定メタル極量即チ主幹ハ附屬員共三斗五升、主幹補助ハ同二斗、圖根員及製圖員ハ一斗、事務員及細部員ハ五升ヲ毎月使用シタルモノトシ又事務所移轉ニ伴フ運搬費ハ三十五年四月訓令第二十二號物品定數表ニ依リ其極量即チ主幹ハ千二百斤主幹補助ハ二百五十斤ヲ運搬シタルモノトシ毎一定ノ額ヲ仕拂ヒ且ツ之カ供給及請負者トシ證明セル

既往明治三十五年度

臺灣總督府 (六五)(六六)



【辨明】 三十六年度(七)ノ辨明ノ通(五二頁四九參看)  
モノハ元常備測夫及小使ニシテ現ニ人夫トシテ使役セルモノニ係レリ、右ハ使用シ得ヘキ經費ノ最高限度ヲ以テ毎ニ實際ノ出費ト爲シ正當債權者ニアラサルモノ、領收證書ヲ以テ證明シ其使途判明ナラサルモノニシテ不當ナリトス

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 不當

【報告】 (六七) 臨時臺灣土地調査局ノ支出ニ係ル

一、二〇五、一九〇〇

ハ明治三十五年十一月一日ヨリ十二月十五日ニ至ル間ニ於テ使用シタル臨時草刈人夫四千三百五十人ノ賃金トシテ證明シタルモノナルモ其實測夫及小使ニ給與シタル慰勞金ナリ、右ハ虚偽ノ證書ヲ作製シ支出ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會) 【衆決】 不當

【参考】 會計検査院ニ於テ豫算及法律勅令違背ノ事項トシテ検査報告セルモノノ外貴衆兩院ニ於テ不當ト決議セルモノノ左ノ如シ

【貴決】 明治三十六年度歳入歳出總決算中文部省所管歳出臨時部第二十二款臨時教科書編纂費第一項臨時教科書編纂費明治三十六年度各特別會計歳入歳出決算中内務省所管臺灣總督府歳出臨時部第十六款基隆築港維持費第一項事務費第二項工作及建物費

右ハ別紙決議ノ通議決ス(一〇五頁參看)

【衆決】 文部省所管

歳出臨時部

第二十二款 臨時教科書編纂費 第一項 臨時教科書編纂費

一四、二四八、四八二

文部省ノ支出ニ係ル

ハ第十八回議會ニ於テ明治三十六年度歳入歳出總決算追加案中本院ノ協賛ヲ與ヘサリシ費目ナルニ拘ラス豫算外ニ支出ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

内務省所管

臺灣總督府

歳出臨時部

第十六款 基隆築港維持費 第一項 事務費

四一、〇二〇、四四八

臺灣總督府ノ支出ニ係ル

第二項 工作及建物費

一八八、九〇一、三九五

臺灣總督府ノ支出ニ係ル

ハ第十八回議會ニ於テ明治三十六年度各特別會計歳入歳出豫算追加案中本院ノ協賛ヲ與ヘサリシ費目ナルニ拘ラス豫算外ニ支出ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

### 貴族院決議

貴族院ハ明治三十六年度歳入歳出總決算中歳入經常部第三款官業及官有財産收入第二項森林收入中高知大林區署ノ木材拂下ノ件ハ公益事業ノ名義ヲ以テ隨意契約ニ依リ實際ノ所要ニ伴ハサル過當ノ拂下ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ處置ナリト議決ス

貴族院ハ明治三十六年度歳入歳出總決算中陸軍省所管歳出臨時部第四款營繕及初度調辦費第一項營繕及初度調辦費ノ件ハ不相當ナル高價ノ工費ヲ支出シ國庫ニ損失ヲ生セシメタルモノニシテ不當ノ處置ナリト議決ス

貴族院ハ明治三十六年度歳入歳出總決算中文部省所管歳出臨時部第二十二款臨時教科書編纂費第一項臨時教科書編纂費ハ同年度歳入歳出總決算追加案中帝國議會ニ於テ否決シタル文部省所管歳出經常部第一款ノ費目ト同一趣旨ノ費途ニ支出シタルモノニシテ不當ノ處置ナリト議決ス

貴族院ハ明治三十六年度各特別會計歳入歳出決算中内務省所管臺灣總督府歳出臨時部第十六款基隆築港維持費第一項事務費第二項工作及建物費ハ同年度各特別會計歳入歳出豫算追加案中帝國議會ニ於テ否決シタル内務省所管臺灣總督府歳出臨時部第一款第二項ノ費目ト同一



趣旨ノ費途ニ支出シタルモノニシテ不當ノ處置ナリト議決ス

貴族院ハ明治三十六年度各特別會計歳入歳出決算中文部省所管京都帝國大學歳出經常部第二款醫科大學醫院第一項應費京都帝國大學ノ支出ニ係ル晒木綿即チ縹帶木綿購入ノ件ハ一括シテ競争入札ニ付シ得ヘキモノナルニ拘ハラス之ヲ二回ニ分割シテ隨意契約ニ依リタルハ會計法第二十四條ニ違背シタル處置ナリト議決ス

貴族院ハ明治三十六年度各特別會計歳入歳出決算中逓信省所管官設鐵道用品資金歳出第一款官設鐵道用品費第一項官設鐵道用品費鐵道作業局ノ支出ニ係ル和製礦油購入ノ件ハ優ニ競争入札ニ付シ得ヘキ状態ニ在ルニ拘ハラス會計法第二十四條第四號ヲ適用シ隨意契約ニ依リ購入シタルハ會計法第二十四條ニ違背シタル處置ナリト議決ス

# 明治三十七年度歳入歳出決算検査報告



明治三十七年度歲入歲出決算檢查報告

目次

豫算及法律勅令違背ノ事項	一〇七
一般會計	一〇八
歲入	一〇八
歲出	一一八
內務省所管	一一八
大藏省所管	一二三
陸軍省所管	一二九
海軍省所管	一三〇
司法省所管	一三二
文部省所管	一三二
農商務省所管	一三四
遞信省所管	一三五
國債	一四〇
特別會計	一四四
內務省所管	一四四
臺灣總督府	一四四



歲出.....一四四

大藏省所管.....一四七

煙草專賣局.....一四七

歲入.....一四七

歲出.....一五三

陸軍省所管.....一五四

東京砲兵工廠.....一五四

歲出.....一五四

文部省所管.....一五六

東京帝國大學.....一五六

歲出.....一五六

京都帝國大學.....一五七

歲出.....一五七

農商務省所管.....一五七

製鐵所.....一五七

歲出.....一五九

逓信省所管.....一五九

官設鐵道.....一五九

歲出.....一五九

官設鐵道用品資金.....一六〇

歲出.....一六〇

既往年度.....一六三

明治三十四年度.....一六三

貴族院決議.....一六五



明治三十七年度歳入歳出決算検査報告

豫算及法律勅令違背ノ事項

明治三十七年度歳入ノ賦課徴収歳出ノ使用ニ於テ豫算又ハ法律勅令ニ違背シタル事項ハ  
歳入ニ於テ

租税ノ徴収不足ニ屬スルモノ六十四件	七、七五五、一五〇
租税ノ徴收過ニ屬スルモノ五十六件	五、二八一、二〇〇
公用又ハ公益事業ノ名義ヲ以テ隨意契約ニ依リ物件ノ賣却ヲ爲シタルモノ四件	一、二〇七、九七四
競争入札ニ付シタル條件ヲ變更シ隨意契約ニ依リ物件ノ賣却ヲ爲シタルモノ一件	四、〇七四、〇〇〇
競争入札ニ付スヘキ物件ノ賣却ヲ隨意契約ニ依リタルモノ一件	一、二二九、八二八
其他不當ナルモノ二件	三、五、六四八、七〇三
合計百二十八件	六、五、六〇、八三三、一六二

歳出ニ於テ

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件	六、八〇〇、九〇八
工事ノ實施ニ際シ豫算所定ノ目的ニ違背シタルモノ一件	五、八三〇、七三三
水害土木費ノ補助額過當ナルモノ一件	二、二〇〇、〇〇〇
銀行ヲ救済スル爲メ不必要ナル貸付ヲ爲シタルモノ一件	六、〇〇〇、〇〇〇
虚偽ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ五件	一、三九五、九四五
會計ノ監督宜シキヲ得ス巨額ノ官金ヲ竊取セラレ國庫ニ損失ヲ生セシメタルモノ五件	三、一八三、七四三

明治三十七年度



薪材斫伐事業ノ施設宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ生セシメタルモノ一件  
 不要ノ家屋ヲ借入レ經費ヲ支出シタルモノ一件  
 借入家屋ヲ返還スルニ當リ過當ノ修繕費用ヲ交付シタルモノ一件  
 工事ノ施設宜シキヲ得ス竣功後幾クナラス改修ヲ要スルニ至リタルモノ二件  
 競争入札ニ付スヘキ工事又ハ物件ノ購買ヲ隨意契約ニ依リタルモノ七件  
 其他不當ナルモノ七件  
 合計三十三件

國債ニ於テ  
 煙草專賣法ニ反シ内國產葉煙草ヲ買上ケ國庫債券ヲ發行シタルモノ一件  
 煙草專賣法發布ノ際現存セサル建物ニ對シ交付金ヲ増給シタルモノ一件  
 合計二件

ナリ

一般會計

歳入

租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ六十四件(一)(二)(三)(四)(九)(一〇)(一一)  
 租税ノ徴收過ニ屬スルモノ五十六件(五)(六)(七)(八)(一二)  
 公用又ハ公益事業ノ名義ヲ以テ隨意契約ニ依リ物件ノ賣却ヲ爲シタルモノ四件(一三)(一四)(一五)  
 競争入札ニ付シタル條件ヲ變更シ隨意契約ニ依リ物件ノ賣却ヲ爲シタルモノ一件(一六)  
 競争入札ニ付スヘキ物件ノ賣却ヲ隨意契約ニ依リタルモノ一件(一九)

其他不當ナルモノ二件(一七)(一八)  
 合計百二十八件  
 二、二二九、八二八  
 三五、六四八、七〇三

歳入經常部

第一款 租税 第二項 所得税

【報告】(一) 幸橋稅務署ニ於テ徴收不足ニ屬スルモノ  
 アリ、右ハ富士製紙株式會社ノ所得額ヲ決定スルニ當リ機械補充積立金參萬四千四百七拾四圓ヲ所得額ニ算入セサルニ因ルモノナリ、依テ本件ハ不當ナリトス  
 會計検査院検査報告ノ通  
 【衆決】 不當

【報告】(二) 四谷稅務署ニ於テ徴收不足ニ屬スルモノ  
 アリ、右ハ東京電燈株式會社ノ所得額ヲ決定スルニ當リ諸減損補填積立金壹萬四千九百七拾貳圓四拾壹錢九厘ヲ所得額ニ算入セサルニ因ルモノナリ、依テ本件ハ不當ナリトス  
 會計検査院検査報告ノ通  
 【衆決】 不當

【報告】(三) 新大橋稅務署ニ於テ徴收不足ニ屬スルモノ  
 アリ、右ハ株式會社第一銀行ノ所得額ヲ決定スルニ當リ土地家屋減價償却金參萬六千六百七拾七圓七拾九錢ヲ損金ニ、大藏省證券割引差額五萬九百五拾六圓四拾五錢ヲ益金ニ算入セサルニ因ルモノナリ、依テ本件ハ不當ナリトス  
 會計検査院検査報告ノ通  
 【衆決】 不當

【報告】(四) 厩橋外二十四稅務署ニ於テ徴收不足ニ屬スルモノ  
 會計検査院検査報告ノ通  
 【衆決】 不當

明治三十七年度 歳入 (一)(二)(三)(四)



【報告】 (五) 右ハ法人ノ所得額ヲ決定スルニ當リ各種ノ積立金ヲ所得額ニ算入セス負債償却金、賞與金ヲ損金ニ計算シ所得稅ヲ課セラレサル法人ヨリ受ケタル配當金ヲ益金ヨリ控除シタル等ニ因ルモノナリ、依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 本項ニ於テ不當ト檢定セラレタルモノ、中既橋稅務署ニ於テ教育品製造合名會社ノ雇人職工手當賞與金ヲ損金ニ計算シタルモノアルモ右ハ利益ノ如何ニ拘ハラズ普通ノ經費ヨリ支辨セシモノナルヲ以テ損金ナリトセルハ不當ニアラス又上田稅務署ニ於テ上田電燈會社ノ慰勞金ヲ損金ニ計算シタルモノアルモ右ハ同會社長退職ノ際在職中ノ慰勞トシテ給與シタルモノニシテ普通ノ經費ニ屬シ利益ノ有無ニ依リテ給與シタルモノニアラサルカ故ニ之ヲ損金ナリトセルハ不當ニアラス其他ハ會計檢査院檢査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

九二〇<sup>円</sup>六四〇

【報告】 (五) 伊萬里稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

アリ、右ハ株式會社伊萬里銀行ノ所得額ヲ決定スルニ當リ滯貨償却金、營業用土地建物及公債證書ノ減價償却金四萬四百六拾參圓七拾六錢ヲ損金トシテ計算セサルニ因ルモノナリ、依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 會計檢査院檢査報告ノ通

【衆決】 不當

【報告】 (六) 新大橋稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

アリ、右ハ株式會社東京株式取引所ノ所得額ヲ決定スルニ當リ各種ノ積立金ヲ以テ償却セル有價證券ノ減價壹萬九千貳百參拾六圓六拾壹錢五厘ヲ損金トシテ計算セサルニ因ルモノナリ、依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 會計檢査院檢査報告ノ通

【衆決】 不當

七三一<sup>円</sup>八五〇

【報告】 (七) 四谷稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

アリ、右ハ明治火災保險株式會社ノ所得額ヲ決定スルニ當リ前期ヨリ繰越ノ有價證券減價準備金貳萬八千五百八拾壹圓參拾六錢ヲ益金ヨリ控除セサルニ因ルモノナリ、依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 會計檢査院檢査報告ノ通

【衆決】 不當

一、八〇九<sup>円</sup>八二〇

【報告】 (八) 札幌外二十一稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

アリ、右ハ法人ノ所得額ヲ決定スルニ當リ所有物價格減損償却金、火災損失償却金、市ニ納付セル報償金並ニ前期繰越損失補填準備金ヲ以テ償却シタル賣掛金及委託品ノ損失ヲ損金トシテ計算セス又前期ヨリ繰越ノ積立金、準備金並ニ所得稅ヲ課セラレタル法人ヨリ受ケタル配當金ヲ益金ヨリ控除セサル等ニ因ルモノナリ、依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 會計檢査院檢査報告ノ通

【衆決】 不當

第三項 營業稅

【報告】 (九) 折尾稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

アリ、右ハ若松築港株式會社ノ資本金額ヲ算定スルニ當リ會社ノ受ケタル補助金中内務省ヨリ受ケタル金額貳拾壹萬五千圓ヲ算入セサルニ因ルモノナルモ製鐵所ヨリ受ケタル補助金ト同シク資本金ニ算入スヘキモノト認メ、之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ製鐵所ノ補助金ハ船舶出入ノ時々港錢徵收ノ繁ヲ避ケンカ爲メ同所ノ貨物ニ對シテハ入港錢ヲ徵收セサルコト、シ補助金ノ名稱ヲ以テ受ケタルモノニシテ其實入港錢ノ前受ニ外ナラス隨テ一般營業收入ト選フ所ナク之ヲ配當セサレハ實際増資トナルヲ以テ積立金ノ性質ヲ有スルモノト認メ資本金ニ算入セシモ内務省ノ補助金ハ會社カ増資ヲ以テ第二擴張ヲ計畫シタル際浚渫工事擴張ノ命令ヲ受ケ更ニ設計ヲ變更シタルニ之カ爲メ生スル港錢ノ増收及埋築地收入等ヲ差引スルモ尙ホ五拾萬圓ノ損失ヲ生スル計算トナリ其補填トシテ補助セラレタルモノニシテ増資ノ關係ヲ生セサルヲ以テ積立金ノ性質ヲ有セサルモノト認メ資本金ニ算入セサルモノナリト云フニアリ、然レトモ課稅ノ標準ハ法令ノ定ムル所ニ從ヒ事實ニ基キ算定スヘキモノニシテ將來ニ於ケル會社ノ損益ヲ推算シ決定スヘキモノニアラス現ニ同會社

九一三<sup>円</sup>七五〇



ノ貸借対照表ニ依レハ貸方ノ部ニ國庫補助金總額ヲ、借方ノ部ニ國庫補助金未領收額ヲ掲ケアルヲ以テ其差額即チ領收済金額ハ會社ノ資産ヲ組成スルコト明ナリ、既ニ會社カ其増加シタル資産ヲ保有スル以上ハ營業上ノ收益ヲ積立テタルト選フ所ナキヲ以テ積立金ノ性質ヲ有スル資産金額ト認メサルヲ得ス、加之該補助金ハ製鐵所ノ補助金ト共ニ擴張工事ニ使用シ新ニ資産ヲ得タルモノニシテ全ク増資ノ關係ヲ生スルモノナルヲ以テ製鐵所ノ補助金ヲ資本金ニ計算シ内務省ノ補助金ヲ加算セサルノ理由ナシ、依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 折尾稅務署ニ於テ若松製鐵株式會社ノ資本金額ヲ算定スルニ當リ製鐵所ヨリ受ケタル補助金ト内務省ヨリ受ケタル補助金トヲ別異ニシタルハ不當ナリト檢定セラル、モ製鐵所ノ補助金ハ其ノ内容ニ於テ製鐵所用一般船舶ノ無料通過ヲ主タル條件トシテ下附セラレタルモノニシテ船舶通過料ノ前拂金ニ相當シ即チ會社ノ營業上ノ利益收入金ニシテ之ヲ配當セサレハ積立金ノ性質ヲ有スル資産金額ナリト雖モ内務省補助金ハ然ラス當該會社カ第二擴張工事ヲ設計シタル際波濤工事擴張ノ命令ヲ受ケ之レカ爲ニ工費ヲ増加スルコト、ナリタルヲ以テ其損失ノ補填トシテ補助セラル、モノナリ從テ積立金ノ性質ヲ有スル資産金額ナリト云フヲ得ス又會社ノ資本金額ト認ムヘキ積立金ノ性質ヲ有スル資産金額ノ如何ナルモノナルヤハ營業稅法施行上其場合ヲ一定シ取扱ヒ來リタルモノニシテ本件内務省補助金ハ其何レニモ該當スルコトナシ要スルニ内務省補助金ヲ製鐵所補助金ト別異ニシ資本金額ニ算入セサルハ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

【報告】 (一〇) 小松川稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

八三七<sup>円</sup>八五〇

アリ、右ハ富士紡績株式會社ノ課稅標準ヲ算定スルニ當リ合併セラレタル會社ノ合併前ニ於ケル資本金額參拾貳萬八千五百六拾參圓四拾參錢ヲ算入セサルニ因ルモノナリ、依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 會計檢査院檢査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

【報告】 (一一) 厩橋外三十三稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

一、三六三<sup>円</sup>〇六〇

アリ、右ハ法人ノ課稅標準ヲ算定スルニ當リ賣上金額、資本金額、請負金額、報償金額、建物賃賃價格並ニ從業者ノ計算ヲ誤リタル等ニ因ルモノナリ、依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

會計檢査院檢査報告ノ通但本項中幸橋稅務署ニ於ケル合資會社谷口本店及熊本移民合資會社新大橋稅務署ニ於ケル平谷合資會社下京稅務署ニ於ケル合名會社深見商店ニ係ルモノハ其課稅標準ヲ決定スルニ當リ當該會社ニ於ケル營業報告書ノ調製又ハ損益計算ノ遲延セルカ爲メ相當算定シタルニ由ルモノナリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

【報告】 (一二) 空地外三十稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

一、〇〇一<sup>円</sup>三三〇

アリ、右ハ法人ノ課稅標準ヲ算定スルニ當リ賣上金額、資本金額並ニ建物賃賃價格ノ計算ヲ誤リタル等ニ因ルモノナリ、依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

會計檢査院檢査報告ノ通但本項中甲府稅務署ニ於ケル中牛馬合資會社新大橋稅務署ニ於ケル合資會社鹿島商店谷村稅務署ニ於ケル日進合資會社下京稅務署ニ於ケル京都ラム子製造株式會社及三西合資會社松江稅務署ニ於ケル廣江合名會社撫養稅務署ニ於ケル阿波石材合資會社ニ係ルモノハ其課稅標準ヲ決定スルニ當リ當該會社ニ於ケル營業報告書ノ調製又ハ損益計算ノ遲延セルカ爲メ相當算定シタルニ由ルモノナリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

第三款 官業及官有財産收入 第二項 森林收入

【報告】 (一三) 大阪大林區署ノ徵收ニ係ル

一、〇六〇<sup>円</sup>一七八

ハ大和國南葛城郡葛城村金剛山國有林山毛樺立木千百五十三本此材積五千三百尺メ餘ノ代價ニシテ東京砲兵工廠ヘ納付スヘキ銃床五千挺ノ用材トシテ奈良縣久保某ニ賣却シ

六七〇<sup>円</sup>九五〇

ハ山城國宇治郡醍醐村醍醐山國有林松立木二百九十二本此材積六百三十九尺メノ代價ニシテ軍用建築用材トシテ大阪市大林某ニ賣却シタルモノナリ、右ハ孰モ明治三十二年勅令第三百六十三號ヲ適用シ公用又ハ公益事業ノ爲メ必要ナリトノ事



由ヲ以テ隨意契約ニ依リタルモノナルモ該勅令ノ條項タル其事業直接ノ起業者ニ限り適用スヘキモノニシテ材料ノ供給ヲ請負ヒ其所要ヲ充タサントスルカ如キ間接ノ場合ヲ包含セス、依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 本項ハ公用事業ノ爲必要ナル用材ヲ明治三十二年勅令第三百六十三號ニ依リ處分シタルモノニシテ該勅令ハ起業者ノ直接ト間接トヲ問ハサルヲ以テ該勅令第一號ニ依リ請負人ニ賣拂ヒタルモノナリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○國有林野産物ノ隨意契約ニ依ル賣拂ニ關スル件(明治三十二年八月三日勅令第三百六十三號)

國有林野産物ハ左ノ場合ニ限り隨意契約ヲ以テ賣拂フコトヲ得

一 公用又ハ公益事業ノ爲必要アルトキ

【報告】

(一四) 青森大林區署ノ徴收ニ係ル

三、七二九<sup>四</sup>九二一

ハ陸奥國南津輕郡碓ヶ關村遠部澤國有林杉立木二千三百三十八本此材積五千七百三十八尺メ餘ノ拂下代ニシテ右ハ東京砲兵工廠ヘ納付スヘキ杉板割用材トシテ明治三十二年勅令第三百六十三號ヲ適用シ公用又ハ公益事業ノ爲メ必要ナリトノ事由ニ依リ秋田縣越前谷某ニ對シ特賣シタルモノナリ、本件ニ關シ當初小林區署長ハ單價五拾五錢ヲ以テ拂下許可アリタシト申請シタルニ大林區署林業課長ハ該物件納付期限ハ三十八年二月二十五日ニシテ契約履行ノ時日ナキノミナラス單價モ亦低廉ニ過クルモノトシテ之ヲ却下セリ、然ルニ小林區署長ハ更ニ出願人ニ於テ砲兵工廠納付期日ハ三月二十日マテ延期セラレタルニヨリ多數ノ人夫ヲ使役セハ期日内ニ伐採スルノ見込アルヲ以テ特急處分アリタシト申請シ林業課長ハ又之ニ對シ納付期限ハ延期セラレタルモ單價ハ依然五拾五錢ニシテ時價ニ相當セス拂下申請ノ立木所在地ハ是ヨリ先キ公賣ヲ以テ拂下ケタル地ヲ距ルコト遠カラス且ツ道路ニ接近ノ場所ナレハ山出シ不便ニアラス又樹木モ平均一本ニ付二尺メ六分餘ニシテ曩ニ拂下ケタルモノニ比シ大差ナク縱令樹質ハ幾分劣等ナリトスルモ單價七拾錢以上ノ價值アリトノ趣旨ヲ以テ再ヒ之ヲ却下セリ、次テ單價ヲ六拾錢トシテ申請シ尙ホ拾錢以上ノ差アル旨ヲ以テ三タヒ之ヲ却下シタルニ終ニ單價ヲ六拾五錢トシ二月二十八日拂下ヲ許可シタルモノナリ、然レトモ拂下規約ニ依リ物件引渡ヲ爲スハ代金完納後三日以内ニシ

テ實際代金ヲ納付セシハ三月十四日ナルヲ以テ拂受人カ製品ヲ砲兵工廠ニ納付スヘキ期限ト稱スル三月二十日マテニ五千七百餘尺メノ立木ヲ伐採シテ之ヲ板割ニ製作シ東京マテ運搬スルハ不可能ニシテ現ニ物件引渡ヲ了シタルハ同年五月、伐採搬出ヲ了シタルハ十一月ナルノ事實ニ徴シ右拂下物件ハ當初ヨリ特賣ノ目的ニ使用シ得サルモノナルコト明ナリ、要スルニ本件ハ公用又ハ公益事業ヲ名トシ營利ヲ目的トスル請負業者ニ對シ隨意契約ニ依リ低價ヲ以テ拂下ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

(參照) ○國有林野産物ノ隨意契約ニ依ル賣拂ニ關スル件(一一四頁參看)

【報告】

(一五) 青森大林區署ノ徴收ニ係ル

六、六一八<sup>四</sup>七〇〇

ハ陸奥國北津輕郡喜良市村喜良市山國有林羅漢柏立木八百八十四本此材積六千六百十八尺メ餘ノ拂下代ニシテ右ハ日本郵船株式會社青森出張所附屬船材料供給小館某ニ對シ明治三十二年勅令第三百六十三號ヲ適用シ公用又ハ公益事業ノ爲メ必要ナリトシ隨意契約ヲ以テ二回ニ特賣シタルモノナリ、而シテ其理由トスル所ハ郵船會社ノ海運事業ハ一般公衆ノ交通機關タル業務ニシテ陸地ト本船トノ聯絡ヲ爲ス船ハ公益事業タル交通機關ノ一部分ト見做スヘキモノナリト云フニアリ、然レトモ本件拂受人ハ單ニ營利ノ目的ヲ以テ郵船會社ニ對シ材料ノ供給ヲ請負ヒタルモノニ過キス故ニ縱令船ハ公益事業ノ一部分ナリトスルモ之ニ對シ該勅令ヲ適用シテ特賣ヲ爲スヘキモノニアラス、依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

本項ハ公益事業ノ爲必要ナル用材ヲ賣拂タルモノニシテ(十三)ニ同シ(一一四頁參看)

【衆決】 不當

【貴決】 異議ナシ

(參照) ○國有林野産物ノ隨意契約ニ依ル賣拂ニ關スル件(一一四頁參看)

【報告】

(一六) 青森大林區署ノ徴收ニ係ル

四、二二八<sup>四</sup>七七六

ハ陸奥國南津輕郡碓ヶ關村碓ヶ關山國有林羅漢柏、杉立木二千七百七本此材積七千四十七尺メ餘ノ代價ニシテ東京市鹿島某



代理後藤某ニ對シ明治二十三年勅令第九十三號ヲ適用シ隨意契約ヲ以テ拂下タルモノナリ、然ルニ右ノ内羅漢柏及杉千  
百三十九本此材積二千四百四尺ノ餘代價千四百四拾貳圓九拾貳錢八厘ハ三十七年二月單價八拾錢ヲ以テ公賣ニ付シ落札ニ  
至ラサリシモノニシテ爾後公賣ニ付シタル形跡ナキニ其單價ヲ六拾錢ニ減少セルヲ以テ、之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシ  
ニ其答辯ノ要旨ハ關係書類ノ誤記ニ由リ三十七年十二月單價六拾錢ニテ公賣ニ付シ落札者ナカリシ分ト誤認シ該勅令ヲ適  
用シタリト云フニアリ、右ハ隨意契約ヲ爲スニ當リ前ニ競争ニ付シタル豫定價格ヲ變更シ拂下ヲ爲シタルモノニシテ不當  
ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

(參照) ○政府ノ工事又ハ物件ノ賣買貸借ニ關スル隨意契約ノ件(明治二十三年九月三日勅令第九十三號)

政府ノ工事又ハ物件ノ賣買貸借ニシテ競争ニ付スルモノ入札者ナキトキ又ハ會計規則第七十七條ニ依リ再度ノ入札ニ付スルモ尙  
ホ豫定價格ノ制限ニ達セサルトキハ隨意契約ヲナスコトヲ得但之カ爲メ最初競争ニ付スルトキ定メタル價格及其他ノ條件ヲ變  
更スルコトヲ得ス

【報告】

(一七) 青森大林區署ニ於テ辨償金ノ未徴收ニ屬スルモノ

一、九四五<sup>円</sup>八七八

アリ、右ハ同大林區署管内ニ於ケル國有原野ヲ無願開墾シ貸下追認ヲ出願シタル面積二百十町二段一畝十二歩件數二百七十  
二件ニ對スル土地使用料金ノ積算額ニシテ土地漫用ノ最モ古キハ明治十六年中ニ屬シ願書提出ノ最モ古キハ三十四年度ニ  
アリ、然ルニ右出願者ニ對シ一モ追認ノ處分ヲ爲シタルモノナク數年ノ久シキニ互リ料金を徴收セサルヲ以テ、之カ事由  
ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ國有林野法施行前ヨリノ無願開墾地若クハ植樹地ニシテ實際土地引上ノ處分ヲ爲  
シ難キモノハ追認貸付ヲ爲スヘキ方針ニシテ當管内ニハ此種ニ屬スルモノ少カラサル見込ナリシヲ以テ不要存置林野ニ限  
リ整理處分ト共ニ實地調査ヲ爲シ相當處分ヲ爲スコトニ主務省ノ許可ヲ得テ整理シ來リタルモノ本件ノ箇所ハ出願當時既ニ  
處分調査済ノ箇所ナリシヲ以テ林野特賣處分ノ際追認貸付ヲ許可シ漫用辨償金を徴收スルコト、シ其儘願書ヲ留置シタリ

ト云フニアリ、右ハ出願者ニ於テ土地ヲ無願使用シ居ルヲ自認シテ貸付ヲ願出テタルニ拘ハラス數年ノ久シキ其處分ヲ意

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

第四款 雜收入 第三項 辨償及違約金

【報告】

(一八) 横須賀海軍經理部ニ於テ收入ニ至ラサリシモノ

二八三<sup>円</sup>九五〇

アリ、右ハ明治三十二年ニ於ケル横須賀造船廠製罐工場改築工事延滞違約金ニシテ三十三年度ニ測定セシモノナルモ收  
入未済額トシテ遞次繰越シ本年度ニ至リ缺損處分ヲ爲シタルモノナリ、其事實ノ要領ヲ擧クレハ工事施行中請負人ノ本工  
事ニ關スル一切ノ債權ヲ第三者ヘ讓渡スコトヲ承認シ工事竣功ヲ告クルヤ延滞違約金トシテ前記金額ノ徴收スヘキモノア  
ルニ拘ラス保證金及請負代金ノ全部ヲ第三者ニ交付シ請負人ニ對シテハ納額告知書ヲ發セシモ納入ニ至ラス起訴ノ末勝訴  
ニ歸シタリト雖モ請負人ハ無資産ニシテ徴收ノ途ナク結局訴訟費用及執行費用金五拾五圓貳錢五厘ヲ併セ國庫ノ損失ニ歸  
シタルモノナリ、右ハ保證金及代金ヲ交付スルニ際シ相當ノ注意ヲ怠リタルニ因ルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本項横須賀海軍經理部ニ於テ徴收スヘキ延滞違約金アルニ拘ラス保證金及請負代金ノ全部ヲ交付シ延滞違約金ニ對シテハ納入告知書ヲ發  
セシモ請負人無資力ニテ徴收ニ由ナク結局訴訟費用及執行費用ヲ併セ國庫ノ損失ニ歸セシメタルハ畢竟保證金及代金ノ交付ニ際シ相當ノ  
注意ヲ缺キタルニ因ルモノニ付當該責任者ニ對シ相當ノ戒告ヲ爲サシメタリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

歳入臨時部

第一款 官有物拂下代 第四項 物品拂下代

【報告】

(一九) 東京蠶業講習所ノ徴收ニ係ル

四、〇七四<sup>円</sup>〇〇〇

ハ隨意契約ニ依リ石川某ニ拂下ケタル春繭百三十四石一斗九升ノ代價ナリ、右ハ買入品ノ不用トナリタルモノナルニ生産



品トシテ會計法第二十四條第十四號ヲ適用シ隨意契約ニ依リ拂下ケタルモノナルヲ以テ、之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシ  
ニ其答辯ノ要旨ハ生繭ニテ購入後殺蛹、乾燥、選繭等講習生實習ノ用ニ供シ手工ヲ加ヘタルヲ以テ購買當時ノモノトハ品質  
ヲ異ニセリ此ノ如ク加工シテ實質ヲ變更シタル上ハ之ヲ當所ノ生産品トスルハ至當ナリト云フニアリ、然レトモ殺蛹、乾  
燥等ハ繭ノ保存ニ要スル行爲ニシテ之ヲ以テ生産品ト認ムヘカラサルノミナラス其拂下決議書ニ繭類ハ明治三十六年中製  
絲實習用トシテ購入セシ處生徒缺員其他ノ事情ニ由リ繰上餘剩ヲ生シタルモノ今般不用ニ屬シ云々トアルニ由テ之ヲ觀  
レハ購入品ノ不用トナリタルモノヲ拂下ケタルコト明ナルヲ以テ競争入札ニ付スヘキモノナリ、依テ本件ハ會計法第二十  
四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 本項購入繭ハ生繭ニテ購買ノ後殺蛹、乾燥、選繭等ノ講習生實習ニ供シ手工ヲ加ヘタルヲ以テ購買當時ノモノトハ其品質ヲ異ニセルノミナ  
ラス右實習後ハ本所生産繭ト混同シ區分シ難キヲ以テ會計法第二十四條第十四號ニ依リ隨意契約ヲ以テ賣却セシモノナリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○會計法(明治二十二年二月十一日  
法律第四號)

第二十四條 法律勅令ヲ以テ定メタル場合ノ外政府ノ工事又ハ物件ノ賣買貸借ハ總テ公告シテ競争ニ付スヘシ但シ左ノ場合ニ  
於テハ競争ニ付セス隨意ノ約定ニ依ルコトヲ得ヘシ

第十四 政府ノ設立シタル農工業場又ハ慈善教育ニ係ル各所ノ生産製造物品及囚徒ノ製造物品ヲ賣拂フトキ

歳出

内務省所管

水害土木費ノ補助額過當ナルモノ一件(二四)

一一一〇、〇〇〇

競争入札ニ付スヘキ物件ノ購買ヲ隨意契約ニ依リタルモノ一件(二三)

一五二、三〇〇

其他不當ナルモノ五件(二〇)(二一)(二二)(二五)(二六)

一八〇、八七五

合計七件

一一三三、一七五

歳出經常部

第十一款 北海道本廳 第十二項 森林保護費

【報告】 (一〇〇) 北海道廳ノ支出ニ係ル

一、三〇〇、〇〇〇

ハ明治三十八年三月二十八日乃至三十一日ノ間ニ購入シタル郵便切手類ノ代價ニシテ最近年度ニ於ケル郵便切手類ノ購入  
高ハ一箇年度六百五拾圓内外ニ過キサルニ年度末ニ迫リ斯ノ如ク多額ノ購入ヲ爲シタル事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答  
辯ノ要旨ハ從來林務課派出所等ノ通信運搬費ハ豫算額ヲ定メ配付シタルモ本廳ニ於テ現品ヲ購入シ保管轉換ヲ爲スコトニ  
改メタルヲ以テ其所要額ト本廳使用ノ分ニ缺乏ヲ來シタルトニ由リ購入シタリト云フニアリ、然レトモ林務課派出所用郵  
便切手類ハ三十八年度ニ於テモ所管各支廳ニ於テ購入ヲ爲シアルヲ以テ答辯ノ事實ヲ認ムルヲ得ス、右ハ翌年度ノ使用ヲ  
目的トセル物品ノ代價ヲ本年度經費ヨリ支出シタルモノニシテ會計法第三條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 會計法第三條違背

(參照) ○會計法(明治二十二年二月十一日  
法律第四號)

第三條 各年度ニ於テ決定シタル經費ノ定額ヲ以テ他ノ年度ニ屬スヘキ經費ニ充ツルコトヲ得ス

第十二款 府 縣 第六項 雜給及雜費

【報告】 (一一一) 宮城縣ノ支出ニ係ル

三二八、八五三

ハ賞褒狀其他ノ筆耕料ニシテ太田某外一名ニ仕拂ヒタリト證明セル五百貳拾九圓九拾九錢五厘ノ内ニシテ四拾七圓八錢貳  
厘ハ明治三十六年度本費ニ、百六拾四圓六錢ハ本年度臨時事件費ニ屬スルモノナリ、右ハ知事官房勤務屬我妻某外十二名  
ニ於テ職務上謄寫シタルモノナルニ特ニ筆耕者ヲシテ謄寫セシメタルモノ、如ク裝ヒ之カ料金ヲ請求シ仕拂ヲ受ケタルモ

明治三十七年度 内務省 (一一〇)(一一一)



【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

【報告】 (1111) 山形縣ノ支出ニ係ル

110,130

ハ賞褒狀其他ノ筆耕料トシテ今野某外四名ニ仕拂ヒタリト證明セル百四圓貳拾七錢六厘ノ内ニシテ四拾圓六拾壹錢ハ明治三十八年度本費ニ、四拾參圓四拾參錢六厘ハ本年度及明治三十八年度臨時事件費ニ屬スルモノナリ、右ハ知事官房勤務屬松井某外十二名ニ於テ職務上謄寫シタルモノナルニ特ニ筆耕者ヲシテ謄寫セシメタルモノ、如ク裝ヒ之カ料金ヲ請求シ仕拂ヲ受ケタルモノナリ、依テ本件ハ不當ノ支出ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

歳出臨時部

第十一款 北海道拓殖費 第四項 道路橋梁排水費

【報告】 (1111) 北海道廳ノ支出ニ係ル

1,512,300

ハ日高國染退川架橋工用足代丸太二千七百本、板百三十二枚ノ代價ニシテ之ヲ二口ニ分割シ隨意契約ニ依リ同一人ヨリ購入シタルモノナルヲ以テ、之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ本橋基礎工事ハ寒中乾水ノ候ニ於テ施設ノ必要ヲ認メ特ニ材料ノ買收ニ急ヲ要スルニ際シ僻在ノ地運搬不便ノ爲メ一時ニ多量ノ購入ヲ爲シ能ハサルヲ以テ基礎工事上必要ノモノニ限り隨意契約ニ依リ購入セルモノニシテ供給者ノ前後同一人ナリシハ偶然ノ結果ナリト云フニアリ、然レトモ本件足代丸太等ノ數量ハ設計當時ヨリ豫定セラレテ工事施行地ハ是等木材ノ供給ニ乏シカラス且ツ基礎工事ニ要スル「セメント」ノ如キ競争入札ニ依リ購入セルノ事實ニ徴スレハ答辯ノ事由ハ之ヲ認ムルヲ得ス、依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 會計法第二十四條違背

(參照) ○會計法(明治三十二年二月十一日法律第四號)

第二十四條 法律勅令ヲ以テ定メタル場合ノ外政府ノ工事又ハ物件ノ賣買貸借ハ總テ公告シテ競争ニ付スヘシ但シ左ノ場合ニ於テハ競争ニ付セス隨意ノ約定ニ依ルコトヲ得ヘシ

第三 非常急遽ノ際工事又ハ物品ノ買入借入ヲ爲スニ競争ニ付スル暇ナキトキ

第十五款 災害費 第三項 栃木縣水害土木費補助

【報告】 (1114) 栃木縣ノ支出ニ係ル

1,110,000

ハ同縣水害土木費七拾五萬七千餘圓ニ對シ國庫ヨリ補助シタルモノナリ、右水害土木費ノ内容ヲ調査スルニ渡良瀬、思、巴波ノ三川及赤麻沼ヲ以テ圍繞セラレタル谷中村其他ノ土地ハ洪水アル毎ニ堤防決潰、濁水氾濫シテ全面水中ニ没シ既往數年ニ於ケル復舊費拾數萬圓ノ巨額ニ達セルモ到底良好ノ結果ヲ收ムル能ハサルヲ以テ寧ロ該地ノ全部ヲ買收シテ洪水瀕水池トシ其住民ヲ適當ノ地ニ移轉セシメ罹災ノ厄難ヲ救済スルニ如カスト爲シ之カ土地買收費貳拾七萬九千餘圓、家屋補償費拾五萬圓、桑樹補償費參萬貳千餘圓、社寺地補償費四千餘圓、排水器補償費壹萬圓、其他壹萬餘圓合計四拾八萬五千餘圓ト積算シタルモノニシテ外貳拾七萬貳千餘圓ハ他ノ水害土木費ニ屬セリ、然ルニ實施ニ際シテハ耕作物ニ於テ貳萬餘圓、樋門ニ於テ八千圓等ノ増額ヲ來セシモノアリト雖モ家屋ノ總豫定坪數一萬八千七百餘坪ハ八千九百餘坪ニ減シタルカ爲メ五萬七千餘圓、桑樹ノ豫定株數六十四萬二千餘株ハ一萬二千餘株ニ減シタルカ爲メ參萬千餘圓、社寺地ハ素ト官有地ニシテ村民舉テ移轉スルトキハ代地ノ必要ナキカ爲メ四千餘圓等少カラサル剩餘ヲ生スヘキ見込ヲ以テ其大部分ヲ排水器補償費ニ増額スルコト、爲シ當初壹萬圓ノ見積額ニ對シ七萬五千圓ヲ補償スルノ契約ヲ爲セリ、抑、該排水器ノ設備ハ明治二十七年三月安生某ヨリ四萬貳千餘圓ヲ借入レ且ツ同人ヲシテ其工事ヲ請負ハシメ之ヲ施行セシメタルモノナリ而シテ其辨償ニ關シテハ右排水ニ由リ利益ヲ享受スヘキ土地五百九十餘町步ニ對シ五箇年間毎年一段歩毎ニ玄米一斗一升八合ヲ負擔セシ



メ若シ延滞スルトキハ年一割五分ノ利米ヲ附スヘキ契約ヲ爲シタルモ該設備ハ豫期ノ如ク排水ノ效果ヲ奏セザリシ爲メ辨償ヲ爲ス者ナク元利累積シテ頗ル巨額ニ上レリ、又一方ニ於テ谷中村ハ三十一年十一月日本勸業銀行ヨリ五萬圓ヲ借入レ其大部分ヲ安生某ニ預ケタルニ同人ハ之カ返還ヲ爲サス此間債權債務ノ關係ハ相互紛糾セルヲ以テ三十八年十月同縣知事ハ其調停ヲ試ミ安生某ノ債權ヲ七萬五千圓ニ減少セシメ排水器補償費ヲ以テ之ニ充テ同人ノ預リ金ハ谷中村ニ返還セシメ勸業銀行ニ對スル債務ヲ返済セシムルコト、爲セリ、然レトモ右排水器ハ其實況ニ徴スルニ當初ノ見積額以上ノ價格ヲ有セサルモノナルニ此ノ如キ補償ヲ爲シタル所以ノモノハ家屋桑樹等ノ見積額過大ニ失シ豫算ニ剩餘ヲ生シタルヲ以テ從來谷中村ニ繫レル債務ノ關係ヲ處理センカ爲メ排水器補償ヲ名トシ多額ノ支出ヲ爲スニ至リタルモノナリ、要スルニ本件ハ過當ノ補助金ヲ交付シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本項栃木縣災害土木費ハ總工費七拾五萬七千四百七拾參圓(內八萬五千參百九拾八圓谷中村澗池施設費貳拾七萬貳千七拾五圓他ノ土木費)ニ對シ災害土木費國庫補助規定ノ算出ニ依リ金貳拾貳萬圓ヲ補助シタルモノニシテ總工費ノ内谷中村澗池施設ニ要スル四拾八萬五千參百九拾八圓ハ豫算ヲ立ツルノ當時濁水堤内ニ瀾漫セル等ノ爲メ各事物ニ就キ精密ナル調査ヲ遂クルヲ得サルニ依リ專ラ當該官署ノ簿册等ヲ基礎トシ大體ニ於テ適當ト認ムル金額ヲ計上シタルモノナレハ縣ニ於テ之カ實施ヲ爲スニ當リ最初ノ豫算ニ比シ數量價額等ニ異動ヲ生スルハ免ルヘカサルコトナリ又排水器補償七萬五千圓ハ物件其物ノ眞價ニ比スレハ高キニ過クルノ嫌ナキニアラサレトモ該排水器タル關係段別五百九拾餘町歩ノ土地所有者カ起業者トナリ安生某ヲシテ工事ヲ施行セシメ其費用ヲ五箇年間ニ收獲ノ一部ヲ以テ辨償スヘキ契約ヲ爲シタルモノナルヲ以テ排水器補償金額ハ起業者カ安生某ニ辨償スヘキ金額ヲ標準トナスヲ至當ナリト謂ハサルヘカラス故ニ縣ニ於テ相當ト認ムル辨償金額ヲ算定シ之カ補償ニ充テタルハ最初國庫補助金ヲ交付セシ豫算ノ目的ニ副ヒタルモノニシテ不當ノ支出ニアラス

【貴決】 別紙決議ノ通議決ス(一六五頁參看) 【衆決】 不當

(參照) ○災害土木費國庫補助規定(明治三十二年四月二十二日勅令第百六十號)

第一條 府縣ノ災害土木費ニシテ其ノ地租年額ノ十分ノ三ヲ超過スルトキハ國庫ハ其ノ超過額ノ地租額ニ等シキ額ニ達スル迄八十分ノ四以內地租額ヲ超過スルトキハ其ノ超過ノ部分ニ對シテ八十分ノ五以內ヲ補助スルコトヲ得

第十六款 臨時事件費 第一項 臨時事件費

【報告】 (二五) 宮城縣ノ支出ニ係ル

一六四〇六〇

ハ賞褒狀其他ノ筆耕料五百貳拾九圓九拾九錢五厘ノ内ナリ、右ハ歲出經常部第十二款府縣、第六項雜給及雜費ニ於テ記載セルカ如ク屬我妻某外十二名カ職務上贍寫シタルモノナルニ之カ料金ヲ請求シ仕拂ヲ受ケタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス  
トス(一九頁(二)參看)

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

【報告】 (二六) 山形縣ノ支出ニ係ル

五六一六

ハ賞褒狀其他ノ筆耕料百四圓貳拾七錢六厘ノ内ナリ、右ハ歲出經常部第十二款府縣、第六項雜給及雜費ニ於テ記載セルカ如ク屬松井某外十二名カ職務上贍寫シタルモノナルニ之カ料金ヲ請求シ仕拂ヲ受ケタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス  
[一九頁(二)參看]

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

大藏省所管

競争入札ニ付スヘキ工事又ハ物件ノ購買ヲ隨意契約ニ依リタルモノ六件(二七)(二八)(二九)(三〇)(三一)  
銀行ヲ救済スルカ爲メ不必要ナル貸付ヲ爲シタルモノ一件(三二)  
其他不當ナルモノ二件(三〇)(三一)  
合計九件

一四三三四五〇〇  
六、〇〇〇、〇〇〇〇〇〇  
一〇三三八七五  
六、〇一四、四三八三七五

歳出臨時部

第二款 警備費 第三項 修繕費

【報告】 (二七) 横濱税關ノ支出ニ係ル

一〇八四〇〇〇

明治三十七年度 内務省 (二五)(二六) 大藏省 (二七)



ハ護岸石垣修繕費ニシテ東西兩海岸ニ分チ隨意契約ニ依リ施工シタルモノナルヲ以テ、之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ該工事ハ其修繕ノ場所ヲ異ニスルヲ以テ二工事ト認メ區分設計シタルモノニシテ其工費額孰モ千圓未滿ナルヲ以テ隨意契約ニ依リタルモノナリト答辯セリ、然レトモ右工事ハ明治三十七年十二月二十七日同一人ト請負契約ヲ締結シ税關構内ニ於ケル一帯ノ護岸石垣中破損ノ箇所ヲ修繕シタルモノナルヲ以テ之カ修繕ノ場所ヲ異ニスルモ一括シテ競争入札ニ付スヘキモノナリ、依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 會計法第二十四條違背

(参照) ○會計法(明治三十二年二月十一日)

第二十四條 法律勅令ヲ以テ定メタル場合ノ外政府ノ工事又ハ物件ノ賣買貸借ハ總テ公告シテ競争ニ付スヘシ但シ左ノ場合ニ

於テハ競争ニ付セス隨意ノ約定ニ依ルコトヲ得ヘシ

第七 千圓ヲ超エサル工事又ハ物品ノ買入借入ノ契約ヲ爲ストキ

第十七款 臨時事件費 第一項 臨時事件費

【報告】 (二八) 熊本稅務監督局ノ支出ニ係ル

ハ鹽務局所用「テント」五十二張代

五、四八〇円五〇〇

ハ同仰筒十五箇代

一、五五〇円〇〇〇

ハ同金庫十五箇代ニシテ孰モ數回ニ分割シ隨意契約ニ依リ購入シタルモノナルヲ以テ、之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ

一、二二六八円〇〇〇

其答辯ノ要旨ハ稅務監督局ニ於テ購入シ現品ヲ各所ニ送付スルトキハ多額ノ運搬費ヲ要スルヲ以テ各稅務署ニ豫算ヲ分配シ購入セシメタルモノナリト云フニアリ、然レトモ右物件ハ明治三十八年三月中孰モ熊本市内ニ於テ購入シタル事實ニ徴スレハ故ラニ分割シテ競争入札ヲ避ケタルモノト認メサルヲ得ス、依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】

本件物品ハ鹽專賣施行準備品ノ一部分ニシテ他ノ渾テノ物品ト同シク慣例ニ依リ各所要ノ稅務署ニ其豫算ヲ分賦シテ購入セシムルコト、セリ然ルニ各所要地ニ適當ナル製品ナキ爲メ自然同一市内ノ商賈數名ニ就キ購入スルニ至リタルモノニシテ故ラニ分割シテ競争入札ヲ避ケタルモノニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 會計法第二十四條違背

(参照) ○會計法第二十四條(一二四頁參看)

【報告】

(二九) 鹿兒島稅務監督局ノ支出ニ係ル

一、〇八〇円〇〇〇  
一、八七二円〇〇〇

ハ鹽務局所用自轉車九輛代

ハ同鐵庫十六箇代ニシテ孰モ二回ニ分割シ隨意契約ニ依リ購入シタルモノナルヲ以テ、之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ自轉車ハ指宿外六箇所ニ備附ノ必要アリ明治三十八年三月九日七輛購入契約後更ニ鹿兒島鹽務局用トシテ二輛購入ノ必要ヲ生シ同月十三日購入契約ヲ爲シ又鐵庫ハ當初鹿兒島鹽務局外七箇所ニ備附ノ必要アルヲ以テ同月七日八箇購入契約後更ニ細田外七箇所ニ備附ノ必要ヲ生シ同月十一日契約購入シタルモノナリト云フニアリ、然レトモ右物件ノ如キハ豫メ所要數量ヲ見積リ得ヘキモノナルニ僅ニ數日ヲ隔テ、兩度ニ購買シタルニ由リテ之ヲ觀レハ故ラニ分割シテ競争入札ヲ避ケタルモノト認メサルヲ得ス、依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】

本件及其他渾テノ鹽專賣施行準備品ハ成ルヘク節約ヲ旨トシ稅務署ニシテ鹽務ヲ兼ヌル所ニ在テハ其稅務署ノ備付品ヲ兼用セシムルノ目的ヲ以テ當初自轉車ハ指宿出張所外六箇所ニ鐵庫ハ本局外七箇所ニ備付ケ其他ハ總テ兼用セシムルコト、シ其購買手續ヲ了シタリ然ルニ其後兼用ノ不便ヲ認メタルヲ以テ更ニ本局ニ自轉車二輛細田出張所外七箇所ニ鐵庫各一箇ヲ備付ケシムルカ爲之ヲ購入シタルモノニシテ故ラニ分割シテ競争入札ヲ避ケタルモノニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(参照) ○會計法第二十四條(一二四頁參看)



【報告】 (三〇) 臨時煙草製造準備局ノ支出ニ係ル

八八二七六

ハ煙草專賣法第七十二條但書ニ依リ内國產葉煙草四十六萬八千六百九十二貫二百匁ノ買上金トシテ卷煙草製造業者東京市岩谷某外二名ニ對シ給付シタル參百拾四萬貳千七百八拾八圓貳拾七錢六厘ノ内ニシテ參百拾四萬貳千七百圓ハ國庫債券ヲ以テ交付シタルモノナリ、右ハ煙草專賣法ノ規定ニ反シ内國產葉煙草ノ買上ヲ爲シタルモノニシテ國債ノ部ニ於テ詳悉スルカ如ク不當ナリトス(一四一頁(四七)參看)

【辨明】 本項ハ國債ノ部ニ辯明セリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

(參照) ○煙草專賣法(明治三十七年四月一日法律第十四號)

第七十二條 明治三十七年六月三十日ニ現在スル刻煙草以外ノ煙草製造業者ノ所有ニ係ル葉煙草ハ明治三十八年三月三十一日迄ハ刻煙草製造業者若ハ葉煙草買業者ニ限り之ヲ讓渡シ又ハ之ヲ所有スルコトヲ得但シ外國產葉煙草ニ限り明治三十七年七月二十日迄ニ其ノ買上ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

七月二十日迄ニ其ノ買上ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

【報告】 (三一) 臨時煙草製造準備局ノ支出ニ係ル

一五五九九

ハ煙草製造業者大阪市皆野某ニ對シ交付シタル煙草專賣法第七十五條第一項ノ交付金九千九百九拾九圓八錢五厘同項但書ノ増給額千六百六拾六圓五拾壹錢四厘合計壹萬千六百六拾五圓九錢九厘ノ内ニシテ壹萬千六百五拾圓ハ國庫債券ヲ以テ交付シタルモノナリ、右ハ煙草專賣法發布ノ際現存セサル建物ニ對シ規程ニ反シ交付金ヲ増給シタルモノニシテ國債ノ部ニ於テ詳悉スルカ如ク不當ナリトス(一四二頁(四八)參看)

【辨明】 本項ハ國債ノ部ニ辯明セリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○煙草專賣法(明治三十七年四月一日法律第十四號)

第七十五條第一項 政府ハ煙草製造業者ニ對シ其ノ請求ニ依リ煙草賣渡代金ノ二割ニ相當スル金額ヲ交付シ其ノ額金五百圓ニ

滿タサル者ニ對シテハ金五百圓ヲ交付ス但シ煙草製造用ノ建物及其ノ敷地ヲ所有スル者ニシテ其ノ建物及敷地ノ全部ノ徵收又ハ買上ヲ受ケサル者ニ對シテハ尙交付金ニ相當スル金額ノ六分ノ一ヲ増給ス

第二十款 貸付金 第一項 貸付金

六、〇〇〇、〇〇〇〇〇

【報告】 (三二) 大藏省ノ支出ニ係ル

ハ日本銀行ヲ經由シ年利二分五箇年据置五箇年賦返濟ノ契約ヲ以テ株式會社第三百三十銀行ニ貸付シタルモノナリ、其理由トスル所ハ第三百三十銀行ハ資本金參百貳拾五萬圓、積立金五拾壹萬餘圓、預金千四百拾五萬餘圓ヲ有スル關西ノ大銀行ニシテ本店ヲ大阪市ニ置キ同市及京都、福井、舞鶴、福岡、小倉等ノ各地ニ十四箇所ノ支店ヲ設ケ主トシテ頭取松本某指揮ノ下ニ營業シ來リシカ日清戰役後事業稍ク其度ヲ超エ殊ニ當時日本紡織株式會社ニ過當ノ信用ヲ與ヘタル爲メ俄ニ百萬餘圓ヲ損失シタル等ニ由リ漸ク窮境ニ瀕シタルヲ以テ明治三十七年四月時局ノ關係上之カ救濟ヲ已ムヲ得サルモノト認メ日本銀行ニ對シ百萬圓ヲ限度トシ融通ヲ與フヘキコトヲ命シ之ニ對シ將來損失ヲ生シタルトキハ政府ニ於テ日本銀行ノ迷惑トナラサル様適當ノ措置ヲ取ルヘキ旨保證シタリ、然ルニ右ノ救濟ハ未タ同銀行ノ悲運ヲ挽回スルニ足ラス爾來益、窮境ニ陥リ遂ニ同年六月十七日即チ第二回國庫債券募集締切ノ翌日ヲ以テ臨時休業ヲ爲スニ至レリ、然レトモ同銀行ハ營業ノ區域廣大ナルヲ以テ一朝破産ノ悲運ニ遭遇センカ影響スル所少カラス即チ大阪、京都、福井、滋賀、福岡等諸府縣ノ商工業カ直接非常ノ打撃ヲ蒙ルノミナラス一般ニ恐慌ヲ起シ金融杜絶シ日本銀行ハ巨額ノ制限外發行ヲ爲サ、ルヘカラサルニ至ルモ測ラレス、事若シ此ニ至レハ内外債ノ募集ニ少カラサル障害ヲ來シ軍國ノ財政ハ非常ノ困難ヲ感スヘク爲メニ平和克復ノ時機ヲ遅延セシムルノ虞ナシトセス、果シテ然ラハ晉ニ一私立銀行ノ存廢ニ止マラス國家ノ損失測ルヘカラサルモノアリ、是ニ於テカ政府ハ第三百三十銀行ノ整理ヲ以テ國家問題ト爲シ進シテ之カ救濟ノ必要ヲ認メ更ニ六百萬圓ヲ同銀行ニ貸付シタリト云フニアリ、抑、第三百三十銀行ハ其營業區域稍、廣大ニ涉リ關西商工業トノ關係亦淺カラスト雖モ同銀行ノ悲境ニ陥リタルハ經濟界ノ變調ニ起因シタルモノニアラスシテ從來重役又ハ其關係アル事業會社ニ對シ過度ノ融通ヲ爲ス等其



營業ノ方法ヲ誤リタルニ因ルモノナルヲ以テ此ノ如キ不確實ナル一銀行ノ破産ハ當時ノ狀況ニ照シ一般ニ恐慌ヲ起シ金融杜絶シ延テ軍國ノ財政ヲ誤リ交戦ノ目的ヲ達スル上ニ至大ノ支障ヲ來タスモノト認ムルコトヲ得ス、然ルニ一私立銀行ヲ救済スルカ爲メ第二豫備金及國庫剩餘金ヨリ六百萬圓ノ巨額ヲ支出シ年利六分以上ニ相當スル國債ヲ募集スルノ際ニ於テ年二分ノ低利ヲ以テ之カ貸付ヲ爲スカ如キハ其必要ナキモノト認ム、依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 曩ニ明治三十七年第三百銀行ノ失敗ニ際シ政府ハ當時ノ情勢ニ照ラシ相當救済ノ途ヲ講スルコト戰時財政上ノ運行ヲ圓滑ナラシムル所以ナリト認メ金六百萬圓ヲ第二豫備金及國庫剩餘金ヨリ支出シ年利二分ヲ以テ第三百銀行ニ貸付ケタリ

然ルニ會計検査院ノ検査報告ニ依レハ第三百銀行ノ悲境ニ陥リシハ經濟界ノ變調ニ起因シタルモノニアラスシテ營業ノ方法ヲ誤リタルニ因ルモノナルヲ以テ此ノ如キ不確實ナル一銀行ノ破産ハ當時ノ狀況ニ照シ一般ニ恐慌ヲ起シ金融ヲ杜絶シ延テ軍國ノ財政ヲ誤リ交戦ノ目的ヲ達スル上ニ至大ノ支障ヲ來タスモノト認ムルヲ得ストアルモ當時第三百銀行ハ大阪京都福岡并滋賀ノ各府縣二十四箇所ノ店舗ヲ有シ手廣ク營業セルノミナラス一銀行トシテ千百餘萬圓ノ預金ヲ有スルカ故ニ假令ヒ内部ニ於テ不良ノ狀況アルニモセヨ一般公衆ニ於テハ尙當銀行ヲ信用スルコト厚カリシモノト云ハサルヘカラス然ルニ一朝同銀行ニシテ破産スルカ如キコトアラハ多數ノ取引者ハ豫想外ノ影響ヲ受クヘク殊ニ其營業區域ト認ムヘキ地ハ商工業上樞要ノ位置ヲ占ムルノミナラス前年來屢、銀行失敗ノ爲メ恐慌ヲ起シ金融界ノ變調ニ關シ感覺鋭敏ナルノ狀況アリ其關係タル邊陲ノ地ニ於ケル不確實ナル銀行ノ破産ト同一ノ論ニアラス是等諸種ノ事情ヲ綜合スレハ其破産ノ影響ノ大ナルヤ明カナリ然レトモ當時若シ日露ノ戰爭ナクシハ如此一銀行ノ救済ニ關シテ國家カ干與スヘキ必要モアルコトナシ唯此銀行ノ破産ハ金融界ニ至大ノ影響ヲ與ヘ國庫債券ノ募集ニ支障ヲ來タシ海外諸國ノ信用ヲ傷ケ軍國ノ財政ヲシテ非常ノ困難ニ陥ラシムルノ恐レナキヲ保シ難シト信シタルカ故ニ其失敗ノ原因ノ如キ自カラ招ク處ナルニモセヨ以上述フルカ如ク國家ニ重大ナル影響ヲ及ホスヘキモノナルヲ以テ時局ノ必要上莫大ノ負擔ヲ要スルニ拘ハラズ非常臨機ノ處置ニ出テタルモノナリ

尙又該検査報告ニ依レハ一私立銀行ヲ救済スルカ爲メ第二豫備金及國庫剩餘金ヨリ六百萬圓ノ巨額ヲ支出シ年利六分以上ニ相當スル國債ヲ募集スルノ際ニ於テ年利二分ノ低利ヲ以テ之カ貸付ヲ爲スカ如キハ其必要ナキモノト認ムトアルモ其當時狀況ヲ取調ヘタル結果應急ノ手段トシテハ同行ニ對スル巨額ナル預金ノ取付ニ應スルカ爲メ資金ヲ給シテ急速ニ其仕拂ヲナサシムルト共ニ一方同行ノ整理ヲ實行シテ會社ノ保全ヲ計カリ仕拂殘リノ預金者ニ安心ヲ與ヘ兼テ一旦支給シタル資金ヲ安全ニ回收シ得ルノ基礎ヲ作ラシムルカ爲メ利息ヲ低下スルノ外ナキヲ認メタルニ依リ止ムヲ得ス所要ノ六百萬圓ヲ第二豫備金及國庫剩餘金ヨリ支出シ年利二分ヲ以テ第三百銀行ニ貸付ケタリ

陸軍省所管

【貴決】 別紙決議ノ通議決ス(二六五頁參看) 【衆決】 不當

虚偽ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ二件(三三三)(三三四) 二二〇二七五  
豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(三五五) 六八、〇〇九〇八九  
合計三件 六八、二二九三六四

歳出經常部

第二款 軍事費 第十項 糧食費

【報告】 (三三三) 臺灣陸軍經理部ノ支出ニ係ル

一六五、六〇〇

ハ精米購入代六百四拾圓八拾七錢貳厘ノ内ニシテ臺灣陸軍經理部臺中派出所詰陸軍二等計手吉本某カ同所糧秣倉庫ノ精米中ヨリ臺灣産精米十八石内地産精米二石ヲ取出シ精米供給者林某ノ代理人ト共謀シ契約數量ノ内ナリト詐リ之ヲ各隊ニ納入シ其代金ヲ詐取シタルモノナリ、右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

第十六項 軍隊需品費

【報告】 (三四四) 臺灣陸軍經理部ノ支出ニ係ル

五四、六七五

ハ石油外五點ノ購入代トシテ證明シタルモノナルモ其實臺灣守備步兵第九大隊附陸軍歩兵軍曹村上某カ商人ト通謀シ所屬大隊本部内ニアル物品ヲ商人ノ納品ナリト詐リ若クハ傳票ヲ作爲シ實際納品セサルニ納品済ナリト稱シ之カ代金ノ仕拂ヲ受ケタルモノナリ、右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

明治三十七年度

陸軍省 (三三三)(三四四)



【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

歳出臨時部

第四款 營繕及初度調辨費

第三項 臺灣兵營廳舎營繕及初度調辨費

【報告】 (三五) 臺灣陸軍經理部ノ支出ニ係ル

六八、〇〇九<sup>四</sup>〇八九

ハ澎湖島要塞司令官宿舍及澎湖島基隆要塞司令部員宿舍建築ニ關スル工費トシテ本年度マテニ支出シタル六萬九千參百四拾九圓拾九錢九厘ノ内ニ屬シ千參百四拾圓拾壹錢ハ三十六年度ニ於テ支出シタルモノナリ、右ハ豫算ノ目的ニ副ハサルモノト認メ、之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ澎湖島ニハ將官ニ充ツヘキ宿舍ノ設備ナキノミナラス地方借家トシテモ之ニ該當スヘキモノナキヲ以テ相當科目ニ流用シ本件建築ヲ爲シタルモノナリト答辯セリ、然レトモ本費豫算ハ步兵六箇大隊、砲兵一箇大隊及臺中衛戍病院ヲ新築セントスルモノニシテ要塞司令部將校官舎等ノ建設費ヲ包含セサルコト明ナリ、依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 本項豫算ノ目的ハ臺灣守備部隊ニ係ル兵營廳舎等ノ新設ニ在ルヲ以テ守備部隊ノ編制改正並配置變更ノ都合ニ依リ實施ニ際シ多少當初ノ見込ト一致セサルモノアルモ其目的ヲ變セサル費途ニ使用シタルモノナルヲ以テ會計法第十二條ニ違背シタルモノニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 會計法第十二條違背

(參照) ○會計法(明治二十二年二月十一日法律第四號)

第十二條第一項 國務大臣ハ豫算ニ定メタル目的ノ外ニ定額ヲ使用シ又ハ各項ノ金額ヲ彼此流用スルコトヲ得ス

海軍省所管

會計ノ監督宜シキヲ得ス巨額ノ官金ヲ窃取セラレ國庫ニ損失ヲ生セシメタルモノ五件(三六)(三七)

三一、八三七<sup>四</sup>四三二

歳出臨時部

第四款 海軍擴張費 第一項 造船費

【報告】 (三六) 海軍省經理局、横須賀海軍經理部及佐世保海軍經理部ノ支出ニ係ル

一六、〇九四<sup>四</sup>三九八

第二項 造船費ニ於テ海軍省經理局ノ支出ニ係ル

三、九四九<sup>四</sup>九四二

ハ英國派遣造船監督會計官海軍主計少監竹内某ノ代理調製者ヨリ提出シタル本年度仕拂計算書ニ於テ右竹内某カ軍艦高砂主計長海軍主計少監加木某ト共謀シ或ハ單獨ニ私消シタルモノトシテ證明セル前渡金參拾參萬五千五百拾貳圓四拾五錢六厘ノ内ニシテ參拾萬五千四百六拾八圓拾壹錢六厘ハ歳出臨時部第九款吳造兵廠擴張費及特別會計臨時軍事費ニ屬スルモノナリ、抑、外國ニ於テ支出スル海軍省所管經費ノ仕拂順序ニ依レハ現金前渡官吏ニ於テ自ラ現金ヲ保管スルハ英貨貳百磅以内ニ制限セラレ其餘ハ之ヲ日本銀行倫敦代理店へ保管預ケトナシ債主ニ仕拂ヲ要スルトキハ前日ニ於テ之ヲ引出シ更ニ横濱正金銀行倫敦支店へ當座預ケトナシ債主記名ノ引出切符ヲ發行シ仕拂ヲ爲スヘキ規定ナルニ、現金前渡官吏竹内某ハ明治三十五年六月ヨリ三十七年十一月マテノ間ニ於テ加木某又ハ自己ヲ債主トシ引出切符ヲ發行シ或ハ横濱正金銀行倫敦支店ヲ債主トシタル引出切符ニ依リテ現金ヲ引出シ或ハ自己ノ保管セル現金ヲ横領シテ奢侈ノ資ニ供シ又ハ加木某及海軍主計中監名倉某ニ送付シ之ヲ以テ米穀株式等ノ投機取引ヲ爲シ而シテ其費消額ハ後年度前渡金ヲ以テ補填シ或ハ名倉某ヨリノ送金ヲ組入ルルノ手段ヲ以テ其犯跡ヲ掩蔽セントシタルモ私消額漸次多大ト爲リ遂ニ參拾參萬餘圓ノ缺額ヲ生シ本年度ニ至リ發覺シタルモノナリ、右ハ會計ノ監督其宜シキヲ得ス前後三箇年度ニ互リ巨額ノ官金ヲ窃取私消セラレ爲メニ國庫ニ多大ノ損失ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本項ニ於テ貳萬六千九拾四圓參拾九錢八厘第二項造船費ニ於テ三千九百四拾九圓九拾四錢貳厘其他多額ノ缺損ヲ生セシメタル竹内某カ犯罪行ニ對シテハ本人及關係者加木某ト共ニ處刑濟ナリ又斯ノ如キ犯行ヲ敢テスルニ至リタルハ畢竟横濱正金銀行倫敦支店カ日本銀行倫敦代理店トシテ明治三十三年二月二日大藏大臣達海軍省所管經費仕拂順序ノ規定ヲ違由セサルニ因ルモノアリシト雖トモ歳入歳出取扱規程第四十二條ニ依リ計算書ト現金出納簿トヲ對照シ其符合及現存額ヲ認メタル保證書ヲ作製セシ海軍官憲モ亦職務懈怠ノ所爲アルモノニ付夫海軍懲罰令ニ依リ懲戒セリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當



【報告】 (三七) 吳海軍經理部ノ支出ニ係ル

第九款 吳造兵廠擴張費 第一項 吳造兵廠擴張費

一、七九三、〇九二

ハ英國派遣造船監督會計官海軍主計少監竹内某ニ於テ私消シタル參拾參萬五千五百拾貳圓四拾五錢六厘ノ内ニシテ歲出臨時部第四款海軍擴張費、第一項造船費ニ詳悉セシト同シク不當ナリトス【二三頁(三六)參看】

【辨明】 本項辨明ハ歲出臨時部第四款海軍擴張費第一項造船費事由ニ同シ

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 不當

司法省所管

虚偽ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ一件(三八)

六四六、五〇〇

歳出經常部

第四款 地方監獄 第八項 在監人費

【報告】 (三八) 沖繩監獄ノ支出ニ係ル

六四六、五〇〇

ハ薪購入代トシテ證明シタル千貳百六拾貳圓四拾錢ノ内ニシテ六百拾五圓九拾錢ハ前年度ニ於テ支出シタルモノナリ、右ハ會計主任看守長坂口某カ仕拂命令官ノ不在ヲ窺ヒ仕拂命令用紙四葉ニ仕拂命令官印ヲ盜捺シ明治三十六年十月ヨリ三十七年十月ニ至ル間ニ於テ物品ノ購入ヲ爲シタル如ク装ヒ前後四回ニ詐取シタルモノナリ、依テ本件ハ不當ノ支出ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 不當

文部省所管

工事ノ實施ニ際シ豫算所定ノ目的ニ違背シタルモノ一件(三九)

五八三、〇七三

歳出臨時部

第一款 醫務費 第十七項 帝國大學醫科大學醫院內科外科等教室及病室改築費

【報告】 (三九) 文部省ノ支出ニ係ル

五八三、〇七三

ハ東京帝國大學醫科大學醫院教室及病室等改築費四拾六萬參千四百八圓貳拾七錢參厘ノ内ニシテ四拾萬五千百圓八拾八錢ハ明治二十九年度乃至三十六年度ノ支出ニ係リ本年度ニ於テ竣功ヲ告ケタルモノナリ、今之カ實施ノ積ヲ觀ルニ當初豫算ニ定メタル病院本部此工費豫算額拾貳萬六千餘圓及傳染病室此工費貳萬六千餘圓ノ建築ハ全ク之ヲ廢止シ內科外科病室ハ其構造煉瓦造ノ豫定ナルニ之ヲ木造ニ變更シ且ツ建坪ニ於テ約千坪ヲ減少シ手術室ハ當初ノ工費豫算貳萬貳千餘圓ヲ以テ百八十餘坪ヲ建設スヘキ豫定ナリシニ四百四十餘坪ニ擴張シ工費拾壹萬參千餘圓ノ巨額ヲ支出シ又豫定外ニ醫院講義室八拾餘坪ヲ新築シ工費壹萬四千餘圓ヲ支出セリ、右ハ數年度ニ跨レル繼續事業ナルヲ以テ物價及事情ノ變化ニ伴ヒ當初ノ計畫ニ多少ノ増減變更ヲ來タスハ已ムヲ得サルモノアリト雖モ手術室ノ設計ヲ擴張シテ工費ヲ五倍餘ニ増加セルノミナラス豫定外ニ醫院講義室ヲ新築シ當初豫定セル病院本部及傳染病室ノ建築ヲ廢止シテ之カ豫算額拾五萬貳千餘圓ノ全部ヲ他ノ工費ニ流用シ其結果更ニ三十九年度豫算ニ於テ病院本部建築ノ爲メ東京帝國大學醫科大學醫院外來診察所等改築費ノ名稱ヲ以テ三箇年度間ノ繼續費トシテ貳拾萬六千餘圓ノ豫算ヲ要求スルニ至レリ、要スルニ本件ハ工事ノ實施豫算所定ノ目的ニ違背シ遂ニ少カラサル増費ヲ要スルニ至リタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本豫算ハ明治二十九年度ヨリ三十六年度ニ互ル八箇年度ノ繼續費ニシテ豫算ノ編成ハ恰モ二十七八年職役中ニ屬シ爾後逐年物價勞銀ノ騰貴甚シク之カ爲メ當初設計ノ如ク工事ヲ施行スルモ豫定工事ノ一部ハ之ヲ廢スルノ已ムヲ得サルニ至ルヘキヤ明ナリ然ルニ醫學ノ進步ハ著シク殊ニ外科手術ノ進步ハ一層顯著ニシテ從來內科ニ屬セシ病症ト雖モ往々外科的療法ヲ施シ其效ヲ奏スルモノアリ而シテ外科手術ノ其功ヲ奏スルト否トハ大ニ手術室ノ完全ナルト否トニ關スルハ歐米諸國カ爭フテ之カ構造及設備ニ全力ヲ注クニ鑑テ明ナルヲ以テ則チ本學ニ於テモ已ムナク當初ノ設計ヲ變更スルニ至リタリ加之本學學生收容ノ數ハ從來毎年三十名乃至四十名ニ止マリシモ時世ノ發達ニ促カサレ收容人員ヲ百餘名ニ増加スルノ適當ナルヲ認メタルヲ以テ其坪數ヲ増加スルノ已ムナキニ至レリ又病室等ノ設計モ當初設計ノ如キモノニテハ醫學ノ進步ニ伴ハサルヲ以テ之カ變更ヲ要シタリ以上ノ理由ナルニ依リ病室ノ構造ヲ木造トシ建坪ヲ減少シ且病院本部ノ一部及



傳染病室ノ建築ヲ見合セ工事ノ進捗ヲ計レリ又醫院講義室ハ決シテ豫定外ノ工事ニアラス抑モ本室ハ當初ノ設計ニ於テ之ヲ病院本部ニ設置スルノ豫定ナリシモ前記ノ如ク病院本部ノ工事ヲ見合セタルヲ以テ之ヲ別棟ト爲シ建築シタルモノニ外ナラス之ヲ要スルニ物價及勞銀ノ騰貴ハ當初設計ノ工事ヲ施行スルニ足ラザリシノミナラス必要ナル設計ノ變更ハ建築費ノ増嵩ヲ來タシタルヲ以テ本繼續費ニ依リ施行シ得ル、丈ケノ工事ヲ結了シ更ニ其不足ヲ三十九年度以後三箇年度ノ繼續費トシテ要求シタルモノニシテ本件工事ノ實施ハ敢テ豫算所定ノ目的ニ違背セス又故ナク増費ヲ要スルニ至リタルニアラサルヲ以テ不當ノ措置ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

農商務省所管

薪材斫伐事業ノ施設宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ生セシメタルモノ一件(四〇)

四五、〇八八、〇〇一

歳出臨時部

第二十三款 臨時事件費 第一項 臨時事件費

【報告】

(四〇) 農商務省ノ支出ニ係ル

四五、〇八八、〇〇一

ハ軍用薪材斫伐事業ノ爲メ要シタル備人料、支消品、器具器械、旅費等ノ費用ナリ、抑、本事業ハ戦局ノ進行ニ伴ヒ軍隊需用ノ薪材ヲ國有林ニ於テ斫伐搬出シ急遽供給ノ必要アリトノ理由ヲ以テ臨時事件豫備費ノ支出ヲ要求シ大隅國肝屬郡内ノ浦國有林ニ於テ二百五十萬貫ノ薪材ヲ造リ一貫ニ付貳錢貳厘ノ割ヲ以テ明治三十七年十一月十五日ヨリ三十日マテノ間毎日約十五萬貫以上ヲ内ノ浦海岸ニ於テ陸軍省ニ引渡スノ計畫ヲ以テ本省直接ノ事業トシテ起業シタルモノナリ、然ルニ其成績ハ豫期ニ反シ相當數量ノ供給ヲ爲スコト能ハス三十七年十二月十一日途ニ陸軍省ヨリ當時海岸ニ蓄積シアルモノノ外引取ルコトヲ得ストシテ解約ノ申込ヲ受タルニ至リ實際陸軍省ニ引渡シタル薪材ハ僅ニ四十七萬七千五百三十七貫五百匁ニシテ此代價壹萬五百五圓八拾貳錢五厘ヲ收入シタルニ過キス、而シテ其殘存薪材三千七百二圓餘ハ三十八年五月中四千八百九拾圓七拾壹錢貳厘ノ評定價額ヲ附シテ鹿兒島大林區署ニ引繼キ同大林區署ハ之カ拂下ニ就キ種々盡力スル所アリタルモ僅ニ海岸附近ニ搬出セル材積三十五圓餘ヲ代價參拾五圓六拾五錢ヲ以テ拂下ケタルニ止マリ殘存薪材三千六百六

十餘棚ハ豫定價格ヲ參百六拾餘圓ニテ競争入札ニ付シタルモ運搬不便ノ爲メ入札金額八拾五圓ニシテ落札ニ至ラス、後チ適、五百八拾餘圓ヲ以テ拂下ヲ出願シタル者アリタルモ契約ヲ履行セサルカ爲メ之カ解除ヲ爲スノ已ムヲ得サルニ至リ其實拂ヲ爲スノ途ナク空シク腐朽ニ委スルノ状態ナリ、要スルニ本件ハ事業地ノ選定其他ノ施設宜シキヲ得サルカ爲メ其目的タル軍隊ノ急需ニ應スル能ハザリシノミナラス國庫ニ少カラサル損失ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本項軍用薪材ハ湖風積雪ノ裡滿洲ノ荒野ニ暴露セル軍隊ヲシテ凍寒ノ虞ナカラシメシカ爲メ僅々一箇月以内ニ五千棚ノ多額ヲ供給セントスルモノニシテ其事業地ハ材料ノ豐富ナラサルヘカヲサハ勿論之カ載積ニ從テ軍用船ハ軍事ノ必要上東北ニ回漕スルコト至難ナルヲ以テ勢西南ニ撰フヲ要シ且戰地ヲ距ル最近クシテ冬季ニ於ケル航海ノ困難最少ク更ニ搬出及船積ノ便アル地ナラサルヘカラス大隅國肝屬郡内ノ浦國有林ハ内ノ浦港灣ニ溢ミ海岸ヲ距ル僅ニ一里内外誠ニ斯ノ目的ニ適シ之ヲ措テ他ニ適當ノ供給地ヲ得ル能ハサルヲ以テ審議ノ結果事業地ヲ茲ニ撰定シタル所以ナリ而シテ如上國有林内ニ於テハ從來又一ノ運搬路アルナキニ因リ或ハ新ニ道路ヲ開キ木馬道ヲ作り或ハ地勢ニ應シ又手ヲ設クル等萬難ヲ排シ苦心經營ノ極幸ニ運材ノ設備完成ヲ告ケタルモ時恰モ收穫時期ニ際シ斫伐及運搬ニ要スル多數ノ人夫ハ豫期ニ反シテ募集ニ應スル者少ク加フルニ天候不良降雨亦頻ニシテ豫定事業ノ進行ニ障礙ヲ與ヘシヲ以テ管理者ハ部下ヲ督勵シ晝夜兼行殆ト寢食ヲ忘レ豫期ノ效果ヲ收ムルニ努メタルモ十二月十五日以後ハ再ヒ軍用船ノ回漕ナカリシ爲メ豫定ノ供給ヲ爲スヲ得ザリシハ洵ニ已ムヲ得ザリシモノニシテ不當ニアラスト認ム但シ不可抗ノ爲メ豫定ニ反シテ官損ヲ來シタルハ會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

逓信省所管

虚偽ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ二件(四一)(四五)

五二九、一七〇

工事ノ施設宜シキヲ得ス竣功後幾クナラス改修ヲ要スルニ至リタルモノ二件(四四)(四六)

一一一、一八五、八六八

不要ノ家屋ヲ借入レ經費ヲ支出シタルモノ一件(四二)

二、〇四〇、〇〇〇

借入家屋ヲ返還スルニ當リ過當ノ修繕費用ヲ交付シタルモノ一件(四三)

五、一六〇、〇〇〇

合計六件

一一八、九一五、〇三八

歳出經常部

明治三十七年度 農商務省 (四〇)



第二款 逓信費 第八項 逓信事業費

【報告】 (四一) 長野郵便局ノ支出ニ係ル

一一二〇一七〇

ハ松本郵便局ニ於ケル現業備人缺員補充給料、臨時集配逓送料及掃除人夫賃等トシテ不實ノ證明ヲ爲シタル百九拾圓參錢ノ内ニシテ百六拾八圓八拾六錢ニ對シテハ後更ニ正當證書ヲ提出シ其使途判明シタルモ前記金額ハ全然虚偽ノ仕拂ニ屬スルモノナリ、右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通依テ不當支出ニ係ル金額ハ之ヲ返納セシメ當事者ハ之ヲ處分セリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

【報告】 (四二) 大阪郵便局ノ支出ニ係ル

一一〇四〇〇〇

ハ村松某ヨリ借入レタル家屋二棟ニ對シ明治三十七年四月ヨリ三十八年三月ニ至ル間ノ借家料トシテ仕拂ヒタルモノナリ、抑、該家屋ハ元船場郵便電信支局舍用トシテ二十七年及三十一年ノ兩度ニ借入レタルモノニシテ三十六年六月ニ至リ本局舍ノ新築落成ヲ告ケ同年七月移轉シタルヲ以テ既ニ借入ノ必要ナキニ拘ラス該家屋復舊工事ニ就キ貸主ト協議ノ爲メト稱シ之カ還付ヲ遷延シ一棟ハ三十七年六月二十日、一棟ハ同年八月二十日一旦解約シタルモ孰モ解約ノ翌日ニ於テ更ニ事業用品貯藏所ノ名義ヲ以テ之カ借入ヲ繼續セリ、然レトモ契約上復舊スヘキ家屋ハ一棟ニシテ其復舊程度ノ如キハ技術者ノ容易ニ鑑定シ得ヘキモノナルヲ以テ協議ノ爲メ約一箇年ノ日子ヲ經過スルカ如キハ其必要ヲ認め難ク、又三十八年二月ノカ實地ヲ検査スルニ僅ニ其一部分ニ薪炭ヲ保管スルニ過キスシテ倉庫二階ノ如キハ貸主ヲシテ之ヲ使用セシメアルノ事實ニ徴スレハ再ヒ之カ借入ヲ爲スノ必要アリシモノト認ムルヲ得ス、要スルニ本件ハ不用ノ家屋ヲ借入レ少カラサル經費ヲ支出スルニ至リタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 大阪郵便局元船場郵便電信支局舍用借入建物返還ノ遷延シタルハ該建物ノ内二十七年ノ借入ニ係ルモノハ契約ニ依リ返還ノ際復舊ヲ要シ三十一一年ノ借入ニ係ルモノハ復舊ヲ要セサルモ前者ト密接聯絡セルニ依リ前者ノ復舊工事ヲ終ルニアラサレハ之ヲ返還スルヲ得サリシニ

【報告】

基因スルモノナリ詳言スレハ前者ニ對スル復舊工事ニ付テハ新築局舎落成ニ先テ夙ニ當省技術官ヲシテ之カ調査ニ著手セシメ二十六年七月局舎移轉ノ頃マテニ一應之ヲ了結シタルモノ元來該建物ハ借入以來年々發展セル業務取扱上ノ必要ニ迫ラレ餘儀ナクモ種々ナル模様ヲ施シタル爲之ヲ復舊スルニハ頗ル繁雜ナル工事ヲ要スルヲ以テ専ラ施工ノ公平ヲ圖リ貸主トノ間ニ紛議ヲ生スルコトナカラシメンカ爲尙民間ニ於テ信用厚ク且ツ技能經驗ニ富メル某工學博士ヲ選定シ之ニ調査ヲ囑託セシニ三十七年二月ニ至リ完ク終了ヲ告ケタリ然ルニ其際貸主ヨリ相當金圓ノ交付ヲ受ケ復舊工事ハ自ラ之ヲ負擔シタシトノ旨ヲ申出テ當省ニ於テモ亦之ヲ便宜ト認メタルニ依リ其費額ニ關シ協議セシニ貸主ハ當初壹萬千五百圓ヲ請求シ當省ノ交渉ニ對シ之ヲ九千九百九拾圓ニマテ低減シタルモ最早此上ハ減額ノ餘地ナシト主張シ容易ニ協議ニ應セス結局同年六月當省自ラ工事ヲ執行セントスルニ至リ漸ク當省豫定交付額五千百六拾圓ニテ應諾シタルノ狀況ナリシニ依リ前後通シテ遂ニ豫想外ノ日子ヲ費スニ至リタルモノトス

又前記建物ヲ一旦返還シタル後更ニ借入レタルハ當時大阪郵便局ニ於テ電信建築用材料ノ格納其他物品整理ノ爲家屋借入ノ必要ヲ生シ所々搜索シタルモ他ニ適當ノモノナカリシニ由ル而シテ其検査官吏臨檢ノ際格納物品ノ多カラサリシハ當時ハ該建物ノ返還期ニ近カリシノミナラス年度末ニ際シタルヲ以テ電信線建築用材料ハ既ニ拂出済ニ屬シ其他ノ物品ハ概ネ整理ヲ了シタルニ由ル又検査報告中ニ「倉庫二階ノ如キハ貸主ヲシテ之ヲ使用セシメアルノ事實ニ徴スレハ云々」トアルハ昇降最モ不便ナル爲平素使用セサル奥倉庫二階ノ一部分ニ貸主ノ所有ニ屬スル一二物品ノ留置シアリタルヲ指示セシモノナルヘキモ是偶貸主カ該物品ノ撤去ヲ怠リタルニ由ルモノニシテ決シテ貸主ニ對シ二階ノ使用ヲ承認セシモノニアラス

之ヲ要スルニ本件ハ決シテ不要ノ家屋ヲ借入レ經費ヲ支出シタルモノニアラサルヲ以テ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

歳出臨時部

第四款 營業費 第三項 新營費

【報告】 (四三) 大阪郵便局ノ支出ニ係ル

五、一六〇〇〇

ハ元船場郵便電信支局舍用トシテ借入レタル家屋ヲ返還スルニ當リ其復舊工事費及附帶諸費トシテ貸主村松某ニ仕拂ヒタルモノナリ、抑、該家屋ハ明治二十七年ヨリ引續キ借入レタルモノニシテ契約上復舊ヲ要スルハ二階建十四坪、平家建十三坪餘、一階下十一坪餘、土藏十二坪餘ニシテ逓信省技術員ノ調査ニ依レハ參千百拾參圓貳拾五錢壹厘ヲ以テ原形ニ復シ得ル



ノ計算ナリシモ 尙ホ再調査ヲ某工學博士ニ囑託シタルニ 家屋ノ構造、普通商家ノ店住居トシテ粗造不完全ナルニ加ヘ從來十分ナル修繕ヲ施シタル痕跡ナク自然廢頽ニ委シタルモノナルヲ以テ普通復舊工事ヲ施スハ極メテ困難ナリトシ殆ト改築ニ均シキ設計ヲ爲シ其工費ヲ四千六百貳拾八圓八拾壹錢八厘ト鑑定セリ、依テ之ヲ標準トシ自ラ之ヲ施行セハ工事監督員ノ俸給、旅費及工事中ノ借家料五百餘圓ヲ要スヘキモノトシ之ヲ加算交付シタルモノナリ、然レトモ借入家屋ノ返還ニ際シテハ自然ノ朽廢ニ基クモノ、如キハ復舊ヲ要セサルモノナルニ是等費用ヲ算入シ其復舊工事費一坪當リノ單價ハ二階建ノ分百五餘圓、階下ノ分八拾六圓餘、土藏百九圓餘、平家六拾圓餘ニ上リ尙ホ附帶諸費トシテ五百餘圓ヲ加算交付シタルハ高價ニ過クルモノト認ム、右ハ復舊ノ範圍ヲ超越シ過當ノ支出ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

大阪郵便局元船場郵便電信支局舎用借入建物返還ノ際復舊工事費及附帶諸費ヲ仕拂フニ至リタル所以ハ前項ノ辯明中ニ約述セシヲ以テ之ヲ省略シ茲ニハ唯其仕拂金額ノ過當ニアラサル所以ヲ辯明センニ復舊工事費ハ當省囑託某工學博士ノ鑑定ニ依レハ四千六百貳拾八圓八拾壹錢八厘ヲ要スト謂ヘリ今單ニ普通ノ感想ヲ以テスレハ是稍、高價ニ屬スルノ觀ナキニアラサルカ如シト雖モ奈何セン該建物ハ借入以來十餘年間業務ノ膨脹ニ伴ヒ已ムヲ得ス數次ノ模様替ヲ施シタル爲メ之ヲ原形ニ回復スルニハ此費額ヲ投セサルヲ得サルニ至リタルモノニシテ決シテ自然ノ頽廢ニ基ケルモノ、復舊費ヲ算入シタルカ爲ニハアラス又其附帶諸費五百餘圓ハ當省自ラ復舊工事ヲ執行スルモノト假定シテ算出シタル工事監督員ノ俸給旅費及工事中ノ借家料ニ多少ノ減額ヲ加ヘタルモノナルヲ以テ是亦止ムヲ得サルノ費途ニ屬セリ從テ以上二者ヲ併算シ五千六百拾圓ヲ仕拂ヒタルハ即チ契約ニ依リ負擔スル債務ヲ履行シタルニ外ナラスシテ決シテ過當ノ支出ヲ爲シタルモノニアラサルヲ以テ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

【報告】 (四四) 逓信省ノ支出ニ係ル

九三、〇五一〇四〇

ハ青森郵便局新築工事費拾壹萬千六百四拾六圓四錢ノ内ニシテ壹萬八千五百九拾五圓ハ明治三十六年度ニ屬シ指名入札ノ結果安藤某ニ請負ハシメ三十七年十二月二十一日竣成シタルモノナリ、然ルニ三十九年九月之カ實地ヲ検査スルニ軒下漆喰ノ剝落セル箇所多ク階上内部ノ周圍ハ殆ト全體ニ漏水シ尙ホ床板ヲ通シテ階下ノ四壁ニ及ヘルノ痕アリ、逓信省派遣技手ノ説明ニ依レハ極寒ニ際シ積雪軒先ニ氷結シテ堤ヲ造リ解雪ノ候、屋上ノ融水停滞シ流レ先キナキ爲メ自然瓦ノ葺合ヨリ屋根ノ下地ヲ通過シ内部ノ壁ニ浸入スルモノナリト云フニアリ、右ハ畢竟施設其宜シキヲ得サルニ因ルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 青森郵便局舎軒下ニ於テ漆喰剝落ノ箇所ヲ生シタルハ多期軒上ノ積雪晝間稍、融解シ其水軒先ヲ經テ漆喰壁ニ傳ハリ夜間凝結シテ氷柱狀トナリ日ヲ經ルニ從ヒ漸次膨大シ而シテ初春暖氣ノ候ニ至ルヤ壁面漆喰ノ附著セル儘自己ノ重量ニ依リテ墜落スル爲生シタルモノナリ又屋根下ヨリ漏水ノ箇所ヲ生シタルハ該局舎新築ノ際既往ノ實驗ニ鑑ミ屋根軒先廻リ數尺ハ特ニ瓦下ヘ亞鉛引鐵板ヲ張り之ヲ土層葺ニ替ヘ以テ冬季屋上積雪ノ融解ヨリ生スル水ノ瓦裏ニ滲入シ自然ニ間内ヘ漏出スルヲ防クノ施設ヲ爲シタルモ寒威嚴ニ積雪深キ際偶、氣候劇變シ急ニ溫暖ヲ催シタル爲屋上上部ニ在ル積雪ノ下層ハ融解スルモ軒先ノ凝雪ニ支ヘラレ滴リ落ツルノ途ナク漸次停滞シテ瓦裏ニ滲入セリ然ルニ其融水ノ間内ヘ漏出スルヲ防クヘキ亞鉛引鐵板カ寒威ノ激變ニ因リ伸縮ヲ來タシ接合部分ニ於テ分離ノ箇所ヲ生シタルモノアルカ爲邊ニ之ヨリ漏水スルニ至リタルモノナリ

依是觀之本件ハ畢竟氣候ノ關係殊ニ寒暖ノ激變ヨリ生シタル事故ニシテ局舎新築工事上其宜シキヲ得サルカ爲生シタルモノニアラサルカ故ニ不當ノ支出ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

第六款 官設既成鐵道改良費 第一項 官設既成鐵道改良費

【報告】 (四五) 鐵道作業局ノ支出ニ係ル

五〇八、〇〇〇

ハ明治三十三年度以降本年度ニ至ル間ニ於テ鐵道作業局工務部名古屋保線事務所雇川澄某カ計算事務擔任中現場主任ヨリ提出シタル岐阜大垣間既成鐵道改良工費用職工人夫使役報告表ノ使役人員及賃金額ヲ改竄増加シテ請負人ヨリ使役以外ノ賃金ヲ要求セシメ詐取シタル參千六百八拾八圓ノ内ニシテ參千八百八拾圓ハ三十三年度乃至三十六年度ニ屬スルモノナリ、右ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通依テ當事者ハ刑法上ノ處分ヲ受ケ責任者ハ之ヲ處分シ又其不當ノ支出ニ係ル金額ハ工事請負人ヨリ任意辨償ノ旨申出テタルヲ以テ全部之カ收納ヲ了セリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

明治三十七年度 逓信省 (四五)

一三九



【報告】 (四六) 鐵道作業局ノ支出ニ係ル

ハ岐阜大垣間改良工事中雁ヶ坪避溢橋及五六川橋梁工事費參萬貳千九百六拾五圓四拾參錢七厘ノ内ニシテ壹萬四千八百參拾圓六拾錢九厘ハ前年度ニ於テ支出シタルモノナリ、明治三十八年四月ノカ實地ヲ検査スルニ竣功後未タ一箇月ヲ出テサルニ雁ヶ坪西橋臺袖石垣ハ前面ニ傾斜スルコト一呎十一吋二分ノ一ニシテ橋臺ト袖石垣ノ間ニ四吋四分ノ一ノ罅裂ヲ生シ五六川西橋臺袖石垣ハ前面ニ傾斜スルコト八吋四分ノ三ニシテ橋臺トノ間ニ一吋八分ノ一ノ罅裂ヲ生セリ、依テ之カ原因及復舊ノ方法ヲ當該官吏ニ推問セシニ橋臺背部築堤ノ用土ハ乾燥セルトキ又ハ少量ノ水分ヲ含ミタル場合ニハ普通硬性ノモノト異ナラサルモ一度多量ノ水分ヲ吸收スルトキハ非常ニ軟弱ナル状態ニ變スルコトヲ發見セリ、是ニ由テ之ヲ觀レハ其橋臺及袖石垣ニ異狀ヲ呈シタルハ橋臺背部築堤工事半成ノ際ニ於テ大雨ニ遭遇シ土質ニ變狀ヲ來シ突然不測ナル強壓ノ衝ニ當リタルニ因ル、而シテ之ヲ復舊セントスルニ橋臺及袖石垣ハ單ニ罅裂又ハ傾斜ノ部分ヲ改築スルノミニテハ到底將來ノ安全ヲ保シ難キヲ以テ必要ニ應シ一部又ハ全部ヲ解毀シ之ヲ積ミ直スト同時ニ更ニ壁厚ヲ増擴シ背部ニ砂利ヲ埋立ツルコト、シ其費用壹萬九千餘圓ヲ要スルノ見込ナリト答辯セリ、右ハ施設其宜シキヲ得ス竣工後幾クナラサルニ之カ改修ヲ要スルニ至リタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

一四〇

一八、一三四八<sup>円</sup>八二八

【辨明】

岐阜大垣間改良工事中雁ヶ坪及五六川各西橋臺袖石垣ノ傾斜罅裂ヲ生シタルハ蓋シ橋臺背部築堤ノ用土カ大雨ノ爲多量ノ水分ヲ吸收シ非常ニ軟弱ノ状態ニ變シタル際通過列車ノ強壓ヲ受ケ之ニ堪ヘ得サリシニ由ルモノト認ムルノ外ナキモ該用土ハ工事執行中普通ノ状態ニ在リテ何等ノ異狀ヲ呈セザリシニ依リ其竣工後ニ至リ前級ノ如キ變態ヲ生スルコトアルヘシトハ到底人智ノ豫想スル能ハサル所ナリ從テ單ニ之カ變態ヲ見テ直ニ當初ノ施設其宜ヲ得スト謂フハ頗ル難キヲ責ムルノ嫌ヲ免レス要スルニ本件ハ全ク不測ノ事故ニシテ設計又ハ施工上過失アリタルノ結果ニアラサルカ故ニ不當ノ支出ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

國 債

煙草專賣法ニ反シ内國產葉煙草ヲ買上ケ國庫債券ヲ發行シタルモノ一件(四七)

三、一四二、七〇〇<sup>円</sup>〇〇〇

煙草專賣法發布ノ際現存セサル建物ニ對シ交付金ヲ増給シタルモノ一件(四八)  
合計二件

一、一六五、〇〇〇<sup>円</sup>〇〇〇  
三、一五四、三五〇<sup>円</sup>〇〇〇

【報告】

(四七) 煙草專賣法ニ依リ發行シタル國庫債券中

三、一四二、七〇〇<sup>円</sup>〇〇〇

ハ同法第七十二條但書ニ依リ内國產葉煙草四十六萬八千六百九十二貫二百匁ノ買上金トシテ卷煙草製造業者東京市岩谷某外二名ニ對シ給付シタル參百拾四萬貳千七百八拾八圓貳拾七錢六厘ノ内ニシテ端金八拾八圓貳拾七錢六厘ハ大藏省所管歲出臨時部十七款臨時事件費、第一項臨時事件費ヨリ支出シタルモノナリ、然ルニ本年度ニ於テ内國產葉煙草ヲ買上ケ且ツ之カ代金ニ充ツル爲メ國庫債券ヲ發行シタルハ同法ノ規定外ト認メ、之カ事由ヲ大藏大臣ニ質問セシニ其辯明ノ要旨ハ第七十二條但書ニ於テ買上ヲ爲スヘキ葉煙草ヲ外國產ニ限定シアルモ其精神ハ營業權喪失ノ爲メ不流通ニ歸セル葉煙草ノ處分ニ對スル便宜ヲ圖ルニアリ、而シテ當時卷煙草製造業者ノ所持シタル内地產葉煙草ハ概ネ品質優等高價ニシテ刻煙草製造業者ニ讓渡セントスルモ之ニ應スルモノナク品位性質等外國葉ニ準スヘキモノト認メタルノミナラス卷煙草製造開始ノ準備ヲ爲スニ當リ事業經營上ノ便宜モアルヲ以テ右條項ヲ準用シ之カ買上ヲ爲シ同第八十九條ニ依リ國庫債券ヲ發行シタリト云フニアリ、然レトモ煙草專賣法第七十二條但書ハ明ニ買上ヲ爲スヘキ葉煙草ヲ外國產ニ限定シ同法第八十九條ニ於テ其買上金ニ充ツル爲メ國庫債券ヲ發行スルヲ得ル旨規定セル以上ハ假令當時ノ事情已ムヲ得サルモノアリトスルモ本年度ニ於テ内國產葉煙草ノ買上ヲ爲シ之カ爲メ國庫債券ヲ發行シタルハ違法タルヲ免レス、依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

本項内國產葉煙草ヲ買上ケ國庫債券ヲ以テ給付シタルハ煙草製造準備等ノ必要上煙草專賣法第七十二條但書ノ精神ニ依リテ買上ヲ爲シ同法第八十九條ニ依リ本人ノ請求ニ基キ之ヲ給付シタルモノナリ

【貴決】 内國產葉煙草ヲ買上ケ國庫債券ヲ發行シタルモノニシテ煙草專賣法ニ依リ此ノ處分ヲナシ得ヘキハ唯外國產葉煙草ノ買上ケヲナス場合ニ限レルニ拘ラス政府力之ヲ内國產葉煙草ニ適用シタルハ法律ニ違背セル不當ノ處置ナリト雖當時ノ事情已ムヲ得サルモノアルヲ以テ決議案ヲ提出スルノ必要ナシト認ム

【衆決】 違法



(參照) ○煙草專賣法(明治三十七年四月一日)

第七十二條(二二六頁參看)

第八十九條第一項 第七十條第七十三條ノ補償金、第七十二條第七十四條ノ買上金及第七十五條ノ交付金ニ充ツル爲政府ハ國庫債券ヲ發行スルコトヲ得

【報告】

(四八) 煙草專賣法ニ依リ發行シタル國庫債券中

一一、六五〇〇〇

ハ煙草製造業者大阪市皆野某ニ對シ交付シタル煙草專賣法第七十五條第一項ノ交付金九千九百九拾九圓八錢五厘同項但書ノ増給額千六百六拾六圓五拾壹錢四厘合計壹萬千六百六拾五圓九錢九厘ノ内ニシテ端金拾五圓五拾九錢九厘ハ大藏省所管歳出臨時部第十七款臨時事件費、第一項臨時事件費ヨリ支出シタルモノナリ、然ルニ同人カ煙草製造用ニ供シタル本件建物ハ僅ニ十六坪ニシテ明治三十七年六月中ノ建築ニ係リ同法發布ノ際現在セサルモノナルヲ以テ増給額千六百六拾餘圓ハ支給スヘキモノニアラスト認メ、當該官吏ニ推問セシニ右ハ三十七年六月三十日ノ現所有ヲ標準ト爲シタルモノナル旨答辯セリ、然レトモ同法第七十三條ニ於テ法律發布ノ際現在スル煙草製造用ノ建物敷地等ハ政府之ヲ徵收シ得ヘク其徵收目錄ハ法律發布後六十日間ニ作成告知スヘキ旨ヲ定メ、第七十五條第一項但書ヲ以テ建物敷地ノ全部ノ徵收又ハ買上ヲ受ケサル者ニ對シ交付金ヲ増給スルノ規定ヲ爲シタルニ由リテ觀レハ増給ニ就テハ實ニ三十七年六月三十日ノ現所有ヲ必要トスルノミナラス尙ホ其所有建物等ハ法律發布ノ際現在シタルモノナラサルヘカラサルヤ明ニシテ右建物ニ對シテハ交付金ヲ増給スヘキモノニアラス、依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

本件ハ煙草專賣法第七十五條第一項但書ニ依リ増給シタルモノナリ抑モ同法第七十三條ハ政府ノ徵收シ得ル權限ノ範圍ヲ規定シ第七十五條ハ一般ニ徵收又ハ買上ヲ受ケサル物件ニ對スル救済方法ヲ決定シタルモノニシテ同條但書ニ所謂煙草製造用ノ建物ハ必シモ法律發布ノ際ニ現在スルモノタルヲ要セス故ニ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○煙草專賣法(明治三十七年四月一日)

第七十三條 本法發布ノ際ニ現在スル煙草製造用ノ建物、其ノ敷地及其ノ製造場備付ノ煙草製造用ノ器具機械ハ政府ニ於テ之

ヲ徵收スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ニ對シ補償金ヲ交付ス

政府ハ本法發布ノ後煙草製造業者ノ營業場ニ就キ前項ニ依リ徵收スヘキ物件ヲ調査シ徵收目錄ヲ調成ス

徵收目錄ハ本法發布後六十日以内ニ之ヲ所有者ニ告知ス

前項ノ告知後ハ所有者ハ政府ノ承認ヲ受ケルニ非サレハ徵收目錄ニ記載シタル物件ヲ處分スルコトヲ得ス

第七十五條第一項(二二六頁參看)

【報告】

明治三十七年度各特別會計歳入ノ賦課徵收、歳出ノ使用ニ於テ豫算又ハ法律勅令ニ違背シタル事項ハ

歳入ニ於テ

葉煙草ノ賣渡並ニ徵收ヲ爲スニ當リ措置宜シキヲ得ス買受人ニ不當ノ利益ヲ得セシメ國庫ニ巨額ノ損失ヲ生セシメタル

モノ二十件 二、四三五、七九三、七一六

葉煙草ノ賣渡ヲ爲スニ當リ措置宜シキヲ得ス巨額ノ減收ヲ來シタルモノ十八件 九九〇、六六二、七二四

合計三十八件 三、四二六、四五六、四三〇

歳出ニ於テ

豫算ノ使用其當ヲ得サルモノ一件 一六九、二九八、〇〇〇

作業費ヲ以テ擴張事業ノ經費ヲ支辨シタルモノ一件 三三二、七五一、一九七

粗悪ノ工事ヲ施行シタルカ爲メ巨額ノ改築費ヲ要スルニ至リタルモノ一件 三七、三七八、三〇二

物件ヲ購買スルニ當リ供給者ノ選定契約ノ方法宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ生セシメタルモノ一件 一、四四二、五八〇

競争入札ニ付スヘキ物件ノ購買ヲ隨意契約ニ依リタルモノ四件 五〇、五八一、二五〇

明治三十七年度

一四三



明治三十七年度 臺灣總督府 (四九)

物件ヲ運搬セシムルニ當リ國庫ニ損失ヲ生セシメタルモノ一件

其他不當ナルモノ四件

合計十三件

一四四

四、四五四<sup>円</sup>六〇〇

七、〇九四九一四

三〇三、〇〇〇八四二

ナリ

特別會計

內務省所管

臺灣總督府

歳出

豫算ノ使用其當ヲ得サルモノ一件(五〇)

其他不當ナルモノ四件(四九)(五一)(五二)

合計五件

一六九、二九八<sup>円</sup>〇〇〇

七、〇九四九一四

一七六、三九二九一四

歳出經常部

第十八款 臺灣官設鐵道事業費 第六項 事業費

一、七一二二<sup>円</sup>一九

【報告】 (四九) 臺灣總督府鐵道部ノ支出ニ係ル

ハ苗栗隧道南坑門上崩壞箇所斜面煉瓦張及軟岩保護張石其他排水溝等ノ請負工事費ニシテ外ニ七百貳拾八圓七拾八錢六厘ノ材料及雜品ヲ使用シ明治三十七年十一月三十日竣功ヲ告ケタルモノナリ、然ルニ三十八年一月實地検査ノ際ニ於テ既ニ張石ノ中央ニ孕ミヲ生シ各所ニ龜裂ヲ來シ早晚崩壞ヲ免レサルノ状態ナリシカ翌二月風雨ノ爲メ遂ニ崩壞シ同九月ニ至リ更ニ工費六千參百四拾七圓六拾貳錢六厘ヲ以テ之カ改修ヲ爲セリ、抑、該所ハ三十六年二月工費千貳百貳拾圓餘ヲ以テ切附工事ヲ施シ同七月工費參百七拾參圓餘ヲ以テ土留石垣及排水溝ヲ設置シタルニ幾クナラスシテ崩壞シ同九月工費九百參拾六

圓餘ヲ以テ切附修繕土留、排水工事ヲ施行シタルニ三十七年七月風水害ヲ被リ再ヒ崩壞セルヲ以テ本件工事ヲ施行シタルモノナリ、當該官吏説明ノ要旨ハ三十七年七月強風雨ノ際崩壞ヲ來シタルモ地盤軟弱ナルヲ以テ外部ヨリノ風雨ノ侵害スルヲ防止セハ崩壞ノ虞レナキ見込ヲ以テ張石ニ止メタリ、然ルニ三十八年一月ヨリ二月ニ至ル淫雨ハ上部ヨリ侵潤シ同月二十三日遂ニ崩壞ヲ來スニ至リタルモノニシテ當初ヨリ多額ノ工事費ヲ投シ完全ナル施設ヲ爲スニ於テハ崩壞セサリシコト明ナリト雖モ當時其必要ヲ認メサリシモノナリト云フニアリ、然レトモ其工事ハ扣約八寸餘、裏込ノ厚サ一尺五寸、勾配五分、法高最高四十三尺餘ノ玉石練積ニシテ再度ノ崩壞ヲ被リタル箇所ニ對スル復舊工事トシテ適當ナルモノト認ムルヲ得ス、要スルニ本件ハ設計宜シキヲ得ス姑息ノ工事ヲ施行シ工費ヲ無用ニ歸セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辯明】 工事ノ相當ト認メタル設計ニ依リ施行シタルモノナルモ竣功後數回ノ風雨ノ爲メ諸所破壞セラレタルモノニ係リ且其箇所ハ同一箇所ノ再度崩壞セラレタルモノニアラス故ニ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 不當

歳出臨時部

第一款 特別事業費 第三項 臨時臺灣土地調査費

【報告】 (五〇) 臨時臺灣土地調査局ノ支出ニ係ル

一六九、二九八<sup>円</sup>〇〇〇

ハ本年度中給與シタル賞與金ニシテ拾四萬四百八拾貳圓ハ本局官吏ニ、九千五百七拾圓ハ本事業ニ關係セル他廳官吏ニ、壹萬五千五拾壹圓ハ本局雇員ニ、四千九百九拾五圓ハ囑託員及傭人ニ支給シタルモノナリ、今之ヲ俸給及給料ニ對比スルニ本局官吏ノ賞與ハ其俸給支出額ノ十二割九分餘、同雇員ノ賞與ハ其給料支出額ノ二割八分餘ニ相當シ、更ニ判任官ニ就キ給與ノ實蹟ヲ觀ルニ一年度内同一人ニ對シ數回ノ賞與ヲ行ヒ一回ノ者ハ百八十六人四萬七百九拾參圓ニシテ二回ノ者百二十三人參萬九千七百四拾貳圓、三回ノ者四十人壹萬四千六百九拾八圓ニ及ヒ尙ホ四回ノ多キニ至リタル者八人アリ、而シテ一人ニ對スル給與額俸給ノ年額以上ニ達セル者頗ル多ク甚シキハ一年九箇月ニ相當セル者アリ、右ハ事業ノ終了ニ際シ豫算

明治三十七年度

臺灣總督府 (五〇)

一四五



【辨明】 人豊富ナルニ乗シ溢リニ經費ヲ支出シタルモノニシテ不當ナリトス  
事業ノ進捗ヲ圖ルカ爲メ數回ニ各員ノ功績成績等ヲ考量審査シ其成績ノ優秀ナルモノニ賞與ヲ給シテ獎勵シ又本事業ノ創始ヨリ完結ニ至ル迄多年從事シ此大業ヲ完成セシメタル功勞ニ對シ行賞ヲ爲シタルモノニシテ敢テ過當ノ賞與ヲ爲シタルモノニアラス故ニ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 不當

【報告】 (五一) 臨時臺灣土地調査局ノ支出ニ係ル

ハ堡圖測量派出所夜業用石油三十二石六斗七升ノ購入代

七八〇<sup>円</sup>五二〇  
一七三四二二三〇

ハ同派出所及所員ノ移轉等ニ要シタル運搬費ニシテ右ハ明治三十六年度検査報告ニ詳悉セシト同シク使用シ得ヘキ經費ノ最高限度ヲ以テ毎ニ實際ノ出費トシ正當債權者ニアラサルモノ、領收證書ヲ以テ證明シ其使途判明ナラサルモノニシテ不當ナリトス(明治三十六年度(四九)八八頁參看)

【辨明】 石油及運搬費ニ付テハ多年ノ實驗ニ依リ一定ノ額ヲ定メ支給シタルモノニシテ多額ナルモノニアラス又其購入ハ便宜ノ方法ニ依リ購入シタルモノナリ故ニ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 承認

【報告】 第十五款 災害費 第一項 風水害復舊工事費

【報告】 (五二) 臺灣總督府ノ支出ニ係ル

ハ嘉義模範製紙場水路復舊工事費中、水路開鑿費參千六拾圓貳拾錢、水路橋架設費貳千四百拾圓參錢合計五千貳百圓貳拾參錢ノ内ニシテ參千參百參拾七圓貳拾八錢五厘ハ前年度ニ於テ支出シタルモノナリ、右ハ明治三十六年度検査報告ニ詳悉セシト同シク水路敷練積用材料及勞力ハ使用ノ實蹟明ナラス水路橋ハ施設宜シキヲ得サルカ爲メ之カ工費ヲ無用ニ歸セシムルニ至リタルモノニシテ不當ナリトス(明治三十六年度(五二)九〇頁參看)

【辨明】 本項水路橋ハ崩壞セス且其設計ハ不當ニアラス又水路中練積ヲ爲シタル形跡ナシト云ヘルモ必要ノ部分ニハ現ニ施工シアリ故ニ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 承認

大藏省所管

煙草專賣局

歳入

葉煙草ノ賣渡並ニ徵收ヲ爲スニ當リ措置宜シキヲ得ス買受人ニ不當ノ利益ヲ得セシメ國庫ニ巨額ノ損失ヲ

生セシメタルモノ二十件(五三)(五四)(五五)

二、四三五、七九三<sup>円</sup>七二六

葉煙草ノ賣渡ヲ爲スニ當リ措置宜シキヲ得ス巨額ノ減收ヲ來シタルモノ十八件(五六)

九九〇、六六二<sup>円</sup>七二四

合計三十八件

三、四二六、四五六<sup>円</sup>四三〇

歳出

物件ヲ購買スルニ當リ供給者ノ選定契約ノ方法宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ生セシメタルモノ一件(五七)

一、四四二<sup>円</sup>五八〇

歳入

第一款 專賣局作業收入 第一項 作業收入

【報告】 (五三) 府中葉煙草收納所ノ收入ニ係ル

一一〇、五九二<sup>円</sup>一〇四

ハ明治三十八年三月十八日千葉縣田母神某ニ賣渡シタル葉煙草一萬三千二百三十六貫百匁ノ代金ナリ、抑、該葉煙草ハ當初東京市龜澤某ニ於テ豫約保證トシテ時價貳萬五千七百六拾圓ノ有價證券ヲ提供シ三十八年二月取引スルノ豫約ヲ爲シタルモ期限ニ至リ履行セサルヲ以テ該保證物ヲ沒收スヘキ筈ナルニ同人ヨリ水戸收納所其他ニ類例アルニ付延期セラレタキ旨申請シ來リタルニヨリ同收納所ハ其取扱方ニ關シ專賣局ノ指揮ヲ請ヒ同局ヨリ賣渡豫約ハ延期シ難キモ整理上多少ノ日子ヲ延ハスハ別段支障ナク又政府ノ都合ヲ以テ一旦解約シ更ニ豫約賣渡ヲ爲スモ可ナリ且ツ目下賣渡上ノ都合及ヒ金融ノ如何モ察セサルヘカラサルニヨリ事情調査ノ上適宜穩當ニ處理スヘキ旨ノ通牒ヲ得テ延期ヲ爲シ三月十八日前記代金ヲ以



テ其豫約承繼人ニシテ從來龜澤某ノ代理人タリシ田母神某ニ賣渡シタリ、然レトモ同年度ハ餘ス所僅ニ十餘日ニ過キスシテ買受人ハ葉煙草ノ儘三十八年度ニ持越シタル爲メ煙草專賣法第七十條ニ依リ三十八年度始ニ於テ龜澤某ヨリ其全部ヲ徵收スルニ至レリ、然ルニ之カ徵收ニ際シ其保償金額ヲ拾貳萬六千參百九拾七圓四拾五錢四厘トシ當初賣渡代ニ比スレハ五千八百五圓參拾五錢ヲ増加セルノミナラス其賣渡代ハ延納ヲ許可シ三十八年六月二十六日之ヲ收入セルニ補償金ハ賣渡代ノ納入ニ先チ同五月九日及十二日ノ兩日ニ之ヲ交付セリ、依テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ本件葉煙草ハ前年十二月ニ於ケル賣渡豫約品ナルヲ以テ之ヲ製造シ盡スト否トニ深ク注意ヲ用ヒス又豫約ノ解除ヲ爲サンカ本人ハ直チニ賣渡ヲ請求スルニ至ルヘク然ルトキハ何分多額ノ數量ナルニ加ヘテ孰モ出張所ノ在庫品ニ付之カ整理モ容易ノ業ニアラス殊ニ其當時ハ年度末ニ迫リ事務繁劇ノ折柄ナリシニヨリ多少ノ日延ヲ爲スコトハ本所ニアリテモ亦望ム所ナリシ此際ニ當リ本人ヨリハ非常ニ延期ヲ切望セルニ由リ旁、以テ豫約ヲ解除セス又賣渡代金ト補償額トノ間ニ五千餘圓ノ差違アルハ徵收ニ際シ所定標本ニ比準評價セルニ概シテ元等級ニ比シ品質良變セルヲ以テ自然補償額ヲ昂進セリト答辯セリ、然レトモ煙草製造專賣ノ實施期漸ク近ツキ民間ノ持越シ葉煙草ハ政府一切之ヲ徵收スヘキノ時ニ際シ期限内ノ製造ニ必要ナルヤ否ヤヲ調査スルコトナク漫然情願ヲ容レテ豫約期限ヲ延長シ日ナラスシテ官ニ徵收スヘキコト明ナル葉煙草ヲ賣渡シタルノミナラス更ニ之ヲ徵收スルニ當リ量目ハ賣渡當時ト同一ナルニ著シク補償額ヲ増加シタルハ適當ノ處置ト認メ難シ、當該官吏ハ其品質良變シタリト稱スルモ其徵收ヲ決定シタルハ三十八年四月二十二日及五月五日ニシテ賣渡ノ日ヲ距ル一箇月餘ニ過キス醗酵時期ニアラスシテ此短期間ニ品質ノミ良變セリト云フカ如キハ到底之ヲ事實ト認ムルヲ得ス、要スルニ本件ハ葉煙草賣渡並ニ徵收ノ方法宜シキヲ得ス買受人ヲシテ不當ノ利益ヲ得セシメ國庫ニ少カラサル損失ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本項徵收ノ時期切迫ニ際シ豫約期限ヲ延長シ葉煙草ノ賣渡ヲ爲シタルハ當時民間ノ煙草製造力ハ平時ノ數倍ニ上ルノ狀況ナリシヲ以テ其賣渡葉煙草ハ民製品ノ原料トシテ使用セラルヘキコトヲ豫期シタルニ依ル又之ヲ徵收スルニ當リ補償額ヲ増加シタルハ葉煙草ノ通有

性ニ基ク品位良變ノ結果ニ依ルモノナリ元來葉煙草ハ耕作人カ之ヲ收納所ニ納付スル際ニ於ケル状態ハ尙未ダ成熟ノ進行中ニ在ルモノニシテ爾後貯藏中漸次ニ醗酵ヲ遂ケ以テ固有ノ成熟ヲ完了スルモノナリ又葉煙草ノ重量ハ貯藏久シキニ隨ヒ漸次幾分ノ減量ヲ免ル、コト能ハス而シテ貯藏當ヲ得ハ一定期間迄ハ此減量ト共ニ品位上進ノ件ヲコトハ如何ナル葉煙草ニモ固有ノ特性ナリト雖モ又一面空氣中ノ湿度ト葉煙草ノ吸水水分ノ量トハ互ニ相一致スルカ故ニ葉煙草ノ徵收ニ從事シタル比較的湿度ノ高キ時季ニ在テハ一度放散シタル水量ノ舊態ニ復スル場合渺カラスシテ斯ル場合ニ於ケル量目ハ元量目ニ比シ反テ増加ヲ示セルコトアリ而シテ葉煙草賣渡ノ際ニ於テハ從前ノ規定ニ依リ品位量目ヲ更訂スルコトナク一ニ收納當時ノ品位量目ニ依テ賣渡ヲナシ徵收ノ際ハ現品ニ就テ一々鑑査ヲナシ現在ノ品位量目ニ依テ徵收ヲナシタルモノニシテ收納ト徵收トノ間ニハ數箇月ノ日子ヲ經過セルヲ以テ其間ニ於テ品位量目ノ増減變更アリタルハ當然ナリトス因テ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○煙草專賣法(明治三十七年四月一日)

第七十條 左記ノ物件ハ政府之ヲ徵收シ之ニ對シ補償金ヲ交付ス

三 明治三十八年三月三十一日ニ現在スル葉煙草

【報告】

(五四) 東京葉煙草收納所外八箇所ノ收入ニ係ル

一、三八四、〇九二、九八三

ハ東京市龜澤某ニ賣渡シタル葉煙草三十六萬五千九百五十二貫三百八十匁ノ代金ナリ、抑該葉煙草ハ明治三十七年十一月ニ於テ一萬九千八百餘貫、同十二月ニ於テ十二萬八千六百餘貫、三十八年一月ニ於テ一萬六千三百餘貫、同三月ニ於テ二十萬九百餘貫ヲ賣渡シタルモノナルモ孰モ年度内ニ製造スルニ至ラス其儘三十八年度ニ持越シタルカ爲メ煙草專賣法第七十條ニ依リ之ヲ徵收スルニ至レリ、然ルニ之カ徵收ニ際シ十八萬七千三百八十二貫七百七十匁ハ同一量目ナルニ拘ラス補償金額ハ九拾萬九千百拾五圓九錢六厘トシ賣渡代金八拾五萬九千參百參拾參圓四拾七錢壹厘ニ比シ四萬九千七百八拾壹圓六拾貳錢五厘ヲ増加シ十七萬八千五百六十九貫六百十匁ハ賣渡當時ノ量目ヨリ百四十四貫六百匁ヲ減少シタルモ補償金額ヲ五拾六萬六千六百八拾七圓六拾錢貳厘トシ賣渡代金五拾貳萬四千七百五拾八圓五拾壹錢貳厘ニ比シ四萬九千九百貳拾九圓九錢ヲ増加シタルカ爲メ賣渡代金ニ對シ補償金額ノ増加セルモノ合計九萬九千七百拾圓七拾壹錢五厘ニ及ヒ内賣渡場所ト徵



收場所ト異ナルカ爲メ其廻送費ヲ斟酌加算セル金額壹萬千四百七拾四圓拾八錢九厘アルヲ以テ之ヲ控除スルモ尙ホ差額八萬貳百參拾六圓五拾貳錢六厘ナリ、而モ賣渡代金ハ概ネ之カ延納ヲ許可セルニ補償金ハ徵收決定ト同時ニ之ヲ交付シ賣渡代金納入ノ補償金交付ニ後ル、コト數箇月ニ及ヘルモノアリ、依テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ該葉煙草ハ三十八年三月三十一日マテ即チ法令ノ營業期間ニ於テ賣渡ヲ請求シタルニ由リ之ヲ賣渡シタルモノニシテ賣渡代金ト補償價額トノ間ニ差違アルハ品質ニ變化ヲ來シタル結果ナリ又補償金交付ノ際賣渡代金ノ納入ニ至ラサルモノアリシハ代金納入以前ニ於テ徵收ヲ爲スヘキ時期到來シタルニ由ルト云フニアリ、然レトモ煙草製造專賣ノ實施期漸ク近ツキ民間ノ持越シ葉煙草ハ政府一切之ヲ徵收スヘキノ時ニ際シ其期限内ノ製造ニ必要ナルヤ否ヤヲ調査スルコトナク漫然之ヲ賣渡シ更ニ之ヲ徵收スルニ當リ量目ハ殆ト同一ナルニ著シク補償價額ヲ増加シタルハ適當ノ處置ト認メ難シ、當該官吏ハ品質良變シタリト稱スルモ其大部分ハ賣渡ヨリ徵收ニ至ル間一二箇月ニ過キスシテ醱酵時期ニアラサルヲ以テ此短期間ニ品質ノミ良變セリト云フカ如キハ之ヲ事實ト認ムルヲ得ス、要スルニ本件ハ葉煙草賣渡並ニ徵收ノ方法宜シキヲ得ス買受人ヲシテ不當ノ利益ヲ得セシメ國庫ニ少カラサル損失ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本項葉煙草ノ賣渡ハ當業者ノ請求ニ應シ賣渡ヲ爲スヘキ規定ニシテ故ナク之レヲ拒絕スルコト能ハス然カモ制度ノ過渡時代ニ於ケル當時煙草界ノ盛況ハ世上ノ認メタル如ク各製造業者何レモ全力ヲ擧ケテ多數ノ製造ヲナシ實ニ平時ノ數倍ニ上レリ隨テ之ニ要スル原料葉煙草ハ甚シク不足ヲ告ケタル爲メ營業者ハ政府ニ對シ屢其不足ヲ訴ヘ之レカ賣渡ヲ迫リテ止マヌ政府ハ原料ノ不足ヲ目前ニ看過シ賣渡ヲ拒絕スルハ穩當ナラスト認メタルニ依リ事業經營上必要ナル貯藏額ヲ除キ之ヲ賣渡シタルモノナリ而シテ其賣渡代金ハ一定ノ擔保ヲ提供シタル場合ハ政府ノ都合ニ依リ六箇月間以内ノ延納ヲ許可シ得ルノ手續ナルヲ以テ請求ニ依リ相當ノ延納ヲ許可シタルモノナリ隨テ延納期間ノ滿了スルニ非レハ其代金ヲ納入セシムルコトヲ得ス然ルニ臨時煙草製造準備局ノ取扱ニ係ル葉煙草ノ徵收ハ煙草專賣法ニ依リ明治三十八年三月三十一日現在ノ葉煙草ヲ徵收スヘキ規定ニシテ然カモ準備事務ハ速ニ終了セシムルノ必要アルヲ以テ延納賣渡代金納入ヲ待ツノ暇ナク徵收時期ノ到來ト共ニ之レカ徵收ヲシタルモノナリ其賣渡量目ト徵收量目カ同一若クハ減少セルニ對シ補償價格ノ賣渡代金ニ對シ増加セルモノアルハ前項ニ詳述セル如ク葉煙草ノ特性ニ依ル品位良變ノ結果ナリトス因テ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○煙草專賣法第七十條(一四九頁參看)

【報告】

(五五) 熊本葉煙草收納所外九箇所ノ收入ニ係ル

九三二、一〇九<sup>四</sup>六二九

ハ渡邊某外三十名ニ賣渡シタル葉煙草三十三萬二千五百六十一貫八百二十匁ノ代金百六萬千四百參拾九圓拾七錢九厘ノ内ニシテ拾參萬參百貳拾九圓五拾五錢ハ收入未済トシテ明治三十八年度ニ繰越シタルモノナリ、抑、該葉煙草ハ三十八年一月ニ於テ六千七百餘貫、同二月ニ於テ二萬六千三百餘貫、同三月ニ於テ二十九萬九千五百餘貫ヲ賣渡シタルモ孰モ年度内ニ製造スルニ至ラス其儘三十八年度ニ持越シタルカ爲メ煙草專賣法第七十條ニ依リ徵收スルニ至レリ、然ルニ之カ徵收ニ際シ右ノ内十八萬七千七百七十一貫六百六十匁ハ同一ノ量目ナルニ拘ラス補償金額ヲ六拾壹萬貳千貳拾貳圓七拾參錢トシ賣渡代金六拾萬千貳百七拾圓拾貳錢參厘ニ比シ壹萬九千五百五拾貳圓六拾錢七厘ヲ増加シ、十四萬四千七百九十貫六十匁ハ賣渡當時ノ量目ヨリ五百九十八貫四百匁ヲ減少シタルモ補償金額ヲ四拾七萬九千九百九拾貳圓七拾錢貳厘トシ賣渡代金四拾六萬百六拾九圓五錢六厘ニ比シ壹萬九千貳拾參圓六拾四錢六厘ヲ増加シタルカ爲メ賣渡代金ニ對シ補償金額ノ増加セルモノ合計貳萬九千九百七拾六圓貳拾五錢參厘ニ及ヒ、内賣渡場所ト徵收場所ト異ナルカ爲メ其廻送費ヲ斟酌加算セル金額百五拾壹圓四拾貳錢六厘アルヲ以テ之ヲ控除スルモ尙ホ差額貳萬九千八百貳拾四圓八拾貳錢七厘ナリ、而モ賣渡代金ハ概ネ之カ延納ヲ許可セルニ補償金ハ徵收決定ト同時ニ之ヲ交付シ賣渡代金納入ノ補償金交付ニ後ル、コト數箇月ニ及ヘルモノアリ、右ハ前項ニ詳悉セシト同シク葉煙草賣渡並ニ徵收ノ方法宜シキヲ得ス買受人ヲシテ不當ノ利益ヲ得セシメ國庫ニ少カラサル損失ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本項葉煙草ノ賣渡ハ當業者ノ請求ニ應シ賣渡ヲ爲スヘキ規定ニシテ故ナク之レヲ拒絕スルコト能ハス然カモ制度ノ過渡時代ニ於ケル當時煙草界ノ盛況ハ世上ノ認メタル如ク各製造業者何レモ全力ヲ擧ケテ多數ノ製造ヲナシ實ニ平時ノ數倍ニ上レリ隨テ之ニ要スル原料葉煙草ハ甚シク不足ヲ告ケタル爲メ營業者ハ政府ニ對シ屢其不足ヲ訴ヘ之レカ賣渡ヲ迫リテ止マヌ政府ハ原料ノ不足ヲ目前ニ看過シ賣渡ヲ拒絕スルハ穩當ナラスト認メタルニ依リ事業經營上必要ナル貯藏額ヲ除キ之ヲ賣渡シタルモノナリ而シテ其賣渡代金ハ一定ノ擔保ヲ提供シ



タル場合ハ政府ノ都合ニ依リ六箇月間以内ノ延納ヲ許可シ得ルノ手續ナルヲ以テ請求ニ依リ相當ノ延納ヲ許可シタルモノナリ隨テ延納期  
間ノ滿了スルニ非レハ其代金ヲ納入セシムルコトヲ得ス然ルニ臨時煙草製造準備局ノ取扱ニ係ル葉煙草ノ徵收ハ煙草專賣法ニ依リ明治三  
十八年三月三十一日現在ノ葉煙草ヲ徵收スヘキ規定ニシテ然カモ準備事務ハ速ニ終了セシムルノ必要アルヲ以テ延納賣渡代金納入ヲ待ツ  
ノ暇ナク徵收時期ノ到來ト共ニ之レカ徵收ヲ了シタルモノナリ其實渡量目ト徵收量目カ同一若クハ減少セルニ對シ補償價格ノ賣渡代金ニ  
對シ増加セルモノアルハ前項ニ詳述セル如ク葉煙草ノ特性ニ依ル品位良變ノ結果ナリトス因テ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 承認

(參照) ○煙草專賣法第七十條(一四九頁參看)

【報告】 (五六) 東京葉煙草收納所外四箇所ノ徵收ニ係ル

一三三九、一三一六八〇

ハ東京市龜澤某ニ賣渡シタル葉煙草十二萬四千七百三貫八百匁ノ代價

一六一、二八〇五三三

大阪葉煙草收納所外三箇所ノ徵收ニ係ル

ハ東京市岩谷某ニ賣渡シタル葉煙草八萬四千九百三十四貫ノ代價

五九〇、三五〇五〇一

熊本葉煙草收納所外八箇所ノ徵收ニ係ル

ハ熊本市岡本某外六十四名ニ賣渡シタル二十九萬二千六百七十八貫八百二十匁ノ代價ニシテ孰モ明治三十六年度末ニ於テ  
賣渡ノ豫約ヲ爲シ本年度ニ至リ賣渡シタルモノナリ、然ルニ本年度初ニ於テハ賣渡定率ノ引上アリ其改正定率ニ依リ算出  
スレハ龜澤某ニ屬スルモノ參拾貳萬七千壹圓九拾六錢七厘、岩谷某ニ屬スルモノ貳拾貳萬千參百八拾圓五錢參厘、岡本某外  
六十四名ニ屬スルモノ七拾九萬九千七百四拾七圓五拾四錢九厘合計百參拾四萬八千貳拾九圓五拾六錢九厘トナリ賣渡代  
金合計九拾九萬六千六百六拾貳圓七拾壹錢四厘ニ比シ參拾五萬七千四百六拾六圓八拾五錢五厘ノ增收ヲ見ルヘキニ當時右定率  
引上ノ明ニ豫知セラレタルニ拘ラス年度末ニ迫リ舊定率ニ依リ賣渡豫約ヲ爲シ巨額ノ減收ヲ來スニ至リタルモノナリ、依  
テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 本項葉煙草賣渡定率引上ハ豫約賣渡ノ當時各葉煙草收納所ニ於テ豫知セサリシモノナリ因テ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

歳出

第一款 專賣局作業費 第七項 事業費

【報告】 (五七) 煙草專賣局ノ支出ニ係ル

一、四四二、五八〇

ハ明治三十七年勅令第十六號ニ依リ隨意契約ヲ以テ購入シタル木箱三萬四千五百六十九箇代壹萬五千七百貳拾圓五拾五  
錢四厘ニ對シ供給者星野某外四名ノ情願ヲ容レ契約單價ヲ引上ケタル爲メ増額シタルモノナリ、然ルニ他ノ供給者ニ對シ  
テ値上ヲ爲サス特ニ本件供給者ニ限り値上ヲ爲シタルモノナルヲ以テ、之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ  
單價引上ケテ爲シタルハ當時軍事輸送ノ爲メ原料木材ノ供給意ノ如クナラス用材市價ノ騰貴ト職工ノ缺乏トハ各供給者ヲ  
シテ指定數量ヲ完納スル能ハサラシメ作業上支障ヲ來スヘキ虞アリシニ由リ已ムヲ得ス値上ノ要求ヲ許容シタルモノニシ  
テ該處分ハ却テ經濟上利益アリシト云フニアリ、抑、本件物品納入ノ遅延ハ直チニ作業上ニ支障ヲ來スヘキモノナルニ拘ラ  
ス之カ契約ヲ締結スルニ當リ不履行ノ制裁トシテ單ニ解除ノ一條項ヲ定ムルニ過キサリシ爲メ契約後價格ノ騰貴ニ際シ供  
給者ヨリ値上ノ要求ヲ受ケ遂ニ之ヲ許容スルノ已ムヲ得サルニ至リ三十八年度ニ至リテモ尙ホ是等違約者ト同一契約ヲ締  
結シ履、之カ値上ヲ許容シタルノ事實アリ、要スルニ本件ハ供給者ノ選定契約ノ方法宜シキヲ得サリシ爲メ國庫ニ損失ヲ來  
スニ至リタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本項木箱供給者ハ同業者中最モ經驗及資力信用アルモノヲ選定シ契約ヲ締結シタルモノニシテ從來納付遅延ニ依ル賠償金ト契約不履行ニ  
依ル契約解除トノ制裁ニ依リ供給極メテ圓滿ナリシモ戰局ノ發展ニ伴ヒ軍隊及軍需品ノ輸送頻繁トナリ爲メニ普通ノ貨物ハ殆ト全ク運輸  
ノ便ヲ杜絶セラレ原産地ヨリ搬出セシ用材ハ空シク積出元停車場ニ堆積スルノミニシテ之ヲ需要地ニ回送スルコトヲ得ス依テ市場ノ在荷  
品ヲ買入レ以テ一時ノ急ヲ救ハムトスルモ軍需用ノ爲メ大ニ其需要ヲ増シ適當ノ用材ニ乏シキノミナラス其價格亦非常ニ昂騰シテ到底充  
分ニ供給ヲ爲スコト得ス加之職工ハ多ク軍隊ニ召集セラレ之レカ補充ヲ爲サントスルモ其人ニ乏シキ等不可抗力ノ爲メ各供給者共頗ル困  
難ヲ極メ多クハ指定通りノ納付ヲ爲シ能ハサルヲ以テ嚴ニ督勵ヲ加ヘ以テ契約ノ履行ヲ強要スルト共ニ鐵道作業局及鐵道會社ニ交渉シテ  
特別輸送ノ途ヲ講シ又ハ直接用材ノ供給者ヲ取調フル等出來得ル限り諸種ノ手段ヲ盡クセシト雖モ非常ノ場合充分ナル效果ヲ見ルヲ得ス



此時ニ方リ他ニ適當ノ供給者ヲ求メ新タニ契約ヲ締結セント欲スルモ材料缺乏ノ故ヲ以テ之ニ應スルモノナク忽チ作業ニ支障ヲ來タシ事業ヲ中止セサルヲ得サルニ至ルヘキヲ以テ已ムヲ得ス値上ノ要求ヲ許容シ辛クシテ作業上ノ支障ヲ防止スルヲ得タリ而シテ其供給者全部ニ對シテ値上ヲ爲サ、リシハ主トシテ用材産地ノ如何ニ由テ之レカ許否ヲ決定シタルモノニシテ即チ軍隊及軍需品輸送ノ爲用材回送上大ニ障害ヲ受ケタルモノニ限り不可抗力ノ爲メ止ムヲ得サルモノト認メ特ニ之ヲ許容シ其他ハ之ヲ許可セザリシナリ要スルニ戰時ノ如キ非常急遽ナル事情變化ノ當時此措置ニ出タルハ事業上經濟上大ニ利益アリシモノナリ因テ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

(参照) ○煙草製造專賣ニ要スル外國產煙草、器具機械其ノ他材料購入ノ場合ニ於ケル隨意契約ニ關スル件(明治三十七年四月十五日勅令第百十六號)

政府ニ於テ外國產煙草ヲ購入スルトキ又ハ煙草製造專賣創業ノ際必要トスル器具機械其ノ他材料ヲ購入スルトキハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

陸軍省所管

東京砲兵工廠

歳出

作業費ヲ以テ擴張事業ノ經費ヲ支辨シタルモノ一件(五八)

三三、七五一、一九七

競争入札ニ付スヘキ物件ノ購買ヲ隨意契約ニ依リタルモノ一件(五九)

二八、九九二、二〇〇

合計二件

六一、七四三、三九七

第一款 東京砲兵工廠作業費 第四項 作場費

【報告】 (五八) 東京砲兵工廠ノ支出ニ係ル

三二、七五一、一九七

ハ同工廠熱田兵器製造所第十八號工場外十三廠新營移轉工事及同製造所新設ニ伴フ器具機械買入費七萬九千參百五拾八圓五拾九錢壹厘ノ内ニシテ四萬六千六百七圓參拾九錢四厘ハ三十八年度ニ屬スルモノナリ、右ハ時局ノ須要ニ伴フ同工廠製造力ノ擴張工事及其設備ニ屬スル經費ナルヲ以テ本費ヨリ支辨スヘキモノニアラスト認メ、之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セ

シニ右ハ本費ニ關シ明治三十七年九月豫算超過支出ヲ要求セシ拾九萬八千八百圓ノ内ニ計上シタル車輛工場新營費五萬八千圓等ヲ以テ支辨セシモノニシテ時局ニ關シ當工場ノ作業力増加ニ伴フ施設ニ外ナラスト答辯セリ、然レトモ陸軍作業會計法第三條ニ依リ作業費ヲ以テ支辨スヘキハ建物其他ノ維持修理及補充費ニ限り熱田兵器製造所ノ如キ特別計畫ニ屬スル擴張事業ノ經費ヲ支辨スヘキモノニアラス、依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

本工場及器具器械ハ諸車輛製作ニ要スルモノニシテ從來東京砲兵工廠内器具製造所ノ一部ニ於テ之カ作業ヲ施行セシモ臨時事件ニ伴フ工場擴張ノ結果其建造物及器具器械等ハ他ノ工場ニ應用セシ爲メ之カ補充トシテ熱田兵器製造所内ニ若干ノ設備ヲ爲シ其補充ニ要セシ費用ヲ作業費ヨリ支出シタルモノニシテ擴張事業ノ經費ヲ支辨シタルモノニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(参照) ○陸軍作業會計法(明治二十三年三月十八日法律第百十八號)

第三條第一項 東京及大阪砲兵工廠ハ職工人夫ノ諸費材料素品及機械運轉用品ノ購入費建物其他工作物船舶機械器具ノ維持修理及補充費工業場ノ雜費並ニ損失金ヲ作業ノ歳出トス

第五項 材料素品購買費

【報告】 (五九) 東京砲兵工廠ノ支出ニ係ル

二八、九九二、二〇〇

ハ輜重車輛用火造金物代ニシテ特種ノ物質ナリトシ藤田某外三名ヨリ隨意契約ニ依リ購入シタルモノナリ、然レトモ本件購入品ノ形狀寸度及品質ハ標本ニ依リ所用地金ハ豫メ金質試験ヲ請求セシムルノ方法ニ依ルノミナラス是等要求ニ應シタル者數名アルヲ以テ觀ルモノヲ特種品トシテ隨意契約ニ依ラサルヘカラサルモノト認ムルヲ得ス、依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 會計法第二十四條違背

(参照) ○會計法(明治二十二年二月十二日法律第百四號)

第二十四條 法律勅令ヲ以テ定メタル場合ノ外政府ノ工事又ハ物件ノ賣買貸借ハ總テ公告シテ競争ニ付スヘシ但シ左ノ場合ニ

明治三十七年度 東京砲兵工廠 (五九)



於テハ競争ニ付セス隨意ノ契約ニ依ルコトヲ得ヘシ

第四 特種ノ物質又ハ特別使用ノ目的アルニ由リ生産製造ノ場所又ハ生産者製造者ヨリ直接ニ物品ノ買入ヲ要スルトキ

文部省所管

東京帝國大學

歳出

競争入札ニ付スヘキ物件ノ購買ヲ隨意契約ニ依リタルモノ一件(六〇)

四、九二三〇〇〇

歳出經常部

第二款 醫科大學醫院 第一項 廳費

【報告】 (六〇) 東京帝國大學ノ支出ニ係ル

四、九二三〇〇〇

ハ明治三十七年五月ヨリ三十八年一月ニ至ル間ニ於テ雜貨商秋草某ヨリ購入シタル脱脂「ガーゼ」二萬八千五百反ノ代價ニシテ隨意契約ニ依リタルモノナルヲ以テ、之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ本品ハ外科的治療上主要ノ材料ニシテ之ヲ製作スルニハ殺菌消毒ニ付醫藥的指示ヲ要スル特種ノ性質ヲ有スル製作品ナルヲ以テ競争入札ニ付シ得サルモノナリト答辯セリ、然レトモ右ハ特種ノ物品ト認メ難キノミナラス京都帝國大學ニ於テ競争入札ニ付シタル事例ニ徴スルモ競争ニ付シ能ハサルモノト認ムルヲ得ス、依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 本件脱脂「ガーゼ」ハ外科的治療上主要ノ材料ナルヲ以テ之カ製作ニ付醫藥的ノ指示ヲ要シ殺菌消毒ノ方法ヲ精密ニシタルモノニアラサレハ決シテ治療ノ用ニ供スヘカラス而シテ如上ノ方法ヨリ製作シタルモノト雖モ多少ノ時日ヲ經過スレハ自然有機物又ハ細菌等ノ侵透ヲ免カレス況ンヤ競争入札ニ依リ多數ノ買入ヲナシ貯藏センカ之カ使用ニ當リ殺菌洗浄ノ方法ヲ盡スト雖モ汚染ノ除去セザリシ爲メ如何ニ手術ノ巧妙ヲ極ムルモ汚物ノ患部ニ侵入シテ管ニ其效果ヲ見ルコト能ハサルノミナラス不測ノ患者腫テ至ラントス畢竟本品ハ如斯特種ノ性質ヲ有スル外科的主要ノ製作品ナルヲ以テ其完全ヲ求メンニハ醫院内ニ於テ親シク製出スルニ若カサレトモ未タ其設備ナキニヨリ製作上醫院ノ指示ニ慣熟シ且ツ信用確實ナル製作者ヨリ隨時適度ヲ計リ購入セシモノニシテ會計法第二十四條ニ違背シタルモノニアラス

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 承認

(参照) ○會計法第二十四條(一五五頁參看)

京都帝國大學

歳出

競争入札ニ付スヘキ物件ノ購買ヲ隨意契約ニ依リタルモノ一件(六一)

三、〇〇〇〇〇〇

歳出臨時部

第二款 福岡醫科大學圖書機械及標本費 第一項 福岡醫科大學圖書機械及標本費

【報告】 (六一) 京都帝國大學福岡醫科大學ノ支出ニ係ル

三、〇〇〇〇〇〇

ハ獨逸製顯微鏡二十箇ノ代價ニシテ會計法第二十四條第五號ヲ適用シ隨意契約ヲ以テ東京市松本某ヨリ購入シタルモノナリ、然レトモ右ハ内地ニ於テ之カ販賣者ニ乏シカラサルヲ以テ競争入札ニ付シ能ハサルモノト認ムルヲ得ス、依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 會計法第二十四條違背

(参照) ○會計法(明治二十二年二月十一日法律第四號)

第二十四條 法律勅令ヲ以テ定メタル場合ノ外政府ノ工事又ハ物件ノ賣買貸借ハ總テ公告シテ競争ニ付スヘシ但シ左ノ場合ニ於テハ競争ニ付セス隨意ノ約定ニ依ルコトヲ得ヘシ  
第五 特別ノ技術家ニ命スルニ非サレハ製造シ得ヘカラサル製造品及機械ヲ買入ル、トキ

農商務省所管

製鐵所

歳出

明治三十七年度 京都帝國大學 (六一)



物件ヲ運搬セシムルニ當リ國庫ニ損失ヲ生セシメタルモノ一件(六二)

四、四五四<sup>円</sup>六〇〇

第一款 製鐵所作業費 第十項 作場費

【報告】 (六二) 製鐵所ノ支出ニ係ル

四、四五四<sup>円</sup>六〇〇

ハ二瀬出張所ヨリ廻送セル石炭ヲ明治三十七年七月五日ヨリ同年九月十日マテノ間ニ於テ九州鐵道株式會社貨車積ノ儘八  
幡驛ニテ受領シ之ヲ本所構内各貯炭場へ輓入レ荷卸シヲ爲スニ當リ契約時間内ニ貨車ノ返付ヲ爲ササリシカ爲メ其留置延  
時間四十四萬五千六百時間ニ對シ一應一時間貳錢ノ割ヲ以テ同會社へ仕拂ヒタル八千九百拾貳圓ノ内ニシテ四千四百五拾  
七圓四拾錢ハ運炭請負人ヲシテ辨償セシメ前記金額ハ本所ノ負擔ニ歸シタルモノナリ、當該官吏説明ノ要旨ハ本所構内ニ  
貨車ノ澁滞シタルハ一ハ請負人ニ於テ荷卸不捌ニ因リ一ハ時局ニ關シ各種ノ建築土工ヲ開始セシ結果線路ニ支障ヲ及ホシ  
機關車貨車ノ運轉ヲ中止スルコト頻繁ナリシト石炭輓入用ノ機關車ニ不足ヲ告ケタルトニ因リ澁滞ヲ來シタルモノニシテ  
荷卸不捌ノ分ニ對シテハ請負人ヲシテ辨償セシメタリト云フニアリ、然レトモ實地檢査ノ際其事實ヲ審査スルニ當時建築  
土工頻繁ニシテ機關車ノ不足セシ事實ナキニアラスト雖モ運輸日誌ヲ閱スルニ其不足ニ因リ貨車ノ澁滞ヲ來シタルハ前後  
十數回ニ過キス、又線路支障ニ就テハ同日誌中單ニ線路故障ト記入セルニ止マリ其詳細ヲ知ルニ由ナキモ本件留置料請求  
以後ニ於テハ建築土工ハ却テ繁劇ヲ加ヘタルニ拘ラス殆ト貨車ノ澁滞スルモノナカリシ事實ニ徴スレハ其支障ハ運炭上避  
ケ得ヘカラサリシモノト認ムルヲ得ス、要スルニ本件ハ當局者ノ不注意ニ因リ國庫ニ損失ヲ生セシメタルモノニシテ不當  
ナリトス

【辨明】

九州鐵道戸畑線八幡驛ヨリ製鐵所構内鐵道ヘノ連絡線路落成後ハ九州鐵道線ニヨリ製鐵所ヘ回送スル石炭其他ノ貨物ハ總テ貨車積ノ儘八  
幡驛ニ於テ之ヲ受取り構内各所ヘ之ヲ配送シ荷卸ヲ爲サシメ空貨車ハ八幡驛ニ返送ス而シテ製鐵所ニ於テハ此等ノ貨車牽引ニ使用スル爲  
メ特ニ設備セル所ノ大瀧關車ヲ八幡ニ往復セシメ貨車ヲ受授スルノ計畫ナリ然ルニ明治三十七年二月日露開戰ニ際シ俄然多量ナル兵器及

鐵道材料ヲ製造スルノ必要ヲ生シタルカ當時製鐵所ノ設備如何ヲ顧レハ年來豫算不足ノ後ヲ受ケ各工場ノ設備皆半途ニシテ完全ニ其用ヲ  
爲スモノナシ依テ臨時事件費ノ支出ヲ仰キ補足ノ設備ニ著手シタリト雖モ急速ニ其整備ヲ見ルコト能ハス瀧關車不足ノ如キモ始ヨリ期ス  
ル所ナリシト雖モ此等整備ヲ待ツノ猶豫ナク補足ノ設備ニ著手スルト同時ニ大製造ヲ初メ五月ニ轉爐ノ始業ヲ爲シ七月ニ熔鑪爐ニ點火シ  
漸ク製品ノ運搬多量ナラントスルニ際シ製造原料及建築材料等輻湊シ來リシモ運搬用具之ニ伴ハス所内ノ混雜名狀スヘカラス鐵道線路故  
障ノ如キ直接ノ破損ノミナラス他物ノ爲メニ妨ケラレ瀧關車ヲ通スルコトヲ得サル場合等甚多シ而シテ製品ノ搬出ト原料ノ供給トハ互ニ  
一刻ヲ爭ヒ製品ニ重キヲ置キタルカ爲メ空車運搬ノ如キ勢ヒ第二トナリタルハ誠ニ已ムヲ得サルナリ十月已後ニ至リテハ製造ノ順序モ立  
チ運搬ノ用具モ漸次ニ備ハリタルヲ以テ建築土工ハ却テ繁劇ヲ加ヘタルモ當初ノ如キ混雜ハ之ヲ減少シテ空車ノ澁滞ヲ少カラシムルヲ得  
タリ之ヲ要スルニ會計檢査院カ摘出シタル所ノ貨車留置料ヲ支拂フニ至リタルハ製品ノ搬出急劇ナリシト運搬用具ノ設備不十分ナリシニ  
因ルモノニシテ當局者カ如何ニ焦心苦慮スルモ避ケ得ヘカラサルモノナリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

逓信省所管

官設鐵道

歳出

粗悪ノ工事ヲ施行シタルカ爲メ巨額ノ改築費ヲ要スルニ至リタルモノ一件(六三)

三七、三七八<sup>円</sup>三〇一

第一款 鐵道作業費 第六項 事業費

【報告】 (六三) 鐵道作業局ノ支出ニ係ル

三七、三七八<sup>円</sup>三〇一

ハ北陸線金津富山間橋梁溝橋修繕工事費ナリ、抑、該區間ハ明治三十年九月乃至三十二年三月開通セシモノニシテ未タ年  
所ヲ經ルコト久シカラサルニ橋梁溝橋ノ橋臺橋脚ニ罅裂ヲ生シ列車運轉上危險ノ状態ヲ呈スルニ至リタルヲ以テ三十六年  
度ニ於テハ大聖寺川橋梁外四十二箇所ニ對シ五萬千六百餘圓、三十七年度ニ於テハ境川橋梁外十箇所ニ對シ九千貳百餘  
圓、三十八年度ニ於テハ小矢部川橋梁外六十箇所ニ對シ貳拾貳萬參千參百餘圓、尙ホ三十九年度ニ於テ北牧用水橋梁外五  
十九箇所ニ對シ七萬五千圓合計參拾五萬九千餘圓ノ豫定費額ヲ以テ之カ改修ヲ決定シ現ニ施工ヲ了リ若クハ施工中ニ屬



セリ、即チ三十六年度以來既ニ改築施工ヲ決定シタル橋梁溝橋ノ總數ハ百七十餘箇所ニシテ當初建設費額ハ五拾七萬四千貳百餘圓ニ對シ之カ改築工費豫定額ハ前記ノ巨額ニ達シ尙ホ殘餘ノ橋梁溝橋ニアリテモ現ニ罅裂ヲ生セル箇所少カラスシテ該區間ノ橋梁溝橋ハ殆ト全部ノ改築ヲ爲スニアラサレハ止マサルノ狀況ナリ、右ハ其實況ニ徴スルニ建設當時使用シタル工事材料品「セメント」煉瓦等ノ粗惡ナリシト基礎工事ノ不十分ナリシトニ基因スルコト明ナリ、要スルニ本件ハ粗惡ノ工事ヲ施行シタルカ爲メ巨額ノ改築費ヲ支出スルニ至リタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】北陸線金津富山間橋梁溝橋ノ修繕ヲ要スルニ至リタルモノ尠カラサルハ當初本區間ノ建設工事ハ交通運輸ノ關係上極メテ急施ヲ要スルヲ以テ時々雨雪ヲ侵シ日夜工事ヲ進捗セシカ當時恰モ日清戰後事業勃興ノ際ニシテ鐵道材料ハ急激ノ需要ヲ來タセシ爲自然粗惡ノモノ市場ニ汎布混入シ其餘波不幸ニモ検査合格材料中良否ノ檢定ヲ至難トスル「セメント」ニ粗製ノモノアリシヲ主因トスルモノニシテ頗ル遺憾ニ堪ヘサル所ナリ但シ其現場ニ就キ審査ノ結果工事方法亦其宜シキヲ得サルモノナキニアラサルコトヲ發見セシニ依リ工事擔任者ハ目下處分ノ手續中ナリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

官設鐵道用品資金

歳出

競争入札ニ付スヘキ物件ノ購買ヲ隨意契約ニ依リタルモノ一件(六四)

一三、六六六〇五〇

第一款 官設鐵道用品費 第一項 官設鐵道用品費

【報告】 (六四) 鐵道作業局ノ支出ニ係ル

一三、六六六〇五〇

ハ和製鑛油購入代價ニシテ會計法第二十四條第四號ヲ適用シ日本、寶田兩石油株式會社ヨリ隨意契約ヲ以テ購入セルモノナリ、右ハ三十六年度檢査報告ニ詳悉セシト同シク會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス(明治三十六年度(六一)九八頁參看) 本件ハ明治三十六年度檢査報告ニ對スル辨明ニ於テ詳悉セシ如ク要スルニ鑛油ハ汽車運轉上ノ重要材料ニシテ特ニ品質並供給力ノ選擇ヲ要スル物質ナルニ依リ相當調査ノ結果日本寶田兩石油株式會社ノ製作品ヲ必要トシ之ヲ其製造者ヨリ直接ニ購入セルハ會計法第二十四條

第四號ニ所謂特別使用ノ目的ニ該當スルモノニシテ同條ニ違背シタルモノニアラス但シ前記兩會社ハ其後合併シテ一ノ株式會社國油共同販賣所ヲ組織シ又インターナショナル會社ノ製品モ亦前者ノ製品ト略ホ同種ニシテ且ツ供給力モ不足ナキコトヲ確認セシニ由リ以來指名競争ニ付シ之ヲ購入スルコト、セリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○會計法第二十四條(一五五頁參看)



既  
往  
年  
度



既往年度

目次

豫算及法律勅令違背ノ事項……………一六三

明治三十四年度……………一六三

一般會計……………一六三

歲出……………一六三

内務省所管……………一六三

既往年度 目次



既往年度

豫算及法律勅令違背ノ事項

既往年度歳出ノ使用ニ於テ不當支出ヲ爲シタルモノ一件ナリ

一、〇〇〇〇〇〇

明治三十四年度

一般會計

内務省所管

歳出臨時部

第三款 警備費 第二項 新警費

【報告】 (六五) 東京府八丈島々廳ノ支出ニ係ル

一、〇〇〇〇〇〇

ハ八丈島々廳青ヶ島出張所建築請負工事費貳千五百圓ノ内既済部分ニ對スル内渡金トシテ明治三十四年六月二十二日請負人佐々木某ニ仕拂ヒタリトシ證明セルモノナリ、然レトモ其實該工事ハ同年五月二十九日東京府廳ニ於テ競争入札ニ付セシニ豫定價格ニ超過シ再入札ニ付セシモ入札者ナキニ由リ豫定價格ニテ青ヶ島住民佐々木某ニ請負ハシムル見込ヲ立テタリシモ該島ハ年二回定期航海ノ外交通ナキヲ以テ之カ承諾ヲ俟チテ工事ニ著手スルトキハ年度内竣成セサルノ虞アリトシハ丈島々廳技手徳永某ハ未タ請負契約ヲ締結スルニ至ラサルニ材料購入ノ資ニ充ツルカ爲メ千貳百七拾四圓餘ノ工事出來形調査及検査調書等ヲ偽造シ佐々木某ノ名義ヲ以テ前記金額ノ仕拂ヲ受ケタルモノナリ、依テ本件ハ不當ノ支出ナリトス

【審明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當



【参考】

會計検査院ニ於テ豫算及法律勅令違背ノ事項トシテ検査報告セルモノノ外貴衆兩院ニ於テ不當ト決議セルモノ左ノ如シ

【貴決】

明治三十七年度歳入歳出總決算中文部省所管歳出臨時部第十九款臨時編書費第一項臨時編書費

明治三十七年度各特別會計歳入歳出決算中内務省所管臺灣總督府歳出臨時部第十四款基隆築港維持費第一項事務費第二項工作及

建物費

右ハ別紙決議ノ通議決ス(一六五頁參看)

明治三十七年度各特別會計歳入歳出決算中文部省所管歳出臨時部第四款福岡醫科大學第一項俸給及諸給

右ハ第二豫備金及國庫剩餘金ヨリ金七千六百餘圓ノ補足費ヲ要求シナカラ年度末ニ至リ僅ニ金參拾參圓餘ノ一部分ヲ支出スルニ

過キサリシハ教官任用ノ豫定ヨリ後レタルカ爲ナリト稱スト雖當初ノ詮議ニ於テ慎重ノ調査ヲ缺キタル結果ニシテ將來ノ注意ヲ促

スノ必要アリト認ムト議決ス

【衆決】

文部省所管

歳出臨時部

第十九款 臨時編書費

第一項 臨時編書費

五、〇一六二〇〇

右ハ本院ニ於テ協贊ヲ與ヘサリシ費目ナルニ拘ラス豫算外支出ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

内務省所管

臺灣總督府

歳出臨時部

第十四款 基隆築港維持費

第一項 事務費

第二項 工作及建物費

四五、四八四五〇  
一七五、七〇五〇〇二

右ハ本院ノ協贊ヲ與ヘサリシ費目ナルニ拘ラス豫算外支出ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

貴族院決議

貴族院ハ明治三十七年度歳入歳出總決算中内務省所管歳出臨時部第十五款災害費第三項栃木縣水害土木費補助ハ豫算ノ見  
積粗漏ニシテ多額ノ剩餘金ヲ生シ而シテ排水器補償ノ名ヲ以テ谷中村ニ係レル債務ヲ辨償シタルハ不當ノ處置ナリト議決  
ス

貴族院ハ明治三十七年度歳入歳出總決算中大藏省所管歳出臨時部第二十款貸付金第一項貸付金ニ於テ政府カ株式會社百三  
十銀行ニ對シ金六百萬圓ノ貸付ヲナシタル件ハ軍國ノ際已ムヲ得サルニ出ルト雖戰時ノ財政ノ爲ニ公債ヲ増發セル時ニ當  
リ一私立銀行ニ對シ年利二歩ノ低利ヲ以テ斯ル鉅額ノ貸付ヲナシタルハ不當ノ處置ナリト議決ス

貴族院ハ明治三十七年度歳入歳出總決算中文部省所管歳出臨時部第十九款臨時編書費第一項臨時編書費ハ明治三十六年度  
歳出總豫算追加案中帝國議會ニ於テ否決シタル文部省所管第一款ノ費目ト同一旨趣ノ費途ニ支出シタルモノニシテ不當ノ  
處置ナリト議決ス

貴族院ハ明治三十七年度各特別會計歳入歳出決算中内務省所管臺灣總督府歳出臨時部第十四款基隆築港維持費第一項事務  
費第二項工作及建物費ハ明治三十六年度各特別會計歳入歳出豫算追加案中帝國議會ニ於テ否決シタル内務省所管臺灣總督  
府歳出臨時部第一款第二項ノ費目ト同一趣旨ノ費途ニ支出シタルモノニシテ不當ノ處置ナリト議決ス



明治三十八年度歳入歳出決算検査報告



# 明治三十八年度歳入歳出決算検査報告

## 目次

豫算及法律勅令違背ノ事項	一六七
一般會計	一六八
歳入	一六八
歳出	一七七
内務省所管	一七七
大藏省所管	一七八
陸軍省所管	一七九
海軍省所管	一八〇
司法省所管	一八二
文部省所管	一八三
農商務省所管	一八四
逓信省所管	一八五
國債	一八八
官有物	一九〇
特別會計	一九六
大藏省所管	一九六



煙草專賣局	一九六
歳出	一九六
陸軍省所管	一九八
東京砲兵工廠	一九八
歳出	一九九
文部省所管	二〇〇
東京帝國大學	二〇一
歳出	二〇一
逓信省所管	二〇一
官設鐵道	二〇二
歳出	二〇二
既往年度	二〇三
明治三十七年度	二〇三
貴族院決議	二〇五

### 明治三十八年度歳入歳出決算検査報告

#### 豫算及法律勅令違背ノ事項

明治三十八年度歳入ノ賦課徴收、歳出ノ使用及官有物ノ處分ニ於テ豫算又ハ法律勅令ニ違背シタル事項ハ歳入ニ於テ

租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ一件	一、九〇六、二五〇
公用又ハ公益事業ノ名義ヲ以テ隨意契約ニ依リ物件ノ賣却ヲ爲シタルモノ七件	一、二、四三一、六六一
競争入札ニ付スヘキ物件ノ賣却ヲ隨意契約ニ依リタルモノ五件	二、二、三〇六、〇一
甚シキ低價ヲ以テ土地ノ拂下ヲ爲シタルモノ一件	九、二四三
合計十四件	一六、五七七、七五六
歳出ニ於テ	
豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ二件	二〇、七〇〇、〇七〇
備入ヲ爲サ、ル外國人給與ノ豫算ヲ要求シ殘餘トシテ資金ニ編入セシモノ一件	七、九八〇、〇〇〇
虚偽ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ四件	五、三九四、四八〇
競争入札ニ付スベキ物件ノ購買ヲ隨意契約ニ依リタルモノ一件	二八、〇九六、四五〇
煙草專賣法發布ノ際現存又ハ取得セサル建物及敷地ニ對シ交付金ヲ増給シタルモノ一件	一一、〇一三、九六一
臨時事件費ヲ以テ通信事業ノ擴張ニ伴フ經費ヲ支辨シタルモノ五件	七、一六七、二二〇
其他不當ナルモノ三件	七、六二一、四〇〇
合計十七件	一四六、六二四、三二一



明治三十八年度 歳入 (一)

一六八

國債ニ於テ

煙草專賣法發布ノ際現存又ハ取得セサル建物及敷地ニ對シ交付金ヲ増給シタルモノ一件  
官有物ニ於テ

五二、三〇〇、〇〇〇

不當ノ評價格ニ依リ土地ノ交換ヲ爲シタルモノ二件

土地ヲ低價ニ拂下ケ家屋ヲ建築セシメタルモノ二件

建物ヲ交換シタルモノ一件

ナリ

### 一般會計

#### 歳入

租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ一件(一)

一、九〇六、二五〇

公用又ハ公益事業ノ名義ヲ以テ隨意契約ニ依リ物件ノ賣却ヲ爲シタルモノ七件(二)(三)(四)(五)

一、二、四三三、一六六二

競争入札ニ付スヘキ物件ノ賣却ヲ隨意契約ニ依リタルモノ五件(六)

一、一、三三〇、六〇一

甚シキ低價ヲ以テ土地ノ拂下ヲ爲シタルモノ一件(七)

九、二四三

合計十四件

一六、五七七、七五六

#### 歳入經常部

#### 第一款 租税 第三項 營業稅

【報告】 (一) 折尾稅務署ニ於テ徴收不足ニ屬スルモノ

一、九〇六、二五〇

アリ、右ハ若松築港株式會社ノ資本金額ヲ算定スルニ當リ會社ノ受ケタル補助金中内務省ヨリ受ケタル補助金參拾萬五千

圓ヲ算入セサルニ因ルモノナリ、該補助金ハ製鐵所ヨリ受ケタル補助金ト同シク資本金額ニ算入スヘキモノナルニ之ヲ算入セザリシ理由ハ製鐵所ノ補助金ハ製鐵所用船舶ノ無料通過ヲ主タル條件トシテ下付セラレタルモノニシテ船舶通過料ノ前拂金ニ相當シ即チ會社ノ營業上ノ利益收入金ニシテ之ヲ配當セサレハ積立金ノ性質ヲ有スル資産金額ナリト雖モ内務省補助金ハ然ラス當該會社カ第二擴張工事ヲ設計シタル際浚渫工事擴張ノ命令ヲ受ケ之カ爲メニ工費ヲ増加スルコトナリタルヲ以テ其損失ノ補填トシテ補助セラル、モノナリ隨テ積立金ノ性質ヲ有スル資産金額ニアラスト云フニアリ、然レトモ資本金額ハ現在ノ事實ニ基キ算定スヘキモノニシテ將來ニ於ケル資産ノ増減ヲ豫想シテ決定スヘキモノニアラス、本件内務省補助金ハ將來ノ損失額ヲ推測シタルニ止マリ現在ノ損失ヲ補填シタルモノニアラス而シテ該補助金ハ製鐵所ノ補助金ト同シク擴張工事ニ使用シ現ニ會社ノ資産ヲ組成スルモノナルヲ以テ之ヲ配當セサレハ積立金ノ性質ヲ有スル資産金額ト認メサルヲ得ス、依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 折尾稅務署ニ於テ若松築港株式會社ノ資本金額ヲ算定スルニ當リ製鐵所ヨリ受ケタル補助金ト別異ニシタルハ不當ナリト檢定セラル、モ製鐵所ノ補助金ハ其ノ内容ニ於テ製鐵所用一般船舶ノ無料通過ヲ主タル條件トシテ下付セラレタルモノニシテ船舶通過料ノ前拂金ニ相當シ即チ會社ノ營業上ノ利益收入金ニシテ之ヲ配當セサレハ積立金ノ性質ヲ有スル資産金額ナリト雖モ内務省補助金ハ然ラス當該會社カ第二擴張工事ヲ設計シタル際浚渫工事擴張ノ命令ヲ受ケ之レカ爲メニ工費ヲ増加スルコト、ナリタルヲ以テ其損失ノ補填トシテ補助セラル、モノナリ從テ積立金ノ性質ヲ有スル資産金額ナリト云フヲ得ス又會社ノ資本金額ト認ムヘキ積立金ノ性質ヲ有スル資産金額ノ如何ナルモノナルヤハ營業稅法施行上其場合ヲ一定シ取扱ヒ來リタルモノニシテ本件内務省補助金ハ其何レニモ該當スルコトナシ要スルニ内務省補助金ヲ製鐵所補助金ト別異ニシ資本金額ニ算入セサルハ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【業決】 承認

#### 第三款 官業及官有財産收入 第二項 森林收入

【報告】 (二) 秋田大林區署ノ徴收ニ係ル

三、三八四、七四〇

ハ羽後國山本郡響村小掛山國有林杉、桂、樟立木八百六本此材積三千二百十二尺ノ餘ノ拂下代ニシテ、右ハ能代挽材株式會社取締役井阪某ニ對シ同會社工場建築用材トシテ明治三十二年勅令第三百六十三號ニ依リ火災復舊ノ爲メ必要ナリトシ

明治三十八年度 歳入 (二)

一六九



隨意契約ヲ以テ特賣シタルモノナリ、其理由トスル所ハ三十八年十月一日該會社工場燒失シ其再築ニ要スル長大材ヘ到底國有林内ニアラサレハ他ニ求ムル途ナキニ由リ拂下ヲ爲シタルモノナリト云フニアリ、然レトモ該勅令ニ依リ特賣ヲ爲シ得ヘキハ非常ノ災害アリタル時ニ於テ其罹災者ニ建築營繕又ハ薪炭ノ材料ヲ賣拂フヘキ場合ニシテ本件ノ如キ災害ノ事實ニ適用スヘキモノニアラス、又右立木ノ内拂下ノ目的ニ使用スル杉七百三十本ノ一本當リハ四尺ノ餘ニシテ國有林以外ニ求メ難キ長大ノモノニアラス、特ニ本件立木ノ拂下ハ三十八年十一月二日之ヲ許可シ同月十八日物件引渡ヲ了シ搬出期限ハ引渡ノ時ヨリ百五十日間ト爲シタルモノナルニ同會社ノ事業報告書ニ依ルトキハ工場復舊ハ罹災後直チニ工事ニ著手シ同年十二月中旬工場二棟ヲ始メ必要ナル附屬建物悉皆落成シ諸機械ノ修繕据附モ完成セルニ由リ同月十二日開場式ヲ行ヒ引續キ従前ノ作業ニ從事シタリトアルニ由テ觀レハ本件拂下木材ヲ以テ建築スト稱スル建築物ハ三十八年十月初旬其工事ニ著手シ同年十二月中旬ニ於テハ既ニ全部ノ竣成ヲ告ケタルモノト認メサルヲ得ス、隨テ右物件引渡ノ日ヨリ伐木製材ノ上其建築ニ使用スルハ不可能ノ事ニ屬シ現ニ之カ伐採搬出ヲ了シタルハ三十九年四月ナルノ事實ニ徴スルモ其拂下物件ハ當初ヨリ特賣ノ目的ニ使用スルニアラサリシコト明ナリ、要スルニ本件ハ一會社ノ火災ヲ以テ非常ノ災害ト爲シ隨意契約ヲ締結シタルノミナラス特賣ノ目的ニ使用セサル物件ノ拂下ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本項明治三十二年勅令第三百六十三號ノ適用ニ付テハ會計検査院検査報告ノ通  
但シ能代挽材株式會社ニ於テ明治三十八年十二月十二日開場式ヲ行ヒタルハ一時的假小屋ヲ充用シタルニ過キス本工場及演習室等ノ建物ハ明治三十九年九月中竣功シタルヲ以テ拂下物件ハ目的ノ如ク使用シタルモノト認ム

【貴決】 將來ニ注意ヲ促ス(分科會)

【衆決】 不當

(參照) ○國有林野產物ノ隨意契約ニ依ル賣拂ニ關スル件(明治三十二年八月三日勅令第三百六十三號)

國有林野產物ハ左ノ場合ニ限り隨意契約ヲ以テ賣拂フコトヲ得

一 非常ノ災害アリタル場合ニ於テ其ノ罹災者ニ建築營繕又ハ薪炭ノ材料ヲ賣拂フトキ

【報告】

(三) 宮城大林區署ノ徵收ニ係ル

九〇〇<sup>円</sup>七八六

ハ羽前國最上郡眞室川村鹽澤山國有林杉立木二百九十三本此材積千五百一尺ノ餘ノ拂下代ニシテ、右ハ同村橋梁新設及架

換其他ニ要スル用材千九百九十五尺ノ餘ノ資材トシテ同村長代理助役辻某ニ對シ明治三十二年勅令第三百六十三號ニ依リ公用又ハ公益事業ノ爲メ必要ナリトノ事由ヲ以テ隨意契約ニ依リ賣拂タルモノナリ、然ルニ拂受人ヨリ提出セル工事設計書ヲ調査スルニ設計ニ基キ實際必要トスル數量ニ比シ拂下ノ數量多キニ過クルヲ以テ、之カ理由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ本件賣拂ニ關スル設計書不備ノ廉ハ精密調査ヲ遂ケサルニ基因スルモノナレトモ要スルニ願書ニ添付セル設計ハ正確ノモノト信シ單ニ設計書記載ノ總材積ト拂下材積トノ過不足ヲ調査セシニ過キスト云フニアリ、然レトモ特定ノ目的ニ對シ拂下ヲ爲スニ當リテハ工事設計ニ基キ其所要材積ノ正否ヲ確メサルヘカラス、今之カ設計内譯ヲ調査スルニ橋梁中第十二號橋梁五箇所ノ敷板所要材積ハ二十七尺ノ餘ニ過キサルニ五十四尺ノ餘ト計算シ六號橋梁四箇所同上四十三尺ノ餘ニ過キサルニ八十六尺ノ餘ト計算シタルモノアリ、其他尙ホ之ニ類スルモノ多キニ拘ラス直チニ出願ノ數量ヲ正確ト認メ之カ拂下ヲ爲シタルモノナリ、要スルニ本件ハ公益事業ヲ理由トシテ林木ヲ特賣スルニ當リ實際ノ所要ニ伴ハサル拂下ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ニ注意ヲ促ス(分科會)

【衆決】 不當

(參照) ○國有林野產物ノ隨意契約ニ依ル賣拂ニ關スル件(明治三十二年八月三日勅令第三百六十三號)

國有林野產物ハ左ノ場合ニ限り隨意契約ヲ以テ賣拂フコトヲ得

一 公用又ハ公益事業ノ爲メ必要アルトキ

【報告】

(四) 鹿兒島大林區署ノ徵收ニ係ル

四、一四三<sup>円</sup>〇七五

ハ大隅國始良郡栗野村岩瀬戸國有林楠立木七十二本此材積六百四十四尺ノ餘、同國肝屬郡内ノ浦村國見平國有林楠立木千七十二本此材積四千四百五十六尺ノ餘、薩摩國伊佐郡東太良村岩坪國有林楠立木百四十本此材積千八百七十七尺ノ餘、同國有林楠立木百二十九本此材積千二百五十二尺ノ餘ノ拂下代ニシテ東京砲兵工廠熱田兵器製造所ヘ納付スヘキ軍用材トシテ請負人東京市松本某ニ特賣シ

明治三十八年度 歳入 (四)



八日向國南那珂郡福島村山ノ神國有林杉立木十六本此材積四十八尺メ餘、同國同郡北方村永谷國有林杉立木八十五本此材積百二十七尺メ餘、同國同郡大東村西ノ宇戶國有林杉立木六十七本此材積百一尺メ餘、並ニ檜立木十二本此材積十六尺メ餘、同國同郡福島村上中園國有林杉立木三本此材積三十尺メ餘ノ拂下代ニシテ葛ヶ迫尋常小學校校舍建築用トシテ請負人宮崎縣荒川某ニ特賣シ

六〇〇<sup>円</sup>四一二

ハ大隅國始良郡東襲山村霧島山國有林縦損木百四十九本此材積二千三百六十三尺メ餘、並ニ梅損木五本此材積六十三尺メ餘ノ拂下代ニシテ鹿兒島煙草製造所指宿分工場へ納付スヘキ刻煙草製造用木箱材トシテ請負人鹿兒島縣鶴乃園某ニ特賣シ  
大阪大林區署ノ徵收ニ係ル

五三三<sup>円</sup>六八一

ハ越中國射水郡新湊町伏木貯藏羅漢柏角材百十四尺メ餘ノ拂下代ニシテ、同國東礪波郡山田川橋梁架設用材トシテ請負人富山縣佐藤某ニ特賣シタルモノナリ、右ハ孰モ明治三十二年勅令第三百六十三號ヲ適用シ公用又ハ公益事業ノ爲メ必要ナリトノ事由ヲ以テ隨意契約ニ依リ特賣シタルモノナルモ該勅令ノ條項タル事業直接ノ起業者ニ限り適用スヘキモノニシテ營利ヲ目的トスル請負業者へ拂下タルカ如キ間接ノ場合ヲ包含セス、依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 本項ハ公用又ハ公益事業ノ爲メ必要ナル用材ヲ明治三十二年勅令第三百六十三號第一號ニ依リ處分シタルモノニシテ該勅令ハ起業者ノ直接ト間接トヲ問ハサルヲ以テ請負人ニ賣拂タルモノナリ

【貴決】 將來ニ注意ヲ促ス(分科會) 【衆決】 不當

(參照) ○國有林野產物ノ隨意契約ニ依ル賣拂ニ關スル件(一七一頁參看)

【報告】 (五) 大阪大林區署ノ徵收ニ係ル

一一四二<sup>円</sup>二五五一

ハ山城國宇治郡醍醐村醍醐山國有林松立木九百二十八本此材積二千二百一尺メ餘ノ拂下代ニシテ、大阪砲兵工廠宇治火藥製造所建築用材トシテ明治三十二年勅令第三百六十三號ニ依リ公用又ハ公益事業ノ爲メ必要ナリトノ事由ヲ以テ隨意契約

ニ依リ請負人大阪市佐藤某ニ賣却セリ、然レトモ該勅令ノ條項タル事業直接ノ起業者ニ限り適用スヘキモノニシテ營利ヲ目的トスル請負業者ニ拂下タルカ如キ間接ノ場合ヲ包含セス、且ツ本件賣拂材積ヲ工事所要ノ材積四百四十三尺メ餘ニ比スレハ製材歩止リ約二割ニ相當シ頗ル過當ノ計算ナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ、該立木ハ節及樹幹ノ屈曲比較上多キノミナラス大半ハ幹材ノ下部ヨリ枝條ヲ生セルヲ以テ本工事ニ要スルカ如キ小割材ノ製出ニハ歩減リ八割ヲ適當ト認メ材積ヲ計算シタルモノニシテ過當ノ賣拂ニアラスト答辯セリ、然レトモ毎木調査書ニ依レハ立木九百二十八本此材積二千二百一尺メ餘ノ内直徑一尺以上ノモノ四百二本此材積千七百七十八尺メ餘ナルヲ以テ觀レハ縱令節、屈曲等多シトスルモ拂下數量ハ所要材積ニ對シ過當ナルコト明ナリ、要スルニ本件ハ公益事業ヲ理由トシテ隨意契約ニ依リ實際ノ所要ニ伴ハサル拂下ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本項ハ(四)ニ同シ

但シ立木ノ造材率ハ六割乃至八割トシ之カ製材ヲ爲スニ當リテハ歩減リ五割ヲ普通ナリトスルモ本件ノ如キ材形不良ノモノニ在リテハ尙ホ使用上ノ目的ニ從ヒ多少ノ歩減リヲ要スルヲ以テ資材ニ對スル利用率約二割ト見積リタルハ相當ナリ

【貴決】 國有林立木ノ拂下ヲ爲スニ當リ立木ニ關シ歩減リヲ計算シタルハ事情已ムヲ得サルモノトス(分科會) 【衆決】 不當 (參照) ○國有林野產物ノ隨意契約ニ依ル賣拂ニ關スル件(一七一頁參看)

【報告】 (六) 宮城大林區署ノ徵收ニ係ル

四九九<sup>円</sup>二五二一

ハ磐城國田村郡瀧根村羽山國有林櫟及雜立木一萬五千二百十五本此材積四百六十四棚餘ノ拂下代ニシテ、福島縣五十嵐某カ明治三十八年四月十日及五月二十日ノ兩度ニ提出シタル拂下願ニ對シ同年六月五日之カ拂下ヲ許可シ

三六六<sup>円</sup>六一七

ハ磐城國雙葉郡津島村手七郎國有林櫟立木三萬千六百八十本此材積三百九十七棚ノ拂下代ニシテ、福島縣氏家某カ明治三十八年三月十二日及二十日ノ兩度ニ提出シタル拂下願ニ對シ同年五月四日之カ拂下ヲ許可シ

四八六<sup>円</sup>一〇〇



ハ磐城國雙葉郡津島村葛久保國有林樹立木二萬三千五十本此材積四百六十一棚ノ拂下代ニシテ、福島縣氏家某カ明治三十八年三月三十日及四月三十日ノ兩度ニ提出シタル拂下願ニ對シ同年五月四日及九日ニ於テ之カ拂下ヲ許可シ

五〇二五九五

ハ磐城國相馬郡石神村吹矢峠國有林樺、樅、栗及榎立木百八十本此材積九百九十四尺ノ餘及三十二棚ノ拂下代ニシテ、福島縣渡邊某カ明治三十八年三月十日及二十七日ノ兩度ニ提出シタル拂下願ニ對シ同年三月三十日及四月十一日ニ於テ之カ拂下ヲ許可シ

三七六〇三七

陸前國栗原郡花山村岳山國有林山毛樺、姫松及雜立木六百五十九本此材積千二百二十尺ノ餘及四十棚餘ノ拂下代ニシテ、宮城縣三浦某カ明治三十八年十二月二十七日ニ於テ兩度及三十九年三月七日ニ於テ提出シタル拂下願ニ對シ三十九年三月十六日二十二日及二十七日之カ拂下ヲ許可シタルモノナリ、右ハ孰モ三十二年勅令第三百六十三號ニ依リ見積價格參百圓ヲ超エサルモノナリトシ隨意契約ヲ締結シタルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ、其答辯ノ要旨ハ本件ハ拂受人ニ於テ需要ノ増加ニ伴ヒ追次出願シタルモノニシテ彼此出願時日ヲ異ニシ協議、經伺又ハ願書訂正等ノ手續履行ノ爲メ日子ヲ費シタル結果自然同一時期ニ於テ前後ノ願書ヲ進達シタルカ爲メ同一時期ニ賣拂處分スルノ已ムナキニ至リタルモノニシテ殊ニ手七郎國有林ノ分ハ施業案上事業區域ヲ異ニシ岳山國有林ノ分ハ小字名ヲ異ニセリト云フニアリ、然レトモ右ハ拂下願書提出時日ノ如何ニ拘ラス拂下ノ許可及契約ノ締結ハ殆ト同一時期ニ屬スルノミナラス、同字地内ノ物件ノ拂下ニシテ同一人ニ對スルモノナレハ拂下價格參百圓ヲ超過スルニ於テハ競争入札ニ付スヘキモノナリ、要スルニ本件ハ林産物ノ拂下ヲ爲スニ當リ故ラニ數口ニ分割シテ隨意契約ヲ以テ賣拂ヒタルモノニシテ不當ナリトス

【辯明】

會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ニ注意ヲ促ス(分科會)

【衆決】 不當

(參照) ○國有林野産物ノ隨意契約ニ依ル賣拂ニ關スル件(明治三十二年八月三日勅令第三百六十三號)

國有林野産物ハ左ノ場合ニ限り隨意契約ヲ以テ賣拂フコトヲ得

十三 見積價格三百圓ヲ超エサル産物ヲ賣拂フトキ

歳入臨時部

第一款 官有物拂下代 第二項 地所拂下代

九二四三

【報告】

(七) 北海道廳小樽支廳ノ徵收ニ係ル

ハ北海道小樽區所在土地九筆總坪數一萬二千三百二十一坪ノ拂下代トシテ拂受人德永某ヨリ徵收シタルモノナリ、右ハ法規ノ適用ヲ誤リ且ツ價格著シク低廉ナリト認メタルヲ以テ之カ實地ヲ検査スルニ、拂受人德永某ハ家祿奉還者ナルノ故ヲ以テ明治八年開拓使布達第三號ニ依リ三十七年度ニ於テ膽振國虻田郡狩太村市街豫定地六千二百二十坪、十勝國中川郡濁寒村字利別太市街豫定地六千七百九十三坪、同郡幕別村止若村市街豫定地千八百五十三坪、天鹽國留萌郡留萌村六百二十七坪合計一萬五千三百九十三坪ヲ代價拾壹圓五拾四錢五厘ヲ以テ拂下ケ更ニ本年度ニ於テ前記小樽區所在土地ヲ原野トシ上等地千坪ノ原價壹圓五拾錢ノ半額ヲ以テ拂下ケ爲シタルモノナリ、然レトモ明治八年開拓使布達第三號ハ既ニ廢止セラレタルモノナルヲ以テ本件拂下ヲ爲スニ當リ該布達ニ準據スヘキモノニアラス、抑、北海道未開地ノ處分ニ就テハ明治五年開拓使布達第三百四號ヲ以テ北海道土地賣貸規則ヲ定メ賣下ノ土地一人十萬坪ヲ限リトシ其代價ハ上等千坪壹圓五拾錢、中等同壹圓下等同五拾錢ノ割合ヲ以テ拂下ケヘキコトヲ規定セリ、而シテ當時家祿奉還者ノ産業ニ從事セントスルモノヲ保護スルノ必要アリシニ由リ明治八年開拓使布達第三號ヲ以テ家祿奉還者ニ對シテハ前記價格ノ半額ヲ以テ拂下クルコトト爲セリ、其後明治十九年ニ至リ閣令第十六號北海道土地拂下規則ヲ制定シ賣下ニ關スル從來ノ主義ヲ變更シ貸下地成功ノ後ハ千坪ニ付キ素地代價壹圓ヲ以テ拂下クルコトト爲シ明治五年開拓使布達第三百四號ヲ廢セラレ、更ニ明治三十年法律第二十六號北海道國有未開地處分法ノ發布アリ同法附則ニ於テ明治十九年閣令第十六號及其他該法律ニ抵觸スル成規ハ之ヲ廢止シタルヲ以テ現今ニ於テ明治八年開拓使布達第三號ノ存在セサルコト明ナリ、然ルニ該布達ヲ適用シ拂下ヲ爲シタルハ北海道國有未開地處分法ニ違背シタルモノトス、加之該地所ハ小樽區内ニ存在セル市街地ニシテ拂下代價ハ僅ニ九圓餘ナルニ當時北海道廳ヨリ小樽區裁判所ニ囑託シタル該土地所有權轉移登記課稅標準價格ハ八千五百餘圓ニシテ、其後一



箇年内ニ於テ轉賣數次ニ及ヒ毎回登記價格ヲ増進シ就中稻穂町百六十四番地千四百七十三坪ノ如キハ拂下代價壹圓拾錢五厘ナルニ第三次轉賣登記價格壹萬八千八百貳拾六圓ニ上レルニ由テ之ヲ觀ルモ其拂下價格ノ著シク低價ナルコト明ナリ、要スルニ本件拂下ハ北海道國有未開地處分法ニ違背シ徒ラニ私人ヲシテ利益ヲ得セシメ國庫ニ多大ノ損害ヲ蒙ラシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

北海道小樽支廳ノ取扱ニ屬スル家祿奉還者徳永エイヨリ徵收ニ係ル地所拂下處分ハ違法處分ニシテ徒ラニ私人ヲシテ利益ヲ得セシメ國庫ニ多大ノ損害ヲ蒙ラシメタルモノナリト云フト雖モ家祿奉還者ニ對シ產業資本トシテ官林荒蕪地ヲ拂下クル明治六年太政官達第四百二十六號ハ今尙現行ノモノニシテ北海道ニ一般ニ施行セラル、北海道國有未開地處分法トハ全ク法系ヲ異ニスルヲ以テ家祿奉還者徳永エイニ對シテ右太政官達第四百二十六號及明治八年開拓使達第三號ニ依リ北海道小樽支廳ニ於テ土地ノ拂下ヲ爲シタルハ違法處分ニ非ス然レトモ法令施行後已ニ三十年ヲ經過シタル今日時價ノ如何ニ拘ハラス明治八年開拓使達第三號ニ規定セラル、價格ヲ以テ拂下ヲ爲シタルハ穩當ナラサルヲ以テ其不當處分ニ付テハ當該官吏ハ相當處分ヲ爲シ以テ之ヲ戒飭シタリ

【貴決】 政府ノ處分穩當ヲ闕ク(分科會) 【衆決】 不當

(參照) ○家祿奉還ノ者ハ資金被下方規則(明治六年十二月二十七日) 太政官達第四百二十六號)

第八條

一 農業或ハ牧畜等志願ノ者ハ官林田畑荒蕪ノ地等故障無之分ハ別紙拂下規則ノ通取計ヲヘシ尤右代價ハ此度可相渡公債證書ヲ以上納不苦候事

(別紙)

產業資本ノ爲メ官林荒蕪地拂下規則

第一條

一家祿奉還資金受取候者農業或ハ牧畜營業ノ爲メ官有ノ田畑城郭跡屋敷跡並荒蕪地山林等拂下相願地元村方組合村方又ハ政府ニ於テ故障無之分ハ相當代價ノ半價ヲ以相渡スヘク候條附錄雛形ニ照準シ來六月三十日限り封書ヲ以管轄廳ヘ可願出尤他官轄ノ地所ヲ望ム者ハ本管ノ添書ヲ以右期限迄ノ内望地ノ官廳ニ可願出同日以後出願候分ハ公ノ入札法ヲ以拂下可申事 但拂下出願ノ地所ハ相當代價ノ半價建物立木ノ分ハ相當代價ニテ可拂下事

○北海道土地拂下規則(明治十九年六月二十九日) 第七號

第十條 素地代價ハ千坪ニ付金壹圓トシ成功ノ後之ヲ拂下ケ地券ヲ下付スヘシ但其土地ハ拂下ノ翌年ヨリ十箇年ノ後ニアラザレハ地租及地方稅ヲ課セス

第十三條 明治五年第三百四號公布北海道土地賣貸規則明治七年開拓使第四號布達明治十一年開拓使甲第四號布達ヲ廢止ス

○北海道國有未開地處分法(明治三十年三月三十日) 法律第二十六號

第二十二條 明治十九年閣令第十六號北海道土地拂下規則及其ノ他此ノ法律ニ抵觸スル成規ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

歳出

内務省所管

虚偽ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ一件(八)

其他不當ナルモノ二件(九)(一〇)

合計三件

五九〇一〇  
七八四三〇  
一三七四四〇

歳出經常部

第八款 府 縣 第五項 旅 費

【報告】

(八) 栃木縣ノ支出ニ係ル

五九〇一〇

ハ同縣雇前田某カ明治三十八年八月ヨリ同年十二月ニ至ル間ニ於テ自己若クハ他人ノ名義ヲ以テ虚偽ノ旅費請求書及領收證書ヲ作成シ關係者ノ認印ヲ盜捺又ハ偽造シテ數次ニ詐取シタルモノナリ、右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會)

【衆決】 不當

第六項 雜給及雜費

【報告】

(九) 山形縣ノ支出ニ係ル

四〇六一〇

明治三十八年度 内務省 (八)(九)



【報告】 八賞褒狀其他ノ筆耕料トシテ今野某外四名ニ仕拂ヒタリト證明セル百四圓貳拾七錢六厘ノ内ニシテ貳拾圓貳拾參錢ハ明治三十七年度本費ニ四拾參圓四拾參錢六厘ハ本年度及三十七年度ノ臨時事件費ニ屬スルモノナリ、右ハ知事官房勤務屬松井某外十二名ニ於テ職務上騰寫シタルモノナルニ特ニ筆耕者ヲシテ騰寫セシメタルモノノ如ク裝ヒ之カ料金ヲ請求シ仕拂ヲ受ケタルモノナリ、依テ本件ハ不當ノ支出ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會)

【衆決】 不當

歳出臨時部

第十一款 臨時事件費 第一項 臨時事件費

【報告】 (一〇〇) 山形縣ノ支出ニ係ル

三七円 八二〇

ハ賞褒狀其他ノ筆耕料百四圓貳拾七錢六厘ノ内ナリ、右ハ歳出經常部第八款府縣第六項雜給及雜費ニ於テ記載セルカ如ク屬松井某外十二名カ職務上騰寫シタルモノナルニ特ニ筆耕者ヲシテ騰寫セシメタルモノノ如ク裝ヒ之カ料金ヲ請求シ仕拂ヲ受ケタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス(二七七頁(九)參看)

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會)

【衆決】 不當

大藏省所管

煙草專賣法發布ノ際現存又ハ取得セサル建物及敷地ニ對シ交付金ヲ増給シタルモノ一件(一一)

一一、〇一三 九六一

歳出臨時部

第十一款 臨時事件費 第一項 臨時事件費

【報告】 (一一) 臨時煙草製造準備局ノ支出ニ係ル

一一、〇一三 九六一

ハ刻煙草製造業者東京市岡本某外四百二十四名ニ對シ交付シタル煙草專賣法第七十五條第一項ノ交付金四十五萬八千八百四拾圓五拾六錢四厘同項但書ノ増給額七萬六千四百七拾參圓參拾九錢七厘合計五拾參萬五千參百拾參圓九拾六錢壹厘ノ内ニシテ五拾貳萬參千參百圓ハ國庫債券ヲ以テ交付シタルモノナリ、右ハ煙草專賣法發布ノ際現在セス若クハ煙草製造業者ノ所有ニ屬セサリシ建物、敷地ニ對シ交付金ヲ増給シタルモノニシテ、國債ノ部ニ詳悉スルカ如ク不當ナリトス(二八八頁(三)參看)

【辨明】 本項ハ國債ノ部ニ辨明セル如ク煙草專賣法第七十五條第一項但書ヲ適用シ交付金ヲ増給シタルモノニシテ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○煙草專賣法(明治三十七年四月一日法律第十四號)

第七十五條第一項 政府ハ煙草製造業者ニ對シ其ノ請求ニ依リ煙草賣渡代金ノ二割ニ相當スル金額ヲ交付シ其ノ額金五百圓ニ滿タサル者ニ對シテハ金五百圓ヲ交付ス但シ煙草製造用ノ建物及其ノ敷地ヲ所有スル者ニシテ其ノ建物及敷地ノ全部ノ徵收又ハ買上ヲ受ケサル者ニ對シテハ尙交付金ニ相當スル金額ノ六分ノ一ヲ増給ス

陸軍省所管

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(一一)

一一、〇四〇 〇七〇

歳出臨時部

第四款 營繕及初度調辨費 第二項 臺灣兵營廳舍營繕及初度調辨費

【報告】 (一一) 臺灣陸軍經理部ノ支出ニ係ル

一一、〇四〇 〇七〇

ハ基隆要塞司令官及同將校宿舍建築ニ要セシ費用ナリ、然ルニ本項豫算ハ歩兵六箇大隊砲兵一箇大隊及臺中衛戍病院ノ新營費ヲ見積リタルモノニシテ官舎建設ノ費用ヲ包含セス、依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 本項ハ既ニ前年度ニ於テ辨明ノ如ク豫算ノ目的ハ臺灣守備部隊ニ係ル兵營廳舍等ノ新設ニ在リ而シテ守備部隊ノ編制改正並配置變更ノ都

明治三十八年度 陸軍省 (一一)



合ニ依リ實施上多少當初ノ見込ト一致セサルモノアルモ其ノ目的ヲ變セサル費途ニ使用シタルモノナルヲ以テ會計法第十二條ニ違背シタルモノニアラス(明治三十七年度(三五)一三〇頁參看)

【貴決】 正當ノ支出ト認メサルモ軍隊編制上已ムヲ得サルモノアルヲ以テ不當ノ決議案ヲ提出スルニ及ハス(分科會)  
【衆決】 會計法第十二條違背

(參照) ○會計法(明治三十二年二月十一日法律第四號)

第十二條第一項 國務大臣ハ豫算ニ定メタル目的ノ外ニ定額ヲ使用シ又ハ各項ノ金額ヲ彼此流用スルコトヲ得ス

海軍省所管

競争入札ニ付スヘキ物件ノ購買ヲ隨意契約ニ依リタルモノ一件(一四)  
其他不當ナルモノ一件(一三)  
合計二件

二八、〇九六、四五〇  
六八三、七一〇  
二八、七八〇、一六〇

歳出經常部

第二款 軍事費 第五項 賠償及訴訟費

【報告】 (一三) 吳海軍經理部ノ支出ニ係ル

六八三、七一〇

ハ海軍錄事櫻井某ニ對シ訴訟事件ニ關スル諸費トシテ現金前渡ヲ爲シタルモノナリ、依テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ當時訴訟提起ニ係ルモノ三件ニシテ少カラサル手數ヲ要スルカ爲メ繫屬裁判所ノ所在地ニ假事務所ヲ設ケ用務ヲ取扱ヒタルヲ以テ會計法第十五條第七號ニ該當スヘキモノナリト答辯セリ、然レトモ本年度間訴訟事件ノ爲メ繫屬裁判所ノ所在地タル廣島ニ出張シタルコト前後十一回其日數通シテ三十一日ニ過キス、且ツ仕拂額ノ大部ハ訴訟代理人ニ對スル手數料及ヒ旅費ニ屬シ現金前渡ヲ爲スヘキモノニアラス、依テ本件ハ會計法第十五條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【衆決】 會計法第十五條違背

(參照) ○會計法(明治三十二年二月十一日法律第四號)

第十五條第二項 左ノ諸項ノ經費ニ限リ國務大臣ハ主任ノ官吏ニ委任シ又ハ政府ノ命シタル銀行ニ委任シテ現金支拂ヲ爲サシムル爲ニ現金前渡ノ仕拂命令ヲ發スルコトヲ得

第七 場所ノ一定セサル事務所ノ經費

第十七項 艦營費

二八、〇九六、四五〇

【報告】

(一四) 横須賀海軍經理部ノ支出ニ係ル

ハ貯藏用洋食器類四十點ノ代價ニシテ、明治三十三年勅令第二百八十號ニ依リ合名會社明治屋及杉本某ノ二名ヲ指名シ競争ニ付シタルニ杉本某ハ競争ニ加ハラシ合名會社明治屋ト契約ヲ締結セルモノナリ、其理由トスル所ハ本品ハ艦團其他各部ヘ供給スヘキ艦營需品中品質形狀等整一ヲ要スルモノニシテ之ヲ一般競争ニ付シ購入スルニ於テハ競争ノ結果自然粗製品ヲ納入スルノミナラス原料ノ配合如何ハ色澤ノ相違及保存ニ關係シ製造者ノ不定ハ自ラ構造ノ不同ヲ生シ補充若クハ彼此流用等ノ場合ニ不整一ヲ免レス鍍金類ノ如キハ一見其厚薄ヲ識別スルノ方法ナク到底完全ノ物品ヲ得難シト云フニアリ、然レトモ此種ノ物品ハ見本ヲ示シ且ツ検査規格ニ品質形狀等ヲ詳記スルニ於テハ之ヲ一般競争ニ付スルモ所定ノ品種ヲ得ルニ難カラス、依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 本項横須賀海軍工廠ニ於テ洋食器類ヲ購入スルニ當リ指名競争ニ付シタルハ洋食器ノ如キ特ニ品質形狀及色合ノ整一ヲ要シ之カ検査方法亦至難ニシテ容易ニ粗悪品ノ混淆ヲ識別スル能ハサルモノニ在リテハ縱ヒ検査規格ヲ定メ見本ヲ示スト雖モ一々規格ニ依リ見本ト對照シ物質ノ檢定ヲ爲スハ不可能ナルカ故ニ一般競争ニ付スルヲ不利ナリトシ明治三十三年勅令第二百八十號ニ依リ此種ノ營業ニ最モ信用アル者ニ就キ指名競争ヲ爲シタルモノナリ依テ會計法第二十四條ニ違背シタルモノニアラス

【貴決】 異議ナシ

(參照) ○政府ノ工事又ハ物件ノ購入ニ關スル指名競争ノ件(明治三十三年六月二十九日勅令第二百八十號)

政府ノ工事又ハ物件ノ購入ニシテ無制限ノ競争ニ付スルヲ不利トスルトキハ指名競争ニ付スルコトヲ得  
前項ニ依リ契約ヲ爲シタルトキハ事由ヲ詳具シ直ニ各省大臣ヨリ會計検査院ニ通知スヘシ



○會計法(明治三十二年二月十一日法律第四號)

第二十四條 法律勅令ヲ以テ定メタル場合ノ外政府ノ工事又ハ物件ノ賣買貸借ハ總テ公告シテ競争ニ付スヘシ但シ左ノ場合ニ於テハ競争ニ付セス隨意ノ約定ニ依ルコトヲ得ヘシ

第四 特種ノ物質又ハ特別使用ノ目的アルニ由リ生産製造ノ場所又ハ生産者製造者ヨリ直接ニ物品ノ買入ヲ要スルトキ

司法省所管

虚偽ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ二件(一五)(一六)

五、二一六、四一〇

歳出經常部

第二款 裁判所 第二項 廳費

【報告】 (一五) 札幌地方裁判所ノ支出ニ係ル

三〇〇〇〇

ハ石炭購入代トシテ仕拂ヒタルモノナルモ、其實小樽區裁判所雇備前某カ明治三十九年三月商人ヲシテ實際納入セサル石炭代ノ仕拂請求ヲ爲サシメ之ヲ詐取シタルモノナリ、右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會)

【衆決】 不當

第八項 裁判及登記諸費

【報告】 (一六) 札幌地方裁判所ノ支出ニ係ル

五、一八六、四一〇

ハ證人旅費日當トシテ證明シ詐取シタル壹萬九千四拾貳圓貳拾六錢ノ内ニシテ一萬參千八百五拾五圓八拾五錢ハ明治三十五年乃至三十七年度ニ屬スルモノナリ、右ハ豫審掛書記三村某カ三十五年六月以降三十九年二月ニ至ル間引續キ虚偽ノ事實ヲ作爲シ豫審ニ於テ證人ヲ訊問シタルモノ、如ク装ヒ其旅費日當ヲ詐取シタルモノナリ、依テ本件ハ不當ノ支出ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會)

【衆決】 不當

文部省所管

備入ヲ爲サ、ル外國人給與ノ豫算ヲ要求シ殘餘トシテ資金ニ編入セシモノ一件(一七)

七、九八〇、〇〇〇

歳出經常部

第七款 諸學校及圖書館支出金 第二項 京都帝國大學

【報告】 (一七) 本項決算額ノ内

七、九八〇、〇〇〇

ハ京都帝國大學京都醫科大學病理學擔當備外國教師一名ニ要スル俸給及宿料ニ充當スヘキ政府支出金ナルニ之カ備入ヲ爲サス京都帝國大學歳入殘餘トシテ資金ニ編入シタルモノナリ、右外國教師ニ就テハ當初明治三十三年度ニ於テ該備入ノ必要アリトシ三十三年九月一日ヨリ三十六年八月三十一日マテ三箇年間豫算外國庫負擔トナルヘキ契約ニ關シ帝國議會ノ協贊ヲ經タルニ其備入ヲ爲サス尋テ三十六年度ニ於テ從來ノ教師ハ三十六年八月三十一日滿期解備ニ付其代員ヲ三十六年九月一日ヨリ三十九年八月三十一日マテ三箇年間備入トシテ更ニ協贊ヲ經タルモノナルニ尙ホ之カ備入ヲ爲サス此ノ如クシテ三十三年度以降本年度ニ至ルマテ右豫算ヲ使用セス毎年度資金ニ編入シタルモノ通シテ四萬四千五百五拾五圓ニ及ヘルヲ以テ之カ事由ヲ文部大臣ニ質問セシニ、當初ヨリ年獨逸國ニ照會シ相當ノ人物ヲ選擇セシモ給料小額ノ爲メ適任者ヲ得ルニ困難ヲ感シ漸ク三十六年度ニ至リ同國「ウルツブルク」大學員外教授某ヲ聘用ノ内約ニ及ヒタルモ日露開戦ニ際シ赴任ヲ斷リ來リタルニ由リ豫算ニ殘餘ヲ生シタル義ニシテ爾來人物ノ選擇ヲ努メタルニ到底適任者ヲ見出シ得ヘキノ見込ナキヲ以テ已ムヲ得ス四十年度ヨリハ豫算ニ計上スルコトヲ止メタル旨答辯セリ、右ハ三十三年度以降年年之カ豫算ヲ計上セルニ拘ラス未タ曾テ一回ノ備入ヲ爲サス殊ニ三十六年度ニ於テ從來備入ナキモノニ對シ滿期解備ト稱シテ更ニ豫算ヲ要求シ尙ホ之カ備入ヲ爲サス遂ニ歳入殘餘トシテ資金ニ編入スルニ至リタルモノナリ、依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】 本件外國教師ニ就テハ當初ヨリ年々獨逸國ニ照會シ相當ノ人物ヲ選擇セシモ適任者ヲ得ル能ハス漸ク三十六年度ニ至リ一人ヲ選定シ得テ



聘用ノ内約ヲ結ヒタルモ偶日露開戦ニ際シ赴任ヲ謝絶シ來リタル等ノ事情ニ依リ遂ニ備聘ヲ果サ、リシモノニシテ洵ニ已ムヲ得サルモノナリ隨テ豫算ノ不用ニ歸シ資金ニ編入スルニ至リタルハ之カ自然ノ結果ニシテ毫モ不當ノ點ナキモノト認ム

【貴決】 別紙決議ノ通議決ス(二〇五頁參看) 【衆決】 不當

農商務省所管

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(一八)  
虚偽ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ一件(一九)  
合計二件

三〇〇〇〇〇  
一一九〇六〇  
四一九〇六〇

歳出經常部

第十款 種牛改良費 第七項 雜給及雜費

【報告】 (一八) 農商務省ノ支出ニ係ル

ハ在獨逸文部省留學生岩住某ニ對シ白耳義ニ於ケル畜産調査竝ニ同國「リエージュ」開催第二回家畜飼育會議參列囑託費トシテ支給シタルモノナルモ、右ハ豫算目的外ノ支出ト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ、其答辯ノ要旨ハ岩住某ハ牛豚ニ關スル事項專攻ノ爲メ留學中ノモノニシテ本件囑託事項タル白耳義ニ於ケル畜産調査ハ畜産全般ニ關スルモノニアラスシテ單ニ牛豚ニ就キ之カ調査ヲ囑託シ又第二回家畜飼育會ハ牛豚ノ飼育改良上必要ナル事項多カリシヲ以テ專攻者ヲシテ之ヲ研究スルノ目的ニテ參列セシメタルモノニシテ牛豚改良上必要ナル事項ニ屬スルヲ以テ之ヲ本費ヨリ支出シタリト云フニアリ、然レトモ本費豫算中給與ハ歐洲ヨリ種牛豚護送手當及慰勞金ヲ見積リタルニ止リ外國ニ於テ開催スル會議ニ參列シ及ヒ家畜ノ調査ヲ爲スカ如キ費用ハ本費豫算ノ範圍ニ屬スヘキモノニアラス、且ツ之カ關係書類ヲ検査スルニ其囑託命令書ニハ本會ノ提出ニ係ル諸問題ノ決議、重要ナル討議ノ要旨、白耳義國畜産獎勵發達ノ狀況ニ就キ調査復命スヘシトアリ、又本人ノ復命書ニ徵スルモ主トシテ白耳義國ニ於ケル全般ノ畜産獎勵ニ關スル政策及其成績ヲ調査シタルコト明ニシテ答辯ノ事實ヲ認ムルヲ得ス、然ルニ其調査事項ハ單ニ牛豚ニ限リタルモノトシテ之カ調査囑託手當ヲ本費ヨリ支出シ

タルハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 本件ハ牛豚ノ改良上ノ重要ノ資料トナル事項ノ調査ヲ囑託シタルモノニシテ是等調査ノ目的ヲ達センニハ勢ヒ畜産ノ全般ニ關スル政策竝ニ其成績ヲ調査セシムルノ必要アリシヲ以テ命令書中ニ記載シ且ツ是等資料蒐集ニ最モ便宜ナルヘキ白耳義國第二回家畜飼育會ニ參列ス可キ旨指示シタルモ其目的固ヨリ牛豚ノ改良ニアルヲ以テ之レカ囑託手當ヲ本費ヨリ支出シタルハ當然ナリト認ム

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 承認

(參照) 〇會計法第十二條第一項(一八〇頁參看)

歳出臨時部

第六款 國有林野經營費 第五項 事業費

【報告】 (一九) 青森大林區署ノ支出ニ係ル

ハ青森大林區盛岡小林區署ニ於テ森林主事坂牛某カ國有林植附事業及地拵事業人夫賃トシテ證明シタルモノナルモ、右ハ全然備入レタルコトナキモノヲ實際使役シタルモノトシテ請求シ又ハ實際使役シタル人夫ノ賃金ニ附加請求シ其仕拂ヲ受ケタルモノナリ、右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 不當

逓信省所管

臨時事件費ヲ以テ通信事業ノ擴張ニ伴フ經費ヲ支辨シタルモノ五件(一〇)(一一)(一二)

歳出臨時部

第八款 臨時事件費 第一項 臨時事件費

【報告】 (二〇) 逓信省經理局ノ支出ニ係ル

廣島郵便局ノ支出ニ係ル

明治三十八年度 農商務省 (一九) 逓信省 (二〇)



八下關西郵便局敷地二百六十五坪六合ノ買收代及同局局舎木造二階建五十四坪平家建二百七坪一合其他附屬舎等新營費七萬七百九拾壹圓八拾貳錢七厘ノ内ニシテ參萬四千貳百五拾六圓貳拾六錢七厘ハ明治三十九年度ニ屬スルモノナリ、右ハ臨時事件ニ關スル必要ノ設備ニアラスト認め之カ事由ヲ遞信大臣ニ質問セシニ、其辯明ノ要旨ハ出征軍隊ノ滿韓地方ニ駐屯スル期間ハ引續キ軍事郵便物ノ取扱ヲ要スルヲ以テ其終期ヲ豫定シ難キノミナラス假令之カ取扱ヲ廢止スルモ一般通信業務ノ増進ニ鑑ミ追テ同局舎ノ新營ヲ必要トスルカ故ニ一時的ノ設備ニ止ムルハ却テ不經濟ニ屬スルニ由ル、又之ヲ本費ヨリ支出シタルハ此等臨時事件ニ關スル經費ハ當初ヨリ同費豫算ヲ以テ之ヲ要求シタルニ由ルト云フニアリ、然レトモ本費ハ臨時事件ニ關シ緊急ノ必要ニ迫レル通信機關ノ増備及維持ノ費用ニ限レルモノナリ、而シテ同局カ軍事郵便直接交換局ニ指定セラレタルハ三十七年二月ニシテ同年七月中借入局舎ヲ増築若クハ修繕シ爾來支障ナク其事務ヲ遂行シタルモノナルニ三十八年十月ニ至リ土地ヲ買收シ同年十一月局舎ノ新築ニ著手シ三十九年三月ヲ竣功期限トシ特ニ新築ノ計畫ヲ爲スカ如キハ臨時事件ニ關スル必要ノ設備ト認めムルヲ得ス、依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 下關西郵便局ノ敷地ヲ買收シ及之ニ局舎ヲ新築シタル所以ハ同局ハ從來借入家屋ヲ以テ局舎ニ充用セシモ臨時事件ニ關シ軍事郵便直接交換局ニ指定セシ以來出征軍隊ノ増加ト共ニ軍事郵便物劇增ヲ來タシ當時ノ借入局舎ニテハ頗ル狹隘ヲ告ケ到底業務ヲ執行スルヲ得サルノミナラス他ニ借入ルヘキ相當ノ家屋モ之レナカリシニ由ル而シテ其三十八年度末ヲ竣功期限トシ新築ノ計畫ヲ立テタル所以ハ軍事郵便物ハ出征軍隊ノ滿韓地方ニ駐屯スル期間ハ引續キ之カ取扱ヲ要スルヲ以テ其終期ヲ豫定シ難キノミナラス假令軍事郵便物ノ取扱ヲ廢止シタル後ト雖一般通信業務ノ増進ニ鑑ミ近ク同局々舎ノ新營ヲ必要トスルハ明瞭ナルカ故ニ一時的ノ設備ニ止ムルハ却テ不經濟ニ屬スルカ爲ナリ以上ノ事由ナルヲ以テ本件ハ臨時事件ニ關シ必要ナル設備ヲ爲シタルモノニ外ナラサルハ勿論其新營費ハ當初ヨリ臨時事件費豫算ヲ以テ要求シタルモノナルニ依リ敢テ不當ニアラスト信ス

【貴決】 將來ニ注意ヲ促ス(分科會) 【衆決】 承認

【報告】 (二二) 遞信省經理局ノ支出ニ係ル郵便爲替貯金管理所ノ支出ニ係ル

一〇、九三三、一六〇  
一〇、四六五〇〇

ハ下關郵便爲替貯金管理支所ノ敷地九十一坪買收代廳舎木造二階建八十坪及附屬舎等ノ増築費トシテ支出シタルモノナリ、明治三十九年四月之カ實地ヲ検査スルニ舊廳舎ノ大半ハ不用ニ屬シ新廳舎ノ内僅ニ一室ヲ以テ軍事爲替貯金事務用ニ供スルニ止マルノ狀況ニシテ臨時事件ニ關スル必要ノ設備ニアラスト認め之カ事由ヲ遞信大臣ニ質問セシニ、其辯明ノ要旨ハ下關郵便爲替貯金管理支所ハ逐年事業ノ増進ニ伴ヒ廳舎ノ狹隘ヲ告ケ軍事爲替貯金取扱開始ト共ニ愈々狹隘ヲ感シ相當ノ設備ヲ爲スニアラサレハ吏員及證書書類等ヲ收容スルノ餘地ナキニ至ルノ趨勢ナリシヲ以テ之カ増築ヲ爲シタルモ平和克復ノ早カリシト取扱口數ノ豫定ニ達セザリシト韓國爲替貯金調査ニ關スル事務ヲ統監府ニ移シタル等ノ爲メ局舎ニ餘裕ヲ生シタルモノナリ又一時的ノ設備ニ止メザリシハ業務ノ増進ニ鑑ミ近ク廳舎ノ新營ヲ必要トスルノ狀況ナルヲ以テ臨時ノ假設ハ却テ不經濟ニ屬スト認めタルニ由ルモノナリト云フニアリ、然レトモ軍事爲替貯金事務ノ最モ頻繁ナル時期ニ於テモ其職員僅ニ四拾餘名ニ過キス、之カ爲メ此ノ如キ廳舎ヲ増築スルノ必要ナキノミナラス三十八年六月土地ヲ買收シ同年七月工事ニ着手シ同年十二月ヲ竣功期限トシ特ニ増築ノ計畫ヲ爲スカ如キハ臨時事件ニ關スル必要ノ設備ト認めムルヲ得ス、依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 下關郵便爲替貯金管理支所ノ敷地ヲ買増シ及事務室等ヲ増築シタル所以ハ逐年一般爲替貯金事務ノ増進ニ伴ヒ漸次廳舎ノ狹隘ヲ感シツ、アルノ際臨時事件ニ關シ同支所ヲシテ軍事爲替貯金事務ヲ取扱ハシムルコト、セシ爲愈々狹隘ヲ告ケ増築設計當初ノ狀況ニ依レハ今ニ於テ相當ノ設備ヲ爲スニアラサレハ到底此ノ事務ニ従事スヘキ吏員及證書書類等ヲ收容スルノ餘地ナキニ至ルノ趨勢アリシニ由ルモノニシテ其増築ノ計畫ヲ立ツルニ當リ三十八年十二月ヲ以テ竣功期限ト爲シタル所以ハ前項後段ト同一ノ事由ニ出テタルモノナリ然ルニ幸ニシテ平和克復ノ早カリシト共ニ軍事爲替貯金取扱口數ノ豫定ニ達セザリシト三十九年一月統監府通信官署官制施行ト同時ニ韓國爲替貯金調査ニ關スル事務ヲ統監府通信管理局ニ移シタル等トノ爲増築工事竣成後ハ一時事務室ニ餘裕ヲ生シ殊ニ會計検査官臨檢當時ハ事務繁劇ノ際ニアラサリシカ故ニ一層多クノ餘裕ヲ有スルモノノ如ク認めラレシモノナルヘキモ目下ニ於テハ一ノ空室ヲモ有セサルニ至リタリ以上ノ事由ナルヲ以テ本件ハ臨時事件ニ關シ必要ナル設備ヲ爲シタルモノニ外ナラサルハ勿論其増築費ハ當初ヨリ臨時事件費豫算ヲ以テ要求シタルモノナルニ依リ敢テ不當ニアラスト信ス(一八六頁(一〇)參看)

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 承認



【報告】 (二三二) 廣島郵便局ノ支出ニ係ル

ハ字品郵便局舎、同局長官舎用敷地建物ノ買収及其修繕工費ニシテ、明治三十八年十一月中局舎ニ充用スルノ目的ヲ以テ敷地二百八十九坪及其地上建物百九十五坪其他ノ附屬物ヲ壹萬八千六百餘圓ヲ以テ買収シ同年十二月ニ至リ其建物ノ一部ヲ局長官舎ニ充用スルコト、シ工費四千五百餘圓ヲ以テ局舎及官舎ノ模様替修繕工事ヲ施行シタルモノナリ、右ハ臨時事件ニ關スル必要ノ設備ニアラスト認メ之カ事由ヲ遞信大臣ニ質問セシニ、其辯明ノ要旨ハ出征軍隊ノ凱旋ヲ了ル迄ハ引續キ業務繁劇ヲ極メ近ク一般通信業務ノ増進ニ鑑ミ之ヲ買収シタリト云フニアリ、然レトモ戰時中現ニ舊局舎ニ於テ其事務ヲ遂行シ來リタルニ拘ラス三十八年十一月土地及建物ヲ買収シ同年十二月ニ至リ其一部ヲ局長官舎ニ充用スルカ如キハ通常通信事業ノ設備ヲ爲シタルモノニシテ臨時事件ニ關シ必要ノ設備ト認ムルヲ得ス、依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】

字品郵便局ノ敷地及建物ヲ買収シタル所以ハ當時臨時事件ニ關シ業務非常ニ膨脹シ局舎狹隘ヲ來タシ執務上ノ不便到底堪フヘカラサルニ至リタルカ爲ニシテ其後模様替修繕ヲ施シ該建物ノ一部ヲ局長官舎ニ充用シタル所以ハ同地方ハ官吏ノ住宅トシテ相當ノ貸家ナク當該局長ハ止ムナク廣島市ヨリ通勤スルノ狀況ニシテ其退局後ニ於ケル緊急用務ノ處理上支障渺ナカラサリシニ由ル而シテ其三十八年十一月乃至十二月ニ於テ是等ノ設備ヲ爲シタル所以ハ出征軍隊ノ凱旋ヲ了スル迄ハ引續キ業務繁劇ヲ極ムルト第一項後段ト同一ノ事由アルトニ由ルモノナリ以上ノ事由ナルヲ以テ本件ハ臨時事件ニ關シ必要ナル設備ヲ爲シタルモノニ外ナラサルハ勿論其費途ハ當初ヨリ臨時事件費豫算ヲ以テ要求シタルモノナルニ依リ敢テ不當ニアラスト信ス(一八六頁(二〇)參看)

【貴決】 將來ニ注意ヲ促ス(分科會)

【衆決】 承認

國債

煙草專賣法發布ノ際現存又ハ取得セサル建物及敷地ニ對シ交付金ヲ増給シタルモノ一件(二三三)

【報告】 (二三三) 煙草專賣法ニ依リ發行シタル國庫債券中

ハ刻煙草製造業者東京市岡本某外四百二十四名ニ對シ交付シタル煙草專賣法第七十五條第一項ノ交付金四拾五萬八千八百

四拾圓五拾六錢四厘同項但書ノ増給額七萬六千四百七拾參圓參拾九錢七厘合計五拾參萬五千參百拾參圓九拾六錢壹厘ノ内ニシテ端金壹萬貳千拾參圓九拾六錢壹厘ハ大藏省所管歲出臨時部第十一款臨時事件費第一項臨時事件費ヨリ支出シタルモノナリ、然ルニ同人等カ刻煙草製造用ニ供シタル本件建物、敷地ハ孰モ煙草專賣法發布後ニ至リ讓受ケ若クハ建築シタルモノニ係リ其過半ハ刻煙草製造專賣實施期二三箇月前ヨリ遽ニ之ヲ讓受ケ或ハ建築シタルモノニシテ同法發布ノ際所有セサルモノナルニ其建物、敷地ノ徵收又ハ買上ヲ爲サ、リシ故ヲ以テ交付金ヲ増給シタルモノナリ、其理由トスル所ハ同法第七十五條ハ一般ニ徵收又ハ買上ヲ受ケサル物件ニ對スル救済方法ヲ規定シタルモノニシテ同條但書ニ所謂煙草製造用ノ建物、敷地ハ禁業期即チ明治三十八年三月三十一日ニ於テ所有スル以上ハ必スシモ法律發布ノ際ニ所有スルモノタルヲ要セス、第七十三條ニ於テ法律發布ノ際現在スルモノタルヲ要スルハ政府ノ徵收シ得ル權限ノ範圍ヲ規定シタルモノナリト云フニアリ、然レトモ交付金ノ増給ハ煙草製造業者カ其所有ニ係ル煙草製造用建物、敷地ノ徵收又ハ買上ヲ受ケサルカ爲メ被ルヘキ不測ノ損失ヲ補償スル趣旨ニ出テタルモノニシテ、同法第七十三條ニ於テ法律發布ノ際現在スル煙草製造用ノ建物、敷地等ハ政府之ヲ徵收シ得ヘク其徵收目錄ハ法律發布後六十日間ニ作成告知スヘキ旨ヲ定メ、第七十五條第一項但書ヲ以テ建物、敷地ノ全部ノ徵收又ハ買上ヲ受ケサル者ニ對シ交付金ヲ増給スルノ規定ヲ爲シタルモノナルヲ以テ増給ニ就テハ當ニ三十八年三月三十一日ノ現所有ヲ必要トスルノミナラス尙ホ其建物、敷地ハ法律發布ノ際所有シタルモノナラサルヘカラス、是ヲ以テ其實施期既ニ定マリ之カ爲メ不測ノ損失ヲ生スルコトナキ時期ニ至リ新ニ讓受又ハ建築シタルモノニアリテハ本法補償ノ範圍外ニ屬シ交付金ヲ増給スヘキモノニアラス、依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】

本件ハ煙草專賣法第七十五條第一項但書ニ依リ増給シタルモノニシテ即チ「煙草製造用ノ建物及其ノ敷地ヲ所有スルモノニシテ其ノ建物及敷地ノ全部ノ徵收又ハ買上ヲ受ケサル者ニ對シテハ尙ホ交付金ニ相當スル金額ノ六分ノ一ヲ増給ス」トアル法文ノ適用ニ外ナラス會計検査院検査報告ニハ交付金ノ増給ハ煙草製造業者カ其ノ所有ニ係ル煙草製造用建物敷地ノ徵收又ハ買上ヲ受ケサルカ爲メ被ルヘキ不測ノ損失ヲ補償スル趣旨ニ出テタルモノニシテ當ニ三十八年三月三十一日ノ現所有ヲ必要トスルノミナラス尙ホ其ノ建物敷地ハ法律發布ノ際



所有シタルモノナラサルヘカラスト云フニ在ルモ煙草專賣法第七十三條ハ政府ノ徵收權ノ範圍ヲ限定シタルモノナルヲ以テ建物敷地ヲ徵收スルニ付テハ必ス法律發布ノ際其ノ現在ヲ要件トスルモ交付金ノ増給額給與ハ法律施行ノ際煙草製造用ノ建物敷地ヲ所有スルモノニシテ之レカ全部ノ徵收又ハ買上ヲ受ケサルヲ要件トシ法律發布ノ際現在スルト否トハ更ニ關係ヲ有スルモノニアラス是レ法文ノ解釋上明白ナルノミナラス若シ然ラスハ法律發布前建築ニ著手シ發布後竣功シタルモノ、如キ若クハ發布前ヨリ所有セル建物カ發布後天災事變等ニ罹リ滅失シタルカ爲メ新タニ建築シ又ハ他ノ工場ヲ買收セルモノ、如キ何レモ法律發布ノ際現在シタルモノニ非ルヲ以テ給與ノ利益ヲ喪失スルノ結果ヲ見ルニ至ルヘシ是豈法律ノ精神ナランヤ況ヤ検査報告ハ煙草專賣法第七十三條ヲ引用シ法律發布當時ノ現在ヲ云々スルモ同條ハ單ニ徵收ノコトヲ規定スルニ止マリ買上ニ付テハ何等規定スル所アルナシ故ニ買上ニ付テハ無論法律發布ノ際現在セルト否トヲ問フコトナク只事實上買上ヲ受ケサルノ要件ノミニテ交付金ヲ増給セサルモノナルヲ知ラハ獨リ徵收ノ關係ニ於テ法律發布ノ際所有シタルモノノナラサルヘカラスト爲スハ甚タ無意味ナリト云ハサルヘカラスト故ニ本件ハ正當ニ法律ヲ適用シタルモノニシテ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○煙草專賣法(明治三十七年四月一日)

法律第十四號

第七十三條 本法發布ノ際ニ現在スル煙草製造用ノ建物、其ノ敷地及其ノ製造場備附ノ煙草製造用ノ器具機械ハ政府ニ於テ之ヲ徵收スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ニ對シ補償金ヲ交付ス

政府ハ本法發布ノ後煙草製造業者ノ營業場ニ就キ前項ニ依リ徵收スヘキ物件ヲ調査シ徵收目録ヲ調成ス

徵收目録ハ本法發布後六十日以内ニ之ヲ所有者ニ告知ス

前項ノ告知後ハ所有者ハ政府ノ承認ヲ受クルニ非サレハ徵收目録ニ記載シタル物件ヲ處分スルコトヲ得ス

第七十五條第一項(一七九頁參看)

### 官 有 物

不當ノ評價格ニ依リ土地ノ交換ヲ爲シタルモノ二件(二四)(二七)

土地ヲ低價ニ拂下ケ家屋ヲ建築セシメタルモノ二件(二五)(二六)

建物ヲ交換シタルモノ一件(二八)

【報告】 (二四) 内務省ニ於テ政府ノ所有ニ係ル愛知縣愛知郡熱田町名古屋區裁判所熱田出張所敷地二千六百九坪七合此評價格

ト名古屋市横井某所有同縣同郡千種町地所三千六百六十坪此評價格

五、七四一三四〇  
五、八五六〇〇〇

トヲ明治三十八年十二月中官有地取扱規則ニ依リ交換セリ、當該官吏ノ説明スル所ニ依レハ熱田出張所應舎ハ幕府時代ノ建物ニシテ腐朽ノ箇所多ク年々多額ノ修繕費ヲ要シ其維持ニ苦心ノ折柄横井某ヨリ該應舎ヲ新築シ貸渡サンコトヲ申出テタルニ由リ寧ロ之ヲ借入ル、ヲ得策ナリトシ、且ツ該敷地ノ面積ハ出張所ノ敷地トシテハ廣濶ニ過クルヲ以テ將來不用ニ屬スヘク又一面ニ於テ其急ニ迫マリツ、アル名古屋控訴院並ニ地方裁判所合併改築ノ場合ニ要スル假廳舎建築ノ敷地トシテ豫メ適當ノ地所ヲ撰定シ置クノ必要ニ出テタルモノナリト云フニアリ、然レトモ最近五箇年度間ニ於ケル修繕費ハ毎年度平均八拾七圓餘ニ過キス、又應舎建築ハ其豫算未タ成立セサルモノニシテ單ニ内部ノ希望ニ過キス、而シテ本件交換ヲ爲スニ當リ横井某ハ寄附ト稱シ該出張所建物ヲ地方裁判所長官舎ニ移築シ控訴院官舎一棟ヲ新築シ工費合計四千貳百餘圓ヲ支辨セル等交換代地以外ニ種々ノ義務ヲ負擔セリ、三十九年十二月之カ實地ヲ検査スルニ交換代地ハ名古屋市ノ東部千種停車場ヲ距ル約十町田畑ノ間ニ介在シ假廳舎等ヲ設クヘキ適當ノ位置ニアラス、又交換兩地ハ坪數ニ著シキ差異アルノミナラス其評價ハ適當ナルモノト認ムルコトヲ得ス、即チ官有地ハ一坪貳圓貳拾錢横井某所有地ハ一坪壹圓六拾錢ニシテ評價委員ノ説明書ニ依レハ官有地ハ面積多大ニシテ入口狭小ナルノミナラス殆ト袋地ニ等シキヲ以テ表通りニ接スル小面積ノ土地トハ同一視シ難ク且ツ小面積ノ土地賣買ハ容易ニ行ハレ其價格割合ニ高價ナルモ之ニ反シ面積多大ノ土地ハ賣買容易ナラス其價格割合ニ低廉ナルハ普通ノ狀態ナルヲ以テ實地ノ狀況ニ鑑ミ一坪貳圓貳拾錢ト評定シ又横井某所有地ハ停車場設置以來那道開設等ノ爲メ該方面ニ向ヒテ家屋ヲ新築スルモノ多ク隨テ土地ノ價ハ日々騰貴スルノ狀況ナリ、惟フニ土地ノ賣買價格ハ賣買當事者ノ意向ニ依リ一定セサルヲ以テ現時ノ狀況ニ參酌シテ壹圓六拾錢ト評定シタリト云フニアリ、依テ更ニ其交換ノ理由及價格算出ノ基礎ニ就キ内務司法兩大臣ニ質問セシニ、名古屋控訴院地方裁判所合併應舎ノ如キ建築ニアリテハ三四年ノ後ニアラサレハ落成セス其間訟延、登記所等ノ爲メ假廳舎取設ケノ必要アリ、土地ノ價格ニ就テ



ハ評價委員ノ評定ヲ至當ト認メ交換セル旨辯明セリ、然レトモ廳舎合併改築ノ時期ハ未定ナルノミナラス現控訴院及地方裁判所構内ニハ孰モ假廳舎建設ノ餘地アリ別ニ其敷地ヲ求ムルノ必要ナキニ假廳舎建築敷地トシテ而モ不適當ナル地ヲ撰定シタルハ措置當ヲ得タルモノニアラス、又熱田町ハ從來商工業繁盛ノ地ニシテ熱田灣築港モ將ニ完成ヲ告ケントシ交換地タル官有地ハ港灣ヲ距ルコト僅ニ町餘ノ市街宅地ナルヲ以テ前途有望ノ位置タルハ明白ナル事實ナルニ評價委員ハ毫モ是等ノ關係ヲ參酌セス、該地ハ評價書ニ袋地ニ等シト云フモ表通りニ幅五間ノ通路ヲ有シ他ノ二方ハ道路ニ接セリ而シテ之ヲ數年前ニ於ケル隣地ノ賣買登記價格一坪五圓餘ニ比スルモ其半額ニ及ハス、又交換地タル横井某所有地ハ交換ニ先チ俄ニ田畑ヲ購入シ或ル部分ハ地目ヲ變換シテ郡村宅地ト爲シ之ヲ交換地ニ充テタルモノニシテ其購入登記價格ハ一坪平均七拾五錢餘ノ計算ナルニ僅々月餘ニ過キスシテ之ヲ倍額餘ニ評定シタルモノナリ、而シテ交換地ノ全部ハ現ニ耕作地トシテ無償ニテ横井某ニ貸付セリ、要スルニ本件ハ必要ナキ敷地ヲ急速撰定スルノ要アリトシ兩地價格不同ノモノナルニ拘ラス之カ交換ヲ行ヒタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本項交換地ハ民有地ノ方稍多キニ居ルモ甚シキ差違アルニアラス且ツ地方長官ノ爲サシメタル評價ハ其當時各地位相當ト認メラレタルヲ以テ官有地取扱規則第八條ニ概觸セサルモノニシテ不當ノ處分ニアラス又建物ノ寄付ハ土地交換ノ條件若クハ附帶ノ義務ニアラサルヲ以テ司法省ニ於テ其寄付ヲ受ケタリトスルモ之カ爲メ土地交換ノ處分ヲ不當ナリトスルヲ得ス

交換地無償貸付ノ處分ハ内務省ニ於テ之ヲ爲シタルコトナシ尤裁判所廳舎改築ノ必要切迫ノ場合ニ付期限ヲ確定シ貸付約スル能ハサリシカ爲メ荒蕪地トナラサル様司法省ニ於テ其保管ヲ命シタル結果一時無償使用ノ便宜ヲ與ヘタルニ過キス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會) 【衆決】 不當

(參照) ○官有地取扱規則(明治二十三年十一月二十五日勅令第二百七十六號)

第八條 官有地ト民有地ノ交換ハ兩地ノ坪數及價格稍相均シキモノニアラサレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

【報告】

(二五) 内務省ニ於テ政府ノ所有ニ係ル神田郵便局舎及東京郵便局長官舎敷地八百八坪五合六勺ヲ 二六、六八二四八〇

ニテ甲武鐵道株式會社ニ拂下ケタルモノアリ、其拂下價格ハ一坪參拾參圓ニ該當シ同地方ノ價格トシテハ甚ク低廉ニ失ス

ルヲ以テ實地ニ就キ之ヲ調査スルニ、當時一方ニ於テ逓信省ハ同會社ヲシテ別ニ神田郵便局舎及東京郵便局長官舎ヲ建築シ之ヲ寄付セシメタリ、其事實ハ甲武鐵道株式會社ニ於テ飯田町停車場ヨリ神田區須田町マテ線路ヲ延長スルニ付停車場位置トシテ神田郵便局及東京郵便局長官舎敷地ヲ適當トスルニ由リ同局舎、官舎ノ移轉ヲ求メ之カ建物ハ逓信省ノ指揮監督ニ從ヒ建築ノ上寄付スヘキ旨出願シタルヲ以テ、逓信省ニ於テハ明治三十七年十月之ヲ許可シ神田郵便局ヲ神田區連雀町官有地内ニ新築シ東京郵便局長官舎ヲ芝公園内東京郵便電信學校敷地内ニ移轉改築セシムルコト、シ、工事ノ設計仕様ヲ定メ其施行ハ總テ逓信省官吏ノ監督ニ依ルヘキコトヲ命令セリ、同會社ハ此命令ニ基キ神田郵便局煉瓦造二階建二百七十六坪餘及附屬舎等ヲ併セ工費九萬五千貳百參拾七圓五拾四錢ヲ以テ三十九年二月竣功シ、東京郵便局長官舎西洋形木造二階建十坪餘日本形木造平家建五十四坪餘及附屬舎等ヲ併セ工費六千八百八拾圓ヲ以テ三十八年九月竣功シテ孰モ逓信省ニ引渡シ、同省ハ舊神田郵便局及東京郵便局長官舎建物ヲ賣却シタル後其敷地八百八坪餘ヲ三十八年四月東京府ニ引渡シ、東京府ハ同年五月貳萬六千六百餘圓ヲ以テ同會社ニ拂下ケタルモノトス、右ハ相當價格ヲ以テ土地ヲ拂下ケ別ニ局舎、官舎ノ新營ニ關スル豫算ヲ要求スヘキ筈ナルニ其家屋ヲ建築寄付セシメ之ヲ得有シ、一方ニ於テ低價ニ土地ヲ拂下ケタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本項賣却ノ土地ハ地方長官ノ爲サシメタル評價ヲ相當ト認メタルモノニシテ建物ノ寄付ハ賣却ノ條件又ハ附帶義務ニアラサルヲ以テ當該官廳ニ於テ之ヲ受ケタリトスルモ之カ爲メ土地賣却ノ處分ヲ不當ナリトスルヲ得ス

【貴決】 處置適當ヲ闕クモ辯明ニ依リ當時ノ事情已ムヲ得サルモノトス(分科會) 【衆決】 承認

【報告】

(二六) 内務省ニ於テ政府ノ所有ニ係ル警視廳第四消防署附屬萬世橋消防出張所敷地百八十坪ヲ 五、九四〇〇〇

ニテ甲武鐵道株式會社ニ拂下ケタルモノアリ、其拂下價格ハ一坪參拾參圓ニ該當シ同地方ノ價格トシテハ甚ク低廉ニ失スルヲ以テ之ヲ調査スルニ、該敷地ハ神田區須田町神田郵便局舎地積ニシテ甲武鐵道株式會社ノ鐵道敷地ニ該當スルニ依リ、同會社ハ該地ニ現在セル地方費所屬消防出張所ヲ移轉改築スルト共ニ其敷地ノ拂下ヲ出願シタルヲ以テ、警視廳ハ明



治三十八年二月建物ノ改築ヲ許可シ同區連雀町逓信省用地内ニ新ニ煉瓦造二階建平家建六十三坪餘及附屬舎等ヲ工費八千圓ヲ以テ建築セシメ同年十一月之ヲ受領シ、東京府ハ三十九年二月右敷地ヲ前記價格ニテ同會社ニ拂下ケタルモノトス、右ハ低價ニ土地ヲ拂下ケ一方ニ於テ地方費ノ負擔ニ屬スヘキ家屋ヲ建築セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【備考】 本項賣却ノ土地ハ地方長官ノ爲サシメタル評價ヲ相當ト認メタルモノニシテ建物ノ寄付ハ賣却ノ條件又ハ附帶義務ニアラサルヲ以テ當該官廳ニ於テ之ヲ受ケタリトスルモ之カ爲メ土地賣却ノ處分ヲ不當ナリトスルヲ得ス

【貴決】 政府ノ處置適當ヲ闕クモ辯明ニ依リ當時ノ事情已ムヲ得サルモノトス(分科會) 【衆決】 承認

【報告】 (二七) 内務省ニ於テ政府ノ所有ニ係ル小倉市室町小倉區裁判所官舎敷地四百一坪八合三勺此評價格 一、六〇七、三二〇  
ト福岡縣河北某所有福岡市船町宅地四百三坪此評價格 一、五三一、四〇〇

ト福岡地方裁判所官舎敷地ニ充用スルノ目的ヲ以テ官有地取扱規則ニ依リ明治三十八年六月中交換セリ、四十年五月之カ實地ヲ検査スルニ交換地ハ小倉市内繁榮ノ地ニシテ三十七年中其附近元小倉區裁判所應舎敷地ヲ交換スルニ際シ評價シタル價格ハ一坪拾參圓五拾錢ナルニ本件交換ニ當リテハ其評價格一坪四圓ニ過キスシテ低廉ニ失スルモノト認メ之カ事由ヲ内務司法兩大臣ニ質問セシニ、其辯明ノ要旨ハ元小倉區裁判所應舎敷地ハ室町表通りナルト當時地價騰貴ノ折柄ニ付一坪拾參圓五拾錢ト評定セシモ同官舎敷地ハ裏通りニシテ表通りニ接シタルハ狹長ノ部分ニ止マリ固ヨリ比較スヘキニアラス、依テ近傍類地實際賣買ノ價格ヲ標準トシテ評定シタル價格一坪四圓ヲ相當ト認メタルニ由ルト云フニアリ、然レトモ該地所ノ一部ハ表通りニ接シタル角地面ニシテ市内繁榮ノ位置ニアリ、三十三年中之ニ比シ劣等ナル小倉市東端紺屋町境町所在地ヲ小倉區裁判所新應舎敷地トシテ一坪平均六圓貳拾錢餘ニテ買收シタル事例ニ徵スルモ其評價ノ不當ナルコト明ナルノミナラス交換地ハ交換地タル福岡市船町ニ比シ土地ノ等位固ヨリ同一視スヘキモノニアラス、右ハ兩地價格不同ノモノナルニ之カ交換ヲ行ヒタルモノニシテ不當ナリトス

【備考】 本項交換地ハ兩地ノ坪數價格稍相均シク且地方長官ノ爲サシメタル評價ハ其當時各地位相當ト認メラレタルヲ以テ官有地取扱規則第八條

ニ抵觸セサルモノニシテ不當ノ處分ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○官有地取扱規則第八條(一九二頁參看)

【報告】 (二八) 司法省ニ於テ小倉區裁判所附屬官舎二棟八十坪及古材若干福岡市渡邊某ニ交付シ同人ノ新築ニ係ル福岡地方裁判所所長官舎一棟六十八坪八合五勺ヲ得有セリ、明治四十年五月之カ實地ヲ検査スルニ右ハ三十九年一月福岡市渡邊某ヨリ同區裁判所附屬官舎二棟竝ニ舊應舎ノ古材ヲ以テ福岡市船町福岡地方裁判所用地内ニ所長官舎一棟改築獻納ヲ許可シタルモノナルモ、其實獻納ニ係ル建物ハ總テ新材ヲ以テ建築シ小倉區裁判所官舎建物ハ現存ノ儘一棟ハ小倉市長居住シ一棟ハ室町尋常高等小學校附屬幼稚園ノ使用ニ供セルヲ以テ法規ニ反シ建物ノ交換ヲ爲シタルモノト認メ之カ事由ヲ司法大臣ニ質問セシニ、其辯明ノ要旨ハ舊官舎ハ現在ノ儘引渡シタル上獻納者ニ於テ之ヲ解放シ舊應舎古材ト併セ改築獻納ノ筈ナリシモ工事著手ニ當リ古材ノ使用ニ堪フルモノ少キト取毀テ工手間及運搬費等多額ヲ要スルニ由リ解放スルト否トハ獻納者ノ任意トシ其補償トシテ新材ヲ以テ建築獻納セシメタリト云フニアリ、然レトモ三十四年中小倉區裁判所應舎ヲ移轉シ從來ノ敷地及建物不用トナリタルヲ以テ三十五年以來福岡地方裁判所長ハ之ヲ利用シ官舎ノ新設ヲ計畫シ本件交換ヲ遂行セル事實ハ當該官吏ノ往復文書ニ徵シ明ナリ、依テ本件ハ官有財産管理規則ニ違背シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件ハ會計検査院長ノ質問ニ對シ辯明シタル検査報告書所載ノ如クノ事由ニシテ家屋交換ノ目的ヲ以テ爲シタルモノニアラス依テ官有財産管理規則ニ違背スル所ナシ

【貴決】 別紙決議ノ通議決ス(二〇五頁參看) 【衆決】 官有財産管理規則ニ違背シタルモノニシテ不當

(參照) ○官有財産管理規則(明治二十三年十一月二十五日勅令第二百七十五號)

第十一條 官有財産ヲ以テ他人ノ所有物ト交換スルコトヲ得ルハ同一種類ノ財産ニシテ少クトモ評定價格相均キモノニ限ル  
森林、原野、田畑ハ同一種類ノ財産ト見做スコトヲ得  
營造物、家屋、船舶及其ノ附屬物ハ他人ノ所有物ト交換スルコトヲ得ス



明治三十八年度各特別會計歳入ノ賦課徴收、歳出ノ使用ニ於テ豫算又ハ法律勅令ニ違背シタル事項ハ歳出ニ於テ

- 作業費ヲ以テ擴張事業ノ經費ヲ支辨シタルモノ二件 一、八〇三、七九〇<sup>円</sup>一〇四
- 粗悪ノ工事ヲ施行シタルカ爲メ巨額ノ改築費ヲ要スルニ至リタルモノ一件 一、五三、八九一〇一〇
- 物件ノ購買宜シキヲ得ス國庫ノ損失ヲ來シタルモノ四件 五、三五一〇三三
- 競争入札ニ付スヘキ物件ノ購買ヲ隨意契約ニ依リタルモノ一件 五、一五七〇〇〇
- 合計八件 一、九六八、一八九一四七

ナリ

特別會計

大藏省所管

煙草專賣局

歳出

物件ノ購買宜シキヲ得ス國庫ノ損失ヲ來シタルモノ四件(二九)

五、三五一〇三三

第一款 煙草專賣局作業費 第七項 事業費

五、三五一〇三三

【報告】

(二九) 煙草專賣局及茂木外二煙草製造所ノ支出ニ係ル

ハ明治三十七年勅令第十六號ニ依リ隨意契約ヲ以テ星野某外八名ヨリ購入シタル木箱代六萬貳千五百參拾五圓七拾貳錢八厘ノ内ニシテ三十八年三月八日及三十一日ニ於テ納付未済ニ係ル二萬四千七百二十六箇此代價壹萬千五百拾貳圓參錢ノ購入ヲ止メ本年度開始スルヤ直チニ單價ヲ引上ケ之ヲ購入シ其代價ニ於テ千四拾八圓貳拾六錢ヲ増加シ又三十七年度及本

年度中購入シタル九萬六千四百七箇代四萬六千參拾貳圓六拾六錢五厘ニ對シ供給者ノ情願ヲ容レ單價ヲ引上ケ或ハ數量ヲ減少シテ更ニ高價ヲ以テ購入シ其代價ニ於テ四千參百貳圓七拾七錢參厘ヲ増加シタルカ爲メ國庫ノ損失ヲ來シタルモノナリ、依テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ、其答辯ノ要旨ハ三十八年三月中契約數量ヲ變更シタルハ製造計畫變更ノ爲メ不用トナリ或ハ年度末ニ於テ所屬年度ノ關係上之ヲ減少シタルモノニシテ本年度ニ於テ更ニ之ヲ購入シタルハ事業上所要アリタルニ由ル、而シテ單價ヲ引上ケ或ハ數量ヲ減少シ更ニ高價ヲ以テ購入シタルハ當時戰局ノ關係上原料木材ノ需用増進シ價格著シク騰貴セント職工給其他諸雜費總テ昂騰シ或ハ軍事輸送ノ爲メ原料木材ノ供給意ノ如クナラサルモノアリシヲ以テ該價格ニアラサレハ各供給者ヲシテ指定數量ヲ完納スル能ハサラシメ作業上支障ヲ來スヘキ虞アリシニ由リ已ムヲ得ス高價ヲ以テ購入シ又ハ値上ケノ要求ヲ許容シタルモノニシテ該處分ハ却テ經濟上利益アリト云フニアリ、然レトモ三十七年度末ニ於テハ本年度ノ製造計畫既定マリ其作業準備ヲ爲スヘキ時期ニ屬スルニ拘ラス之ニ必要ナル契約ノ履行ヲ爲サシメス其一部ヲ解除シ更ニ高價ヲ以テ之ヲ購入シタルハ其措置當ヲ得サルモノトス、又單價ノ引上ヲ爲シタルハ本件物品納入ノ遅延タル直チニ作業上ニ支障ヲ來スヘキモノナルニ之カ契約ヲ締結スルニ當リ不履行ノ制裁トシテ單ニ解除ノ一條項ヲ定ムルニ過キサリシ爲メ契約後ニ至リ供給者ヨリ値上ノ要求ヲ受ケ遂ニ之ヲ許容スルノ已ムヲ得サルニ至リシモノナリ、要スルニ本件ハ物件ノ購買宜シキヲ得サリシ爲メ國庫ニ損失ヲ來タスニ至リタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

煙草專賣局及茂木外二煙草製造所ノ物件購買ノ件明治三十七年度及明治三十八年度中購入契約ニ係ル木箱納付未済數ヲ當該年度末若クハ契約期間終了期ニ於テ解約ヲ爲シタルハ煙草專賣局及煙草製造所ニ於テハ其所要木箱ヲ當該期間ノ煙草製造計畫ニ基キ其數量ヲ豫定シテ購入契約ヲ爲スモ市場ニ於ケル煙草需要ノ變遷ニ伴ヒ製造計畫時々變更セラレ遂ニ契約納付期限ノ終期ニ於テ幾分ノ過剩ヲ生スルヲ免レズ此過剩數ハ即チ當該期間ニ於テ全然不用ニ屬スルモノナルヲ以テ之ヲ解約シ而シテ次期ノ所要木箱ニ對シテハ更ニ時價ニ應シ新規購入契約ヲ締結シタルモノナリ而シテ其新契約ニ依ル購入價格カ偶然契約購入價格ニ比シ増加シタルハ全ク市場ニ於ケル木材其他諸費ノ騰貴セシニ由ルモノニシテ固ヨリ當然ノ結果ナリ假リニ其過剩不用數ニ對シ納付期間ヲ延長シテ次期ノ需要ニ充テムトスルモ供給者ハ當該期



間ニ於ケル供給價格ノ見積ヲ爲シ契約ヲ締結シタルモノニシテ其後ニ於ケル納付ヲ豫期セサルハ勿論實際用材等ノ著シク騰貴シタル際ニ於テ強テ其納付期限ヲ延長シ低價ノ供給契約ヲ持續セムトスルカ如キハ頗ル條理ニ反シ到底材料品ノ圓滿ナル供給ヲ期スヘキニアラス若シ又全部之ヲ當該期間内ニ納付セシムルトスルモ貯藏上多大ノ容積ヲ要スル木箱ノ如キ到底當該製造所ニ於ケル狹隘ナル貯藏所ノ許ストコロニアラス特ニ年度末ヲ以テ納付終了期トナセル場合ノ如キ其年度契約ヲ以テ翌年度ニ費用スルカ如キハ會計法規上最モ避クヘキコトタリ之ヲ要スルニ製造計畫變更ノ爲メ不用ニ歸シタル木箱ヲ契約納付終了期ニ於テ之ヲ解約セシハ當然ノ措置ナリトス

又明治三十七年度及同三十八年度中ニ於テ木箱購入契約期間中其價格ヲ變更シ又ハ一旦契約ヲ解除シテ更ニ契約ヲ締結シタルモノアルハ其當時日露戰役中戰局益々發展シ軍隊及軍需品ノ輸送頻繁トナリ普通貨物ハ殆ント全ク運輸ノ便ヲ杜絶セラレ原産地ヨリ搬出セシ用材ハ空シク積出元停車場ニ堆積スルノミニシテ之ヲ需要地ニ回送スルコトヲ得ス依テ市場ノ在荷品ヲ買入レ以テ一時ノ急ヲ救ハントスルモ軍需用ノ爲著シク其需用ヲ増加シ適當ノ用材亦以テ缺乏ヲ告ケ加之職工ノ多數ハ軍隊ニ召集セラレ之レカ補充ヲ爲サントスルモ其人ニ乏シキ等總テ不可抗力ノ爲メ各供給者大ニ困難ヲ極メ何レモ其指定ノ數量ヲ完納シ能ハサルヲ以テ各種ノ手段ヲ盡シ其履行ヲ強要スルト共ニ鐵道作業局及鐵道會社ニ交渉シテ特別輸送ノ途ヲ講シ又ハ直接用材供給者ヲ取調フル等出來得ル限リ諸種ノ手段ヲ盡セシト雖モ更ニ其效果ナク又他ニ新ニ適當ノ供給者ヲ求メントスルモ斯ノ如キ場合ニ同一價格以內ニテ之ニ應スルモノナク事業ハ益々危急ヲ告クルニ至レリ此時ニ方リ契約不履行ノ故ヲ以テ之ヲ解除シ強テ他ニ供給者ヲ需メントセンカ其間事業ノ中止ヲ敢テセサルヘカラサルノミナラス偶供給ニ應セントスルモノアルモ其購入價格ハ非常ニ騰貴スヘク依テ其利害得失ヲ講究シタル未止ムヲ得ス特ニ軍隊及軍需品輸送ノ爲用材回送上大ニ障害ヲ受ケタルモノ、ミニ限リ其値上ヲ許容シ又ハ一旦契約ヲ解除シテ更ニ市場ニ於ケル相當價格ヲ以テ新ニ購入契約ヲ締結シ辛フシテ支障ヲ防止スルコトヲ得タルモノニシテ當時此措置ニ出タルハ事業上經濟上却テ利益アリタルモノナリ右ノ理由ニ依リ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

(參照) ○煙草製造專賣ニ要スル外國產煙草、器具機械其ノ他材料購入ノ場合ニ於ケル隨意契約ニ關スル件(明治三十七年四月十五日勅令第百十六號)

政府ニ於テ外國產煙草ヲ購入スルトキ又ハ煙草製造專賣創業ノ際必要トスル器具機械其ノ他材料ヲ購入スルトキハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

陸軍省所管

東京砲兵工廠

歳出

作業費ヲ以テ擴張事業ノ經費ヲ支辨シタルモノ二件(三〇)(三一)

一、八〇三、七九〇、一〇四

第一款 東京砲兵工廠作業費 第六項 作業費

【報告】

(三〇) 東京砲兵工廠ノ支出ニ係ル

一、〇四四、四八三、四三八

ハ同工廠銃包製造所ノ新營、移轉工事費及之ニ伴フ器具、機械買入据附費貳百七拾貳萬八千五百六拾八圓四拾六錢四厘ノ内ニシテ百六拾八萬四千八拾五圓貳錢六厘ハ臨時軍事費ニ屬スルモノナリ、抑、本建築及設備ハ時局ニ關シ新ニ工場ノ一大擴張ヲ行フ須要ニ基キ東京府北豊島郡王子村ニ特ニ施設シタルモノニシテ在來ノ製造力ヲ維持スルニ必要ナル補修工事ニ非サルヲ以テ本費ノ支辨ト爲スカラサルモノナリ、之ニ對スル當該官吏説明ノ要旨ハ時局ノ進捗ニ從ヒ同製造所工場ノ増築ヲ要スルモ本廠構内ノ敷地狹隘ニシテ其目的ヲ達シ得サルニ依リ之ヲ他ニ移轉スルノ必要ヲ生シ之カ經費ハ從來同製造所ニ於テ使用セル建造物及器具機械等ヲ他製造所ニ應用シタルカ爲メ豫算上他製造所分トシテ不用トナリタル額及同製造所ノ爲メニ計上セル費額ヲ充用シ尙ホ不足額ヲ臨時軍事費ヨリ支辨シタルモノナリト云フニアリ、然レトモ陸軍作業會計法第三條ニ依リ作業費ヲ以テ支辨スヘキ建物其他ノ維持修理及補充ハ在來ノ製造力ヲ維持スルニ必要ナル補修工事ニ限リタルモノニシテ、從來ノ製造所建物ヲ他ノ製造所工場ニ應用シ別ニ製造所ヲ新設スルハ即チ製造力ノ擴張ニ外ナラサルヲ以テ作業費ヨリ支辨スヘキモノニアラス、又銃包製造所ノ爲メ計上セル若干ノ費額ヲ充用セリトスルモ本件ノ如キ從來ノ設備ニ數倍セル擴張工事ヲ以テ在來ノ製造力ヲ維持スルニ必要ナル工事ト認ムルコトヲ得ス、依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 本項東京砲兵工廠銃包製造所工場ノ増築ハ臨時事件ニ伴ヒ其ノ必要ヲ感セシモ在來構内ノ敷地ハ既ニ狹隘ニシテ其ノ目的ヲ達シ得サルニ依リ之ヲ王子ニ移轉増築スルコト、セリ而シテ從來該製造所ニ使用セル建造物及器具機械等ハ之ヲ他ノ製造所工場ニ應用セシ爲メ其ノ補充トシテ豫算上他製造所ノ爲メニ計上シアリテ不用トナリタルモノ及銃包製造所ノ爲メニ計上セシ費額ヲ以テ移轉地王子ニ之カ設備ヲ爲シ其ノ補充ニ要セシ費用ヲ作業費ヨリ支出シタルモノニシテ擴張事業ノ經費ヲ支辨シタルモノニアラス

【貴決】 正當ノ支出ト認メサルモ戰役中已ムヲ得サルモノナルニ依リ不當ノ決議案ヲ提出スルニ及ハス(分科會) 【衆決】 不當



(参照) ○陸軍作業會計法(明治二十三年三月十八日法律第十八號)

第三條第一項 東京及大阪砲兵工廠ハ職工人夫ノ諸費材料素品及機械運轉用品ノ購入費建物其他工作物船舶機械器具ノ維持修理及補充費工場ノ雜費並ニ損失金ヲ作業ノ歳出トス

【報告】 (三二) 東京砲兵工廠ノ支出ニ係ル

七五九三〇六<sup>四</sup>六六六

ハ同工廠熱田兵器製造所ノ新營、移轉工事費及之ニ伴フ器具、機械買入据附費貳百五拾參萬四千四百參拾六圓壹錢四厘ノ内ニシテ參萬貳千七百五拾壹圓拾九錢七厘ハ明治三十七年度ニ於テ支出シ百七拾四萬貳千參百七拾八圓拾五錢壹厘ハ臨時軍事費ニ屬スルモノナリ、其理由トスル所ハ本工場及器具機械ハ諸車輛製作ニ要スルモノニシテ從來東京砲兵工廠内砲具製造所ノ一部ニ於テ之カ作業ヲ施行セシモ、臨時事件ニ伴フ工場擴張ノ結果其建造物及器具機械等ハ他ノ工場ニ應用セシ爲メ之カ補充トシテ熱田兵器製造所内ニ若干ノ設備ヲ爲シ之カ費用ヲ作業費ヨリ支出シタルモノニシテ擴張事業ノ經費ニアラサルヲ以テ本費ヨリ支辨シタリト云フニアリ、然レトモ陸軍作業會計法第三條ニ依リ作業費ヲ以テ支辨スヘキ建物其他ノ維持、修理及補充ハ在來ノ製造力ヲ維持スルニ必要ナル補修工事ニ限リタルモノニシテ在來ノ工場ヲ臨時事件ニ伴フ他ノ工場ニ應用シ其補充トシテ別ニ工場ヲ新設スルハ即チ製造力ノ擴張ニ外ナラス、隨テ之カ經費ハ本費ヲ以テ支辨スヘキモノニアラス、依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

本項ハ既ニ前年度ニ於テ辨明ノ如ク本工場及器具機械ハ諸車輛製作ニ要スルモノニシテ從來東京砲兵工廠内砲具製造所ノ一部ニ於テ之カ作業ヲ施行セシモ臨時事件ニ伴フ工場擴張ノ結果其ノ建造物及器具機械等ハ之ヲ他ノ工場ニ應用セシ爲メ其ノ補充トシテ熱田兵器製造所内ニ之カ設備ヲ爲シ其ノ補充ニ要セシ費用ヲ作業費ヨリ支出シタルモノニシテ擴張事業ノ經費ヲ支辨シタルモノニアラス(明治三十七年度〇五〇一五五頁參看)

【貴決】 正當ノ支出ト認メサルモ戰役中已ムヲ得サルモノナルニ依リ不當ノ決議案ヲ提出スルニ及ハス(分科會)

【衆決】 不當

(参照) ○陸軍作業會計法第三條第一項

文部省所管

東京帝國大學

歳出

競争入札ニ付スヘキ物件ノ購買ヲ隨意契約ニ依リタルモノ一件(三二)

五、一五七〇〇〇

歳出經常部

第二款 醫科大學醫院 第一項 廳費

【報告】 (三三) 東京帝國大學ノ支出ニ係ル

五、一五七〇〇〇

ハ脱脂「ガーゼ」二萬八千五百反ノ代價ニシテ雜貨商秋草某ヨリ隨意契約ニ依リ購入シタルモノナリ、其理由トスル所ハ本品ハ外科的治療上主要ノ材料ナルヲ以テ其製作ニ醫藥的指示ヲ要シ殺菌消毒ノ方法ヲ精密ニシタルモノニアラサレハ治療ノ用ニ供スヘカラス、而シテ如上ノ方法ヨリ製作シタルモノト雖モ多少ノ時日ヲ經過スレハ自然有機物又ハ細塵等ノ侵透ヲ免カレス、況ヤ競争入札ニ依リ多數ノ品ヲ買入貯藏スルトキハ之カ使用ニ當リ殺菌洗淨ノ方法ヲ盡スモ汚染ノ除去シ難キ爲メ不測ノ患者ヲ惹起スヘキ虞アリト云フニアリ、然レトモ供給者ニ殺菌消毒ノ方法ヲ指示シ隨時入用ノ數量ヲ納付セシムルニ於テハ前述ノ如キ虞ナキモノト認ム、現ニ京都醫科大學ノ如キハ年々之ヲ競争入札ニ付シ購買セル事例ニ徴スルモ右ハ競争入札ニ付スル能ハサルノ事由ト認ムルコトヲ得ス、依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】

本件脱脂ガーゼ購入ニ就テハ三十七年度決算ニ關スル検査報告書ニ之ト同一ノ報告アリ之ニ對シ既ニ答辯セル如ク本品ハ外科的治療上主要ナル材料ニシテ其製作ニ醫藥的指示ヲ要シ殺菌消毒ノ方法ヲ最モ嚴密ナラシメサル可ラサル特種ノ物質ニ屬スルカ故ニ之カ需用ニ際シ信用確實ナル製作者ヲシテ隨時精良ナルモノヲ供給セシメタルモノナレハ決シテ會計法第二十四條ニ違背シタルモノニアラス(明治三十七年度六〇一五六頁參看)

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(参照) ○會計法第二十四條(一八二頁參看)

逓信省所管

明治三十八年度 東京帝國大學 (三三)



官設鐵道

(歳出)

粗悪ノ工事ヲ施行シタルカ爲メ巨額ノ改築費ヲ要スルニ至リタルモノ一件(三三三)

一五三、八九一〇一〇

第一款 鐵道作業費 第五項 事業費

【報告】 (三三三) 鐵道作業局ノ支出ニ係ル

一五三、八九一〇一〇

ハ北陸線金津、富山間橋梁、溝橋修繕工事費ナリ、抑、本區間ハ明治三十年九月乃至三十二年三月開通セシモノナルニ年所ヲ經ルコト未タ久シカラスシテ橋梁溝橋ノ橋臺橋脚ニ罅裂ヲ生シ列車運轉上危險ノ状態ヲ呈スルニ至リタルニ由リ、當初建設費五拾七萬四千餘圓ノ工事ニ對シ三十六年度以降三十九年度ニ於テ豫定費額參拾五萬九千餘圓ヲ以テ之カ改修ヲ決定シ本年度ニ於テ前記金額ヲ支出セリ、右ハ其實況ニ徴スルニ建設當時使用シタル工事材料ノ粗悪ナリシト基礎工事ノ不十分ナリシトニ基因スルモノナリ、依テ本件ハ明治三十七年度檢査報告ニ詳悉セシト同シク粗悪ノ工事ヲ施行シタルカ爲メ巨額ノ改築費ヲ支出スルニ至リタルモノニシテ不當ナリトス〔明治三十七年度(六三)一五九頁參看〕

【辯明】

北陸線金津富山間橋梁溝橋ノ修繕ヲ要スルニ至リタルモノ勘ナカラサルハ會計檢査院明治三十七年度決算檢査報告ニ對シテ辯明スルトコロアリシカ如ク本區間ノ建設工事ハ交通運輸ノ關係上極メテ急施ヲ要セシヲ以テ時時雨雪ヲ侵シ日夜工事ヲ進捗セシカ當時恰モ日清戰後事業勃興ノ際ニシテ鐵道材料ノ需要急激ナリシカ爲自然粗悪ノモノ市場ニ流布スルニ至リ其餘波不幸ニモ檢査合格材料中良否ノ檢定ヲ至難トスル「セメント」ニ粗製ノモノアリシヲ主因トスルモノニシテ頗ル遺憾トスルトコロナリ但シ其現場ニ就キ審査ノ結果工事方法亦其宜シキヲ得サルモノナキニアラサルコトヲ發見セシニ依リ工事擔任者ハ夫、之ヲ處分シタリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

既 往 年 度



既往年度

目次

豫算及法律勅令違背ノ事項……………二〇三頁

明治三十七年度……………二〇三

一般會計……………二〇三

歲出……………二〇三

司法省所管……………二〇三

農商務省所管……………二〇四



目次

一、豫算及法律勅令違背ノ事項 ..... 二〇三

二、既往年度 ..... 二〇三

三、豫算外ノ事項 ..... 二〇三

四、豫算外ノ事項 ..... 二〇三

五、豫算外ノ事項 ..... 二〇三

六、豫算外ノ事項 ..... 二〇三

七、豫算外ノ事項 ..... 二〇三

八、豫算外ノ事項 ..... 二〇三

九、豫算外ノ事項 ..... 二〇三

十、豫算外ノ事項 ..... 二〇三

既往年度

豫算及法律勅令違背ノ事項

既往年度歳出ノ使用ニ於テ

虚偽ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ二件 ..... 五、二九二、七六五

其他不當ナルモノ一件 ..... 三〇、一〇〇

合計三件 ..... 五、三二二、八六五

【豫告】

歳出

虚偽ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ二件(三四)(三六) ..... 五、二九二、七六五

其他不當ナルモノ一件(三五) ..... 三〇、一〇〇

合計三件(三三) ..... 五、三二二、八六五

一、 般 會 計

司法省所管

歳出經常部

第二款 裁判所 第八項 裁判費

【豫告】

(三四) 札幌地方裁判所ノ支出ニ係ル

ハ證人旅費日當トシテ證明シ詐取シタル壹萬九千四拾貳圓貳拾六錢ノ内ニシテ壹萬參千八百五拾六圓四拾六錢ハ明治三十  
五、三十六、三十八年度ニ屬スルモノナリ、右ハ豫審掛書記三村某カ三十五年六月以降三十九年二月ニ至ル間引續キ虚偽ノ  
既往明治三十七年度 司法省 (三四)(三五)

五、一八五、八〇〇



事實ヲ作為シ豫審ニ於テ證人ヲ訊問シタルモノ、如ク裝ヒ之カ旅費日當ヲ詐取シタルモノナリ、依テ本件ハ不當ノ支出ナリトス

【審明】 會計検査院検査報告ノ通

【衆決】 不當

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會)

農商務省所管

歳出經常部

第二款 林区署 第八項 事業費

【報告】 (三五) 青森大林區署ノ支出ニ係ル

五三〇一〇〇

陸中國下閉伊郡磯雞村飛鳥方國有林外四箇所造林手入事業人夫三百十六人ニ對スル賃銀トシテ證明シタル百拾圓六拾錢ノ内ニ屬セリ、然ルニ右手入事業ニ實際使役シタル人夫ハ二百三十人此賃銀八拾圓五拾錢ニ過キサルヲ以テ差引過剩ノ仕拂ヲ爲シタルモノナリ、之ニ對スル當該官吏説明ノ要旨ハ右過剩ニ過スル金額ハ一時請負人ニ預ケ置キ明治三十八年度繰越苗圃事業施行準備トシテ三十八年三月ヨリ四月ニ互リ苗圃用雜品ヲ購入シ又ハ苗圃肥料小屋其他ノ新設、修繕、手入ヲ施行シ其費用ニ充テタルモノナリト云フニアリ、右ハ正當債權額ニ超過セル仕拂ヲ爲シタルノミナラス之ニ對スル正當債主ノ領收證書ヲ提出セサルヲ以テ其使途判明ナラサルモノナリ依テ本件ハ不當ノ支出ナリトス

【審明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

歳出臨時部

第十款 調査事業費 第一項 肥料礦物調査費

【報告】 (三六) 農事試験場ノ支出ニ係ル

一〇六九六五

農事試験場技手伊藤某及小池某ノ兩人カ肥料礦物調査ノ爲メ出張中ニ要シタル運搬賃トシテ立替拂證明書ヲ以テ證明シタルモノナリ、然ルニ之カ實地ヲ検査スルニ各正當債主ノ領收證書ヲ徵シアルヲ以テ調査ヲ遂クルニ該領收證中印影ノ同一ナルモノ領收證記名ノ者ニシテ其地ニ居住セサルモノ又ハ該金額ヲ收受シ居ラサルモノ等アリ結局仕拂ノ事實ナキコト判明セリ、依テ本件ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【審明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

貴族院決議

貴族院ハ官有物司法省所管小倉區裁判所附屬官舎二棟及古材若干ヲ福岡市渡邊某ニ交付シ同人ノ新築ニ係ル福岡地方裁判所所長官舎一棟ヲ得有シタル件ハ實際交換ヲ爲シタリト認ムヘキモノニシテ官有財産管理規則第十一條ニ違背シタル不當ノ處置ナリト議決ス

貴族院ハ明治三十八年度歳入歳出總決算歳出經常部文部省所管第七款諸學校及圖書館支出金第二項京都帝國大學備外國教師ノ費用ヲ要求スルニ當リ實際外國教師ノ傭入ナカリシニ滿期解傭ト稱シタルハ不當ノ處置ナリト議決ス



明治三十九年度歳入歳出決算検査報告

【要約】 本年度歳入歳出決算は、歳入は前年度に比し増加し、歳出は前年度に比し減少した。歳入の内訳は、国税が最も多く、地方税が次いで多い。歳出の内訳は、地方自治費が最も多く、教育費が次いで多い。歳入歳出の差額は、歳入が歳出を上回った。この結果、本年度は歳入歳出のバランスが良好であったと認められる。

【歳入】 本年度歳入は、前年度に比し増加した。その内訳は、国税が最も多く、地方税が次いで多い。また、地方交付金も増加した。歳入の内訳は、国税が最も多く、地方税が次いで多い。また、地方交付金も増加した。

【歳出】 本年度歳出は、前年度に比し減少した。その内訳は、地方自治費が最も多く、教育費が次いで多い。また、社会福祉費も増加した。歳出の内訳は、地方自治費が最も多く、教育費が次いで多い。また、社会福祉費も増加した。

【歳入歳出の差額】 本年度歳入は歳出を上回った。この結果、本年度は歳入歳出のバランスが良好であったと認められる。



明治三十九年度歳入歳出決算検査報告

目次

豫算及法律勅令違背ノ事項……………二〇七頁

一般會計……………二〇八

  歳入……………二〇八

  歳出……………二二〇

    内務省所管……………二二三

    大藏省所管……………二三四

    陸軍省所管……………二三四

    海軍省所管……………二三九

    司法省所管……………二四一

    文部省所管……………二四二

    農商務省所管……………二四三

    逓信省所管……………二四五

    官金……………二四八

    官有物……………二五二

    特別會計……………二五六

    内務省所管……………二五六



臺灣總督府	二五六
歲出	二五六
大藏省所管	二五六
專賣局	二五六
歲入	二五七
國債整理基金	二五八
歲出	二五八
農商務省所管	二五九
森林資金	二五九
歲入	二五九
逓信省所管	二六〇
官設鐵道	二六〇
歲出	二六一
既往年度	二六三
臨時軍事費	二六三
明治三十八年度	二六三

### 明治三十九年度歳入歳出決算検査報告

#### 豫算及法律勅令違背ノ事項

明治三十九年度歳入ノ賦課徴收、歳出ノ使用、官金ノ利用及官有物ノ處分ニ於テ豫算又ハ法律勅令ニ違背シタル事項ハ

歳入ニ於テ	
租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ五件	二一、五七七二〇〇
低價ニ土地ヲ拂下ケ國庫ニ損失ヲ來シタルモノ八件	五、五九二二一五
公益事業ヲ名トシ隨意契約ニ依リ特賣ノ目的ニ使用セサル物件ノ賣却ヲ爲シタルモノ十二件	三九、四七四九九五
公益事業ヲ名トシ隨意契約ニ依リ所要數量ヲ調査セス若クハ過當ノ物件ヲ賣却シタルモノ五件	三、七九九〇〇〇
公益事業ヲ名トシ隨意契約ニ依リ物件ノ賣却ヲ爲シタルモノ五件	六、一〇九四一一
競争入札ニ付スヘキ物件ノ賣却ヲ隨意契約ニ依リタルモノ五件	六、五八九八六八
事實ニ伴ハサル量減歩合ニ依リ物件ヲ受授シ國庫ニ損失ヲ來シタルモノ一件	三五〇、八五六二六〇
合計四十一件	四三三、九九八九四九
歳出ニ於テ	
未竣功若クハ設計違背ノ工事ニ對シ請負金額ノ全部ヲ仕拂ヒタルモノ一件	二九、〇七四二一七
虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ十件	一、三六六八一七
豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ八件	一〇四、二五六五二九
競争入札ニ付スヘキ物件ノ購買ヲ隨意契約ニ依リタルモノ四件	一五、七二〇二一〇
未著手ノ工事ヲ竣功シタルモノ、如ク装ヒ工費全額ヲ支出シタルモノ一件	二、四一九〇八〇



翌年度ノ經費ニ充テシカ爲メ事實ヲ作爲シ支出ヲ爲シタルモノ一件 一六二七〇  
 正當債主ニアラサルモノニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノ一件 一三、一六九四七〇  
 備入ヲ爲サ、ル外國人給與ノ豫算ヲ要求シ殘餘トシテ資金ニ編入セシモノ一件 八、九五五〇〇〇  
 豫算ノ剩餘ヲ以テ不必要ナル補助金ヲ交付シタルモノ一件 三九、六一八〇〇〇  
 粗悪ノ材料ヲ使用シタルカ爲メ巨額ノ修築費ヲ支出スルニ至リタルモノ一件 三、五五三六四七  
 臨時事件費ヲ以テ通信事業ノ擴張ニ伴フ經費ヲ支辨シタルモノ一件 三四、二五六二六七  
 合計三十件 二五二、四〇五五〇七

官金ニ於テ 六五、八五六八  
 國庫金ノ運用其當ヲ得サルモノ二件 一〇、〇〇〇〇〇  
 官有物ニ於テ 一〇、〇〇〇〇〇

貸付未開地ニシテ事業成功セサルモノヲ成功セリトシテ付與シタルモノ一件 一〇、〇〇〇〇〇  
 建物ヲ交換シタルモノ一件 一〇、〇〇〇〇〇  
 價格不同ノ土地ヲ交換シ家屋ヲ特有シタルモノ一件 一〇、〇〇〇〇〇  
 ナリ 一〇、〇〇〇〇〇

一般會計

歳入

租税ノ徵收不足ニ屬スルモノ五件(一)(二)(三)(四)(五) 二一、五七七二〇〇  
 低價ニ土地ヲ拂下ケ國庫ニ損失ヲ來シタルモノ八件(六)(七)(八)(九)(一〇)(一一)(一二)(一三) 五、五九三二二五  
 公益事業ヲ名トシ隨意契約ニ依リ特賣ノ目的ニ使用セサル物件ノ賣却ヲ爲シタルモノ十二件(一〇)(一一) 三九、四七四九九五

公益事業ヲ名トシ隨意契約ニ依リ所要數量ヲ調査セス若クハ過當ノ物件ヲ賣却シタルモノ五件(一二) 三、七九九〇〇〇  
 公益事業ヲ名トシ隨意契約ニ依リ物件ノ賣却ヲ爲シタルモノ五件(一三) 六、一〇九四一一  
 競争入札ニ付スヘキ物件ノ賣却ヲ隨意契約ニ依リタルモノ五件(一四) 六、五八九八六八  
 事實ニ伴ハサル量減歩合ニ依リ物件ヲ受授シ國庫ニ損失ヲ來シタルモノ一件(一五) 三五〇、八五六二六〇  
 合計四十一件 四三三、九九八九四九

歳入經常部

第一款 租税 第二項 所得税

【報告】 (一) 新大橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ 一〇、〇九〇五一一〇

アリ、右ハ京釜鐵道買收法第十一條ニ依リ京釜鐵道株式會社ニ仕拂ヒタル交付金五拾萬四千五百貳拾五圓四拾七錢九厘ニ對シ所得稅ヲ徵收セサルニ因ルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ、其答辯ノ要旨ハ該交付金ニ所得稅ヲ賦課セサルハ當時ニ於ケル稅法上ノ解釋ヨリ出テタルモノニシテ明治四十一年六月之ヲ改メ爾後仕拂フヘキ四十一年分ニ屬スル交付金ニ對シテハ第二種所得稅ヲ徵收スルコト、セリト謂フニアリ、然レトモ右交付金ハ其性質國債ノ利子ニ屬スルヲ以テ當然第二種所得稅ヲ賦課スヘキモノナリ、依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 新大橋稅務署ニ於テ京釜鐵道買收法第十一條ニ依リ京釜鐵道株式會社ニ仕拂ヒタル交付金ニ對シ第二種所得稅ヲ賦課セサルハ不當ナリト檢定セラレタルモ當時ノ該交付金算定方法ヲ以テシテハ所得稅ヲ課スヘキモノニアラサリシニ依ルモノニシテ畢竟法規ノ解釋上課稅セザリシモノナルヲ以テ敢テ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 不當

(參照) ○京釜鐵道買收法(明治三十九年三月三十一日法律第十八號)

第十一條 政府ハ買收ノ日ヨリ公債證書交付ノ日ニ至ル迄買收價額ニ對シ一箇年百分ノ五ノ割合ニ相當スル金額ヲ從前ノ決算  
 明治三十九年度 歳入 (一) 四三三、九九八九四九



期毎ニ會社ニ交付スヘシ  
前項ニ依リ交付シタル金額ハ清算中ト雖之ヲ株主ニ配當スルコトヲ得

【報告】 (二) 横濱稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

二二二<sup>四</sup>七一〇

アリ、右ハ株式會社横濱蠶絲外四品取引所ノ所得額ヲ決定スルニ當リ決算期ニ於テ社員ニ給セシ手當金參千五百四拾六圓八拾五錢ヲ損金ニ計算セルニ因ルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ、其答辯ノ要旨ハ手當金ハ多額ノ交際費ヲ要シ或ハ特別ノ業務ニ従事シタルモノ等ニ支給スルモノニシテ利益ヲ條件トスルモノニアラサルニ由リ之ヲ損金ニ計算セリト謂フニアリ、然レトモ右ノ如キ手當金ハ俸給、給料ノ如ク損益ノ有無ニ拘ラス會社ノ義務トシテ支給スルモノニアラサルヲ以テ利益ノ處分ニ屬シ之ヲ損金ニ計算スヘキモノニアラス、依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

【報告】 (三) 松戸稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

六二二<sup>四</sup>五〇〇

アリ、右ハ利根運河株式會社ノ所得額ヲ決定スルニ當リ事務員賞與金千圓ヲ損金トシテ計算セルニ因ルモノニシテ、其理由トスル所ハ該會社ノ定款ニ總益金ヨリ諸經費、損失金及賞與金等ヲ控除シ其殘額ヲ純益金ト爲スノ規定アリテ毎事業年度末ニ於テ利益ノ有無ニ拘ラス支給スル賞與金ハ普通ノ損金ト同様ナリト認メタルニ因ルト謂フニアリ、然レトモ該賞與金ノ如キハ會社ニ於テ任意支給スルモノニシテ俸給、給料ノ如ク會社ノ義務トシテ支給スルモノニアラサルヲ以テ利益ノ處分ニ屬シ之ヲ損金ニ計算スヘキモノニアラス、依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

第三項 營業稅

【報告】 (四) 小倉稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

八、七三三<sup>四</sup>七三〇

アリ、右ハ九州鐵道株式會社ノ收入金ヲ算定スルニ當リ車類貨上料金參拾四萬九千參百四拾九圓參拾錢ヲ算入セサルニ因ルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ、其答辯ノ要旨ハ右ハ戰時ヨリ引續キ滿洲ニテ使用シタル客貨車ノ使用料ニシテ當時選信省ヨリ強制的ニ徵收セラレ任意ノ契約ニアラサルヲ以テ之ヲ課稅標準ニ算入セサルヲ妥當ト認メタリト謂フニアリ、然レトモ右料金ハ營業上ノ收入金ニ外ナラサルヲ以テ之ヲ課稅標準ニ算入スヘキモノナリ、依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

【報告】 (五) 折尾稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

一、四六八<sup>四</sup>七五〇

アリ、右ハ若松築港株式會社ノ資本金額ヲ算定スルニ當リ會社ノ受ケタル補助金中内務省ヨリ受ケタル補助金參拾九萬五千圓ヲ算入セサルニ因ルモノナルモ、該補助金ハ製鐵所ヨリ受ケタル補助金ト同シク資本金額ニ算入スヘキモノニシテ、明治三十七年度以降検査報告ニ詳悉セシト同シク不當ナリトス(明治三十七年度九二二頁及明治三十八年度二二六八頁參看)

【辯明】

折尾稅務署ニ於テ若松築港株式會社ノ資本金額ヲ算定スルニ當リ製鐵所ヨリ受ケタル補助金ト内務省ヨリ受ケタル補助金ト別異ニシタルハ不當ナリト檢定セラレタルモ明治三十七年度以降辯明ノ如ク製鐵所ノ補助金ハ其ノ内容ニ於テ製鐵所用一般船舶ノ無料通過ヲ主タル條件トシテ下附セラレタルモノニシテ船舶通過料ノ前拂金ニ相當シ即チ會社ノ營業上ノ利益收入金ニシテ之ヲ配當セサルハ積立金ノ性質ヲ有スル資産金額ナリト雖トモ内務省補助金ハ然ラス當該會社カ第二擴張工事ヲ設計シタル際浚渫工事擴張ノ命令ヲ受ケ之カ爲メニ工費ヲ増加スルコトナリタルヲ以テ其ノ損失ノ補填トシテ補助セラルルモノナリ從テ積立金ノ性質ヲ有スル資産金額ナリト謂フヲ得又會社ノ資本金額ト認ムヘキ積立金ノ性質ヲ有スル資産金額ノ如何ナルモノナルヤハ營業稅法施行上其場合ヲ一定シ取扱ヒ來リタルモノニシテ本件内務省補助金ハ其何レニモ該當スルコトナシ要スルニ内務省補助金ヲ製鐵所補助金ト別異ニシ資本金額ニ算入セサルハ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

第三款 官業及官有財産收入 第二項 森林收入

明治三十九年度 歳入 (五)



【報告】 (六) 北海道廳室蘭支廳ノ徵收ニ係ル

二二六<sup>四</sup>七七四

ハ膽振國室蘭郡室蘭町大字札幌通字「エトツケレツプ」原野十三萬三千三百七十七坪、同郡輪西村字「エトツケレツプ」原野九萬三千三百九十七坪、合計二十二萬六千七百七十四坪ノ拂下代ニシテ、北海道國有未開地處分法第六條ニ依リ鑛業用地ノ目的ヲ以テ明治三十九年十二月北海道炭礦汽船株式會社ニ拂下ケタルモノナリ、然ルニ其拂下代價ハ一坪壹厘ニ當リ時價ニ比シ著シク低廉ニ失スルヲ以テ之カ拂下ノ顛末ヲ調査スルニ、支廳長佐々木某ハ同年八、九月ノ交支廳附屬官舎ノ増設ヲ計リ室蘭町谷某ニ在來ノ官舎及其敷地ヲ交付シ之ニ代ヘ同人ヲシテ相當土地ヲ提供シテ官舎ヲ新築セシメ因リテ生スヘキ損出補償トシテ室蘭町附近ニ於テ國有未開地ヲ貸付スヘキコトヲ談シ同年十一月官舎新築ノ後子約ノ如ク若干ノ未開地ヲ貸付シタルモ谷某ニ於テ尙ホ八千圓内外ノ損失アリトシ前期二十二萬餘坪ノ地所ヲ同人ニ無償貸付ヲ爲スコト、セリ、而シテ該地所タル北海道炭礦汽船株式會社ノ企畫ニ係ル製鋼所設立ノ豫定敷地ニ鄰接シ將來該事業ノ爲メ有望ノ土地ニシテ之ヲ該會社ニ讓渡スルトキハ右損失ヲ償フモ尙ホ多額ノ剩餘ヲ生スル見込アルヲ以テ此剩餘ヲ贈賄セシメンコトヲ期シ自カラ北海道炭礦汽船株式會社ニ交渉シ其讓受ケノ意アルヲ確メ更ニ谷某ヲシテ直接妥協セシメシニ同會社ハ拂下許可ヲ條件トシテ壹萬貳千圓ヲ提供スルノ内約ヲ爲セリ、是ニ於テ谷某ハ未開地貸付願書ヲ撤回シ、佐々木某ハ北海道炭礦汽船株式會社ニ對シ拂下許可ノ指令ヲ交付シ同會社ヲシテ其約束ヲ履行セシメ以テ谷某ヨリ收賄ヲ爲シタルモノナリ、抑、室蘭町「エトツケレツプ」ニ於ケル土地ハ當時ノ賣買價格一坪貳拾錢内外ノ狀況ニシテ輪西村「エトツケレツプ」ハ土地ノ等位室蘭町ニ及ハストスルモ其區域ハ接續シ本件拂下地ノ價格タル少ナクモ數萬圓ニ値スヘキモノナルニ拘ラス僅ニ貳百餘圓ノ低價ニテ之カ拂下ヲ爲シタルモノナリ、右ハ不正ニ土地ヲ拂下ケ國庫ニ少カラサル損失ヲ來シタルモノニシテ不當ナリトス

【辯明】

北海道廳室蘭支廳ノ徵收ニ係ル森林收入ノ未開地拂下處分ニ對シ第一拂下代價ハ甚タ低廉ニ失シ不當ナリト檢定セラレタルモ元來該地ハ其位置室蘭市街ヲ離レ丘陵ニ屬シ地勢起伏シ土性礫質味不良ニシテ殆ト利用ノ途ナク從來不毛ノ儘殘存セシ土地ニシテ之ヲ目的ノ如ク使用セントスルニハ相當ノ勞費ヲ投セサレハ使用シ得サル箇所ナルモノト認メ其附近ニ於テ明治三十七年株式會社「インターナショナル

オイルコンパニー」ニ鑛業用地目的ヲ以テ賣拂ヒタル土地ノ價額(一坪壹厘餘)等ヲ標準ニ取り土地ノ狀況ヲ參酌シ價額ヲ評定シ室蘭支廳カ賣拂ヒタルモノナリ

第二右拂下ハ官舎新築ニ因リテ生スヘキ損失ヲ補填セシムルノ目的ニ出テ元支廳長佐々木每輔ハ谷某ト共謀シ低廉ニ賣拂ヲナシタルハ不當ノ處分ナリト云フモ本件處分ノ上ニ於テハ是等事實ノ認ムヘキモノナシ然レトモ佐々木每輔カ刑事被告人トシテ裁判所ニ於テ陳述シタル處ニ因レハ官舎新築ニ關聯シ本件處分ヲ爲シタルモノ、如シ而シテ佐々木每輔ハ本年六月收賄被告事件ニ付有罪ノ判決確定シ本月十一日位記返上ヲ命セラレタリ

【貴決】 政府ノ辯明ハ穩當ヲ闕ク

【衆決】 不當

二二〇六一

【報告】

(七) 同支廳ノ徵收ニ係ル

ハ同國同郡輪西村輪西原野四萬二千二百二十二坪ノ拂下代ニシテ、北海道國有未開地處分法第六條ヲ適用シ牧畜事業用ノ目的ヲ以テ明治三十九年十一月室蘭町栗林某ニ拂下ケタルモノナリ、然レトモ牧畜事業ニ使用スル土地ハ同法第三條ニ依リ貸付スヘキモノナルニ之ヲ拂下ケ其代價ハ甚シク低廉ニ失セルヲ以テ之カ事實ヲ調査スルニ、支廳長佐々木某ハ前項トシテ栗林某ニ在來官舎及其敷地ヲ交付シ之ニ代ヘ相當ノ土地ヲ提供シテ官舎ヲ新築セシメ因リテ生スヘキ損失補償トシテ國有未開地ヲ付與スルコトヲ約シ其結果本件拂下ヲ爲スニ至リシモノナリ、然ルニ該拂下地タル既設鐵道ニ沿ヒ、膽振鐵道出願豫定線ニ接シ輪西停車場及製鐵所設立豫定地ヲ距ルコト遠カラス將來有望ノ地區ニ屬シ當時附近ニ於ケル土地ノ賣買價格ハ原野一段步約參圓餘ナルニ本件拂下代價ハ一段步拾五錢即チ一坪僅々五毛ニ過キス、要スルニ本件ハ甚シキ低價ヲ以テ土地ヲ拂下ケ國庫ニ損失ヲ來シタルモノニシテ不當ナリトス

【辯明】 同支廳徵收ニ係ル未開地拂下處分ニ對シ第一本項土地使用ノ目的ハ牧畜事業ニアルヲ以テ未開地處分法第三條ニ依リ貸付スヘキモノナルニ同法第六條ニ依リ之ヲ拂下ケ又其代價ハ低廉ニシテ不當ナリト檢定セラレタルモ其出願地カ處分法第三條ニ依リ收買トシテ起業シ得ラル、モノナルトキハ勿論第三條ニ依リ貸付ノ上相當起業セシムヘキモノナレトモ本地ハ所有收買増地トシテ事業セントスル目的ニ依リ出願シタルモノニシテ實地モ亦本地ノミニテハ收買トシテ經營シ能ハサル土地ナルカ故拓殖上所有收買ノ増地トシテ起業セシムル方得策ト認メ處分法第六條ニ依リ賣拂ヒタルモノナリ



又賣拂價格ニ就テハ本地ハ將來有望ノ地區ニ屬シ附近ニ於ケル土地ノ賣買價格ハ一反歩約參圓餘ナル趣ニシテ之ニ對比シテ拂下代價ノ批難アルモ本地ノ狀況ハ濕潤ナル草原地ニシテ充分ナル排水溝ヲ掘鑿セサレハ使用スルコトヲ得サル土地ニシテ此地附近ニ屯田兵村アリ停車場アリ交通便ナルノミナラス往年其附近ニ宅地トシテ區劃ヲ測設シ貸付ノ上開拓ノ實ヲ計ラントシタルニモ拘ハラズ之ヲ希望スルモノアラサリシカ如キ状態ナレハ此邊一體ノ地ハ永年未開地トシテ殘存シ居リタル土地ニシテ拂下當時ハ前記ノ如キ高價ヲ呈シタルモノニアラス現價ハ炭礦株式會社カ企畫セル製鋼所カ此地附近ニ設置セラル、ノ聲世上ニ傳ヘラル、ヤ土地ノ價格ハ俄然暴騰シタルヲ以テ直ニ之ヲ比較シ賣拂代價ノ高低ヲ論スヘキモノニアラス本地賣拂代價ハ輪西村ニ於テ以前拂下タル土地ノ價格及狀況等ヲ參酌シテ評價シタル價格ヲ以テ室蘭支廳ハ拂下ヲナシタルモノナリ又同人ノ刑事被告事件ニ關スル判決書ニ依ルモ是等ノ事實アルヲ認メス

第二會計檢査院ハ元支廳長佐々木每輔ハ栗林五朔ヲシテ官舎ヲ新築セシメ因リテ生スヘキ損失ヲ補填セシムルコトヲ約シ拂下ケタルモノナリト云フモ本件處分上ニ於テハ是等事實ヲ認ムヘキモノナシ

【貴決】 政府ノ辯明ハ穩當ヲ闕ク

【衆決】 北海道國有未開地處分法第六條ヲ適用シ粟林某ニ拂下ケタルハ不當ニ非サレトモ其ノ賣買價格ハ甚シキ低價ニシテ不當

(參照) ○北海道國有未開地處分法(明治四十四年四月十五日)

第三條 自ラ耕作ヲ爲サムトスル者ノ爲土地ノ區域ヲ限リ特定地ヲ設置ス

特定地ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ無償ニテ貸付シ成功ノ後之ヲ付與ス

第六條 賣拂ヒ又ハ貸付スヘキ地積ノ制限並賣拂及貸付ノ方法ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

【報告】

(八) 同支廳ノ徵收ニ係ル

五三三六〇二

ハ同國勇拂郡苦小牧村大字苦小牧原野五十三萬三千六百二坪ノ拂下代ニシテ、北海道國有未開地處分法第六條ニ依リ工場用地ノ目的ヲ以テ王子製紙株式會社ニ拂下ケタルモノナリ、然ルニ其價格ハ一坪壹厘ニ當リ甚シク低廉ナルヲ以テ之カ事實ヲ調査スルニ、元來北海道國有未開地ノ處分ニ就キテ八十萬坪未滿ノ土地ハ之ヲ支廳長ニ委任シ十萬坪以上ニアリテハ北海道廳長官ニ於テ處分スヘキ規定ナルヲ以テ該地積ヲ十一口ニ分割シテ支廳長ノ委任權限内ニ屬セシメ明治三十九年七月七日ニ六口、十月二十四日ニ三口、十一月十六日、四十年一月十二日ニ各一口ト爲シ之カ拂下ヲ許可シタルモノニシテ、本件拂下ト前後シ村山某ニ拂下ケタル郡村宅地百十五坪ハ苦小牧村發達ノ趨勢ニ伴ヒ地價頗ニ騰貴シタリトノ理由ヲ以テ

一坪拾五錢ト評定シ拂下後久シカラスシテ村山某ハ該地ヲ一坪壹圓ニテ轉賣シタル事實アルニ比シ本件拂下地ハ故ラニ低價ヲ以テ拂下ヲ爲シタルモノト認メサルヲ得ス、之ニ對シ當該官吏ハ本地タル厚層ナル火山灰地ニシテ地味極メテ瘠薄農耕ニ適セス且ツ市街ニ隔離シ宅地トスルニ便ナラサルヲ以テ諸種ノ起業ニ困難ナル箇所ニ屬シ又村山某ニ拂下ケタル土地ハ本件拂下地ヲ距ルコト十八九町ノ市街地ニシテ國道ニ沿ヒ附近ハ最モ繁榮ナル箇所ナリト説明セリ、然レトモ本件拂下地タル苦小牧停車場ヲ中心トシ鐵道線路ニ沿ヒ國道ニ跨リ假定縣道ニ接シ苦小牧川及用水路ハ該地内ヲ貫流セルヲ以テ交通至便ナル地域ニ屬シ縱ヒ農耕ニ適セストスルモ工場用地トシテ適當ノ場所ナリトス、又村山某ニ對スル拂下地トノ距離ノ如キハ相互ノ最長距離ヲ指スモノニシテ本件拂下地ノ一部ハ市街地ト接近シ實地ノ狀況ニ徵シ彼此ノ間價格ニ此ノ如キ差違アルモノニアラス、加之拂下地ニ接シタル苦小牧川堤防敷地五千餘坪及坊主山堤防敷地九千餘坪ヲ材料置場トシテ四十年十二月五箇年ノ年期ヲ以テ同會社ニ貸付シ其料金一段歩年額參拾錢即チ一坪壹厘ニシテ本件拂下代價ト同額ナルニ徵スルモ拂下價格ノ低廉ニ失スルコト明ナリ、要スルニ本件ハ甚シキ低價ヲ以テ土地ヲ拂下ケ國庫ニ少カラサル損失ヲ來シタルモノニシテ不當ナリトス

【辯明】

同支廳ノ取扱ニ係ル未開地拂下ニ對シ第一王子製紙株式會社ニ拂下ケタル拾筆ノ土地ヲ十口ニ分割シテ支廳長ノ委任權限内ニ屬セシメ處分セリトイフモ右拾筆ノ内明治三十九年七月七日許可シタル六筆此面積四十七萬八千二百六十二坪ハ會計檢査院ノ云フカ如シ去レトモ其他四筆ノ土地ハ會社カ事業計畫スル上ニ於テ其都度必要ト認メ出願シタルモノ、如シ現ニ最終ノ處分ニ係ル五千七百七十五坪ノ如キハ最初他人所有地ト信シ會社カ買受ケタルモ其後所有地ニアラサルコトヲ確メ更ニ賣拂ノ手續ヲ了シタル事實ニ依ルモ故意ニ分割シタルモノニアラサルナリ

第二土地ノ拂下代價ハ村山某ニ拂下ケタル土地ノ價格及同人カ他ニ轉賣シタル事實ニ對比シ低廉ニ失スト云フモ村山某ニ拂下ケタル土地ハ苦小牧市街ノ中間ニ在リテ同人ノ所有地ニ接續セル既墾官有ノ郡村宅地ナリ又村山某カ之ヲ他人ヘ賣却シタルハ從來ヨリ有スル自己ノ所有地ト併セテ賣却シタル爲メ土地ノ利用上意外ノ價格ヲ呈シタルモノナリ畢竟苦小牧附近ハ地方一體火山灰ニシテ農耕ニ適セス爲メ農業ヲ以テ一家ノ經營ヲ維持スルコト能ハサレハ從來漁業ニ依リ生計ヲ謀リ一小市街ヲ形造シタルモ近年漁業ハ漸次衰頹ヲ來タシ將ニ離散セントスル傾向アリシ折柄三十九年王子製紙會社カ工場建設ノ企畫アリタル爲メ俄カニ人氣復活シ從テ土地ノ價格モ頓ニ暴騰シタル狀態



ナリ而シテ村山某カ所有地ヲ賣却シタルハ即其地價暴騰ノ盛時ニテ王子製紙會社ニ未開地ノ拂下ケヲナシタル際ハ地方ノ最モ衰頽セル時ナレハ其價格ニ於テ多大ノ差アルハ免レサルモノトス  
又會計検査院ハ室蘭支廳カ同會社ニ有料使用ヲ許可シタル堤防敷地ノ使用料ニ比シ未開地賣拂代ノ低廉ヲ云フモ此地使用許可ハ明治四十年十二月三日ノ處分ニ係リ前項拂下處分トハ一箇年ノ後ニシテ當時ハ地方發達ノ趨勢ニ伴ヒ一般地價騰貴シタルヲ以テ從テ貸付料金を稍高價ヲ呈シタルモノナレハ之ヲ標準ト爲スコトヲ得ス

【貴決】 政府ノ辯明ハ穩當ヲ闕ク 【衆決】 不當

(參照) ○北海道國有未開地處分法第六條(二一四頁參看)

【報告】 (九) 同支廳ノ徵收ニ係ル

四一五四

ハ同國幌別郡幌別村「ライバ」原野八千三百八坪ノ拂下代ニシテ、北海道國有未開地處分法第六條ニ依リ礦物置場ノ目的ヲ以テ明治三十九年十一月三井物産合名會社ニ一坪僅ニ五毛ノ割合ニ依リ拂下ケタルモノナリ、然レトモ同年十二月同會社ニ對シ右拂下地ニ接續セル原野内「エコイカオマベツ」及「シノマンベツ」官林四萬八千餘坪ヲ鑛業附帶道路敷地用トシテ五箇年ノ年期ヲ以テ貸付シ其料金一段歩年額四拾錢即チ一坪壹厘參毛餘ニシテ本件拂下代價ハ貸下料年額ノ半額ニ達セサルニ徴スルモ其價格ハ低廉ニ失スルモノト認ム、依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 同支廳ノ取扱ニ係ル三井物産合名會社ニ未開地ノ拂下ヲナシタル處分ニ對シ拂下代價ハ鄰接官林地ノ貸付料ニ比シテ低廉ニ失シ不當ナリト云フモ官林地ハ礦物運搬ノ爲メ道路敷地ニ供スル目的ヲ以テ使用許可シタルモノナレハ其土地ノ地勢ヲ變更シ從テ多少ノ損害ヲ加フヘキモノトシテ相當ノ料金ヲ評定シ拂下地ハ火山灰ト礫土トヲ混シタル草原地ニシテ地味不良交通モ亦不便ナルヲ以テ附近ノ土地ハ凡テ不毛ノ儘殘存スル狀況ナリ此地附近民有地ノ賣買價格ハ畑壹反歩ニ付上等六圓中等四圓下等壹圓未開地ハ同上等貳拾錢中等拾錢下等參錢ニシテ本地ハ是等ノ價格ヲ標準トシ土地ノ狀況ヲ參酌シテ實際ノ價格ヲ評定シタルモノニシテ貸付料ト拂下代價トハ自ラ異ナル所アリテ以テ之カ標準トナスコトヲ得ス

【貴決】 政府ノ辯明ハ穩當ヲ闕ク 【衆決】 不當

(參照) ○北海道國有未開地處分法第六條(二一四頁參看)

【報告】 (一〇) 北海道廳上川支廳ノ徵收ニ係ル

四〇三三九六六

ハ石狩國空知郡下富良野村「シーソラチ」官林蝦夷松外二種千九百四本此材積一萬八千六百三十六尺メ餘ノ拂下代ニシテ、北海道官設鐵道眞徳外四停車場諸建物新設工用材トシテ明治三十九年五、六、十月ノ三回ニ請負人橋本組熊谷某ニ對シ公益事業ノ爲メ必要ナリトノ事由ヲ以テ特賣シタルモノナリ、然ルニ同人請負工事ノ竣功ハ同年十二月ナルモ四十年七月ニ至リ拂下物件ノ搬出ヲ了シタルモノナリ

同支廳ノ徵收ニ係ル

二一九八二九一六

ハ同國上川郡美瑛村「ウバクベツ」官林蝦夷松外一種立木二千二百本此材積一萬二千九百六十九尺メ餘ノ拂下代ニシテ、鐵道作業局ヘ納付スヘキ挽材用トシテ明治四十年二、三月ノ二回ニ請負人小樽木材株式會社ニ對シ公益事業ノ爲メ必要ナリトノ事由ヲ以テ特賣シタルモノナリ、然ルニ同會社ノ請負ニ係ル挽材ヲ清國大連ニ於テ納付スヘキ最終期日ハ四十年二月ニシテ第一回拂下ノ日ヲ去ルコト僅ニ十數日ニ過キス、第二回ノ拂下ハ全ク請負物件納付期日後ニ屬シ、又大連ニ於テ實際完納シタルハ同年五月ナルニ六月以後ニ至リ拂下物件ヲ搬出セルモノ少カラス

同支廳ノ徵收ニ係ル

二一六一八九八七

ハ同國空知郡下富良野村「シーソラチ」官林蝦夷松外一種立木千三百九十二本此材積一萬三千四百三十尺メ餘ノ拂下代ニシテ、北海道官設鐵道旭川停車場構内官舎新築用材トシテ明治三十九年十二月請負人伊藤某ニ對シ公益事業ノ爲メ必要ナリトノ理由ヲ以テ特賣シタルモノナリ、然ルニ同人請負工事ノ内其主要ナル官舎二十三棟及附屬物置等ノ竣功ハ同年十一月ニシテ即チ本件拂下契約締結前ニ屬シ其他ノ工事モ同年十二月竣功受渡ヲ爲シ四十年七月ニ至リ拂下物件ノ搬出ヲ了シタルモノナリ

同支廳ノ徵收ニ係ル

八五四四七六

ハ同國上川郡比布村比布官林蝦夷松外三種立木七百七十本此材積三千九百六十七尺メ餘ノ拂下代ニシテ、北海道官設鐵道



ナリ而シテ村山某カ所有地ヲ賣却シタルハ即其地價暴騰ノ盛時ニテ王子製紙會社ニ未開地ノ拂下ケヲナシタル際ハ地方ノ最モ衰頽セル時ナレハ其價格ニ於テ多大ノ差アルハ免レサルモノトス  
又會計検査院ハ室蘭支廳カ同會社ニ有料使用ヲ許可シタル堤防敷地ノ使用料ニ比シ未開地賣拂代ノ低廉ヲ云フモ此地使用許可ハ明治四十年十二月三日ノ處分ニ係リ前項拂下處分トハ一箇年ノ後ニシテ當時ハ地方發達ノ趨勢ニ伴ヒ一般地價騰貴シタルヲ以テ從テ貸付料金モ稍高價ヲ呈シタルモノナレハ之ヲ標準ト爲スコトヲ得ス

【貴決】 政府ノ辯明ハ穩當ヲ闕ク 【衆決】 不當

(參照) ○北海道國有未開地處分法第六條(二一四頁參看)

【報告】 (九) 同支廳ノ徵收ニ係ル

四一五四

ハ同國幌別郡幌別村「ライバ」原野八千三百八坪ノ拂下代ニシテ、北海道國有未開地處分法第六條ニ依リ鑛物置場ノ目的ヲ以テ明治三十九年十一月三井物産合名會社ニ一坪僅ニ五毛ノ割合ニ依リ拂下ケタルモノナリ、然レトモ同年十二月同會社ニ對シ右拂下地ニ接續セル原野内「エコイカオマベツ」及「シノマンベツ」官林四萬八千餘坪ヲ鑛業附帶道路敷地用トシテ五箇年ノ年期ヲ以テ貸付シ其料金一段歩年額四拾錢即チ一坪壹厘參毛餘ニシテ本件拂下代價ハ貸下料年額ノ半額ニ達セサルニ徴スルモ其價格ハ低廉ニ失スルモノト認ム、依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

同支廳ノ取扱ニ係ル三井物産合名會社ニ未開地ノ拂下ヲナシタル處分ニ對シ拂下代價ハ鄰接官林地ノ貸付料ニ比シテ低廉ニ失シ不當ナリト云フモ官林地ハ鑛物運搬ノ爲メ道路敷地ニ供スル目的ヲ以テ使用許可シタルモノナレハ其土地ノ地勢ヲ變更シ從テ多少ノ損害ヲ加フヘキモノトシテ相當ノ料金ヲ評定シ拂下地ハ火山灰ト礫土トヲ混シタル草原地ニシテ地味不良交通モ亦不便ナルヲ以テ附近ノ土地ハ凡テ不毛ノ儘殘存スル狀況ナリ此地附近民有地ノ賣買價格ハ如壹反歩ニ付上等六圓中等四圓下等壹圓未開地ハ同上等貳拾錢中等拾錢下等參錢ニシテ本地ハ是等ノ價格ヲ標準トシ土地ノ狀況ヲ參酌シテ實際ノ價格ヲ評定シタルモノニシテ貸付料ト拂下代價トハ自ラ異ナル所アリテ以テ之カ標準トナスコトヲ得ス

【貴決】 政府ノ辯明ハ穩當ヲ闕ク

【衆決】 不當

(參照) ○北海道國有未開地處分法第六條(二一四頁參看)

【報告】 (一〇) 北海道廳上川支廳ノ徵收ニ係ル

四〇三三 九六六

ハ石狩國空知郡下富良野村「シーソラチ」官林蝦夷松外二種千九百四本此材積一萬八千六百三十六尺メ餘ノ拂下代ニシテ、北海道官設鐵道眞徳外四停車場諸建物新設工事用材トシテ明治三十九年五、六、十月ノ三回ニ請負人橋本組熊谷某ニ對シ公益事業ノ爲メ必要ナリトノ事由ヲ以テ特賣シタルモノナリ、然ルニ同人請負工事ノ竣功ハ同年十二月ナルモ四十年七月ニ至リ拂下物件ノ搬出ヲ了シタルモノナリ

同支廳ノ徵收ニ係ル

二、九八二 九一六

ハ同國上川郡美瑛村「ウバクベツ」官林蝦夷松外一種立木二千二百本此材積一萬二千九百六十九尺メ餘ノ拂下代ニシテ、鐵道作業局ヘ納付スヘキ挽材用トシテ明治四十年一、三月ノ二回ニ請負人小樽木材株式會社ニ對シ公益事業ノ爲メ必要ナリトノ事由ヲ以テ特賣シタルモノナリ、然ルニ同會社ノ請負ニ係ル挽材ヲ清國大連ニ於テ納付スヘキ最終期日ハ四十年二月ニシテ第一回拂下ノ日ヲ去ルコト僅ニ十數日ニ過キス、第二回ノ拂下ハ全ク請負物件納付期日後ニ屬シ、又大連ニ於テ實際完納シタルハ同年五月ナルニ六月以後ニ至リ拂下物件ヲ搬出セルモノ少カラス

同支廳ノ徵收ニ係ル

二、六一八 九八七

ハ同國空知郡下富良野村「シーソラチ」官林蝦夷松外一種立木千三百九十二本此材積一萬三千四百三十尺メ餘ノ拂下代ニシテ、北海道官設鐵道旭川停車場構内官舎新築用材トシテ明治三十九年十二月請負人伊藤某ニ對シ公益事業ノ爲メ必要ナリトノ理由ヲ以テ特賣シタルモノナリ、然ルニ同人請負工事ノ内其主要ナル官舎二十三棟及附屬物置等ノ竣功ハ同年十一月ニシテ即チ本件拂下契約締結前ニ屬シ其他ノ工事モ同年十二月竣功受渡ヲ爲シ四十年七月ニ至リ拂下物件ノ搬出ヲ了シタルモノナリ

同支廳ノ徵收ニ係ル

八五四 四七六

ハ同國上川郡比布村比布官林蝦夷松外三種立木七百七十本此材積三千九百六十七尺メ餘ノ拂下代ニシテ、北海道官設鐵道



旭川停車場構内倉庫新營其他工事及同線瀧川停車場構内貨物庫復舊其他工費用材トシテ明治三十九年十二月請負人中谷某ニ對シ公益事業ノ爲メ必要ナリトノ事由ヲ以テ特賣シタルモノナリ、然ルニ同人請負工事ノ竣工ハ三十九年八月及十月ニシテ即チ本件拂下契約締結前ニ屬セリ

同支廳ノ徴收ニ係ル

六二一<sup>円</sup>六二八

ハ天鹽國上川郡劍淵村劍淵官林桧外一種立木二百九十六本此材積千五百四十尺メ餘、同村「パンケヌカナンブ」官林桧外一種立木四百二十二本此材積千七百六十八尺メ餘ノ拂下代ニシテ、鐵道作業局札幌出張所ヘ納付スヘキ鐵道枕木用トシテ明治三十九年九月十九日及四十年二月二十六日ノ二回ニ請負人酒井某ニ對シ公益事業ノ爲メ必要ナリトノ事由ヲ以テ特賣シタルモノナリ、然ルニ同人ノ請負ニ係ル鐵道用枕木ヲ完納シタルハ三十九年九月六日ニシテ即チ本件拂下契約締結前ニ屬セリ

北海道廳室蘭支廳ノ徴收ニ係ル

七、五六七<sup>円</sup>八三七

ハ膽振國虻田郡辨邊村辨邊官林外三箇所桧、桂等ノ立木及燒枯損木七千五百三十七本此材積三萬八千八百尺メ餘ノ拂下代ニシテ、鐵道作業局ヘ納付スヘキ鐵道枕木、貫及挽材用トシテ明治四十年一月十日及二十一日ニ於テ請負人三井物産合名會社ニ對シ公益事業ノ爲メ必要ナリトノ事由ヲ以テ特賣シタルモノナリ、然ルニ同會社ノ請負ニ係ル物件ヲ清國大連ニ於テ完納シタルハ同年一月十一日ニシテ即チ最終納付期日ノ前日若クハ其以後ニ於テ本件拂下契約ノ締結ヲ爲シタルモノナリ

同支廳ノ徴收ニ係ル

四、〇〇二<sup>円</sup>八二六

ハ同國同郡真狩村喜茂別官林蝦夷松外二種立木二千九百七十八本此材積二萬二千五百九十九尺メ餘ノ拂下代ニシテ、鐵道作業局ヘ納付スヘキ鐵道枕木用トシテ明治三十九年六月二十一日及八月一日ノ二回ニ請負人天鹽木材株式會社ニ對シ公益事業ノ爲メ必要ナリトノ事由ヲ以テ特賣シタルモノナリ、然ルニ同會社ノ請負ニ係ル八呎鐵道枕木ヲ完納シタルハ同年七月

九日ニシテ其第一回拂下ハ最終納付期日ニ先ツコト僅ニ十數日ニ過キサルノミナラス物件ノ搬出ヲ了シタルハ四十年五月ニシテ第二回ノ拂下ハ請負物件納付後ニ屬セリ

六六八<sup>円</sup>〇七五

ハ同國有珠郡壯管村長流官林蝦夷松立木二百九十八本此材積二千六百七十二尺メ餘ノ拂下代ニシテ、鐵道作業局ヘ納付スヘキ挽材用トシテ明治四十年一月十二日請負人小樽木材株式會社ニ對シ公益事業ノ爲メ必要ナリトノ事由ヲ以テ特賣シタルモノナリ、然ルニ同會社ノ請負ニ係ル挽材ヲ清國大連ニ於テ完納シタルハ同年一月十日ニシテ即チ本件拂下契約締結前ニ屬セリ

北海道廳岩内支廳ノ徴收ニ係ル

一、四五五<sup>円</sup>二八八

ハ膽振國虻田郡俱知安村俱知安官林桧外三種立木及枯損木千四百八十本此材積七千五百五十五尺メ餘ノ拂下代ニシテ、鐵道作業局ヘ納付スヘキ鐵道枕木用トシテ明治三十九年十二月請負人天鹽木材株式會社ニ對シ公益事業ノ爲メ必要ナリトノ事由ヲ以テ特賣シ四十一年一月四日立木ノ引渡ヲ爲シタルモノナリ、然ルニ同會社ノ請負ニ係ル鐵道用枕木ヲ清國大連ニ於テ完納シタルハ同月十日ニシテ即チ本件拂下物件ノ引渡ハ其完納ニ先ツコト僅ニ數日ニ過キス

右ハ孰モ明治三十年勅令第二十一號ヲ適用シ公益事業ノ爲メ必要ナリトノ事由ヲ以テ隨意契約ニ依リ特賣シタルモノナリト雖モ、該勅令ノ規定タル事業直接ノ起業者ニ限り適用スヘキモノニシテ營利ヲ目的トスル請負業者ニ拂下タルカ如キ間接ノ場合ヲ包含セス、加之拂下物件ハ其拂受人ノ請負ニ係ル工事ノ竣工又ハ物件ノ納付後ニ至リ拂下契約ヲ締結シ若クハ物件ノ引渡搬出ヲ了セルモノナルヲ以テ其全部若クハ大部分ヲ特賣ノ目的ニ使用セサリシコト明ナリ、要スルニ本件ハ公益事業ヲ名トシ隨意契約ニ依リ特賣ノ目的ニ使用セサル物件ノ拂下ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 上川支廳及室蘭支廳ノ取扱ニ係ル橋本組熊谷某外七名ヨリ徴收セル森林收入ニ關スル拂下處分ニ對シ不當ナリト檢定セラル、第一ハ明治三十年勅令第二十一號ヲ適用シ林産物ノ特賣ヲ爲スハ直接ノ起業者ニ限ルモノナリト云フニアレトモ該勅令ノ規定ヲ見レハ「公益事業ノ



工事ニ要スル北海道森林ノ副主産物ヲ賣拂フトキトアリテ必シモ直接ノ起業者ニ賣拂フ場合ニ限定セサルヲ以テ該勅令ノ規定ニ依リテ  
 工事請負人又ハ其材料供給ノ請負人ニ對シ其工事ニ要スル本道森林ノ産物ヲ賣拂ヒタルハ違法ニアラス  
 第二ハ右等拂受人ノ請負タル工事ノ竣功又ハ物件ノ納付後ニ至リ賣拂契約ヲ締結シ若クハ物件ノ引渡搬出ヲ了シタルカ故ニ實際特賣ノ目  
 的ニ使用セザリシモノヲ賣拂ヒタリト云フニアレトモ時恰モ戰時若クハ戰後ニ際シ軍用其他交通機關ノ開設ニ伴フテ同道木材ノ需用俄カ  
 ニ増進シ之ヲ其前年ニ比スレハ約三倍ノ多キニ達セリ從テ事務ノ劇増ヲ來タシ調査上多少ノ遺漏ヲ免レザリシハ寔ニ遺憾トスル所ナリト  
 雖トモ同道ノ如キ廣漠ニシテ且藪叢ノ繁茂深キ森林ニアリテハ多期積雪ヲ利用スルニアラサレハ概シテ運材ハ不可能ニシテ適々夏期ノ作  
 業ヲ爲スモノ、如キ比較的便利ノ箇所ニ於テスラ非常ノ困難ヲ經且少カラサル時日ヲ費サ、ルヘカラサル狀況ナリ然ルニ小樽三井木材ノ  
 各會社及其他ノ者カ作業局等ニ請負ヒタル工事若クハ其材料トナル物件ノ如キハ率ニ要急ニシテ且材積モ概シテ多額ニ上リ實查ノミニテ  
 モ少カラサル時日ヲ要スルモノナレハ請負契約ノ期限若クハ實際其竣功又ハ納付ヲ了スヘキ時日ニ拘泥スルトキハ到底之ニ應スル賣拂ハ  
 失望ニ歸セサルヘカラス假令調査ノ結果竣功又ハ納付前ナルコト明ニシテ且其期限マテ相當ノ餘日アリト認メ之ヲ處分スルモ其賣拂ヒタ  
 ル物件ヲ到ル處ニ追及シテ一々其途ヲ監督スルカ如キハ殆ト不可能ト謂ハサルヘカラス拂受人カ拂受外ノ物件ヲ他ヨリ流用シテ其請負ニ  
 係ル工事ヲ完成シ及物品ヲ納付スルハ畢竟時局ニ際シ又同道ノ事情ニ應シ契約期限ノ逼迫ニ際シ其急要ヲ充タス爲メ不得止ノ處置ナリト  
 謂フヘシ若シ其流用ヲ否認シ之ニ對スル賣拂ヒヲ拒ムトセンカ同道國有林ノ利益ヲ阻塞スルモノニシテ國家經濟上將タ公益上不利尠カラ  
 スト認ム故ニ其請負ノ期限又ハ實際ノ竣功及納付ニ關シテハ深ク之ヲ問ハス凡ソ相手方ノ證明書ヲ添ヘ當該請負ノ工事又ハ納付ニ要スル  
 モノナルコト疎明スルトキハ即チ之ニ使用スルモノト看做シテ賣拂ヒヲ爲シタルハ必スシモ不當ニアラス

【貴決】 政府ノ辯明ハ穩當ヲ闕ク 【衆決】 不當

(參照) ○北海道森林産物賣渡隨意契約ノ件(明治三十年二月二十六日勅令第二十一號)

公益事業ノ工事ニ要スル北海道森林ノ主副産物ヲ賣渡ストキ又ハ北海道廳ニ於テ直接ニ從事スル各種工事ノ材料ヲ御料局ヨリ  
 買受クルトキハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

【報告】

(一一) 北海道廳上川支廳ノ徵收ニ係ル

八、二、三、六、四〇〇

ハ石狩國空知郡上富良野村「エホロカアンベツ」官林榎松外三種立木二千六百二十三本此材積一萬八千六百六十九尺メ餘、  
 同郡下富良野村「シーソラチ」官林蝦夷松外二種立木三千百三十四本此材積二萬四千七百五尺メ餘、天鹽國上川郡名寄村

名寄官林蝦夷松立木及燒損木千二百五十六本此材積一萬二千三百二十尺メ餘ノ拂下代 一、八、三、七、九、五、七  
 北海道廳室蘭支廳ノ徵收ニ係ル

ハ膽振國白老郡敷生村敷生官林桂外五種立木及枯損木千六百二十八本此材積六千七百三十四尺メ餘、同村「チツブ」官林桂  
 外三種立木三百二十二本此材積千五百八尺メ餘、同國幌別郡幌別村幌別官林桂外四種立木及枯損木五百二十二本此材積二千  
 八百十二尺メ餘ノ拂下代 四、六、〇、四、六、三、九

北海道廳増毛支廳ノ徵收ニ係ル

四、六、〇、四、六、三、九

ハ同支廳管内官林蝦夷松外一種立木三萬五百二十三尺メ餘ノ拂下代ニシテ孰モ鐵道作業局ニ納付スヘキ陸軍々用材トシテ  
 明治三十九年五月ヨリ同年十月マテノ間ニ於テ請負人三井物産合名會社ニ對シ公益事業ノ爲メ必要ナリトノ事由ヲ以テ特  
 賣シタルモノナリ、然ルニ是ヨリ先キ三十八年度中三十八年八月ヨリ三十九年三月マテノ間ニ於テ同一ノ事由ニ依リ該會  
 社ニ對シ拂下ケタルモノ上川支廳管内ニ於テ榎松外數種十七萬二千二百七十三尺メ餘、室蘭支廳管内ニ於テ桂外數種一萬  
 七千七百六十六尺メ餘アルヲ以テ、三十八、三十九兩年度ヲ通シテ拂下ケタル材積ハ總計二十八萬七千三百三十二尺メ餘ニ  
 達セルニ、該會社ノ請負ニ係ル軍用材ハ鐵道枕木及木材類五十點此材積十三萬七千五百尺メニ過キスシテ之ニ充ツル立木  
 材積ハ造材歩止リヲ六歩トシ約二十三萬尺メニ足レリトスルノ計算ナルヲ以テ拂下材積ハ實際ノ所要ニ比シ五萬七千餘  
 尺メノ超過ヲ見ルノミナラス、同會社カ軍用材ヲ完納シタルハ三十八年十一月ニシテ即チ本件拂下契約締結前ニ屬シ納付  
 後二箇年ヲ經過シ四十年九、十月ニ於テ拂下物件ノ搬出ヲ爲シタルモノアリ、尙ホ三十八年度中拂下ケタルモノト雖モ三  
 十八年八、九兩月中上川支廳ノ拂下ニ係ル蝦夷松外一種三萬四千八百九十九尺メ餘ヲ除ク外ハ總テ軍用材納付後ニ至リ其  
 契約ヲ爲シタルモノナリ、右ハ明治三十年勅令第二十一號ヲ適用シ公益事業ノ爲メ必要ナリトノ事由ヲ以テ隨意契約ニ依  
 リ特賣シタルモノナリト雖モ、該勅令ノ規定タル事業直接ノ起業者ニ限り適用スヘキモノニシテ營利ヲ目的トスル請負業  
 者ニ拂下クルカ如キ間接ノ場合ヲ包含セス、加之實際ノ所要ニ付テハ毫モ調査ヲ爲サス所定ノ目的ニ使用セザルコト明ナ



ル特賣願ニ對シ漫然多額ノ材積ヲ拂下ケタルモノナリ、要スルニ本件ハ公益事業ヲ名トシ隨意契約ニ依リ特賣ノ目的ニ使  
用セサル物件ノ拂下ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 上川、室蘭、増毛ノ各支廳ノ取扱ニ係ル森林收入ノ拂下處分ニ對シテハ検査院ノ不當ナリトスル理由及之ニ對スル辯明ハ前項ト同一ナルヲ  
以テ省略ス(二一九頁(一〇)參看)

【貴決】 政府ノ辯明ハ穩當ヲ闕ク

【衆決】 不當

(參照) ○北海道森林產物賣渡隨意契約ノ件(二二〇頁參看)

【報告】

(一一) 北海道廳上川支廳ノ徵收ニ係ル

一、三六二、〇六二<sup>円</sup>

ハ石狩國上川郡東川村ノカナン官林蝦夷松立木百七十本此材積千三百六十九尺メ餘、同村忠別官林蝦夷松立木二百二十  
三本此材積千六百三十四尺メ餘、同國空知郡上富良野村「エホロカアンベツ」官林蝦夷松外一種立木三百六十七本此材積三  
千四十六尺メ餘ノ拂下代ニシテ、北海道官設鐵道旭川停車場構内鐵道作業局出張所新築工事用材トシテ明治三十九年六月  
及七月中請負人大島某ニ對シ公益事業ノ爲メ必要ナリトノ事由ヲ以テ特賣シタルモノナリ、然ルニ該工事所要材積ハ鐵道  
作業局札幌出張所ノ證明ニ依レハ立木三千尺メナルニ拘ラス本件拂下材積ハ六千五百尺メ餘ナルヲ以テ所要材積ニ對シ二  
倍餘ニ相當セリ

同支廳ノ徵收ニ係ル

四一四、四八五<sup>円</sup>

ハ天鹽國中川郡下名寄村智惠文官林蝦夷松立木百八十二本此材積二千八百八十一尺メ餘ノ拂下代ニシテ、上名寄村尋常高等  
小學校建築用トシテ請負人大久保某ニ對シ公益事業ノ爲メ必要ナリトノ事由ヲ以テ特賣シタルモノナリ、然ルニ右ハ單ニ  
上名寄村尋常高等小學校一棟坪數百二十八坪餘此請負額千五百餘圓ト記載シアル上名寄村外二箇村戸長ノ證明書ニ依リ拂  
下ケタルモノニシテ其拂下材積ハ一坪約十七尺メニ當リ普通校舍ノ所要材積ニ比シ頗ル過當ナリ

北海道廳壽都支廳ノ徵收ニ係ル

四五九、七〇七<sup>円</sup>

ハ後志國磯谷郡南尻別村蘭越内官林蝦夷松外三種立木三百六十四本此材積千八百五尺メ餘ノ拂下代ニシテ、北海道廳小樽築

港事務所ニ納付スヘキ角材其他用トシテ請負人小樽銅鐵船具合資會社ニ對シ公益事業ノ爲メ必要ナリトノ事由ヲ以テ特賣  
シタルモノナリ、然ルニ同會社ノ請負ニ係ル角材、枕木、板等ヲ北海道廳小樽築港事務所ニ納付シタル材積ハ約五百尺メ  
ニ過キサルヲ以テ其造材歩減ヲ計算スルモ拂下材積ハ實際ノ所要ニ比シ頗ル過當ナリ

北海道廳室蘭支廳ノ徵收ニ係ル

九六一、一七九<sup>円</sup>

ハ膽振國白老郡敷生村敷生官林桂外三種立木八百七十六本此材積四千四百二十尺メノ拂下代ニシテ、鐵道作業局ヘ納付ス  
ヘキ鐵道用材トシテ明治三十九年十一月四十年一月ノ二回ニ請負人三井物産合名會社ニ對シ公益事業ノ爲メ必要ナリトノ  
事由ヲ以テ特賣シタルモノナリ、然ルニ本件拂下ニ關シ請負物件ノ品名及數量等不明ナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推  
問セシニ、品名數量等ハ之ヲ認ムヘキ書類ナシト答辯セリ

同支廳ノ徵收ニ係ル

六〇一、五六七<sup>円</sup>

ハ同國有珠郡壯管村壯管官林桂外二種立木千五百五十二本此材積三千二百二尺メノ拂下代ニシテ、小倉鐵道株式會社ニ納付  
スヘキ鐵道枕木用トシテ請負人小樽木材株式會社ニ對シ公益事業ノ爲メ必要ナリトノ事由ヲ以テ特賣シタルモノナリ、然  
ルニ本件拂下ニ關シ所要材積算出ノ基礎明ナラサルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ、枕木ノ員數其他ノ事項ヲ識  
認スヘキ書類ナキニ由リ説明スルヲ得スト答辯セリ

右ハ孰モ明治三十年勅令第二十一號ヲ適用シ公益事業ノ爲メ必要ナリトノ事由ヲ以テ隨意契約ニ依リ特賣シタルモノナリ  
ト雖モ、該勅令ノ規定タル事業直接ノ起業者ニ限リ適用スヘキモノニシテ營利ヲ目的トスル請負業者ニ拂下クルカ如キ間  
接ノ場合ヲ包含セス、加之特定ノ目的ニ使用ノ爲メ拂下ヲ爲ス場合ニ於テハ其所要數量ノ當否ヲ調査シ以テ過剩ナキヲ期  
セサルヘカラサルニ之カ調査ヲ爲サス若クハ所要數量ニ超過セル拂下ヲ爲シタルモノナリ、依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 上川、壽都、室蘭ノ各支廳ノ取扱ニ係ル森林收入ノ官林拂下處分ニ對シ検査院カ其不當トナス第一要點タル公益事業ノ工事者クハ之ニ要ス  
ル物件ノ請負者ニ對シ三十年勅令第二十一號ヲ適用シテ其材料ヲ拂下タルハ不當ナリト云フ點ニ付テハ前(十項)ノ第一辨明ニ同シ又第二



ノ要點タル所要材積ニ比シ賣拂材積過當ナリト云フニ對シテハ請負者ニ林産物ヲ賣拂フトキハ所要材積ノ明記又ハ之ヲ算出スルニ足ルヘキ記載アル當該請負者ノ相手方ヨリ發スル證明書ヲ提出セシメ造材減額案シテ算出シタルモノヲ以テ所要ノ材積トシ其範圍内ニ於テ拂下クルヲ以テ漫リニ過當ナル賣拂ヲ爲サ、ル管ナレハ是等ハ全ク事務繁劇ノ際注意ノ到ラザリシニ出テタルモノニシテ遺憾トスル所ナリ

又第三ノ要點タル所要材積ノ調査ヲ爲サズ不明ノ儘處分シタリト云フモ三井物産合名會社ハ前記三十九年十一月處分ノ分ニ對シテハ鐵道作業局ヘ納付スヘキ木材三千八百二十石五斗及同三萬六千四百九十三石八斗ノ材料ノ内トシ四十年一月ノ分ニ對シテハ同上納材ノ外北海道鐵道作業局出張所ヘ納付スヘキ枕木五萬五千挺及統監府鐵道管理局ヘ納付スヘキ九千四十二石ノ材料ノ内トシ小樽木材株式會社ハ小倉鐵道株式會社ヘ供給スヘキ枕木五萬挺ノ材料ノ内トシテ孰レモ當該證明書ノ謄本ヲ添ヘテ出願シ當該官廳ハ之ニ依リテ其ノ所要ノ數量ヲ認メタル上其範圍内ニ於テ賣拂處分ヲ爲シタルモノニシテ該謄本ハ當該支廳長カ其ノ處分ニ對スル長官ノ認可ヲ仰キタル上申書ニ添付シタル儘處分保存ノ一件書類中ニ編纂シアリ(二一九頁(一〇)參看)

【貴決】 政府ノ辯明ハ穩當ヲ闕ク 【衆決】 不當

(參照) ○北海道森林產物賣渡隨意契約ノ件(二二〇頁參看)

【報告】

(一三) 北海道廳壽都支廳ノ徵收ニ係ル

一、七五〇〇三六

ハ後志國磯谷郡南尻別村蘭越内官林櫛外二種立木三百二十四本此材積二千五百八十一尺メ餘、同國歌葉郡熱那村熱那官林櫛外二種立木三百四十一本此材積三千二百二十二尺メ餘、同國壽都郡黒松内村朱太川官林櫛外二種立木三百九十本此材積三千四十三尺メ餘ノ拂下代ニシテ、小倉鐵道株式會社枕木用トシテ請負人小樽木材株式會社ニ特賣シ

九三二二二六二

同支廳ノ徵收ニ係ル  
ハ同國磯谷郡南尻別村目名官林榎松外一種立木九百三十四本此材積三千八百九十九尺メ餘ノ拂下代ニシテ、小樽區立色内尋常高等小學校新築用トシテ請負人島田某ニ特賣シ

一、六〇二八五〇

北海道廳室蘭支廳ノ徵收ニ係ル

ハ膽振國有珠郡壯管村長流官林蝦夷松外一種立木千四百六十四本此材積九千六十八尺メ餘ノ拂下代ニシテ、鐵道作業局ヘ

納付スヘキ鐵道枕木用トシテ明治三十九年五月請負人天鹽木材株式會社ニ特賣シ  
同支廳ノ徵收ニ係ル 八五二五七〇

ハ同國虻田郡辨邊村辨邊官林榎外二種立木千三十七本此材積四千四百六十九尺メ餘ノ拂下代ニシテ、鐵道作業局ヘ納付スヘキ鐵道枕木、貫及挽材用トシテ明治三十九年十月請負人三井物産合名會社ニ特賣シ

九七二六九三

北海道廳上川支廳ノ徵收ニ係ル

ハ天鹽國上川郡劍淵村劍淵官林榎外三種立木百六十四本此材積千二百二十三尺メ餘、同村「マタルシユケヌブチ」官林櫛外四種立木百十六本此材積千百十六尺メ餘、同村和寒官林櫛外四種立木二百九十四本此材積千九百九十二尺メ餘、石狩國上川郡美瑛村美瑛官林榎立木二百九十本此材積千四百九十四尺メ餘ノ拂下代ニシテ、鐵道作業局札幌出張所ヘ納付スヘキ鐵道枕木用トシテ明治三十九年七月、十二月及四十年三月請負人酒井某ニ特賣シタルモノナリ

右ハ孰モ明治三十年勅令第二十一號ヲ適用シ公益事業ノ爲メ必要ナリトノ事由ヲ以テ隨意契約ニ依リ特賣シタルモノナリト雖モ該勅令ノ規定タル事業直接ノ起業者ニ限り適用スヘキモノニシテ營利ヲ目的トスル請負業者ニ對シ拂下クルカ如キ間接ノ場合ヲ包含セス、依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】

本項ニ於ケル壽都、室蘭、上川ノ各支廳ノ取扱ニ係ル森林收入ノ官林拂下處分ニ對スル検査院カ不當ナリトナス要點及之ニ對スル辯明ハ前

(第十項)ノ第一ト同一ナルヲ以テ省略ス(二一九頁(一〇)參看)

【貴決】 取扱手續穩當ヲ闕クモノアルヲ以テ將來相當ノ改良ヲ加フヘク注意ヲ促ス(分科會) 【衆決】 不當

(參照) ○北海道森林產物賣渡隨意契約ノ件(二二〇頁參看)

【報告】

(一四) 北海道廳岩内支廳ノ徵收ニ係ル

一、三九九〇二九

ハ膽振國虻田郡俱知安村俱知安官林榎外五種立木二千四十六本此材積一萬三千三百三十八尺メ餘ノ拂下代ニシテ、自家用材ノ目的ヲ以テ明治三十九年八月小樽區今村某外十五名ニ對シ各別ニ隨意契約ニ依リ特賣シタルモノナリ、然ルニ右ハ其實天



鹽木材株式會社ニ於テ清國ニ輸出スヘキ鐵道枕木用ナルコトハ本件拂下ノ當時同支廳ヨリ北海道廳ニ對スル照會文書ニ依リ明ナルヲ以テ、表面上自家用材ト爲シ故ラニ其價格ヲ貳百圓以内ニ分割シタルモノト認メサルヲ得ス

北海道廳札幌支廳ノ徵收ニ係ル

一六〇八<sup>円</sup>八四六

ハ同國千歲郡千歲村「ケヌツチ」官林桂外五種立木千八百七十五本此材積九千八百九十八尺メ餘ノ拂下代ニシテ、海外ニ輸出スヘキ鐵道枕木用ニ供スルノ目的ヲ以テ三井物産合名會社札幌出張所長小田某外八名ヨリ明治三十九年三月十三日各自ニ提出シタル拂下願ニ對シ同年九月二十九日隨意契約ニ依リ特賣シタルモノニ係リ、悉ク木崎某ヲ以テ代理人トシ物件ノ引渡及搬出期限等總テ同一ナルノ事實ニ徵スレハ故ラニ其價格ヲ貳百圓以内ニ分割シタルモノト認メサルヲ得ス

一、一六四<sup>円</sup>九二二

ハ同官林積立木九百五十五本此材積七千五百十五尺メ餘ノ拂下代ニシテ、海外ニ輸出スヘキ長角材用ニ供スルノ目的ヲ以テ室蘭木材株式會社專務取締役今田某外五名ヨリ明治三十九年十一月二十九日各自ニ提出シタル拂下願ニ對シ四十年一月二十一日隨意契約ニ依リ特賣シタルモノニ係リ、悉ク出願者ノ一人タル鈴木某ヲ代理人トシ契約ノ締結、物件ノ引渡及搬出期限等總テ同一ナルノ事實ニ徵スレハ故ラニ其價格ヲ貳百圓以内ニ分割シタルモノト認メサルヲ得ス

九四八<sup>円</sup>九七六

ハ天鹽國中川郡名寄村智惠文官林蝦夷松立木百六十六本此材積三千三百八十九尺メ餘ノ拂下代ニシテ、自家用材ノ目的ヲ以テ藤井某カ拂下物件ノ價格ヲ一口貳百圓以内トシ明治三十九年一月三十一日六口ニ分割提出シタル拂下願ニ對シ二月二十八日隨意契約ニ依リ特賣シタルモノナリ

四六八<sup>円</sup>〇九六

ハ石狩國夕張郡由仁村安平官林栓立木百六十三本此材積二千三十五尺メ餘ノ拂下代ニシテ、輸出材用ニ供スル目的ヲ以テ長岡某カ拂下物件ノ價格ヲ一口貳百圓以内トシ明治三十九年四月一日三口ニ分割提出シタル拂下願ニ對シ同年十二月三日

及二十八日隨意契約ニ依リ特賣シタルモノナリ

右ハ孰モ競争入札ニ付スヘキモノナルニ故ラニ之ヲ分割シ隨意契約ニ依リタルモノニシテ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】

本項ニ於ケル岩内、札幌、上川、空知ノ各支廳ノ取扱ニ係ル森林收入ノ官林拂下處分ニ對スル検査報告ノ要點ハ孰レモ競争入札ニ付スヘキヲ故ラニ之ヲ分割シ隨意契約ニ依リタルモノニシテ會計法第二十四條ニ違背シタルモノナリト云フモ當該官廳カ其不當ヲ知リツ、故ラニ之ヲ分割處分スルモノニアラス願人ノ都合ニヨリ時々分割シテ出願スルコトアルモ之ヲ許ササルヘキハ勿論ナリ唯本項列記ノ内分割出願ニ心付カスシテ其儘許容シタリト認ムヘキモノ一二ヲ存スルハ全ク事務繁劇ノ際注意ノ到ラサルニ歸セサルヲ得ス寔ニ遺憾トスル所ナリ然レトモ俱知安官林ニ於テ處分シタル種立木ニ對スル今田某等十五名ノ出願「及ケヌツチ」官林ニ於テ處分シタル桂外五種立木ニ對スル小田某外八名ノ出願及同上官林ニ於テ處分シタル種立木ニ對スル今田某等十五名ノ出願ノ如キ其物件ノ使用目的同一ニシテ賣拂契約ノ締結物件ノ引渡搬出期限等亦相同シトスルモノ固ヨリ願人ヲ異ニスル個々ノ出願ナレハ假令共通ノ代理人ヲ有スルモノト雖モ明ニ之ヲ分割出願ト認ムルコトヲ得ス前記俱知安官林ニ於テ今田某等ニ賣拂タル物件ハ天鹽木材會社カ清國ニ輸出スヘキ鐵道枕木用材ナルコト明カナルニ自家用材ノ目的ヲ以テ賣拂ヒタリト云フモ枕木用材ナルコトハ當時ノ一件書類ニ明記シアルヲ以テ見レハ之ヲ自家用材トシテ拂下タルニアラス然レトモ公益ヲ理由トシテ處分シタルニアラサルカ故ニ使用目的ノ如何ハ價格貳百圓以内ノ特賣處分ニ何等ノ影響ナシ又今田某等カ假令其拂受物件ニ對シ天鹽木材株式會社ノ清國ニ輸出スル枕木ニ供用スト云フ同一ノ使用目的ヲ有スルトモ彼等拂受人ハ固ヨリ自己ノ計算ニ於テ個々別々ニ其ノ枕木ヲ會社ニ賣込ムコトヲ得ヘキヲ想ヘハ之ヲ以テ必シモ分割處分シタルモノト認ムルヲ得ス

【貴決】 取扱手續穩當ヲ闕クモノアルヲ以テ將來相當ノ改良ヲ加フヘク注意ヲ促ス(分科會)

【衆決】 會計法第二十四條違背

(參照) ○會計法(明治二十二年二月十一日)

第二十四條 法律勅令ヲ以テ定メタル場合ノ外政府ノ工事又ハ物件ノ賣買貸借ハ總テ公告シテ競争ニ付スヘシ但シ左ノ場合ニ

於テハ競争ニ付セス隨意ノ約定ニ依ルコトヲ得ヘシ

第八 見積價格四百圓ヲ超エサル動産ヲ賣拂フトキ

第四項 鹽專賣收入

【報告】 (一五) 神戸鹽務局ノ徵收ニ係ル

三五〇、八五六<sup>円</sup>二六〇

明治三十九年度 歳入 (一五)



ハ臺灣撤鹽三千五百四萬五千七百斤ヲ愛知縣小栗某ニ賣渡シタル代價ナリ、抑、臺灣鹽ノ移入ハ鹽專賣法施行當時ヨリ專  
 ラ小栗某ヲシテ之ヲ取扱ハシメ臺灣總督府ニ於テハ運搬中ニ生スル減耗ヲ補足スル爲メ船積證明書百斤ニ付百二十斤ヲ  
 交付セルニ拘ラス神戸港到着ノ際神戸鹽務局ニ於テハ船積證明書ノ數量ヲ以テ直チニ同人ニ賣渡シ常ニ之カ秤量ヲ爲サス、  
 其間清國及安南撤鹽運搬減ヲ百分ノ五ト定メタルノ事例アルニ獨リ臺灣撤鹽ニ付テハ其儘之ヲ交付シ其減耗歩合百分ノ十  
 六餘ニ相當セルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ、其答辯ノ要旨ハ臺灣撤鹽ハ之ヲ秤量スルニ至難ナルノミナラス  
 其船積證明書ハ官廳ノ交付スルモノナルカ故ニ信賴スルモ妨ナシト認メ受渡ノ際秤量ヲ省略シタルモノニシテ其補足割合  
 ノ多キハ撤鹽ナルト生鹽ニシテ量減多キヲ以テ既往ノ實蹟ニ鑑ミ適當ト認メタルニ因リ又清國及安南鹽ハ製鹽後時日ヲ經  
 過シ水分少ナキモ臺灣鹽ハ之ニ反スルニ因ルモノナリト謂フニアリ、然レトモ多數撤鹽ノ引渡ニ付適當ノ方法ヲ以テ豫メ  
 量減歩合ヲ定メ秤量ヲ省略スルハ固ヨリ妨ナキモ其歩合ハ最モ適實ナラサルヘカラス、然ルニ之ニ關シ何等ノ調査ヲ爲サ  
 ス、而シテ四十年七月小栗某ニ對スル從來ノ命令ヲ取消シ新ニ移入鹽ノ運搬ノミヲ命シ爾後四十一年六月ニ至ル秤量實行  
 ノ成績ニ徵スルニ其減耗歩合ハ百分ノ十餘ニ過キササルヲ以テ所定ノ減耗歩合百分ノ十六餘ハ多キニ失スルコト明ナリ、今  
 此ノ計算ニ依ルトキハ前掲撤鹽賣渡高三千五百餘萬斤ニ對シ買受人ニ交付セシ過剩數量ハ實ニ二百三十二萬餘斤ノ多キニ  
 達シ之ヲ一般賣渡價格ニ依リ計算スルトキハ政府ノ損失五萬餘圓ニ當レリ、要スルニ本件ハ事實ニ伴ハサル量減歩合ニ依  
 リ臺灣鹽ノ受授ヲ爲シ國庫ニ少カラサル損失ヲ來シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本項ハ事實ニ伴ハサル量減歩合ニ依リ臺灣鹽ノ受授ヲ爲シタルト云フモ臺灣鹽ノ移入ニ付テハ成ルヘク其手數ヲ簡便ニシ且經費ヲ節約ス  
 ル爲メ神戸著港ノ際移入船内ニ於テ直ニ之カ受渡ヲ爲スコト、セリ然ルニ船内ニ於テ悉ク其實量ヲ計算スルコトハ頗ル難事ニ屬スルヲ以  
 テ其受渡ニ付テハ臺灣總督府カ移入取扱人ニ交付シタル船積證明書記載數量ニ依ルコト、シタルモノニシテ臺灣總督府ニ於テハ過去數  
 年ノ實蹟ニ鑑ミ包裝鹽ニ付テハ百分ノ五撤鹽ニ付テハ百分ノ二十減耗スルモノト認定シ鹽船積ノ際證明書記載以外相當數量ヲ補足スルコ  
 ト、爲シタルモノナリ蓋シ當時輸入セル清國鹽安南鹽等ハ概シテ製鹽後時日ヲ經過シ水分少キヲ以テ量減少キモ臺灣鹽ハ概シテ收納後日  
 淺キカ故運搬減耗多ク殊ニ位等鹽ニ在リテハ無包裝ナルヲ以テ船積又ハ運搬ノ際減耗ヲ生スルコト夥シキモノトス要スルニ本件ハ數年ノ

實蹟ヲ利用シ手數ヲ簡便ニシ經費ヲ節約セルモノニシテ不當ノ處置ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

歳入臨時部

第一款 官有物拂下代 第二款 地所拂下代

【報告】

(一六) 北海道廳札幌支廳ノ徵收ニ係ル

四、五三六〇〇

ハ明治三十九年五月北海道札幌區ニ對シ同區北三條東一丁目官有市街宅地三千六百坪ノ内三千二百四十坪ヲ拂下ケタル代  
 價ニシテ三百六十坪ハ無償讓與ヲ爲シタルモノナリ、抑、該地所タル第七師團司令部舊敷地ニシテ札幌區ハ前期三千二百  
 四十坪ヲ區役所敷地ニ充用スルノ目的ヲ以テ拂下ヲ出願スルト共ニ三百六十坪ハ將來區ノ發達ニ伴ヒ道路ヲ開鑿スルノ必  
 要アリトシ其讓與ヲ出願シ、之ニ對シ北海道廳長官ハ前者ハ官有地特別處分規則第一條ヲ適用シ隨意契約ヲ以テ之ヲ拂下  
 ケ後者ハ官有財産管理規則第十二條ヲ適用シ之カ讓與ヲ許可シタリ、然ルニ其拂下價格ハ一坪壹圓四拾錢ニ當リ時價ニ比  
 シ頗ル低廉ニ失スルモノニシテ現ニ三十九年六月札幌區ヨリ所有權移轉登記ヲ申請シタル價格ハ拂下地讓與地ヲ併セタル  
 三千六百坪ニ對シ壹萬九千參百貳拾餘圓ナルノミナラス、札幌區ハ當初ノ目的ヲ遂行セス本件土地ノ全部ヲ四十年九月帝  
 國鐵道廳ニ轉賣シ其代價ハ實ニ六萬參千圓ニシテ一坪拾七圓五拾錢ニ當レリ、又官有財産管理規則第十二條ニ依リ官有地  
 ヲ讓與シ得ヘキハ現實道路開鑿ノ起業ヲ確定シタルモノナラサルヘカラス、隨テ本件ノ如キ單ニ將來ノ必要ヲ豫想セル場  
 合ハ固ヨリ該條ノ範圍外ニ屬シ之カ讓與ヲ爲スヘキモノニアラス、要スルニ本件ハ法規ニ違背シ無償ヲ以テ土地ヲ讓與シ  
 且ツ甚シキ低價ヲ以テ土地ヲ拂下ケ國庫ニ多大ノ損失ヲ來シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本項拂下代價ハ時價ニ比シ頗ル低廉ナリト云フモ其價格ハ附近北二條東一丁目及北四條西一丁目ニ於テ賣買シタル土地(一坪壹圓四拾五  
 錢七厘)ト稍類似ノ地ニシテ別段懸隔ナキヲ以テ之ヲ標準トシテ評價シタルモノナレハ不當ノ代價ニアラス尤モ明治四十年九月本地ヲ帝  
 國鐵道廳ニ轉賣シタル當時ノ價格ニ比スルトキハ格段ノ差アルモ其轉賣ハ一年以上ノ後ニシテ又鐵道廳ハ管理局敷地トシテ他ニ適當ノ土  
 地ナキヲ以テ本地ヲ強テ必要トシタルモノナレハ或ハ比較的高價ニテ買收シタルモノナラン果シテ然ラハ價格ノ差アルハ當然ニシテ處分



當時拂下タル代價ハ失當ニアラサルカ如シ又道路開鑿ノ目的ヲ以テ讓與シタル處分ハ法規ニ違背シタルモノナリト云フモ札幌區ハ事實ニ於テ元第七師團司令部敷地ノ中央南北ニ涉リ幅員六間ノ道路ヲ開鑿セントシタル計劃ヲ立テタルハ事實ナリ其後該敷地ヲ帝國鐵道廳へ賣却シタルヲ以テ區ノ計劃ハ一變シ道路敷地該當ノ分ヲモ合セテ賣却シタルモノニ付本件處分當時ハ札幌區カ出願目的通り事業經營セントスル事實ヲ認メ處分シタルモノナレハ敢テ違法ノ處分ニアラス

【貴決】 政府ノ辯明ハ穩當ヲ闕ク 【衆決】 不當

(參照) ○官有地特別處分規則(明治二十三年七月二十二日)

第一條 內務大臣ハ左ノ場合ニ限り官有地ヲ競争ニ付セス隨意ノ契約ヲ以テ貸渡又ハ賣渡スコトヲ得

一 直接公用ニ供スル爲又ハ公共ノ利益トナル事業ノ爲府縣郡市町村及公共組合又ハ其他ノ起業者ニ官有地ヲ貸渡又ハ賣渡スコトヲ得

○官有財産管理規則(明治二十三年十一月二十五日)

第十二條 府縣郡市町村公共ノ道路、公園、市場、河川並木敷、堤塘、溝渠等ノ用ニ供スル爲官有ノ土地森林ヲ必要トスルトキハ主管大臣ニ於テ之ヲ其ノ府縣郡市町村ニ讓與スルコトヲ得

【報告】 (一七) 北海道廳札幌支廳ノ徵收ニ係ル

一一四二〇〇

北海道札幌區北七條西七丁目所在原野四筆此坪數千四坪荒蕪地四筆此坪數九十二坪ノ拂下代ニシテ、原野ハ花卉移植庭園造營ノ目的ヲ以テ北海道國有未開地處分法第六條ヲ適用シ荒蕪地ハ官有地特別處分規則第一條ニ依リ明治三十九年六月對馬某ニ拂下ケタルモノナリ、然ルニ該地ハ同人ノ所有ニ係ル借樂園内ヲ貫流セル細流ノ堤防敷地ニシテ二十九年十二月中國有地四千八百六坪餘ヲ同人ニ拂下ケタル際堤防豫定敷地トシテ除地シタルモノナルモ存置ノ必要ナキニ至リ同人ニ拂下ケタルモノニシテ、之カ代價ハ一坪原野ハ拾錢、荒蕪地ハ拾五錢ニ當リ二十九年中同人ニ拂下ケタル代價一坪參拾錢ニ比スルモ甚シク低價ナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ、其答辯ノ要旨ハ本件ノ拂下代價ハ二十九年中拂下ケタル土地ニ比シ低廉ナルカ如シト雖モ該地ハ地勢及地形ニ大差アリ且ツ利用其他ノ點ニ於テ彼此同一ニ律スル能ハサルヲ以テ拂下代價ハ相當ト認ムト謂フニアリ、然レトモ該地ハ地勢及地形ニ於テ多少等位ヲ異ニスルモ其拂下代價タル十年前以前ニ於ケル同一區域内ノ拂下代ニ比シ其半額若クハ三分ノ一ニ過キササルカ如キハ適當ノ價格ト認ムルヲ得ス、現ニ同人カ四十年二月ニ至リ曩ニ拂受ケタル土地ト共ニ小樽區京佐加合資會社ニ轉賣シタル價格ハ一坪參圓ナルノ事實ニ徵スルモ低廉ニ失スルコト明ナリ、依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

本項ハ同地内ニ流ル、細川ト對馬嘉三郎所有地トノ間ニ介在スル狹長折曲セル土地ニシテ加フルニ濕潤地ナレハ庭園増地ノ外他ニ利用スル途ナカリシヲ以テ土地ノ價值ハ拂下當時モ十年前以前ト何等異ナルコトナシ故ニ以前拂下タル土地ノ價格ヲ比準シ其地ノ狀況彼是參酌ノ上評定シタル價格ニ依リ拂下タルモノニシテ又本地轉賣ノ價格ハ曩ニ對馬嘉三郎カ拂受タル土地ト合セ一團地ト爲シ賣買シタルモノナレハ前後拂下ノ土地ニ區別ナク一區域内ノ價格ヲ平均シテ計算シ且ツ拂下後土地ニ相當ノ手入ヲ爲シタルモノナレハ其價值カ高價ヲ示スハ勿論ニシテ又轉賣當時ハ一般ニ土地ノ價格稍騰貴シタル結果ナルヲ以テ是等ノ代價ト本件拂下價格トハ其高低アルヲ免レス

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 不當

(參照) ○北海道國有未開地處分法第六條(二一四頁參看)

○官有地特別處分規則第一條(二三〇頁參看)

【報告】

(一八) 北海道廳室蘭支廳ノ徵收ニ係ル

一一一四〇〇

北海道室蘭町ニ點在セル官有地十二筆此坪數四百二十二坪ノ拂下代ニシテ、明治三十九年八月ヨリ四十年二月ニ至ル間ニ於テ官有地特別處分規則第一條ニ依リ秋場某外十名ニ拂下ケタルモノナリ、然ルニ其拂下代價ハ一坪拾五錢乃至四拾錢ニシテ時價ニ比シ著シク低廉ニ失スルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ、其答辯ノ要旨ハ該地ノ拂下代價ハ附近ノ法定地價若クハ賣買價格ヲ比準シ地勢及交通ノ便否又ハ將來發達ノ狀況等ヲ參酌シ孰モ相當ト認メタリト謂フニアリ、然レトモ北海道廳ノ調査ニ係ル三十八年中室蘭町中等地ニ於ケル宅地ノ賃賃價格ハ年額一坪參拾錢ナルノ事實ニ徵シ縱ヒ地勢又ハ交通ノ便否ニ因リ若干ノ等差アリトスルモ適當ノ價格ト認ムルヲ得ス、即チ其拂下代價タル賃賃價格ニ比シ半額ニ等シキモノアリ或ハ右土地ノ内拂下後幾クナラスシテ之ヲ轉賣シ其價格ハ數十倍ニ及ヘルモノアリ或ハ同支廳ニ於テ隣地交換ノ爲メ同年度内評價シタル價格ニ比シ僅ニ五分ノ一ニ過キササルモノアリ、要スルニ本件ハ甚シク低價ヲ以テ土地ヲ拂下



ケタルモノニシテ不當ナリトス

【精明】本項拂下代價ハ宅地ノ賃貸價格及轉賣時價ニ對比シ低廉ナリト云フモ宅地ノ賃貸ハ已ニ民有ニ屬シ地形地勢等完全セル土地ニシテ前記ノ如ク其地勢及地形ニ大差アリ加フルニ袋地ノ如キ他人ノ使用シ能ハサル土地ト比較スルトキハ其價格ニ於テ差異アルハ免レサル所ニシテ又轉賣價格ノ如キハ室蘭町ハ炭礦汽船株式會社及株式會社日本製鋼所等カ新事業經營以來俄然土地ノ價格暴騰シタルモノニシテ之ヲ以テ直ニ彼ニ比スヘキニアラス

【貴決】異議ナシ

【衆決】不當

(參照) ○官有地特別處分規則第一條(二三〇頁參看)

【報告】(一九) 北海道廳空知支廳ノ徵收ニ係ル

四五〇二四

ハ石狩國空知郡歌志内村「ピラノシケオマナイ」原野四萬五千二十四坪ノ拂下代ニシテ、北海道國有未開地處分法第六條ヲ適用シ鑛業用地ノ目的ヲ以テ明治三十九年五月北海道炭礦鐵道株式會社ニ拂下ケタルモノナリ、然ルニ其拂下地タル一坪壹厘ニ當リ甚シク低廉ナリト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ、其答辯ノ要旨ハ本件拂下地ハ空知川上流僻陬ノ箇所ニシテ地勢起伏シ地味粗惡農耕ニ適セス又之カ評價ハ何等依ルヘキモノナキヲ以テ北海道土地拂下規則ニ定ムル千坪壹圓ノ價格ヲ標準トセリト謂フニアリ、然レトモ右拂下地ハ歌志内道路及空知川沿岸道路ノ交叉點ニシテ便利ノ位置ニアリ、其接續地ニ於テ同一ノ目的ヲ以テ三十九年三月マテ同會社ニ貸付シタル三萬八千坪ノ貸下料年額ハ一坪貳厘ナルニ拘ラス三十年四月廢止ニ係ル北海道土地拂下規則ノ素地代價ヲ標準トシ僅ニ附近土地貸下料年額ノ半額ニ相當セル價格ヲ以テ拂下ヲ爲シタルモノニシテ低廉ニ失スルコト明ナリ、依テ本件ハ不當ナリトス

【精明】

本項ハ會計檢査院ノ謂フ如ク便利ノ位置ニアリト雖モ其地勢タルヤ起伏甚シクシテ地味粗惡加之數條ノ溪流所々ニアルヲ以テ耕地ニ適セサルハ勿論本件ノ目的ニ使用セントスルモ多大ノ勞費ヲ投セサル可カラサルノ地形ナレハ價格ノ他ニ比準スヘキモノナキヲ以テ空知支廳ハ元拂下規則ノ素地代價ヲ標準トシテ價格ヲ評定シタルモノニシテ接續貸付地ノ料金ト比較シ低廉ナリト云フモ斯ハ官林地内ノ貸下料ニシテ自ラ其性質ヲ異ニスルモノナレハ之ヲ以テ比較スルハ穩當ナラサルカ如シ而シテ本地附近ニ於ケル民有未開地ノ賣買ハ一段歩ニ付上等壹圓六拾錢中等壹圓貳拾錢下等八拾錢ノ現價ヲ呈スルノ狀況ナレハ之カ實例ヨリ觀ルモ國有未開地ニシテ地味粗惡ノ土地ヲ三箇年以前

ニ賣拂ヒタル壹反歩拾錢ノ代價ハ敢テ低廉ニアラス

【貴決】政府ノ辯明ハ穩當ヲ闕ク

【衆決】不當

(參照) ○北海道國有未開地處分法第六條(二二四頁參看)

○北海道土地拂下規則(明治三十九年六月二十九日 閣令第十六號)

第十條 素地代價ハ千坪ニ付金壹圓トシ成功ノ後之ヲ拂下ケ地券ヲ下付スヘシ但其土地ハ拂下ノ翌年ヨリ十箇年ノ後ニアラス  
レハ地租及地方稅ヲ課セス

歳出

内務省所管

未竣功若クハ設計違反ノ工事ニ對シ請負金額ノ全部ヲ仕拂ヒタルモノ一件(二〇)

二九、〇七四<sup>円</sup>二一七

歳出臨時部

第三款 營繕費 第二項 新營費

【報告】(二〇) 大阪府ノ支出ニ係ル

二九、〇七四<sup>円</sup>二一七

ハ大阪爆發物倉庫二十棟及周圍木柵延長四百九十間ノ新設工事費ニシテ、佐藤某外一名ノ請負ニ係リ明治四十年三月竣功セルモノトシ其工費ヲ仕拂ヒタルモノナリ、然ルニ同年六月之カ實地ヲ檢査スルニ周圍木柵ハ當時仍ホ施工中ナルノミナラス全部竣功スルモ其間數ハ設計ニ對シ約五十間ノ不足アリ木柵丸太ハ總テ根燒ヲ爲スヘキ設計ナルニ之ヲ爲サス、又倉庫内部見ヘ掛リ金物ハ銅製ノ設計ナルニ悉ク眞鍮製ノモノヲ使用シアルニ拘ラス孰モ設計ノ如ク竣功シタリトシ檢定書ヲ作製シアリ、依テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ、其答辯ノ要旨ハ施工中ト認メラレタル木柵ハ手直工事ニ屬シ其間數ノ不足ハ柵ノ内方ヨリ測量シタル結果ニシテ不足ナク木柵丸太ニ根燒ヲ爲サ、リシハ其寸法設計以上ノモノヲ多數使用セシヲ以テ保存上敢テ軒輕ナシ、又内部見ヘ掛リ金物ハ爆發物保管上銅若クハ眞鍮孰ニテモ差支ナキヲ以テ眞鍮ヲ使用シ之ニ代ヘ倉庫下部壁厚ヲ増サシメタリ、其事實ニ反シタル竣功檢定書ヲ作りタルハ設計書其儘ヲ轉載シタルニ因ルト謂フ

明治三十九年度 内務省 (二〇)

一三三三



ニアリ、然レトモ右木柵ハ實地ノ狀況ニ徴シ既成工事ノ手直ト認メ難キノミナラス間數ハ隅柱ノ中心ヨリ量リタルモノナルヲ以テ柵ノ内外ニ因リ差違ヲ生スルコトナシ、其他丸太ノ根燒ヲ爲サス見ヘ掛リ金物ヲ變更シタルハ孰モ適當ト認メ難シ、要スルニ本工事ハ未タ竣功セサルモノ若クハ設計ニ違ヒタルモノ少カラサルニ設計ノ如ク竣功シタルモノトシ請負金額ノ全部ヲ仕拂ヒタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 木柵間數ハ設計ノ通竣成シ不足ナシ又柵丸太ハ當初根燒ノ設計ナリシヲ爾後コールター塗ニ變更シタルモノナリ 其他ハ會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會) 【衆決】 不當

大藏省所管

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ一件(二一)

五〇〇〇〇

歳出經常部

第三款 恩賞諸祿 第一項 賞勳年金

【報告】 (二二) 東京府ノ支出ニ係ル

五〇〇〇〇〇

ハ陸軍三等主計正大野某ニ對スル年金トシテ證明シタルモノナリ、然ルニ同人ニ對スル年金ハ明治四十年一月中既ニ仕拂濟ノモノナルニ同應會計課雇二羽某カ右大野某ノ居所届及領收書ヲ作成シ四十年四月ニ至リ再ヒ其交付ヲ請求シ之ヲ詐取シタルモノナリ、右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 不當

陸軍省所管

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ六件(二二)(二五)(二九)

六七一九四七

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ二件(三三)(三四)

二四、四四三、〇四〇

競争入札ニ付スヘキ物件ノ購買ヲ隨意契約ニ依リタルモノ四件(二六)(二七)(二八)

一五、七二〇、二一〇

合計十二件

四〇、八三五、一九七

歳出經常部

第二款 軍事費 第一項 俸給及諸給

【報告】 (三三) 第九師團經理部ノ支出ニ係ル

四七二一〇

ハ歩兵第七聯隊第一大隊第三中隊出納官吏陸軍歩兵曹長米原某カ明治三十九年五月ヨリ同年七月ニ至ル間ニ於テ下士卒給料仕拂證書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シ各受領者ノ印影ヲ盗用シ數次ニ之ヲ詐取シ

四一〇四〇

臺灣陸軍經理部ノ支出ニ係ル

ハ臺灣守備歩兵第三大隊第一中隊出納官吏陸軍歩兵曹長森某カ三十九年十一月ヨリ四十年三月ニ至ル間ニ於テ下士卒中轉隊、逃亡、處罰等ノ爲メ給料額ニ異動ヲ生シタルニ拘ラス異同ナキモノ、如ク裝ヒ、又ハ事故ノ爲メ在營セサル者ノ給料ヲ仕拂ヒ若クハ其追給ヲ爲スニ際シ虚偽ノ證書ヲ作成シ數次ニ詐取シタルモノナリ

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會) 【衆決】 不當

歳出臨時部

第四款 營繕及初度調辦費 第一項 臺灣兵營廳舍營繕及初度調辦費

【報告】 (三三) 臺灣陸軍經理部ノ支出ニ係ル

一、一〇、三二七、六五〇

ハ基隆要塞司令官、臺北將官宿舍建築及設備ニ要セシ費用ナリ、然ルニ本項豫算ハ臺灣ニ於ケル歩兵六個大隊、砲兵一個大隊及臺中衛戍病院ノ新營費ヲ見積リタルモノニシテ宿舍建設ノ費用ヲ包含セス、依テ本件ハ明治三十七年度以降検査報告ニ

明治三十九年度 陸軍省 (三三)(三四)

一三三五



掲載セシト同シク本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス(明治三十七年度(三五)二三〇頁及明治三十八年度(二二)七九頁參照)

【辨明】 本項ハ既ニ前年度ニ於テ辨明セシ如ク本豫算ノ目的ハ臺灣守備部隊ニ係ル兵營廳舎等ノ新設ニ在リ而シテ守備部隊ノ編制改正並配置變更ノ都合ニ依リ實施上多少當初ノ見込ト一致セサルモノアルモ其目的ヲ變セサル費途ニ使用シタルモノナルヲ以テ會計法第十二條ニ違背シタルモノニアラス

【貴決】 明治三十八年ト同一ノ事件ニ付特ニ不當ノ決議案ヲ提出スルニ及ハス(分科會) 【衆決】 會計法第十二條違背

(參照) ○會計法(明治三十二年二月十一日) 第十二條第一項 國務大臣ハ豫算ノ目的外ニ定額ヲ使用シ又ハ各項ノ金額ヲ彼此流用スルコトヲ得ス

【報告】 (二四) 臺灣陸軍經理部ノ支出ニ係ル 四、一二五、三九〇

ハ臺北所在臺灣守備步兵第二大隊營各兵舎外四棟廊下ノ陸屋根「アスファルト」塗工事施行ニ要シタル費用ナリ、然ルニ該兵舎等ノ建築工事ハ明治三十六年度中全ク竣功シ其陸屋根ハ一旦亞鉛葺ト爲シタルモノナルヲ以テ本件工事ハ該建物ノ修繕ニ屬シ臺灣ニ於ケル兵營廳舎ノ新營ヲ目的トセル本費豫算ノ支辨ト爲スヘキモノニアラス、依テ本件ハ豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 臺灣島ニ於ケル永久兵營廳舎ノ建築ハ其工事施行中亞鉛葺屋根ハ氣候ノ關係上同島ノ建築ニ適セサルヲ認メ「アスファルト」塗ニ變更セリ即本件工事ハ當初ノ設計ヲ補足シ建築ノ完全ヲ期スルノ目的ニ出タルモノニ付該費途ハ會計法第十二條ニ違背シタルモノニアラス

【貴決】 政府ノ辨明ヲ是認ス(分科會) 【衆決】 承認

(參照) ○會計法第十二條第一項

第九款 清國事件費 第一項 清國事件費

【報告】 (二五) 陸軍會計監督部ノ支出ニ係ル 一一、二〇二、七

ハ清國駐屯軍病院附陸軍一等計手國友某カ明治三十九年五月及九月ニ於テ用達商茨城某ヲシテ物品ヲ修理セシムルニ際シ其代金ヲ附加シ若クハ購入セサル物品ヲ購入シタルカ如ク裝ヒ虚偽ノ證書ヲ作成シ之カ代金ヲ詐取シタルモノナリ、右ハ

【辨明】 虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會)

【衆決】 不當

第十款 臨時事件費 第一項 臨時事件費

【報告】 (二六) 陸軍會計監督部ノ支出ニ係ル 一、一九〇、〇〇〇

ハ明治三十九年八月中近衛歩兵第二聯隊ニ於テ東京市山根某外二名ヨリ購入セル金櫃行李及公用行李ノ代價 三、二五、四、七〇〇

【辨明】 同年六月中第二師團經理部ニ於テ仙臺市齋藤某外二名ヨリ購入セル同物品ノ代價ニシテ、孰モ隨意契約ニ依リタルモノナルヲ以テ之ヲ競争入札ニ付セザリシ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ、其答辯ノ要旨ハ戰役後動員計畫上速ニ整理ヲ要スル復

舊品ニシテ之ヲ競争ニ付スルトキハ公告等ノ爲メ多クノ時日ヲ徒費スルノ虞アリ、又本件ハ戰用品ナルヲ以テ之ヲ秘密ニ付スルノ必要アルノミナラス一人ヲシテ其全部ヲ供給セシムルヨリモ數人ヲシテ之ヲ爲サシムルトキハ自然完全ナルモノヲ購入シ得ヘキヲ以テ隨意契約ニ依リ分割購入セリト謂フニアリ、然レトモ本件復舊ハ公告ノ暇ナキカ如ク要求ノモノニアラサルノミナラス本品ヲ戰用品ト爲スト否トハ軍隊ノ内部ニ於ケル區分ニ過キササルヲ以テ之カ購入ヲ秘密ニ付スルノ必要ナク現ニ之ヲ競争入札ニ付シタル事例少カラサルニ徴スルモ其答辯ノ趣旨ヲ認ムルヲ得ス、依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會) 【衆決】 會計法第二十四條違背

(參照) ○會計法(明治三十二年二月十一日) 第二十四條 法律勅令ヲ以テ定メタル場合ノ外政府ノ工事又ハ物件ノ買賣貸借ハ總テ公告シテ競争ニ付スヘシ但シ左ノ場合ニ

於テハ競争ニ付セス隨意ノ約定ニ依ルコトヲ得ヘシ



【報告】 (二七) 陸軍會計監督部ノ支出ニ係ル

第二 政府ノ所爲ヲ秘密ニスヘキ場合ニ於テ命スル工事又ハ物品ノ賣買貸借ヲ爲ストキ  
ハ金櫃行李及公用行李ノ代價ニシテ、明治三十九年九月中第八師團經理部ニ於テ東京府西村某ヨリ隨意契約ニ依リ購入シタルモノナリ、其理由トスル所ハ動員計畫上至急ヲ要スル復舊品ニシテ之カ購入ハ競争ニ付スルノ暇ナカリシト謂フニアリ、然レトモ右復舊ハ公告ノ暇ナキカ如ク要急ノモノニアラサルヲ以テ競争入札ニ付スヘキモノナリ、依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

【審明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會)

【衆決】 會計法第二十四條違背

(參照) ○會計法(明治二十二年二月十一日)

第二十四條 法律勅令ヲ以テ定メタル場合ノ外政府ノ工事又ハ物件ノ賣買貸借ハ總テ公告シテ競争ニ付スヘシ但シ左ノ場合ニ於テハ競争ニ付セス隨意ノ約定ニ依ルコトヲ得ヘシ

第三 非常急遽ノ際工事又ハ物品ノ買入借入ヲ爲スニ競争ニ付スル暇ナキトキ

【報告】 (二八) 陸軍會計監督部ノ支出ニ係ル

八、〇一四、五六〇

ハ明治三十九年九月中第十二師團經理部ニ於テ福岡縣山田某外一名ヨリ購入セル馬匹手入具ノ代價ニシテ、隨意契約ニ依リタルモノナルヲ以テ之ヲ競争入札ニ付セサリシ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ、其答辯ノ要旨ハ戦後一時ニ多數ヲ購入スルトキハ戦用品タルコトヲ推測スルニ難カラス、加之戦用品ノ復舊ハ一日モ速ニ實行シ以テ戦後ノ動員計畫ヲ完成スルノ必要アルニ因ルモノナリト謂フニアリ、然レトモ本件復舊ハ公告ノ暇ナキカ如ク要急ノモノニアラス本件物品ノ如キ單ニ戦用品タルノ故ヲ以テ之ヲ秘密ニ付スルノ必要ナク現ニ同種ノ物品ニシテ一時ニ多數ノ購入ヲ爲スニ當リ之ヲ競争ニ付シタルノ事例少カラサルニ徴スルモ其答辯ノ趣旨ヲ認ムルヲ得ス、依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

【審明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會)

【衆決】 會計法第二十四條違背

(參照) ○會計法第二十四條(二二七頁及二三八頁參看)

【報告】 (二九) 陸軍會計監督部ノ支出ニ係ル

三八五、四九〇

ハ臨時鐵道大隊器具材料手入及運搬等ノ入夫賃トシテ證明セル九百八拾五圓五拾貳錢ノ内ニシテ、貳百七拾六圓七拾七錢ハ特別會計臨時軍事費、參百貳拾參圓貳拾六錢ハ明治四十年年度臨時軍事費ニ屬スルモノナリ、右ハ鐵道大隊習志野派遣隊傭員齋藤某カ三十九年十二月ヨリ四十年十月ニ至ル間ニ於テ實際使役セサル傭夫ヲ使役シタルモノ、如ク装ヒ傭夫證明書ヲ偽造シ若クハ正當ノ傭夫證明書ニ使役以外ノ員數ヲ附加シ數回ニ之カ賃金ヲ詐取シ

一二七、四〇〇

第十三師團經理部ノ支出ニ係ル  
ハ歩兵第五十聯隊韓國甲山守備隊長陸軍歩兵大尉石黒某カ臨時傭人楠某等ト共謀シ甲山郡書記韓某ヲシテ輸送用駄馬賃金一頭貳圓貳拾錢ナルヲ貳圓參拾錢ニ増額請求セシメ三十九年五月ヨリ六月ニ至ル間ニ於テ駄馬總數千二百七十四頭ニ對スル賃金ノ差額ヲ詐取シ

五八、七八〇

樺太守備隊經理部ノ支出ニ係ル  
ハ樺太守備隊附陸軍砲兵二等蹄鐵工長田口某カ商人上村某ト共謀シ三十九年十一月ヨリ四十年二月ニ至ル間ニ於テ蹄鐵材料購入ニ際シ其納付數量ヲ偽リ若クハ購入セサル物品ヲ購入シタルカ如ク装ヒ虛偽ノ證書ヲ作成シ之カ代金ヲ詐取シタルモノナリ

右ハ孰モ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【審明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會)

【衆決】 不當

海軍省所管



明治三十九年度 海軍省 (三〇)(三二)

二四〇

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ三件(三〇)  
未著手ノ工事ヲ竣功シタルモノ、如ク裝ヒ工費全額ヲ支出シタルモノ一件(三一)  
合計四件

一九四八七〇  
二、四一九〇八〇  
二、六一三九五〇

歳出經常部

第二款 軍事費 第一項 俸給及諸給

【報告】(三〇) 本項ニ於テ吳海軍經理部ノ支出ニ係ル

第六項旅費ニ於テ同部ノ支出ニ係ル  
第八項諸手当ニ於テ同部ノ支出ニ係ル

一五二五八〇  
九二五〇  
三三〇四〇

ハ吳海兵團ニ於テ海軍一等筆記門野某外五名カ出納事務ニ從事中明治三十八年四月以降四十年一月ニ至ル間俸給、旅費等ヲ給與スルニ當リ實際ノ支給額ニ超過セル支出傳票其他ノ書類ヲ作成シ又ハ特別加俸等追給ノ爲メ出納官吏ヨリ仕拂ヲ受ケ本人ニ交付セス之ヲ詐取シタル總額九百貳拾六圓貳拾壹錢ノ内ニシテ、參百壹圓九拾四錢ハ三十八年度、四百貳拾九圓四拾錢ハ特別會計臨時軍事費ニ屬スルモノナリ  
右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辯明】 本件ハ臨時軍事費検査報告書ニ對シ辯明シタル通ニシテ吳海兵團海軍一等筆記門野某外五名カ出納事務ニ從事中明治三十八年四月ヨリ四十年一月ニ至ル間ニ於テ官金ヲ詐取セラレタルニ心付カサリシハ監督不行届ノ致ス所ニ付同團主計長、主計官ヲ夫々海軍懲罰令ニ依リ懲戒セリ(臨時軍事費(一九)六八二頁參看)

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會) 【衆決】 不當

第三款 修繕費

【報告】(三一) 横須賀海軍經理部ノ支出ニ係ル

二、四一九〇八〇

ハ明治四十年三月横須賀海軍工廠造兵部鑄造工場焼失ノ爲メ該復舊工事ヲ横須賀海軍工廠へ委託シ本年度内竣功セルモノト

シ之カ工費ヲ仕拂ヒタルモノナリ、然ルニ其實地ヲ検査スルニ該工事ハ殆ト古材ノミヲ使用セル假設物ニ過キサラヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ、其答辯ノ要旨ハ年度内到底全部竣功ノ見込ナキニ因リ假建築ヲ以テ一時之ヲ補ヒ他日完全ナル工場ヲ建築スルコト、シ工事全部ニ要スル見積代價ヲ海軍工廠ニ拂切リタリト謂フニアリ、右ハ未著手ノ工事ヲ竣功シタルモノ、如ク裝ヒ之カ金額ヲ支出シタルモノニシテ不當ナリトス

【辯明】 横須賀海軍工廠造兵部鑄造工場復舊工事ハ年度内竣工ノ豫定ヲ以テ其工事ヲ横須賀海軍工廠ニ委託シ該工廠ハ年度内ニ殆ソト材料其他加工ノ全部ヲ了シ單ニ之カ組立工事ノミヲ餘シタリシモノニ係リ右組立工事ヲ除キタル既成工事ニ對シ其ノ相當代金貳千四百拾九圓八錢ヲ仕拂ヒタルハ不當ノ支出ニアラス

【貴決】 政府ノ辯明ハ穩當ヲ闕ク 【衆決】 承認

司法省所管

翌年度ノ經費ニ充テシカ爲メ事實ヲ作爲シ支出ヲ爲シタルモノ一件(三二)  
正當債主ニアラサルモノニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノ一件(三三)  
合計二件

一六二七〇  
一三、一六九四七〇  
一三、一八五七四〇

歳出經常部

第二款 裁判所 第六項 旅費

【報告】(三二) 新潟地方裁判所ノ支出ニ係ル

一六二七〇

ハ裁判所書記正野某カ明治四十年三月中新潟區裁判所新津出張所外二箇所へ出張セル旅費トシテ證明シタルモノナルモ、其實該仕拂金ヲ以テ翌年度ノ經費ニ充ツルカ爲メ故ラニ旅行明細書其他ノ書類ヲ作成シ本年度ノ支出ト爲シタルモノナリ、依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會) 【衆決】 不當

明治三十九年度 司法省 (三二)

二四一



歳出臨時部

第一款 鹽糶費 第八項 修繕費

【報告】 (三三) 司法省ノ支出ニ係ル

一三、一六九<sup>円</sup>四七〇

ハ司法省、大審院、東京控訴院、東京地方裁判所電燈具修繕工費トシテ仕拂ヒタルモノナリ、然ルニ右ハ東京電燈株式會社社員齋藤某伊藤某兩人共謀シ請求書及領收證書ヲ偽造シ之ヲ詐取シタルモノニシテ正當債主ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニアラス、依テ本件ハ不當ノ支出ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(分科會)

【衆決】 不當

文部省所管

備入ヲ爲サ、ル外國人給與ノ豫算ヲ要求シ殘餘トシテ資金へ編入シタルモノ一件(三四)

八、九五五<sup>円</sup>〇〇〇

歳出經常部

第七款 諸學校及圖書館支出金

第二項 京都帝國大學

【報告】 (三四) 本項決算額ノ内

八、九五五<sup>円</sup>〇〇〇

ハ京都帝國大學京都醫科大學病理學擔當備外國教師一名ニ要スル俸給、宿料及來航旅費ニ充當スヘキ政府支出金ナリ、右外國教師備入ニ就テハ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ニ關シ帝國議會ノ協賛ヲ經明治三十三年度以降年々豫算ノ要求ヲ爲シタルニ拘ラス未タ曾テ備入ヲ爲サス、三十九年度ニ至リ從來適任者ナカリシ爲メ備入ヲ了セサリシモ本年度ニ於テ之カ適任者アルニ由リ其備入ヲ要ストシ三十九年四月一日以降四箇年ノ期間内ニ於テ三箇年間備入ノ件ニ就キ帝國議會ノ協賛ヲ經タルモノナルニ亦之カ備入ヲ爲サス其結果八千五百餘圓ヲ該年度ノ資金ニ編入シタルモノナリ、右ハ三十八年度検査報告ニ詳悉セシト同シク不當ナリトス(明治三十八年度一七七一八三頁參看)

【辨明】

本件ニ就テハ三十八年度検査報告ニ同一ノ批難アリシニ對シ既ニ辨明セシ如ク種々人物ノ選擇ニ努メタリシモ遂ニ適任者ヲ得ル能ハス隨テ三十九年度ニ於テモ亦備入ヲ果サ、リシモノニシテ全ク已ムヲ得サリシ結果ニ出テタルモノナレハ不當ニアラスト認ム

【貴決】 處置穩當ヲ闕ケル所アルヲ以テ將來ノ注意ヲ促ス(分科會)

【衆決】 不當

農商務省所管

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(三五)

三、七一九<sup>円</sup>〇〇〇

豫算ノ剩餘ヲ以テ不必要ナル補助金ヲ交付シタルモノ一件(三六)

三九、六一八<sup>円</sup>〇〇〇

合計二件

四三、三三三<sup>円</sup>〇〇〇

歳出臨時部

第六款 國有林野經營費

第五項 事業費

【報告】 (三五) 山林局ノ支出ニ係ル

三、七一九<sup>円</sup>〇〇〇

ハ林業試験所構内化學實驗室及木材工藝試驗場ノ新營工費ナルモ、本項豫算ニハ苗圃建物營繕トシテ簡易ナル建物其他附屬物件等ノ新營修繕ヲ見積リタルニ止マルコトハ各目明細書ニ於テ新營修繕ヲ併セテ二十五箇所一箇所平均參拾圓トアルニ徴シ明ナルノミナラス、其他ノ新營工事ニ關シテハ別ニ本款第六項ニ於テ營繕費ヲ見積リアル豫算ノ編制上ヨリ觀ルモ本件ノ如キ新營ニ對スル工費ハ本項豫算中ニ包含スルモノト認ムルヲ得ス、依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス

【辨明】

本項林業試験所建物ノ新築ハ其ノ工事ヲ直營ト請負ニ區分シ共通費ノ目中諸材料備入料及苗圃建物營繕ノ三節ニ其ノ費用ヲ豫算セシモ實際工事ヲ施行スルニ方リ便宜上全部ヲ請負ニ付スルコトニ改メ之ヲ苗圃建物營繕ノ一節ニ流用支辨シタルモノナルヲ以テ豫算ノ目的ニ反スル所ナシ但シ本款第六項ノ營繕費ハ從來豫算編成上廳舎ノ新築又ハ修繕ニ充ツルモノノミヲ豫算シ本項ノ如キ事業ニ屬スル建物ノ營繕ハ之ニ關係ヲ有セサルモノナリ

【貴決】 處置穩當ヲ闕ケル所アルヲ以テ將來ノ注意ヲ促ス(分科會)

【衆決】 承認

(參照) ○會計法第十二條第一項(二三六頁參看)